



ワシントンD.C. ヘルスケアとライフサイエンス

自動翻訳

最終更新日: 2025年12月17日

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際に関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

目次

ヘルスケアとライフサイエンス.....	4
ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理.....	9
ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア.....	9
EMR Help.....	173
Patient Support Services.....	214
Pre-Visit Management.....	263
Vaccine Administration Management.....	293
Redox Inbound Integration.....	363
臨床機器管理.....	372
[store-future: BEGIN review]	
医療 CMMS.....	372
[End]	

ヘルスケアとライフサイエンス

製品で ServiceNow ヘルスケアとライフサイエンス デジタルヘルスケアプラットフォームを活用し、患者、医療従事者、スタッフにより良いエンドツーエンドのエクスペリエンスを提供します。



デジタルトランスフォーメーションが、セキュリティやコンプライアンスを損なうことなく、医療体験と成果を再定義する方法をご覧ください

既存のシステムの上に構成可能な構築済みヘルスケアとライフサイエンスワークフローを追加することで、医療または生命科学組織のエクスペリエンスを向上させ、コアプロセスの効率を高めます。次に、将来のビジネスモデルやケアモデルをサポートするために必要なアプリとデジタルワークフローを、コーディングをほとんど必要とせず構築します。最後に、すべてを単一のヘルスケアとライフサイエンスデータモデルを使用して、アジャイルで相互運用可能な1つのプラットフォームに統合します。このヘルスケアとライフサイエンスデータモデルは、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) に準拠しており、Fast Healthcare Interoperability Resources (FHIR) 標準を含む Health Level Seven International (HL7) 業界標準に準拠しています。

ヘルスケアとライフサイエンスの機能の特長については、[infocard 全体を表示してダウンロード](#)してください。

医療および生命科学の機能



自動化されたインテリジェントなワークフローを使用してデジタルトランスフォーメーションを推進





上にNow Platform構築されたアプリケーション内のヘルスケアとライフサイエンスサービス管理基本機能を使用して、既存のデータモデルを拡張して、プロバイダー、支払者、およびライフサイエンス組織をサポートします。



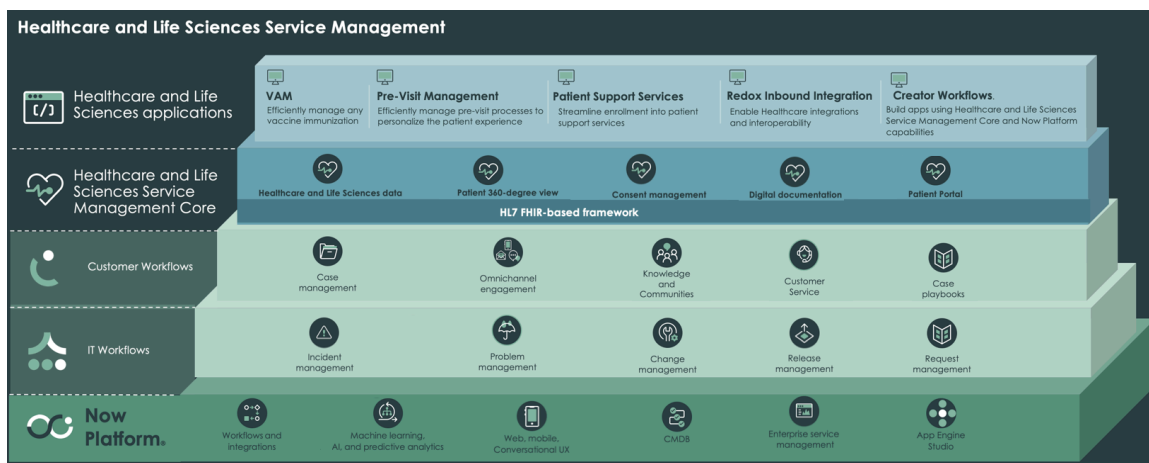
運用リスクを軽減し、デジタルエンゲージメントを改善

シームレスなエクスペリエンスのために効率的に完全なドキュメントを作成します。同意ポリシーとフォームを作成および表示します。患者、臨床医、またはベンダーにフォームを送信し、オンラインで署名してもらいます。ルールとトリガーに基づいてドキュメントのパッケージを決定および管理します。

医療および生命科学の機能 (続く)

	<p>患者チームとケアチームの生産性を向上</p> <p>Playbook、ケースマネジメント、自動化されたプロセスを使用して、患者チームとケアチームにガイド付きエクスペリエンスを提供します。</p>
	<p>医療業界における世界的なディスラプションの課題に対応</p> <p>COVID-19 と季節性インフルエンザの予防接種を大規模に管理します。</p>
	<p>患者ケアの提供における臨床医の時間を最適化</p> <p>組織の患者チームとケアチーム、ワークフロー、電子医療記録 (EMR) システムを効果的に接続して管理することで、患者により良い結果をもたらします。</p>
	<p>医療統合と相互運用性を実現</p> <p>FHIR HL7 で Redox 有効になっている API 統合を活用して、EMR システムやその他の医療システムと統合して相互運用します。</p>

自動化されたインテリジェントなワークフローを使用してデジタルトランスフォーメーションを推進



単一のプラットフォームを使用して、組織がより健全な成果を出せるようにします。HL7 FHIR データモデル、同意管理、患者 360 度ビュー、患者ポータル、事前設定されたワークフローなど、上に Now Platform 構築されたアプリケーション内のヘルスケアとライフサイエンスサービス管理基本的な機能を使用します。プラットフォームには、組織が既存のワークフローを拡張したり、組織固有のニーズを満たすために新しいワークフローを作成したりできるものも含まれています App Engine。

運用リスクを軽減し、デジタルエンゲージメントを改善

The screenshot shows a ServiceNow interface for a case titled "HIPAA Compliance patient consent". The case number is HCTASK009875. It was created 3 months ago and last updated 21 hours ago. The state is "In review". The case details include Case ID CS0067474, Urgency 2 - Medium, and Due date 2021-09-09. The document content is a "HIPAA Compliance Patient Consent Form" with the following text:

HIPAA Compliance Patient Consent Form

Our Notice of Privacy Practices provides information about how we may use or disclose protected health information.

The notice contains a patient's rights section describing your rights under the law. You ascertain that by your signature that you have reviewed our notice before signing this consent.

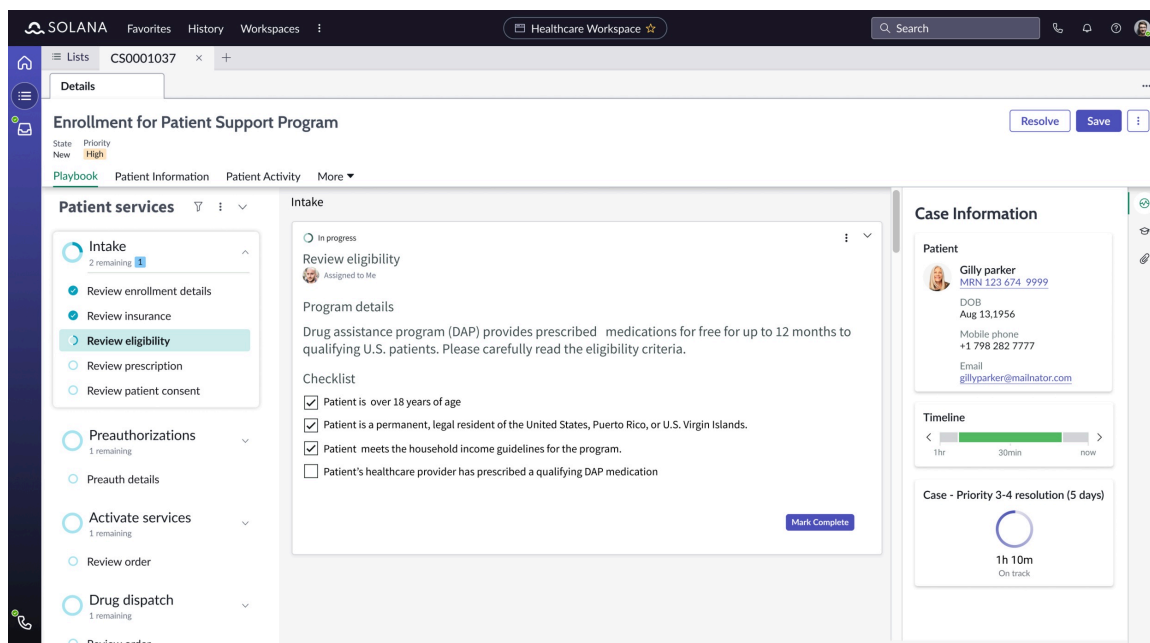
The terms of the notice may change, if so, you will be notified at your next visit to update your signature/date.

Below the document, there are options to "Print name" and "Draw sign". A handwritten signature is visible. A "Submit" button is located at the bottom right of the signature area. A note states: "This constitutes your electronic signature and has the same legal impact as signing a printed version of this document."

自動翻訳

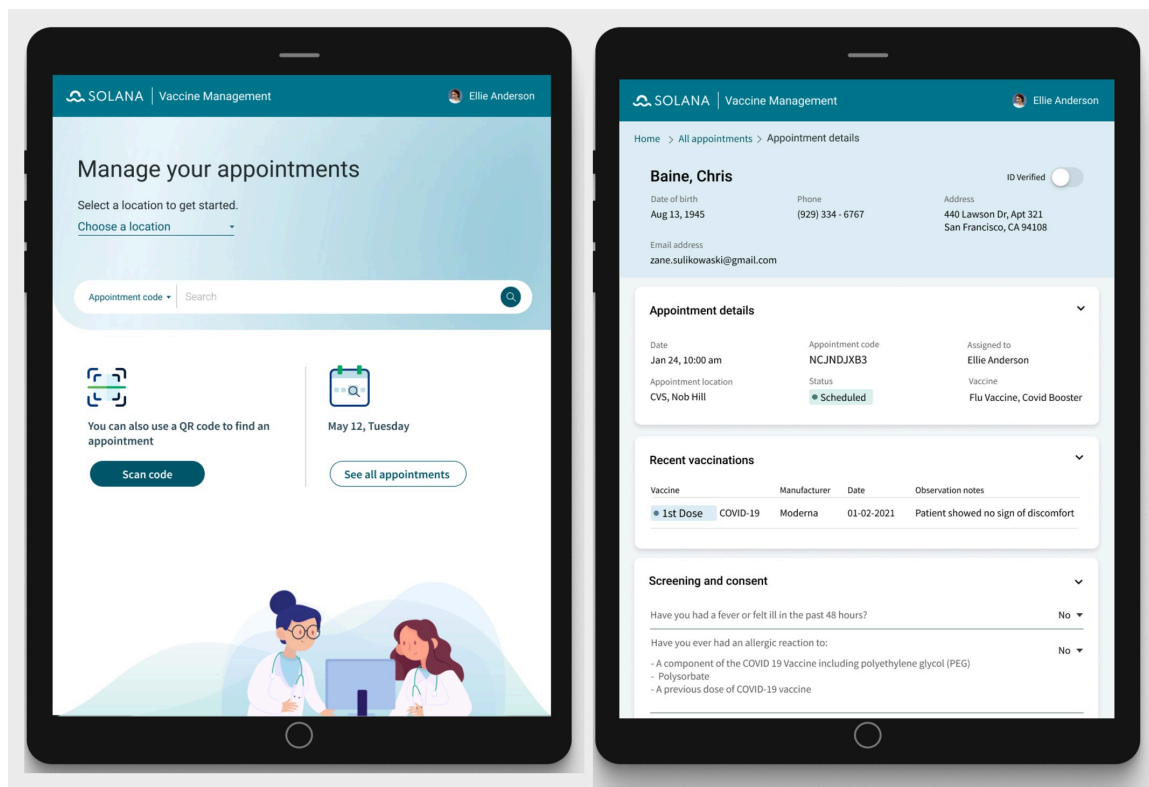
患者がオンラインで同意書に署名できるようにします。モバイル、テキスト、チャット、音声などのさまざまなプラットフォームとチャンネルでインテリジェントなサービストリアージを提供します。影響を受けるチームに作業と情報を移動して、スピード、可視性、優先順位付けを向上させます。

患者チームとケアチームの生産性を向上



医療サービスチームは、Playbook、自動化されたタスク、ダッシュボード、およびケース管理を使用してワークフローを簡素化できます。

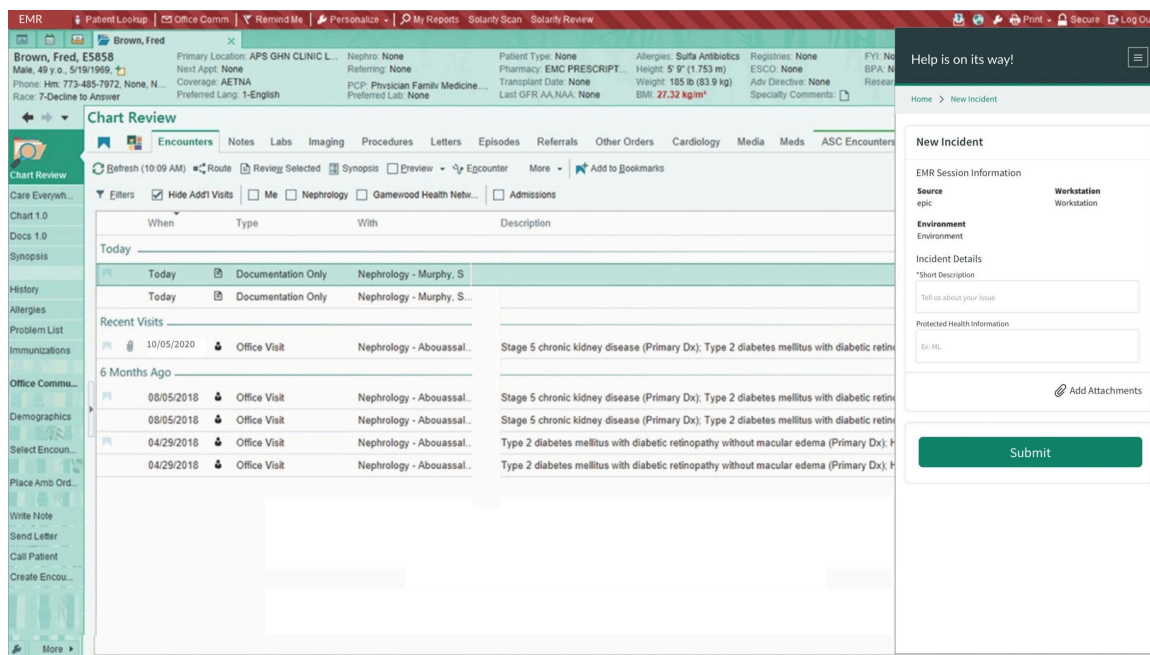
医療業界における世界的なディスラプションの課題に対応



自動翻訳

工場から最前線までのワクチンを、組織がスピード、規模、柔軟性をもって管理できるようにします。予防接種を管理するためのサンプルコンテンツとワークフローを提供することで、予防接種プロセスを迅速化します。ヘルスケアとライフサイエンス製品は、COVID-19 を含む感染症のワクチン接種を管理するためのワークフローをユーザー、医療提供者、および臨床スタッフに提供します

患者ケアの提供における臨床医の時間を最適化



臨床医はボタンをクリックするだけで、EMRシステムから直接サービス要求を行うことができます。要求は自動的にルーティングされ、タグ付けされるため、臨床スタッフは進行状況を簡単に追跡できます。この自動ルーティングにより、医療ITチームは問題をより迅速に解決できます。関係者全員が1つの場所で要求のステータスを確認できるため、メールメッセージや電話でやり取りする必要がなくなります。

医療統合と相互運用性を実現



複数の医療システム間の双方向統合を可能にして、ケアキャパシティを向上させます。このアプリケーションを使用して、外部の医療システムから医療データを受信し、インスタンスRedox Inbound IntegrationにServiceNow更新します。このアプリケーションは、個々の医療システムが医療データを保存および送信する方法に依存することなく、スケジュール、投薬、および患者管理情報を簡単に統合します。

開始するには

- [デモセンター](#)で デモをご覧くださいヘルスケアとライフサイエンス。
- 実装スペシャリストと協力してセットアッププロセスを合理化します。詳細については、[Customer Success Center](#) でご確認ください。

- 実装プロセスについて学習するには、「[実装者向け医療および生命科学サービス管理](#)」ラーニングパスにサインアップしてください。
- 各ヘルスケアとライフサイエンスアプリケーションの構成セクションを表示します。例については、「[ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアの構成](#)」を参照してください。

製品と用途

- [臨床機器管理](#)
- [EMR Help](#)
- [ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理](#)
- [医療 CMMS](#)
- [ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)
- [Patient Support Services](#)
- [Pre-Visit Management](#)
- [Redox Inbound Integration](#)
- [Vaccine Administration Management](#)

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理

ServiceNow[®] ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理アプリケーションを使用して、Playbook とケース管理により患者とケアチームのワークフローを簡素化します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理には次のアプリケーションが含まれています。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

ユーザーにシームレスなデジタルエクスペリエンスを提供し、自動化されたプロセスで医療業務を簡素化します。

Pre-Visit Management

患者の処置要求のスケジューリングプロセスを簡素化し、スケジュールされた処置前の事前承認の可視性を高めます。

Patient Support Services

患者のオンボーディング、教育、および割引計画、遵守プログラム、オピオイド、糖尿病管理などのさまざまな患者サポートサービスを簡素化します。

Vaccine Administration Management

感染症の予防接種を最初から最後まで管理します。


Redox Inbound Integration

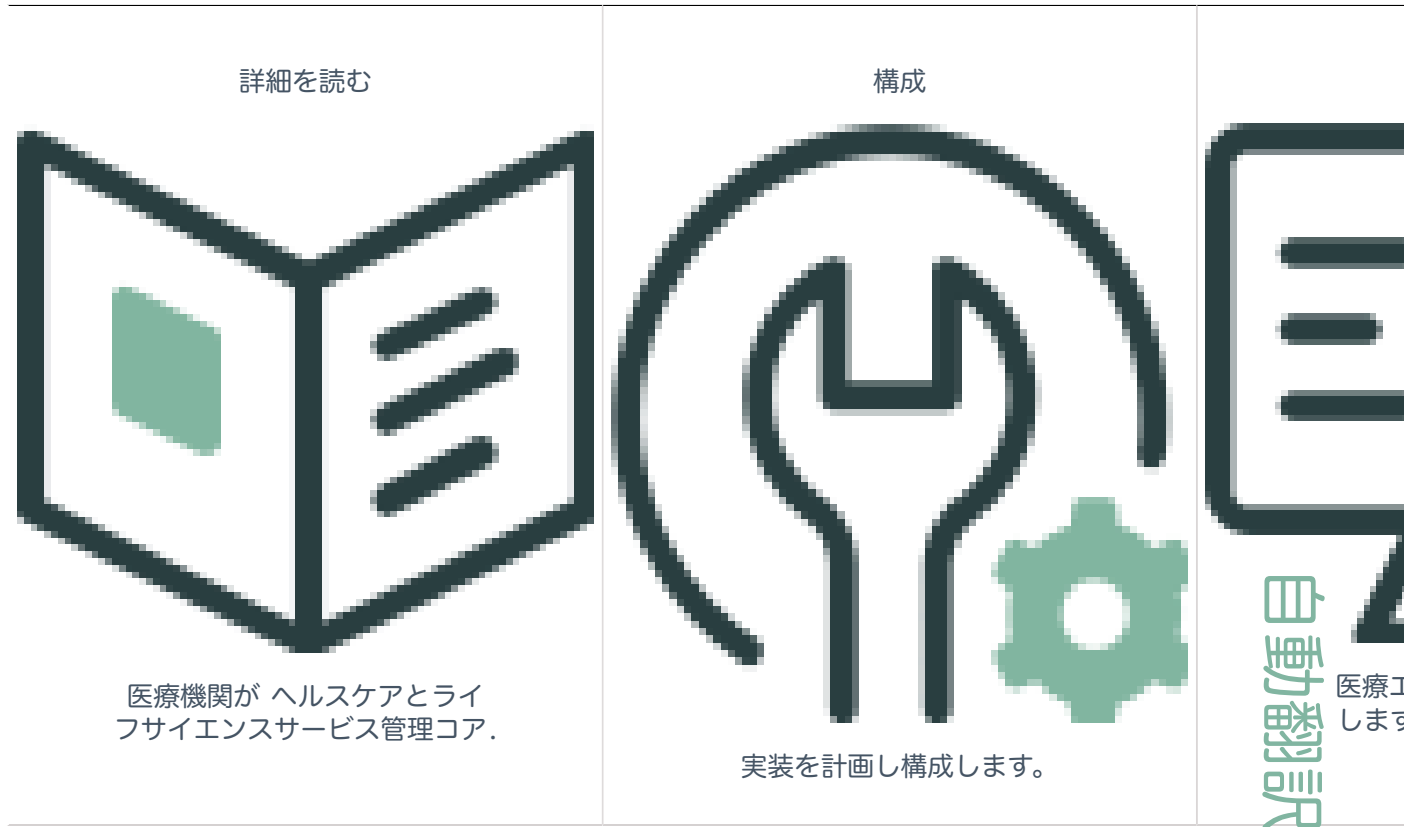
プラットフォームを介して Redox 外部の医療システムとのリアルタイムの双方向データ交換を使用します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

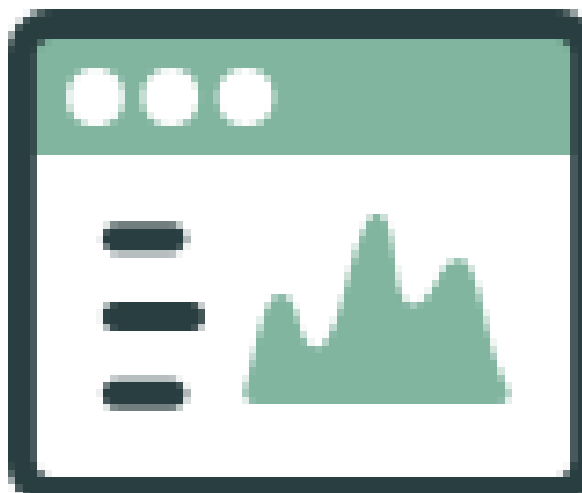
この ServiceNow[®] ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションを使用して、ユーザーにシームレスなデジタルエクスペリエンスを提供し、自動化されたプロセスで医療業務を簡素化します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store  Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート !\[\]\(b3b0a188e99a57a4c6164a3c675ba63f_img.jpg\)](#)」を参照してください。



管理



で患者情報を管理します ワークスペース。

患者ポータル



患者ポータルを使用して、患者が医療情報を利用できるようにします。

自動翻訳

テー
ントの

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアの詳細

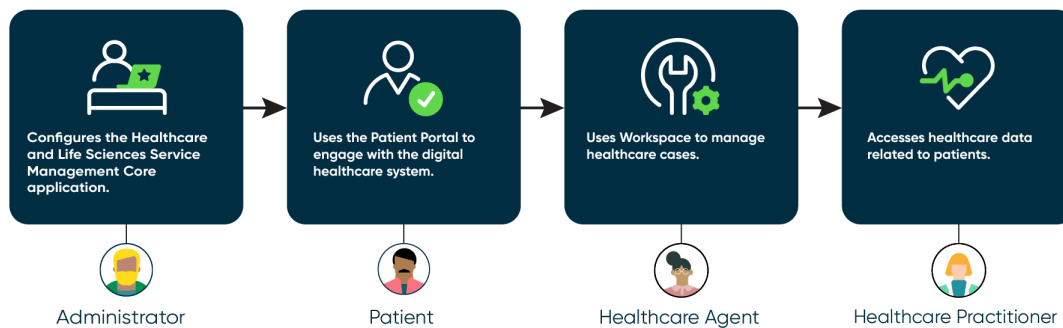
アプリケーションの実装 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア を開始する場合でも拡張する場合でも、データモデルとデジタルヘルス機能 (患者の 360 度ビュー、同意管理、医療サービスに対応するために利用可能なデジタルドキュメントなど) の詳細について学習することを検討してください。

概要

プロバイダー、支払者、製薬、または医療機器組織は、患者とメンバーの医療記録を完全に可視化することで、従業員の生産性を向上させることができます。医療の要求に対応するための完全な患者情報をエージェントに提供することで、医療エージェントの時間を最適化できます。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア は、ヘルスケアとライフサイエンス 業界製品のヘルスケアとライフサイエンス データモデル、患者情報と医療関連ケースを表示するためのワークスペース、および医療関連ドキュメントを管理するためのドキュメントテンプレートを提供するスコープ対象のアプリケーションです。

Healthcare and Life Sciences Service Management Core ワークフロー



Healthcare and Life Sciences Service Management Core ワークフロー:

1. 管理者が Healthcare and Life Sciences Service Management Core アプリケーションを設定します。
2. 患者は患者ポータルを使用してデジタル医療システムを利用します。
3. 医療エージェントは、Workspace を使用して医療ケースを管理します。
4. 医療従事者は、患者に関連するヘルスケアデータにアクセスします。

福利厚生

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア には次のメリットがあります。

Healthcare and Life Sciences Service Management の主なメリット

メリット	主な機能	ロール
シームレスで時間を節約できる患者予約プロセスを体験してください。	の患者ポータル の使用 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理	患者
患者やメンバーの情報を 360 度見渡すことができます。	での患者情報の表示 ワークスペース	エージェント
ビルトインのデジタルドキュメントテンプレートを使用して、医療ドキュメントと同意書の生成をデジタル化します。	のドキュメントテンプレートの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア	エージェント
医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) に準拠し、Fast Healthcare Interoperability Resources (FHIR) 標準を含む Health Level Seven International (HL7) 業界標準に準拠する、	ヘルスケアとライフサイエンスデータモデル	管理者

Healthcare and Life Sciences Service Management の主なメリット (続く)

メリット	主な機能	ロール
柔軟なロールベースのセキュリティ データ モデルを構成します。		
便利でアクセスしやすいスペースで医療ケースを管理します。	での医療関連要求の管理 ワークスペース	エージェント

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションで開始するには、「ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア の構成」を参照してください。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア の構成

業界別ソリューションのさまざまなヘルスケアとライフサイエンスタイプのワークフローを作成するようにアプリケーションを設定しますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 構成タスク

タスク	説明
ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア のインストール。	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションをインストールしてデータモデルを作成し、ワークフローのヘルスケアとライフサイエンスデジタルドキュメントと同意管理を有効にします。
ユーザーにロールをアサインするヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。	アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。
次を使用：ヘルスケアとライフサイエンス データモデル。	医療データ、ケース、およびタスクテーブルを使用して、ワークフローのデータモデル ヘルスケアとライフサイエンス を決定します。医療データテーブルの詳細については、「」を参照してください ヘルスケアとライフサイエンス データモデルテーブル。 注: admin ロールを持つユーザーを含め、どのユーザーもヘルスケアデータテーブルからデータを削除できません。
医療ケースのドキュメントテンプレートを構成します。	組み込みのデジタルドキュメントテンプレートを使用して、医療ドキュメントとフォームの生成をデジタル化します。
医療ケースのドキュメントの自動生成を構成します。	医療ケースのドキュメントを自動生成するための条件を定義します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 構成タスク (続く)

タスク	説明
制限付きの発信者アクセス特権を承認します。	アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を承認します。ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理。
プログラムとプログラムサービスを構成します。	Healthcare and Life Sciences Service Management アプリケーションのユーザーが、プログラムに含まれるサービスを要求できるようにします。
薬剤製品の投与量の仕様を構成します。	アプリケーションのプログラムに関連付けられた薬剤製品の投与量の仕様を設定することで、手作業によるエラーを削減します。たとえば、Patient Support Services。
患者の To Do アイテムの指定。	医療機関内の患者が医療活動の一環として完了する必要がある To Do アイテムを追加します。
医療関連タスクを完了するための To Do メニューアイテムを追加するようにサービスポータルを設定します。	サービスポータルに To Do アイテムを表示するために HCLS To Do (hcls-todo-list) ウィジェットを使用する To-do メニューアイテムを有効にします。
患者の同意管理プロセスを決定します。	患者の同意に関するプライバシーポリシーをレビューと署名のために患者に回覧する必要があるかどうかを判断します。
プロパティ 患者ポータル.	アプリケーション内でヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア利用可能な患者ポータルを設定して、患者がポータルから自分の医療情報にアクセスできるようにします。
プロパティ ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア メール通知.	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア患者ポータルでのアカウント登録に関して患者に送信されるメール通知を構成します。
での B2B2C の有効化 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア.	企業/企業/消費者間 (B2B2C) を有効にするようにデータモデルを構成します。カスタマーサービス管理 (CSM)。
カスタム統合のソースシステムとしての外部 Redox 医療システムの構成。	医療システムのソース ID と宛先 ID をインスタンスでServiceNow設定することで、カスタム統合アプリケーションで外部Redoxの医療システムとデータを交換できるようにします。
機密情報を保護します。	権限のないユーザーが機密性の高い医療データを閲覧できないようにします。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアのインストール

admin ロールをお持ちであれば、アプリケーション (sn_hcls) をヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアにインストールできます。このアプリケーションには、デモデータヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 [エンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。

必要なロール：admin

このタスクについて

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアとともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- テーブル
- プラグイン
- ServiceNow Store アプリケーション
- ビジネスルール

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて](#)。
2. ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアフィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_hcls) を検索します。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
4. [インストール] を選択します。

ユーザーにロールをアサインするヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインしますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアに設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_hcls.manager または admin

このタスクについて

次のテーブルにリストされているロールを持つユーザーは、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションを使用できます。

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール

ロール	説明	ロールを含む
sn_hcls.admin	ユーザーがアプリケーションのロールを取得する方法を制限することで、機密データにアクセスできるユーザーを管理します。ヘルスケアとライフサイエンス。	<ul style="list-style-type: none"> • decision_table_admin • sn_doc.admin • sn_hcls.マネージャー • sn_previsit.admin
sn_hcls.case_task_viewer	医療ケースに関連付けられたタスクを表示するためのアクセス権を付与します。	なし
sn_hcls.case_viewer	医療ケースを表示するためのアクセス権を付与します。	なし
sn_hcls.clinical_data_viewer	予防接種や処置などの臨床データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.clinical_data_writer	予防接種や手順などの臨床データの詳細を編集します。	sn_hcls.clinical_data_viewer
sn_hcls.consumer_agent	ヘルスケアケースを作成、表示、および編集し、コンシューマーと協力してケースを解決します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_agent • sn_customerservice.consumer_agent
sn_hcls.customerservice_agent	カスタマーサービスエージェントとして、アカウントと連絡先の医療ケースを作成します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_agent • sn_customerservice_agent
sn_hcls.data_access_user	特定の機密医療データへの専用アクセスが必要なユーザーにデータアクセス権を付与します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア

自動翻訳

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
		<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.device_data_viewer	デバイスの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.device_data_writer	デバイスデータを作成、削除、更新します。	sn_hcls.device_data_viewer
sn_hcls.employee_patient	医療データと医療ケースを表示する権限がある場合、snc_internalロールを持つユーザーにアクセス権を付与します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_customerservice.self_contributor • sn_vaccine_sm.user • sn_hcls.data_access_user
sn_hcls.foundation_data_viewer	組織や医療の場所など、基盤データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.foundation_data_writer	組織や医療機関の場所など、基盤データの詳細を編集します。	sn_hcls.foundation_data_viewer
sn_hcls.healthcare_agent	コンタクトセンターのエージェントとして、患者に関連するヘルスケアデータにアクセスして表示します。	<ul style="list-style-type: none"> • canvas_user • sn_customerservice.csm_workspace_user • sn_customerservice.customer_data_viewer • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.report_viewer • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.健康保険_データ_ビューア	メンバープランや支払人プランなど、健康保険データの詳細を表示します。	なし

自動翻訳

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_hcls.健康保険_データ_ライター	メンバープランや支払人プランなど、健康保険データの詳細を編集します。	health_insurance_data_viewer
sn_hcls.マネージャー	インスタンス内の医療オブジェクトに対して作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 操作を実行できるユーザーを管理します ServiceNow。さらに、アカウント、連絡先、アカウント関係、連絡先関係、アカウントコンシューマー関係を作成および管理します。	<ul style="list-style-type: none"> • canvas_user • model_manager • sn_customerservice.csm_workspace_user • sn_customerservice.customer_data_viewer • sn_hcls.clinical_data_writer • sn_hcls.foundation_data_writer • sn_hcls.健康保険_データ_ライター • sn_hcls.患者_データ_ライター • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ライター • sn_hcls.report_viewer • sn_hcls.revenue_cycle_data_writer • sn_previsit.患者_サービス_エージェント
sn_hcls.患者	<p>医療ケース、住所、患者データ、臨床データなどの自分のレコードを患者として表示します。また、他の患者の記録 (正式な代表者である住所など) も表示します。自分の医療ケースと認可済み担当者にコメントを追加します。世帯員を表示します (存在する場合)。</p> <p>患者に関連付けられた世帯メンバーと住所は、それぞれ世帯メンバー [csm_household_member] テーブルと場所 [cmn_location] テーブルを使用して維持されます。世帯メンバーとそのリレーションの詳細については、「業界データモデルの世帯」を参照してください。場所は、Common Services Data Model (CSDM) の基盤ドメインに関連付けられています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_customerservice.consumer • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_hcls.患者_データ_ビューア	患者やポリシーの同意など、患者データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.患者_データ_ライター	患者やポリシーの同意など、患者データの詳細を編集します。	sn_hcls.患者_データ_ビューア
sn_hcls.practitioner	医療従事者 (トリアージ看護師または臨床コーディネーター) として、患者に関連する医療データにアクセスして表示します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_customerservice.customer_data_view • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.report_viewer • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア	施術者や施術者施設などの施術者データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.プラクティショナー_データ_ライター	施術者や施術者施設などの施術者データの詳細を編集します。	sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア
sn_hcls.report_viewer	エージェントまたはマネージャーとしてアクセスできるテーブルから生成されたレポートを表示します。	なし
sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer	請求などの収益サイクルデータの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.revenue_cycle_data_writer	請求などの収益サイクルデータの詳細を編集します。	sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer

手順

ユーザー管理機能を使用して、Now Platform ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールの割り当て](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

ヘルスケアとライフサイエンス データモデル

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションは、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 ワークフローで使用されるデータモデルを提供します。

概要

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルは、Fast Healthcare Interoperability Resources (FHIR) 標準を含む、Health Level Seven International (HL7) 業界標準と互換性があります。データモデルは、プロバイダー、生命科学、支払人を含むすべてのヘルスケアとライフサイエンス 業界別ソリューションに適用されます。このモデルには、組織、患者、施術者、保険、収益サイクル、および臨床データのデータテーブルが含まれています。

データモデルは、次のテーブルの組み合わせを使用してデータを保存します。

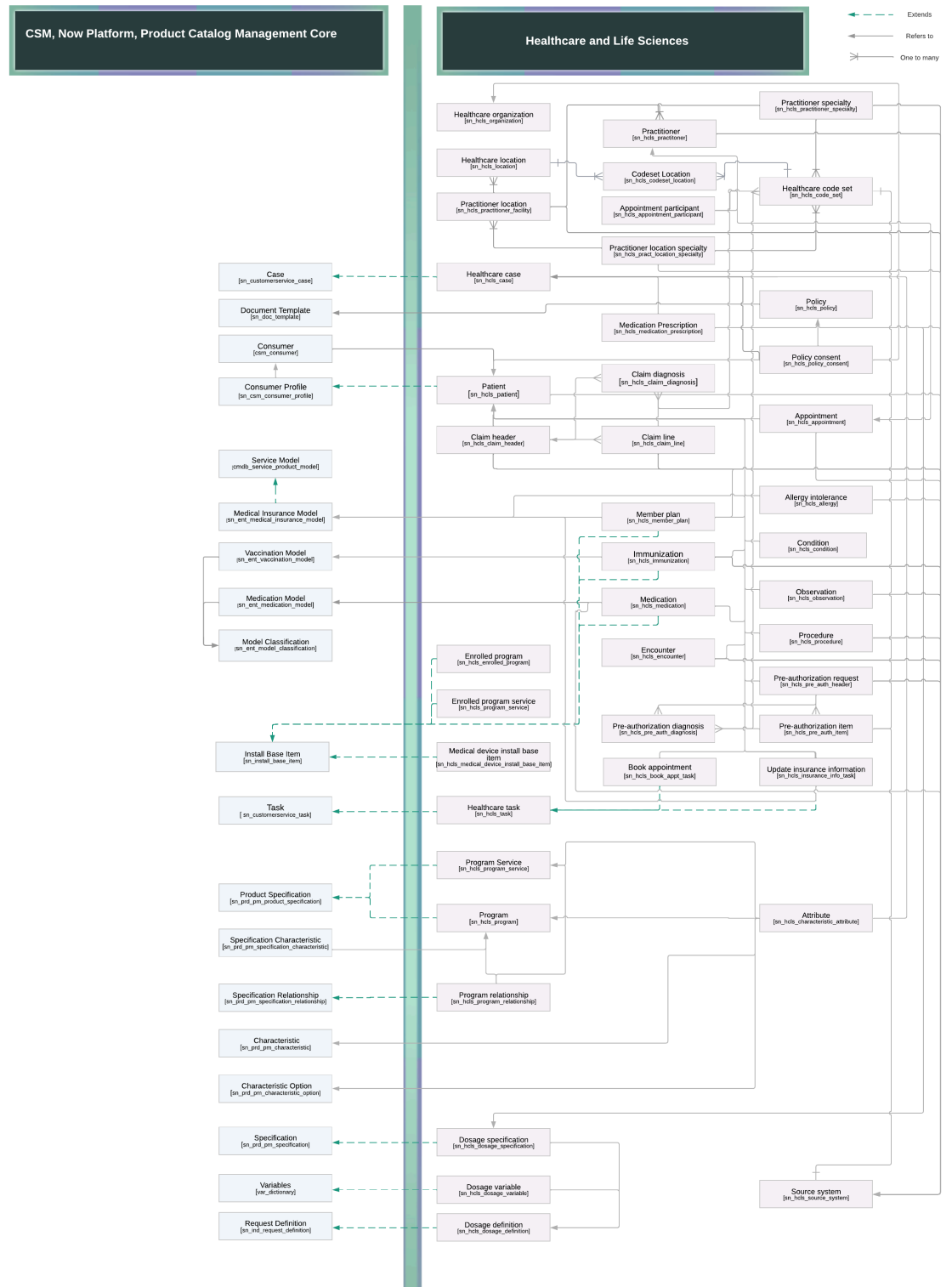
- ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションに含まれているテーブル。
- カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのテーブル
- Now Platform アプリケーションのテーブル
- Product Catalog Management Core アプリケーションのテーブル。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションをインストールして、そのデータモデルのみを基本構成に使用できます。

ヘルスケアとライフサイエンス データモデル図

次の図は、ヘルスケアとライフサイエンス データモデルを構成するテーブルとその関係性を示しています。

Healthcare and Life Sciences data model



自動翻訳

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルのヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア テーブル

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルは、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションに含まれる次のテーブルを使用してデータを格納します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル

テーブル	説明
アレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy]	アレルギーまたは不耐症の臨床アセスメントに関する情報：指定された物質または物質のクラスへの将来の接触に対して副作用をもたらす傾向、または個人への潜在的なリスクを保存します。
予約 [sn_hcls_appointment]	医療機関での患者の予約の詳細を保存します。
予約患者 [sn_hcls_appointment_participant]	予約の参加者の詳細を保存します。
属性 [sn_hcls_characteristic_attribute]	医療の要求を送信するときに患者が選択したプログラムまたはプログラムサービスに関連付けられた特性オプションを保存します。
予約を取る [sn_hcls_book_appt_task]	医療のケースまたはその拡張ケースタイプに関連付けられた予約のタスクの詳細を保存します。
請求の診断 (Claim diagnosis) [sn_hcls_claim_diagnosis]	請求の診断情報を保存します。
請求ヘッダー [sn_hcls_claim_header]	患者の代わりに支払人組織に送信されたメイン請求の詳細を保存します。
請求明細 [sn_hcls_claim_line]	請求ヘッダーに関連するアイテムの詳細を保存します。
医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item]	医療デバイスの詳細をインストールベースアイテムとして保存します。
条件 [sn_hcls_condition]	懸念レベルに上昇した状態、問題、診断、またはその他のイベント、状況、問題、または臨床概念に関する情報を保存します。
用量の定義 [sn_hcls_dosage_definition]	要求定義パラメーターとして使用するための Dosage specification

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
	[sn_hcls_dosage_specification] テーブルをモデル化します。
用量の仕様 [sn_hcls_dosage_specification]	プログラムに関連付けられた薬剤製品の投与に関する情報を保存します。
用量変数 [sn_hcls_dosage_variable]	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 アプリケーションの [薬の処方箋] フォームに表示される用量の仕様に設定された変数を保存します。
診察 [sn_hcls_encounter]	ヘルスケアサービスを提供したり、患者の健康状態を評価したりするための、患者とヘルスケアプロバイダー間のやり取りに関する情報を保存します。
登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program]	患者が登録されているプログラムを保存します。
登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program]	プログラム登録プロセスの一環として患者に提供されるプログラムサービスを保存します。
医療ケース [sn_hcls_case]	ヘルスケア関連のケースを保存します。 i 注: 医療ケース [sn_hcls_case] テーブルは抽象テーブルであり、拡張可能です。
ヘルスケアコードセット [sn_hcls_code_set]	ServiceNow インスタンスで利用可能なコードセットの詳細を保存します。
医療機関の所在地 [sn_hcls_location]	医療機関に関連付けられた場所の詳細を保存します。
医療機関 [sn_hcls_organization]	医療機関の詳細を ServiceNow インスタンスに保存します。
医療タスク [sn_hcls_task]	医療組織内の医療ケースまたは患者に関連付けられたタスクの詳細を保存します。 i 注: 医療タスク [sn_hcls_task] は抽象テーブルであり、拡張可能です。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
予防接種 [sn_hcls_immunization]	患者、臨床スタッフ、または第三者によって報告された、患者のワクチン接種または予防接種記録のイベントに関する情報を保存します。
薬剤 [sn_hcls_medium]	薬剤の処方、調剤、投与、および薬剤の使用に関する情報を保存します。
薬の処方箋 [sn_hcls_medication_prescription]	患者のために注文した処方箋に関する情報を保存します。
メンバープラン [sn_hcls_member_plan]	患者に関連付けられた健康保険制度の詳細を保存します。
所見 [sn_hcls_observation]	患者に関する測定値と簡潔な主張に関する情報を保存します。
患者 [sn_hcls_patient]	医療機関での患者の詳細を保存します。
ポリシー [sn_hcls_policy]	ヘルスケアとライフサイエンス アプリケーションで患者と共有されるポリシーの詳細を保存します。
ポリシーの同意 (Policy consent) [sn_hcls_policy_consent]	患者または患者に代わって世帯メンバーが承認した同意の詳細を保存します。
施術者 [sn_hcls_practitioner]	医療機関での施術者の詳細を保存します。
施術者所在地 [sn_hcls_practitioner_facility]	施術者がヘルスケアサービスを提供する場所の詳細を保存します。
開業医所在地専門分野 [sn_hcls_pract_location_specialty]	施術者が特定の場所で組織に提供できるサービスのタイプに関する詳細を保存します。
施術者の専門分野 [sn_hcls_pract_location_specialty]	施術者の専門分野との関連付けの詳細を保存します。
事前承認診断 (Pre-authorization diagnosis) [sn_hcls_pre_auth_diagnosis]	ヘルスケアサービスの事前承認に関連する診断情報を保存します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
事前承認アイテム (Pre-authorization item) [sn_hcls_pre_auth_item]	ヘルスケアサービスの事前承認要求に関連するアイテムの詳細を保存します。
事前承認要求 [sn_hcls_pre_auth_header]	支払人組織によって提供されるヘルスケアサービスの承認要求の詳細を保存します。
手順 [sn_hcls_procedure]	患者に対して行っている、または行われたアクションに関する情報を保存します。アクションは、手術のような物理的な介入の場合もあれば、長期のサービス、カウンセリング、催眠療法のように侵襲性が低い場合もあります。
プログラム [sn_hcls_program]	医療機関によって提供されるプログラムを保存します。
プログラム関係 [sn_hcls_program_relationship]	プログラムとプログラムサービス間の関連付けの詳細を保存します。
プログラムサービス [sn_hcls_program_service]	プログラムに関連付けられたプログラムサービスを格納します。
ソースシステム [sn_hcls_source_system]	外部の医療システムのソース ID と宛先 ID を ServiceNow インスタンスに保存します。
保険情報を更新 [sn_hcls_insurance_info_task]	医療機関での患者の保健情報の更新に関するタスクの詳細を保存します。

自動翻訳

ヘルスケアとライフサイエンス データモデル向け **Now Platform**、カスタマーサービス管理 (**CSM**)、および **Product Catalog Management Core** テーブル

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルは、Now Platform、カスタマーサービス管理 (CSM) および Product Catalog Management Core アプリケーションに含まれる次のテーブルを使用してデータを格納します。

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルで使用される **Now Platform**、**CSM**、および **Product Catalog Management Core** テーブル

テーブル	説明	アプリケーション
事業所 [sn_csm_business_location]	事業所レコードを提供します。	CSM

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルで使用される **Now Platform**、**CSM**、および **Product Catalog Management Core** テーブル (続く)

テーブル	説明	アプリケーション
ケース [sn_customerservice_case]	顧客連絡先レコードに関連付けられた患者のケースを提供します。	CSM
特性 [sn_prd_pm_characteristic]	製品で利用可能な属性を提供します。	Product Catalog Management Core
特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option]	製品で利用可能な属性のオプションを提供します。	Product Catalog Management Core
コンシューマー (csm_consumer)	コンシューマーレコードに関連付けられた患者レコードを提供します。	CSM
消費者プロフィール [sn_csm_consumer_profile]	複数のコンシューマープロフィールを提供します。	CSM
文書テンプレート [sn_doc_template]	標準のレターまたはドキュメントを生成するためのドキュメントテンプレートを提供します。	Now Platform
世帯メンバー [csm_household_member]	世帯に追加された患者メンバーのレコードを提供します。	CSM
インストールベースアイテム [sn_install_base_item]	アカウントまたはコンシューマーによってインストールまたは使用されている製品を提供します。	CSM
場所 [cmn_location]	患者に関連付けられた住所を提供します。	Now Platform
医療保険モデル [sn_ent_medical_insurance_model]	健康保険プランや、メディケアやメディケイドなどの政府保険プログラムを含む医療保険モデルを分類します。	モデルおよび資産クラスストアの拡張
製品仕様 [sn_prd_pm_specification]	サービスプロバイダーが顧客に販売する製品を機能レベルで定義します。	Product Catalog

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルで使用される **Now Platform**、**CSM**、および **Product Catalog Management Core** テーブル (続く)

テーブル	説明	アプリケーション
		Management Core
要求定義 [sn_ind_request_definition]	タスクタイプとワークフローを要求データテーブルに関連付けます。	Now Platform
サービス組織 [sn_customer_service_organization]	事業所や内部事業所を含む、サービス組織のレコードを提供します。	CSM
販売済み製品 [sn_install_base_sold_product]	顧客としての患者によって購入された製品を提供し、顧客 (顧客アカウントまたはコンシューマー) の製品モデル [cmdb_model] テーブルまたはサービスモデル [cmdb_service_product_model] テーブルを参照します。	Now Platform
仕様 [sn_prd_pm_specification]	業界アプリケーションに含まれる仕様のベーステーブルを提供します。	Product Catalog Management Core
仕様特性 [sn_prd_pm_specification_characteristic]	製品、サービス、およびリソースの仕様の特性を提供します。	Product Catalog Management Core
仕様関係 [sn_prd_pm_specification_relationship]	製品、サービス、およびリソースの仕様の関係性と、顧客の注文を受領した後の製品オフリングの分解、履行、および配送の方法を提供します。	Product Catalog Management Core
タスク [task]	テーブルを拡張する各テーブルで使用される、一連の標準フィールドを提供します。	Now Platform
変数 [var_dictionary]	アプリケーションフォームで使用されるモデルの動的変数を定義します。	Now Platform

i 注:

、CSMおよび Product Catalog Management Core テーブルの詳細についてはNow Platform、「[業界データモデルテーブル](#)」、「[Customer Service Management とともにインストールされるテーブル](#)」、「[Model Management とともにインストールされるテーブル](#)」、および「」を参照してください。

のドキュメントテンプレートの構成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

医療ケースタイプを拡張するケースを使用するワークフローで、同意ドキュメントやプライバシードキュメントなどの関連する医療ドキュメントを自動的に識別してアサインすることで、患者エクスペリエンスを向上させます。

sn_hcls.admin ロールを持つユーザーは、組み込みのデジタルドキュメントテンプレートを使用して、ヘルスケアドキュメントとフォームの生成をデジタル化できます。医療ドキュメントは、情報を収集し、患者、開業医、またはその両方から同意と署名を得るために使用できます。

事前に入力された再利用可能な医療ドキュメントを作成するには、テーブルのフィールドと変数をドキュメントテンプレートにマッピングします。ドキュメントテンプレートはアプリケーションヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア内で作成されます。適切なユーザーロールを参加者にマッピングすることで、ドキュメントのフィールドに関連付けられた参加者を決定することもできます。

アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアドキュメントテンプレートを設定するには、次の場所へ移動します。すべて > **HCLS** サービス管理 > 管理 > ドキュメントの構成。デフォルトでは、HTML または PDF タイプのドキュメントテンプレートを作成できます。詳細については、「[HTML タイプのドキュメントテンプレート](#)」および「[PDF タイプのドキュメントテンプレート \(高度なフォーム\)](#)」を参照してください。

医療ケーステーブルのドキュメントテンプレートを構成した後、ワークフローでドキュメント履行プロセスをいつ開始するかに関する決定を構成できます。詳細については、「[医療ケースのドキュメントの自動生成の設定](#)」を参照してください。

医療ケースのドキュメントの自動生成の設定

医療ケースのドキュメントを自動生成するための条件を定義できます。

admin ロールを持つユーザーは、医療ケースの意思決定条件が満たされたときに医療ドキュメントを自動的に生成するように意思決定テーブルを構成できます。たとえば、処置のスケジュールリングプロセスの一環として、プライバシーに関する同意書と処置書の同意書を患者に送信し、デジタルレビューおよび署名してもらうための条件を定義できます。

医療ケースの意思決定テーブルを設定する場合は、次の点に注意してください。

- 医療ドキュメントのドキュメントテンプレートを意思決定の回答として関連付けます。
- 医療ケーステーブルの列を意思決定入力として関連付けます。

アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア医療ケースの意思決定テーブルを構成するには、すべて > **HCLS** サービス管理 > 管理 > ドキュメントの決定。**HC** ケースのドキュメントフローをトリガーするビジネスルールは、すべての医療ケースの挿入時と更新時に実行され、ケース参照が入力として設定されているすべてのドキュメント意思決定を評価します。意思決定条件が満たされると、ビジネスルールによって、関連付けられたドキュメントテンプレートのドキュメントワークフローが開始されます。

詳細については、「[Decision Tables](#)」を参照してください。

の制限付き発信者アクセス特権の承認ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理

アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を承認しますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理。

RCA 特権は、アプリケーション、イベント、またはアプリケーションリソースへのクロスコープアクセスを定義します。アプリケーションリソースには、アクセス制御ルール、ビジネスルール、UIアクション、およびスクリプトインクルードが含まれます。

アプリケーションからヘルスケアとライフサイエンスサービス管理ドキュメントテンプレートにアクセスするために必要な実際の RCA と要求済み RCA は、アプリケーションに含まれていますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。

アプリケーションをインストールするヘルスケアとライフサイエンスサービス管理と、アプリケーションの実際の RCA ドキュメントテンプレートのステータスが [要求済み] に設定されます。詳細については、「[要求された制限付きの申請者アクセス \(RCA\)](#)」を参照してください。

アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理ドキュメントテンプレートを使用できるようにするには、管理者として、アプリケーションの実際の RCA ドキュメントテンプレートのステータスを [許可] に設定する必要があります。詳細については、「[のドキュメントテンプレートに対する制限付きの申請者アクセス特権の許可ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

のドキュメントテンプレートに対する制限付きの申請者アクセス特権の許可ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

ターゲットスコープ内のアプリケーションに対してドキュメントテンプレート、アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を許可しますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理。

始める前に

アプリケーションピッカーでアプリケーションスコープが に設定されドキュメントテンプレートでいることを確認します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > アプリケーション制限付きの申請者アクセス](#).
2. [Restricted Caller Access Privileges] リストの [**Source Scope**] 列で、 を検索しますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。
3. ターゲットスコープでドキュメントテンプレート 要求済み RCA をクリックします。
4. [制限付きの発信者アクセス特権] フォームで、[ステータス] フィールドの値を [許可] に設定します。
5. [Update (更新)] をクリックします。
6. 要求された RCA ごとに手順 3 ~ 5 を繰り返します。

ワークフローのためのヘルスケアとライフサイエンスプログラムおよびプログラム・サービスの構成

患者またはコンシューマー登録のために医療機関が提供するプログラムとプログラム内のサービスを設定できます。

アプリケーション内のヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアプログラムは、医療生命保険組織が患者またはコンシューマーに提供する製品カタログアイテムです。

アプリケーション内のヘルスケアとライフサイエンスサービス管理プログラムサービスは、医療生命保険組織が患者またはコンシューマーに提供するプログラム内の製品カタログアイテムです。

プログラムサービスの構成

アプリケーションに関連付けられたヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 プログラム内で使用するプログラムサービスを追加します。

始める前に

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

このタスクについて

デフォルトでは、アプリケーションはワークフロー用のヘルスケアとライフサイエンス サンプルプログラムサービスをいくつか提供しており、プログラムサービスを作成する際の参考にすることができます。


手順

1. 移動先 **すべて > HCLS サービス管理 > 管理 > プログラムサービス**。
2. [プログラム サービス] ボックスの一覧で、[新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

プログラムサービスフォーム

フィールド	説明
番号	プログラムサービスの一意的識別子。このフィールドは自動的に自動生成された番号に設定されます。
名前	プログラムサービスを識別する名前。
アクティブ	プログラムサービスの使用を有効にするオプション。
ステータス	プログラムサービスのステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] ステータスに設定されます。
開始日	プログラムサービスの開始予定日。
終了日	プログラムサービスの終了予定日。  注: プログラムサービスの終了日は、開始日よりも後でなければなりません。
説明	プログラムサービスの概要。

注:

2021-12-31 などの yyyy-mm-dd 形式で日付を入力するか、日付タイプに対応する日付選択アイコンをクリックします。たとえば、[終了日] フィールドに日付を入力するか、日付選択アイコン (日付 ) をクリックして日付を選択することで、プログラムサービスの終了日を指定します。

4. **[Submit (送信)]** をクリックします。
5. オプション: [プログラムサービスの仕様特性を設定します。](#)
6. オプション: [プログラムサービスをプログラムに関連付けます。](#)
7. [プログラムサービスを公開します。](#)



プログラムサービスの仕様特性の構成

プログラムでプログラムサービスオフリングヘルスケアとライフサイエンスを定義できるように、仕様特性を作成します。

始める前に

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

手順

1. 移動先 [すべて > HCLS サービス管理 > 管理 > プログラムサービス。](#)
2. [プログラムサービス] リストで、[番号] 列からプログラムサービスへのリンクをクリックします。
3. [仕様特性] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [特性] フィールドで、[ルックアップアイコン](#)  をクリックし、[特性] リストの [名前] 列から特性を選択します。
デフォルトでは、アプリケーションは、特性の作成時に参照を使用するための [利益調査 特性](#) を提供します。新しい特性を作成するには、[特性] リストの [新規] をクリックし、特性の詳細を入力します。
5. オプション: [特性オプション] フィールドで、[ルックアップアイコン](#)  をクリックし、[特性オプション] リストの [オプション] 列から特性オプションを選択します。
新しい特性オプションを作成するには、[特性オプション] リストの [新規] をクリックし、特性オプションの詳細を入力します。
6. オプション: 「必須」チェック・ボックスを選択して、プログラム・サービスを完了するための要件として仕様特性を作成します。
7. **[Submit (送信)]** をクリックします。



注:

使用されていない [アクティビティ] セクションは無視してかまいません。

プログラムサービスとプログラムとの関連付け

プログラムサービスとプログラムの間に関係を作成し、プログラム内でサービスを利用できるようにします。

始める前に



[プログラムを構成する。](#)

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

このタスクについて

プログラムモジュールを使用して、プログラムサービスをプログラムに関連付けることもできます。詳細については、「[プログラムとプログラムサービスの関連付け](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 **すべて** > **HCLS** サービス管理 > 管理 > プログラムサービス。
2. [プログラムサービス] リストで、[番号] 列からプログラムサービスへのリンクをクリックします。
3. [プログラム関係] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [プログラム] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[仕様] リストの [名前] 列からプログラムを選択します。
5. [プログラムサービス] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[仕様] リストの [名前] 列からプログラムサービスを選択します。
6. 「関係タイプ」フィールドで、「オファー」を選択します。
7. 関係をアクティブ化するには、[アクティブ] チェックボックスをオンにします。
8. **[Submit (送信)]** をクリックします。

プログラムサービスの公開

アプリケーション内で使用するプログラムサービスを公開します ヘルスケアとライフサイエンス サービス管理。

始める前に

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

手順

1. 移動先 **すべて** > **HCLS** サービス管理 > 管理 > プログラムサービス。
2. [プログラム サービス] ボックスの一覧で、[番号] 列からプログラム サービスへのリンクをクリックします。
3. [プログラムサービス] フォームで [公開] をクリックし、プログラムサービスをアプリケーション内でヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 使用できるようにします。

プログラムを構成する

アプリケーション内でヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 使用するプログラムを追加します。

始める前に

- 適格性基準チェックリストをプログラムに関連付けるには、チェックリストを作成します。詳細については、「[チェックリストの作成](#)」を参照してください。

i 注:

デフォルトでは、アプリケーションには、プログラムのチェックリスト ヘルスケアとライフサイエンス を作成するときの参照として使用できるいくつかのチェックリストテンプレートが用意されています。




- 薬剤製品をプログラムに関連付けるには、薬剤製品モデル [sn_hcls_medication_product] テーブルに製品を入力する必要があります。詳細については、「」を参照してください。

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

このタスクについて



デフォルトでは、アプリケーションにはワークフロー用のサンプルプログラムがいくつか用意されており、ヘルスケアとライフサイエンス プログラム作成時の参考にすることができます。

手順

1. 移動先 **すべて** > **HCLS** サービス管理 > 管理 > プログラム.
2. [プログラム] ボックスの一覧で、[新規] をクリックします。
3. 「名前」フィールドに、プログラムを識別する名前を入力します。
4. オプション: [適格性基準] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[チェックリストテンプレート] リストの [名前] 列からチェックリストを選択します。
5. [アクティブ] チェック ボックスをオンにして、プログラムの使用を有効にします。
6. [開始日] フィールドに 2021-12-31 などの yyyy-mm-dd 形式で日付を入力するか、日付選択アイコン (日付 ) をクリックして日付を選択して、開始日を指定します。
7. オプション: [終了日] フィールドに 2021-12-31 などの yyyy-mm-dd 形式で日付を入力するか、日付選択アイコン (日付 ) をクリックして日付を選択して、終了日を指定します。

i 注:

プログラムの終了日は開始日より後である必要があります。

8. オプション: 薬剤製品をプログラムに関連付けます。
 - a. [薬剤製品] フィールドの横にある薬剤製品のロック解除アイコン () をクリックします。
 - b. [薬剤製品] フィールドの [ルックアップ] アイコン 
 - c. [薬剤製品モデル] リストで、薬剤製品へのリンクをクリックします。
 - d. 複数の医薬品を追加するには、手順 8.b から 8.c を繰り返します。

i 注:

プログラムに薬剤製品を追加する場合は、薬剤製品の投与量仕様も設定する必要があります。詳細については、「[医薬品の投与量仕様の構成](#)」を参照してください。

9. [説明] フィールドに、プログラムの概要を入力します。
10. **[Submit (送信)]** をクリックします。
11. オプション: [プログラムの仕様特性を構成](#)します。
12. オプション: [プログラムをプログラムサービスに関連付け](#)ます。
13. [プログラムを公開](#)します。


プログラムの仕様特性の構成

ワークフローでヘルスケアとライフサイエンスプログラムオフリングを定義できるように、仕様特性を作成します。


始める前に

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

手順

1. 移動先 **すべて** > **HCLS** サービス管理 > 管理 > プログラム.
2. [プログラム] ボックスの一覧で、[番号] 列からプログラムへのリンクをクリックします。
3. [仕様特性] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [特性] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[特性] リストの [名前] 列から特性を選択します。

デフォルトでは、アプリケーションは、特性の作成時に参照を使用するための 利益調査 特性を提供します。新しい特性を作成するには、[特性] リストの [新規] をクリックし、特性の詳細を入力します。

5. オプション: [特性オプション] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[特性オプション] リストの [オプション] 列から特性オプションを選択します。
新しい特性オプションを作成するには、[特性オプション] リストの [新規] をクリックし、特性オプションの詳細を入力します。
6. オプション: [必須] チェックボックスをオンにして、プログラムを完了するための要件として仕様特性を作成します。
7. **[Submit (送信)]** をクリックします。



注:

使用されていない [アクティビティ] セクションは無視してかまいません。

プログラムとプログラムサービスの関連付け

プログラムとプログラム サービスの間に関係を作成して、プログラム サービスをプログラム内で使用できるようにします。

始める前に



[プログラムサービスの構成](#)。

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

このタスクについて

また、プログラム・サービス・モジュールを使用して、プログラムをプログラム・サービスに関連付けることもできます。詳細については、「[プログラムサービスとプログラムとの関連付け](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて > HCLS サービス管理 > 管理 > プログラム](#)。
2. [プログラム] ボックスの一覧で、[番号] 列からプログラムへのリンクをクリックします。
3. [プログラム関係] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [プログラム] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[仕様] リストの [名前] 列からプログラムを選択します。
5. [プログラムサービス] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[仕様] リストの [名前] 列からプログラムサービスを選択します。
6. 「関係タイプ」フィールドで、「オファー」を選択します。
7. 関係をアクティブ化するには、[アクティブ] チェックボックスをオンにします。
8. **[Submit (送信)]** をクリックします。

プログラムの公開

アプリケーション内で使用するプログラムを公開します [ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理](#)。

始める前に

必要なロール:sn.hcls_manager または admin

手順

1. 移動先 [すべて](#) > **HCLS** サービス管理 > 管理 > プログラム。
2. [プログラム] ボックスの一覧で、[番号] 列からプログラムへのリンクをクリックします。
3. [プログラム] フォームで [公開] をクリックして、プログラムをアプリケーション内でヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 使用できるようにします。

医薬品の投与量仕様の構成

投与量の仕様を設定することで、医療担当者が医薬品の投与量を入力できるようにすることができます。

投与量仕様の構成要素については、を参照してください [投与量の概念](#)。

投与量指定構成タスク

タスク	説明
投与量仕様の特性の設定 。	ワークフローでヘルスケアとライフサイエンス薬剤製品の投与量を定義できるように、投与量の特性を構成します。
プログラムに関連付けられた薬剤製品の投与量仕様を構成します 。	プログラムに含まれる薬剤製品に関連付けられた投与量の仕様を作成します。
投与量特性と投与量詳細フィールドの間のマッピングを構成します 。	スクリプト化された拡張ポイントを使用して、[投薬処方箋] フォームの [投与量の詳細] セクションのフィールドにマッピングする投与特性を決定します。

投与量の概念

プログラムに関連付けられた薬剤製品の投与量仕様を設定することで、医療担当者の作業効率を高め、手作業によるエラーを減らすことができます。

投与量は、次の主要コンポーネントで構成されます。

- [投与量仕様](#)
- [投与特性](#)
- [投与特性群](#)

投与量成分が互いにどのようにリンクされているかについては、を参照してください [投与特性マッピング](#)。

投与量仕様

投与量の仕様は、プログラムに関連付けられた医薬品の診断の詳細と投与特性で構成されます。詳細については、「[投与量指定表](#)」を参照してください。

i 注:

医薬品の投与量指定を追加すると、同等の投与量定義エントリがアプリケーションに追加されます。用量定義は、要求定義パラメーターとして使用する用量仕様をモデル化します。詳細については、「[投与量定義テーブル](#)」を参照してください。

投与特性

投与特性は、投与量指定の属性を定義します。

投与特性には、次の特徴があります。

- 投薬処方箋フォームの [投与量特性] 特性グループと [投与量の詳細] セクションのフィールドにマッピングされた特性グループに含まれます。
- 特性値を制限する特性オプションを含めることができます。たとえば、投与量の数量を制限する場合などです。それ以外の場合、投与量特性に特性オプションが指定されていない場合、医療担当者は後で [薬の処方箋] フォームの [投与量の詳細] セクションの対応するフィールド値を入力できます。
- 特性の複数のエントリが作成された場合、特性グループに対して一意になります。たとえば、投与量仕様に「月次供給量」として数量特性が含まれている場合、週次供給数量に別の特性を追加することはできません。
- 同様の投与特性は、特性グループ[sn_prd_pm_configuration]テーブルに格納されます。

i 注:

投与量の仕様に追加された各投与特性について、投与量変数が自動的に作成されます。投与量変数は、[薬剤処方箋] フォームの [投与量特性] セクションに動的フィールドとして表示されます。詳細については、「[投与量変数テーブル](#)」を参照してください。

投与量の特性グループ

投与量特性グループは、投与量指定の類似した特性で構成されます。各投与量特性は、[薬剤処方箋] フォームの [投与量の詳細] セクションのフィールドにマッピングされます。投与量特性を投与量仕様とともに表示するには、その特性を次の特性グループに含める必要があります。

- 投薬処方箋フォームの [投与量の詳細] セクションのフィールドにマッピングされた特性グループ。
- デフォルトで使用可能な 投与特性 特性グループ。

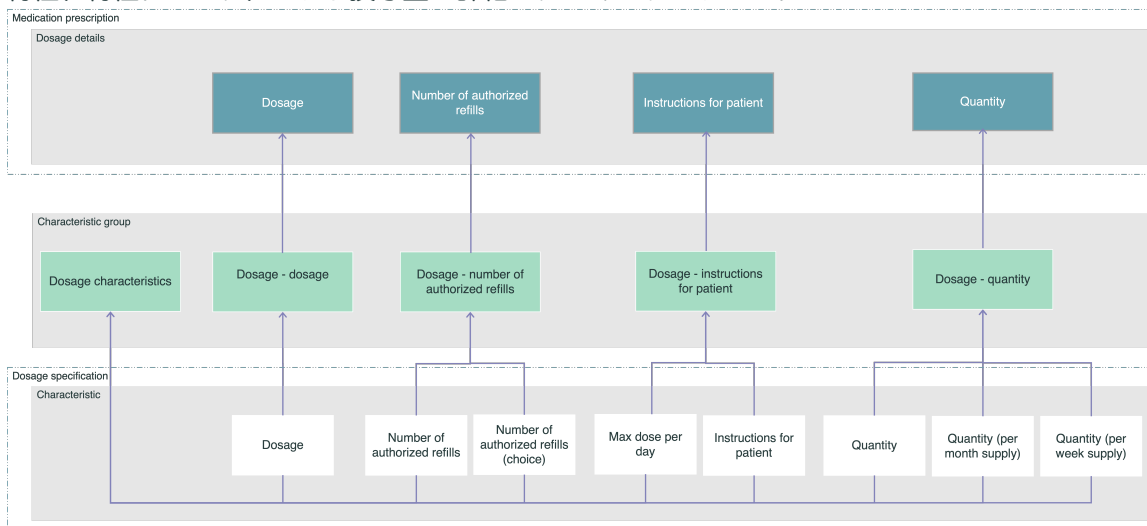
投与特性マッピング

[投薬処方箋] フォームの [投与量の詳細] セクションのフィールドを使用して、投与量特性グループをマップします。DosageCharacteristicsMapper 拡張ポイントを使用して、特性グループと [投薬処方箋] フォームの [投与量の詳細] セクションのフィールド間のマッピングを構成できます。詳細については、「[投与量特性と投与量詳細フィールドの間のマッピングを構成します](#)」を参照してください。

デフォルトでは、アプリケーションはワークフローのヘルスケアとライフサイエンスいくつかのサンプル特性と特性グループを提供し、投与量の仕様を作成する際の参照として使用できます。

次の図は、投与量仕様の特性と特性グループ間のデフォルトマッピング、および投与量仕様の特性グループと投薬処方箋の投与量詳細フィールド間のマッピングを示しています。

特性、特性グループ、および投与量の詳細のデフォルトマッピング



プログラムに関連付けられた薬剤製品の投与量仕様を構成します
 プログラムに含まれる薬剤製品に関連付けられた投与量の仕様を作成します。

始める前に

- [プログラムを構成する](#)。

i 注:

プログラムを構成するときは、薬剤製品をプログラムに関連付けます。

必要なロール:sn_hcls.admin

このタスクについて

デフォルトでは、アプリケーションはワークフローのヘルスケアとライフサイエンスいくつかのサンプルの投与特性を提供します。これは、投与量特性を作成する際の参照として使用できます。同じ投与特性はすべて、投与特性グループに関連付けられています。

手順

1. 移動先 すべて > **HCLS** サービス管理 > 管理 > 投与量仕様。
 または、 [プログラムを設定する](#) ときに、[投与量の仕様] 関連リストを選択します。
2. [投与量の仕様] リストで、既存の投与量の仕様を変更するか、[新規] をクリックして別の仕様を作成します。
3. フォームのフィールドに入力します。

投与量指定フォーム

フィールド	説明
名前	投与量の指定を識別する名前。
プログラム	医薬品に関連するプログラム、

フィールド	説明
医薬品	患者に処方されている医薬品。
一次診断	要求された医療サービスの理由として開業医によって提出された患者の主な状態。
二次診断	開業医が提出した患者に存在する可能性のある共存状態。
三次診断	施術者が患者様に推奨する専門性の高い医療。
投与量の定義	このフィールドは、テンプレートとしての投与量指定に基づいて投与量定義値に自動的に設定されます。
ステータス	投与量指定のステータス。 投与量の仕様を公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。投与量の仕様を既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済] に設定されます。
アクティブ	投与量の指定を有効にするためのオプション。
説明	投与量の指定に関する追加情報。

4. 投与量指定の設定を保存します。

- 「送信」をクリックして、新しい仕様を保存します。
- 既存の仕様に対する変更を保存するには、「更新」をクリックします。

5. 投与量指定の特性を設定します。

6. 関連するプログラムに追加された医薬品で使用するための投与量仕様を公開します。

- a. [投与量の仕様] リストで、投与量の仕様を選択します。
- b. [投与量の仕様] フォームで、[公開] をクリックします。

投与量仕様の特性の設定



ワークフローでヘルスケアとライフサイエンス 薬剤製品の投与量を定義できるように、投与量の特性を構成します。

始める前に

仕様特性を追加するには、投与量の仕様が [ドラフト] ステータスであることを確認します。

必要なロール:sn.hcls_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **HCLS** サービス管理 > 管理 > 投与量仕様.
2. [投与量仕様] リストで、[名前] 列から投与量仕様へのリンクをクリックします。
3. [仕様特性] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [特性] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、[特性] リストの [名前] 列から特性を選択します。
デフォルトでは、アプリケーションは参照を使用するための次の投与特性を提供します。
 - 投与量
 - 患者様への説明
 - 1日あたりの最大投与量
 - 認定された補充の数
 - 承認された補充の数(選択肢)
 - 数量
 - 数量 (月間供給あたり)
 - 数量 (週当たりの供給)
 新しい特性を作成するには、[特性] リストの [新規] をクリックし、特性の詳細を入力します。
5. オプション: [特性オプション] フィールドでルックアップアイコン  をクリックして、[特性オプション] 入力タイプの特性の特性オプションを追加し、[特性オプション] リストの [オプション] 列から特性オプションを選択します。
新しい特性オプションを作成するには、[特性オプション] リストの [新規] をクリックし、特性オプションの詳細を入力します。
6. **[Submit (送信)]** をクリックします。



注:

使用されていない [アクティビティ] セクションは無視してかまいません。

7. 特性を投与量仕様に関連付けるには、投与量特性グループに含まれる特性グループに特性を追加します。

投与量特性と投与量詳細フィールドの間のマッピングを構成します

スクリプト化された拡張ポイントを使用して、[投薬処方箋] フォームの [投与量の詳細] セクションのフィールドにマッピングする投与特性を決定します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアに設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール: admin

このタスクについて

アプリケーションによってヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア sn_hcls がインストールされます。DosageCharacteristicsMapper スクリプトインクルードと DosageCharacteristicsMapper 拡張ポイント。

sn_hcls内の DosageCharacteristicsMapper 拡張ポイント。DosageCharacteristicsMapper スクリプトインクルードは、投与量に関連する特性グループの特性と投薬処方箋の [投与量の詳細] フィー

ルドとの間のマッピング用に事前設定されています。DosageCharacteristicsMapper 拡張ポイントの getMappingObject メソッドのデフォルト実装では、次の表に示すように、投薬処方箋フォームの投薬に関連する特性グループと投薬詳細フィールドがマッピングされます。

投与量に関連する特性グループと投与量の詳細フィールドのデフォルトマッピング

投与特性群	投与量の詳細フィールド
投与量 - 投与量	投与量
投与量 - 認可された詰め替えの数	認定された補充の数
投与量 - 患者への指示	患者様への説明
投与量 - 数量	数量

拡張ポイントを使用すると、実際にベースコードを変更することなくカスタマイズを統合することが容易になります。カスタマイズされたスクリプトを使用して、標準的な基本機能を拡張することができます。詳細については、「[拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する](#)」を参照してください。

実装は、スクリプト化された拡張ポイントに対してベースシステムで利用できます。データを変更し、フィールドを追加することができます。

手順

1. 移動先 [すべて > システムの拡張点 > スクリプト化済みの拡張点](#).
2. [API 参照名] 列で、「sn_hcls」を検索してクリックします。
。DosageCharacteristicsMapperです。
3. [拡張ポイント] フォームで、DosageCharacteristicsMapper 拡張ポイントを使用するスクリプトインクルードを選択します。
 - 既存のスクリプトを変更するには、[実装] 関連リストに移動して [**DosageCharacteristicsMapper**] をクリックします。
 - カスタムスクリプトインクルードを作成および登録します。
4. DosageCharacteristicsMapper 拡張ポイントを実装するスクリプトインクルードに getMappingObject メソッドを追加して、マッピングロジックを含めます。
拡張ポイントに対して複数の実装を作成し、各実装に順序番号を指定できます。順序番号が最も小さい実装が最初に実行されます。
5. [拡張ポイント] フォームで、[更新] をクリックします。

患者の To Do アイテムの指定

医療機関内の患者が医療活動の一環として完了する必要がある To Do アイテムを追加します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアに設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して、`sn_hcls.to.do.tasks.list` プロパティを開きます。
2. [値] フィールドに、患者ポータルで To Do アイテムとして表示されるタスクテーブル名を入力します。
複数のエントリでは、タスクテーブル名をカンマで区切ります。
3. [Update (更新)] をクリックします。

関連情報

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアのプロパティ

医療関連タスクを完了するための **To Do** メニューアイテムを追加するようにサービスポータルを設定します

サービスポータルに To Do アイテムを表示するために HCLS To Do (hcls-todo-list) ウィジェットを使用する To-do メニューアイテムを有効にします。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをグローバルに設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

HCLS To Do (hcls-todo-list) サービスポータルウィジェットは、患者の To Do アイテムを表示するように事前設定されています。デフォルトでは、ウィジェットはアプリケーションにヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 用意された `hcls_todos` ページに含まれています。この手順では、患者ポータルにメニュー項目を追加して `hcls_todos` ページにアクセスします。

手順

1. 移動先 [すべて](#) > [サービスポータル](#) > [メニュー](#)。
2. 患者ポータルのヘッダーメニューを選択します。
3. [メニューアイテム] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

[メニュー項目] フォーム

フィールド	説明
ラベル	メニューのアイテムに表示される名前です。
親メニュー	このフィールドは、アイテムを追加するメニューの名前に自動的に設定されます。必要に応じて値を他のメニューに変更することができます。
タイプ	アイテムがリンクするページ。たとえば、ポータルの別のページや外部 URL にリンクすることができます。フォーム フィールドは、このリストから選択したオプションによって異なります。

フィールド	説明
順序	他のメニュー アイテムに関連してアイテムがメニューに表示される場所を決定する値です。
ページ	アイテムがリンクするポータル ページの名前です。 アプリケーションで提供されるhcls_todosページを使用するには、値を hcls_todosに設定します。
条件	メニュー アイテムをヘッダーに表示するために必要な条件。
グリフ	メニューアイテムの横に表示されるアイコン

5. [Save (保存)] をクリックします。

患者の同意管理プロセスの決定

患者の同意に関するプライバシーポリシーをレビューと署名のために患者にルーティングする必要があるかどうかを決定できます。

sn_hcls.admin ロールを持つユーザーは、医療機関の患者から同意を得るためのプライバシーポリシーを設定できます。詳細については、「[患者の同意を管理するためのプライバシーポリシーの構成](#)」を参照してください。

同意管理プロセスは、次のいずれかのタイプとして決定できます。

- [標準](#)
- [ドキュメント](#)

標準ポリシータイプの構成

標準的なポリシーでは、患者が確認または署名するために同意書は必要ありません。

標準ポリシータイプでは、患者はサービスが要求されるたびに同じ同意に何度も署名する必要があります。

ドキュメントポリシータイプの設定

ドキュメントポリシーでは、患者が同意フォームをレビュー、署名、またはその両方を行う必要があります。

ドキュメントテンプレートポリシータイプでは、患者が同意フォームに署名するための To Do アイテムが作成されます。

患者が署名する必要があるドキュメントを設定し、その意思決定ルールを作成し、ポリシーでドキュメントを参照する必要があります。詳細については、「[のドキュメントテンプレートの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

注:

ドキュメントテンプレートに関連付けることができるアクティブなポリシーは 1 つだけです。

プライバシーポリシーを設定するときに、患者が同意フォームに署名した後の同意の有効期間を日数で指定することもできます。アクティブなポリシーに対して承認された同意は、同意が与えられた日から始まるポリシーで指定された有効期間まで、複数の医療要求に対して有効です。したがって、患者は、アクティブな同意ポリシーの有効期間中に送信されたすべての医療要求に対して一度だけ同意する必要があります。デフォルトでは、ジョブスケジュールは、*Set inactive status for expired policy consents* ポリシーの有効期間が切れたときにポリシーの同意を非アクティブとして設定するように構成されています。

患者が同意すると、同意ドキュメントが添付としてポリシーの同意に追加されます。同意が与えられた最初の医療要求に関連付けられたケースは、ポリシーの同意レコードに関連付けられます。

次のすべての条件が当てはまる場合、既存のポリシーの同意は、同じ患者からの別の要求に対応する新しいケースに関連付けられます。

- 同意プライバシーポリシーは引き続き有効です。
- 承認された同意の有効期間内にケースが作成された。
- 新しいケースに関連付けられたドキュメントテンプレートのドキュメント意思決定ルールが満たされている。

それ以外の場合は、患者が同意するための別の To Do アイテムが作成されます。

医療ケースで作業しているときに、医療エージェントは承認された同意をレビューして検証できません。同意が得られなかった場合、医療エージェントは患者が同意するまで待たなければなりません。

患者の同意を管理するためのプライバシーポリシーの構成

医療の要求に対する患者とメンバーの同意を効果的に管理するためのプライバシーポリシーを構成します。

始める前に

必要なロール:sn_hcls.admin または admin

手順

1. 移動先 **すべて > HCLS サービス管理 > 管理 > プライバシーポリシー**。
2. 「ポリシー」リストで、「新規」をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ポリシーフォーム

フィールド	説明
番号	<p>ポリシーの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しいポリシーを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。 [数値] フィールドの初期値は POL00001000 です。</p> <p>注: 番号をカスタマイズするには、ポリシー [sn_hcls_policy] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>

フィールド	説明
ポリシーカテゴリ	このフィールドは [登録] に設定する必要があります。
ポリシータイプ	<p>ポリシーのタイプ。</p> <p>ポリシーは次のいずれかのタイプです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準: 患者が同意書に署名する必要のないポリシー。 ドキュメントテンプレート: 同意書に患者の署名を要求するポリシー。 <p>ドキュメントテンプレートポリシータイプでは、患者が同意フォームに署名するための To Do アイテムが作成されます。</p>
有効期間 (日数)	患者が保険契約に署名してから保険契約が有効な日数。
アクティブ	プライバシーポリシーを有効にするためのオプション。
スコープ	<p>ポリシーに含まれる同意のタイプ。</p> <p>プライバシーに関する同意の場合は、[プライバシーに関する同意] を選択します。それ以外の場合、このフィールドは空のままにする必要があります。</p>
文書テンプレート	<p>ポリシーに関連付けられた標準のレターまたはドキュメントを生成するためのドキュメントテンプレート。</p> <p>このフィールドは、ポリシー タイプ フィールドがドキュメントテンプレートに設定されている場合にのみ使用されます。</p> <p>注: ドキュメントテンプレートに関連付けることができるアクティブなポリシーは 1 つだけです。</p> <p>詳細については、「のドキュメントテンプレートの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。</p>
外部ポリシーのリンク	同意スコープに含まれるポリシーへの外部参照。
ポリシー名	ポリシーを識別する名前。

フィールド	説明
ポリシーの内容	登録時に 患者ポータル ユーザーが読んで同意する必要があるポリシーのコンテンツ。

4. [Submit (送信)] をクリックします。

患者ポータルの構成

アプリケーション内でヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア利用可能な患者ポータルを設定して、患者がポータルから自分の医療情報にアクセスできるようにします。

患者ポータル 構成タスク

タスク	説明
患者ポータルのプライバシーポリシー設定の構成。	プライバシーポリシー設定を構成して、ユーザーが 患者ポータルでの登録時にプライバシーに関する同意を提供できるようにします。
患者ポータルでの自己登録機能の構成。	[医療患者ポータルでの自己登録を有効にする] プロパティ <code>()sn_hcls.enable_self_registration</code> の値を設定して、患者ポータルの自己登録機能を有効または無効にします。
の記事のナレッジベースの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理.	ヘルスケアとライフサイエンス患者ポータルで利用可能なナレッジ記事を含むナレッジベースを構成します。
プロパティ 患者ポータル ウィジェット.	アプリケーションに含まれる ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア ウィジェットを使用して、 患者ポータルで患者のヘルスケアデータと情報をまとめます。
での自己登録のプロセスの設定 患者ポータル.	サービスポータルページを使用して、 患者ポータル で患者の自己登録のプロセスを管理します。
での個人情報の送信プロセスの設定 患者ポータル.	レコードプロデューサーを使用して、 患者ポータル で患者からの個人情報を送信するプロセスを管理します。
構成 ヘルスケアとライフサイエンス 仮想エージェント 会話.	患者が会話を使用して 仮想エージェント 医療要求ステータスを表示できるようにします。

患者ポータルのプライバシーポリシー設定の構成

プライバシーポリシー設定を構成して、ユーザーが 患者ポータルでの登録時にプライバシーに関する同意を提供できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_hcls.admin または admin

手順

1. 移動先 **すべて > HCLS サービス管理 > 管理 > プライバシーポリシー**。
2. 「ポリシー」リストで、既存のプライバシーポリシーを変更するか、「新規」をクリックして別のポリシーを作成します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ポリシーフォーム

フィールド	説明
番号	<p>ポリシーの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しいポリシーを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は POL00001000 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、ポリシー [sn_hcls_policy] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
ポリシーカテゴリ	このフィールドは [登録] に設定する必要があります。
ポリシータイプ	<p>ポリシーのタイプ。</p> <p>ポリシーは次のいずれかのタイプです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 標準: 患者が同意書に署名する必要のないポリシー。 ○ ドキュメントテンプレート:同意書に患者の署名を要求するポリシー。 <p>ドキュメントテンプレートポリシータイプでは、患者が同意フォームに署名するための To Do アイテムが作成されます。</p>
有効期間 (日数)	患者が保険契約に署名してから保険契約が有効な日数。
アクティブ	プライバシーポリシーを有効にするためのオプション。
スコープ	<p>ポリシーに含まれる同意のタイプ。</p> <p>プライバシーに関する同意の場合は、[プライバシーに関する同意] を選択します。それ以外の場合、このフィールドは空のままにする必要があります。</p>
文書テンプレート	ポリシーに関連付けられた標準のレターまたはドキュメントを生成するためのドキュメントテンプレート。

フィールド	説明
	<p>このフィールドは、ポリシー タイプ フィールドがドキュメント テンプレート に設定されている場合にのみ使用されます。</p> <p>注: ドキュメントテンプレートに関連付けることができるアクティブなポリシーは 1 つだけです。</p> <p>詳細については、「のドキュメントテンプレートの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。</p>
外部ポリシーのリンク	同意スコープに含まれるポリシーへの外部参照。
ポリシー名	ポリシーを識別する名前。
ポリシーの内容	登録時に 患者ポータル ユーザーが読んで同意する必要があるポリシーのコンテンツ。

4. プライバシーポリシー設定を保存します。

- [送信] をクリックして新しいプライバシーポリシーを保存します。
- 既存のプライバシーポリシーに対する変更を保存するには、[更新] をクリックします。

患者ポータルでの自己登録機能の構成

[医療患者ポータルでの自己登録を有効にする] プロパティ

(`sn_hcls.enable_self_registration`) の値を設定して、患者ポータルの自己登録機能を有効または無効にします。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを [ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#) に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. ナビゲーションフィルターに「`sys_properties.list`」と入力して、`sn_hcls.enable_self_registration` プロパティを開きます。
2. [値] フィールドに、必要な値を入力します。
 - 患者ポータルで自己登録機能を有効にするには、`true` を入力します。
 - 患者ポータルの自己登録機能を無効にするには、`false` を入力します。
3. [Update (更新)] をクリックします。

の記事のナレッジベースの設定 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理

患者ポータルで利用可能なナレッジ記事を含むナレッジベースを構成できますヘルスケアとライフサイエンス。

sn_hcls.admin ロールを持つユーザーは、ナレッジベースを設定しヘルスケアとライフサイエンスで、ナレッジベースを読み取って寄稿できるユーザー、ロール、およびグループを決定できます。デフォルトでは、knowledge ロールを持つユーザーがナレッジベースのナレッジ記事に寄稿でき、すべてのユーザーがナレッジ記事ヘルスケアとライフサイエンスを読むことができます。詳細については、「[ナレッジ管理者およびマネージャー向けナレッジベースセットアップガイド](#)」を参照してください。

ナレッジベースにアクセスするヘルスケアとライフサイエンスには、次に移動します: [すべて > HCLS サービス管理 > 管理 > ナレッジベース](#). デフォルトでは、「よく寄せられる質問」ナレッジカテゴリに関連付けられた記事は、患者ポータルの「よく寄せられる質問」セクションに表示され、カテゴリに関連付けられていない記事は、患者ポータルの「最新ニュースおよび記事」セクションに表示されます。

患者ポータルウィジェットの構成

アプリケーションに含まれる患者ポータルは、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアウィジェットを使用して患者の医療データと情報をまとめます。

患者ポータルのウィジェットはサービスポータルウィジェットですが、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションスコープ内で使用できます。sn_hcls.admin または admin ロールを持つユーザーは、コンテキストメニューからウィジェットのさまざまなオプションを設定できます。患者ポータルウィジェットで利用可能な構成オプションを表示するには、[患者ポータル] ページを開き、コントロールキーを選択して、ウィジェットを右クリックします。詳しくは、「[Configure widget instances](#)」を参照してください。

患者ポータルには、次のウィジェットが含まれています。

患者ポータルウィジェット

ウィジェット	説明
予約リマインダーカード ウィジェット	ログインしているユーザーの次回の予約リマインダーを表示します。
COVID-19 ステータス ウィジェット	ログインしているユーザーが接種または自己申告した COVID-19 ワクチン投与のワクチン接種ステータスと、COVID テスト結果を表示します。
FAQ ウィジェット	患者の FAQ 記事のリストを表示します。
世帯 ウィジェット	ログインしているユーザーが正式な担当者となっている世帯メンバーのリストを表示します。
ニュースと記事 ウィジェット	患者がアクセスできる記事のリストを表示します。
未解決の要求 ウィジェット	患者に対して作成されたヘルスケア関連ケースを含む未解決の要求のリストを表示します。
保留中の To Do ウィジェット	患者にアサインされた To Do アイテムのリストを表示します。
ワクチン接種 ウィジェット	ログインしているユーザーに推奨されるワクチンのリストを表示します。

利用可能な Patient Portal ウィジェットの詳細については、「」を参照してください [患者ポータルウィジェットライブラリ](#)。

患者ポータルでの自己登録のプロセスの設定

サービスポータルページを使用して、患者ポータルで患者の自己登録のプロセスを管理できます。

admin ロールを持つユーザーは、サービスポータルページを作成して、患者が患者ポータルでアカウントを作成し、そのページを患者ポータルに埋め込むことができるページのフィールドを定義できます。

デフォルトでは、患者ポータルでアカウントを作成するために **[patient_registration Service Portal]** ページを使用できます。デフォルトページを使用して、さらにフィールドを追加したり、独自のページを作成したりできます。詳細については、「[サービスポータルページ](#)」を参照してください。

患者ポータルで個人情報を送信するプロセスの設定

レコードプロデューサーを使用して、患者ポータルで患者からの個人情報を送信するプロセスを管理できます。

admin ロールを持つユーザーは、レコードプロデューサーを作成して、患者が個人情報を入力できるフォームのフィールドを定義し、そのフォームを患者ポータルに埋め込むことができます。

デフォルトでは、*Enter personal Info* レコードプロデューサーを使用して重要な個人情報を送信できます。デフォルトのレコードプロデューサーを使用して、さらにフィールドを追加したり、独自のレコードプロデューサーを作成したりできます。詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」を参照してください。

i 注:

Vaccine Administration Managementアプリケーションがインストールされると、ワクチンの個人情報を送信するために別のレコードプロデューサーを使用できます。詳細については、「[ワクチンに関する個人情報を送信するプロセスの設定](#)」を参照してください。

医療要求ステータスを表示するための会話の設定ヘルスケアとライフサイエンス 仮想エージェント

事前定義されたヘルスケアとライフサイエンス 仮想エージェント チャットボット会話により、患者は自分の医療要求ステータスを表示できます。

会話トピックは仮想エージェント、特定の目標を達成するためのチャットボットと患者との対話 仮想エージェント を定義します。会話の流れの中で、ユーザーの入力や仮想エージェントの応答などの情報を交換することで、仮想エージェントは要求を実行したりタスクの完了を支援したりできます。

仮想エージェント アプリケーションとヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 統合すると、要求関連のクエリーにすぐに対処でき、患者エクスペリエンスが向上します。仮想会話中、患者はいつでもライブエージェントとのやり取りを要求できます。詳細については、「[仮想エージェント](#)」を参照してください。

アプリケーションにはヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア、読み取り専用の **Check request status** 仮想エージェント トピックが含まれています。[要求ステータスの確認] トピックがアクティブな場合、患者は自分の要求を検索し、既存のアクティブな要求のステータスを確認できます。トピックを利用可能にするには仮想エージェント、admin ロールを持つユーザーとして、事前定義された仮想エージェント トピックを公開する必要があります。詳細については、「[仮想エージェントトピックの公開](#)」を参照してください。

管理者は、事前定義された仮想エージェント トピックを複製してカスタマイズし、トピックを公開することもできます。詳細については、「[仮想エージェントの複製](#)」トピックを参照してください。

メール通知の構成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア患者ポータルでのアカウント登録に関して患者に送信されるメール通知を構成します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア には以下のメール通知が含まれています。

メール通知

通知	条件	受信者
患者登録確認リンク	患者ポータルでアカウントが作成され、ユーザーは登録済みのメール ID でアカウントを確認する必要があります。	登録済みのメール ID でアカウントを作成したユーザー。

sn_hcls.admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動して、アプリケーションのメール通知 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア を設定できます。すべて > システム通知 > メール > **Notifications**. メール通知の編集の詳細については、「[メール通知を作成する](#)」を参照してください。

カスタム統合のソースシステムとしての外部 Redox 医療システムの構成

医療システムのソース ID と宛先 ID をインスタンスでServiceNow設定することで、カスタム統合アプリケーションで外部Redoxの医療システムとデータを交換できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_hcls.admin または admin

このタスクについて

医療提供者は、アプリケーションとのServiceNowカスタム統合のために、外部の医療システムのソース ID と宛先 ID を [ソースシステム \[sn_hcls_source_system\]](#) テーブルに保存できます。

手順

1. 移動先 [すべて > システム定義 > テーブル](#).
2. [テーブル] リストの [名前] 列で、 sn_hcls_source_systemを検索します。
3. 「ラベル」列から「ソース・システム」を選択します。
4. [フォームを表示] 関連リンクをクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

ソースシステムフォーム

フィールド	説明
ソース ID	システムからインスタンスへのServiceNow受信 API 応答の処理に使用される外部Redox医療システムの ID。
宛先 ID	インスタンスからServiceNowシステムへのアウトバウンド API 要求の送信に使用される外部Redox医療システムの ID。
ソース	インスタンス内のServiceNowソースシステムとして外部Redoxの医療システムを識別する名前。

6. **[Submit (送信)]** をクリックします。

B2B2C とヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

データモデルを構成し カスタマーサービス管理 (CSM) で、企業/企業/消費者間 (B2B2C) を有効にすることができます。このモデルは、事業顧客の従業員または事業顧客のエンドコンシューマーをサポートするために使用できます。

企業間 (B2B) モデルは、顧客アカウントとそのアカウント内の連絡先をサポートします。企業/消費者間 (B2C) モデルは、個々のコンシューマーをサポートします。これらのモデルは、デフォルトでサポートヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアされています。

B2B2C モデルを使用すると、エンドコンシューマーをサポートする事業顧客とサードパーティチャネルパートナーをサポートできます。で使用するヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアには、このモデルを手動で有効にする必要があります。

admin ロールを持つユーザーは、顧客データモデルを構成することで、B2B2C を使用可能ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアにできます。詳細については、「[B2B2C 用顧客データモデル](#)」を参照してください。

以下の手順に従って、アカウントの連絡先が CSM ポータルで医療ケースをオープンできるように、B2B2C 用顧客データモデルを構成します。

1. [B2B2C 用顧客データモデルプラグインのインストールヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)
2. [B2B2C のアカウントコンシューマーを追加するためのアカウントコンシューマー関連リストの構成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)
3. [B2B2C の連絡先に対するケースビューアーロールのアサインヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)
4. [B2B2C 用のテーブルの作成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)
5. [B2B2C 用レコードプロデューサーの作成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)
6. [Healthcare and Life Sciences Service Management Core で B2B2C のポータルに CSM レコードプロデューサーを追加する](#)

の **B2B2C** 用顧客データモデルプラグインのインストールヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

で B2B2C 用顧客データモデルを有効にするには、B2B2C 用顧客データモデルプラグインをインストールしますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて > システム定義 > プラグイン](#)。
2. フィルター基準と検索バーを使用して、B2B2C 用顧客データモデルプラグインを検索します。
3. **[Install (インストール)]** をクリックします。

で **B2B2C** のアカウントコンシューマーを追加するためのアカウントコンシューマー関連リストの構成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

アカウントコンシューマー関連リストを構成して、B2B2C で使用するアカウントコンシューマーを追加します。

始める前に

B2B2C 用顧客データモデルプラグインをインストールする必要があります。詳しくは、「[の B2B2C 用顧客データモデルプラグインのインストール ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて > カスタマーサービス > 顧客 > アカウント](#).
2. アカウントを選択します。
3. アカウントフォーム内を右クリックし、[構成 > 関連リスト](#).
4. **Account Consumer -> Account** を [Available] パネルから [Selected] パネルに移動します。

タスクの結果

[コンシューマー] 関連リストがアカウントフォームに追加されます。

次のタスク

連絡先のケースビューアーロールをアサインします。詳細については、「[での B2B2C の連絡先に対するケースビューアーロールのアサイン ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

での **B2B2C** の連絡先に対するケースビューアーロールのアサイン ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

医療ケースフィールドへの読み取りアクセスのためには、連絡先に sn_hcls.case_viewer ロールが必要です。

始める前に

アカウントコンシューマーを追加するには、アカウントコンシューマー関連リストを設定します。詳細については、「[で B2B2C のアカウントコンシューマーを追加するためのアカウントコンシューマー関連リストの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [ユーザー管理 > ユーザー](#).
2. ユーザーを選択します。
3. [ロール] 関連リストをクリックします。
4. [編集] をクリックします。
5. ロールリストに **sn_hcls.case_viewer** を追加します。

タスクの結果

これで、B2B2C で使用する医療ケースフィールドへの読み取りアクセス権が連絡先に付与されました。

次のタスク

B2B2C で使用するテーブルを作成します。詳細については、「[での B2B2C 用のテーブルの作成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

での **B2B2C** 用のテーブルの作成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

医療ケーステーブルを拡張するテーブルを作成します。

始める前に

連絡先のケースビューアロールをアサインします。詳細については、「[での B2B2C の連絡先に対するケースビューアロールのアサイン](#) ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア新しいケースを作成するには、ケーステーブルを拡張する必要があります。

手順

1. 移動先 システム定義 > テーブル。
2. **[New (新規)]** をクリックします。
3. フォームにラベルを入力します。
4. [拡張テーブル] フィールドを [医療ケース テーブル] に設定します。
5. [コントロール] 関連リストで、 **sn_customerservice.customer** ユーザーロールを追加します。

タスクの結果

B2B2C で使用するために医療ケーステーブルを拡張するテーブルが作成されます。

次のタスク

B2B2C で使用するレコードプロデューサーを作成します。詳しくは、「[での B2B2C 用レコードプロデューサーの作成](#) ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。

での **B2B2C** 用レコードプロデューサーの作成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア
B2B2C で使用するレコードプロデューサーを作成します。

始める前に

B2B2C で使用するテーブルを作成します。詳細については、「[での B2B2C 用のテーブルの作成](#) ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 **すべて** > サービスカタログ > カタログ定義 > レコードプロデューサー。
2. **[New (新規)]** をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
 - i** 注:
フィールドの詳細については、「」を参照してください [Create a record producer](#)。
4. [保存] をクリックし、レコードを再度開きます。
5. 関連リンクで、次の操作を行います。
 - a. 「変数」に移動し、「新規」をクリックします。

- i** 注:
変数の詳細については、「」を参照してください [Variables to collect data for record producer fields](#)。

b. [型仕様] に次の変数を追加します。

変数

変数	タイプ	参照
アカウント	参照	customer_account
連絡先	参照	customer_contact
コンシューマー	参照	csm_consumer
簡単な説明	1 行テキスト	適用外

c. 各変数の [質問] 関連リストで、次のように入力します。

i. [質問] で、エンド ユーザーが使用できるオプションを説明する質問を指定します。

たとえば、取引先変数に「取引先を選択」と入力します。

ii. [名前] に、参照する変数を入力します。

たとえば、アカウント変数の場合は、名前として「アカウント」と入力します。

d. [送信] をクリックし、必要に応じてすべての変数に対して繰り返します。

6. 作成したレコードプロデューサーに戻ります。

a. [Available for] に移動し、[SNC External] と [Users with sn_customerservice.customer] を追加します。

b. [利用不可] に移動し、値を削除します。

7. [Save (保存)] をクリックします。

タスクの結果

レコードプロデューサーが作成されます。

次のタスク

レコードプロデューサーを CSM ポータルに追加します。詳細については、「[Healthcare and Life Sciences Service Management Core で B2B2C のポータルに CSM レコードプロデューサーを追加する](#)」を参照してください。

Healthcare and Life Sciences Service Management Core で B2B2C のポータルに CSM レコードプロデューサーを追加する


B2B2C で使用するためにレコードプロデューサー CSM をポータルに追加します。

始める前に

B2B2C で使用するレコードプロデューサーを作成します。詳細については、「[での B2B2C 用レコードプロデューサーの作成](#) [ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 **すべて** > **サービスポータル** > **ポータル**.
2. **カスタマーサポート** ()CSM ポータルを選択します。
3. CSM ヘッダーメニューの横にあるプレビューアイコン []
4. [レコードを開く] をクリックします。
5. [Menu Items] セクションで、[Case] に移動し、[Other] を選択します。ケースのプレビュー > レコードを開く。
6. 「メニュー項目」セクションで、「新規」をクリックしてフィールドに入力します。
 - a. [タイプ] フィールドを [カタログアイテム] に設定します。
 - b. [カタログアイテム] を、以前に作成したレコードプロデューサーに設定します。
 - c. [page] に 「csm_get_help」 と入力します。
 - d. 必要に応じて残りのフィールドを入力します。
7. **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

レコードプロデューサーが CSM ポータルに追加されます。

の暗号化オプションヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア は、機密情報を保護するための暗号化サポートを提供します。

暗号化により、権限のないユーザーが機密性の高い医療データを表示するのを防ぎます。

列レベル暗号化エンタープライズのNow Platformオプションはアプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアサポートされています。

列レベル暗号化エンタープライズ

列レベル暗号化エンタープライズ は、暗号化のサポートと比較して強化された暗号化機能を提供し、Key Management Framework (KMF) を利用します。

管理者がアプリケーションをインストールする ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア と、機密フィールドを暗号化するための暗号化モジュールと暗号化設定も KMF とともに自動的にインストールされます。インスタンスで ServiceNow 暗号化操作を管理および監査する場合、管理者はオプションで 列レベル暗号化エンタープライズ プラグイン (com.glide.now.platform.encryption) を有効にすることを選択できます。

の入手 列レベル暗号化エンタープライズ方法の詳細については、「[Column Level Encryption Enterprise のアクティブ化](#)」を参照してください。親暗号化モジュールの選択の詳細については、「[暗号化モジュールの作成](#)」を参照してください。

Column Level Encryption Standard と Column Level Encryption Enterprise の詳細については、「」を参照してください。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 暗号化フィールド

テーブル	フィールド
sn_hcls_allergy	recorded_date

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 暗号化フィールド (続く)

テーブル	フィールド
sn_hcls_allergy	onset_date
sn_hcls_allergy	onset_age
sn_hcls_claim_header	billed_drg_code
sn_hcls_claim_header	service_provider_id
sn_hcls_claim_header	名前
sn_hcls_claim_header	payment_date
sn_hcls_claim_header	adjudicated_date
sn_hcls_claim_header	accepted_date
sn_hcls_claim_header	patient_account_no
sn_hcls_claim_header	submitted_date
sn_hcls_claim_header	medical_record_no
sn_hcls_claim_line	service_start_date
sn_hcls_claim_line	original_tcn
sn_hcls_claim_line	service_end_date
sn_hcls_claim_line	ndc_code
sn_hcls_claim_line	tooth_code
sn_hcls_claim_line	revenue_code
sn_hcls_claim_line	line_title
sn_hcls_condition	recorded_date

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 暗号化フィールド (続く)

テーブル	フィールド
sn_hcls_condition	onset_age
sn_hcls_condition	onset_date
sn_hcls_encounter	end_time
sn_hcls_encounter	start_time
sn_hcls_immunization	status_reason
sn_hcls_immunization	admin_date
sn_hcls_insurance_info_task	group_number
sn_hcls_insurance_info_task	rx_pcn
sn_hcls_insurance_info_task	member_number
sn_hcls_insurance_info_task	rx_group
sn_hcls_insurance_info_task	rx_bin
sn_hcls_medication	reason_desc
sn_hcls_medication	status_reason
sn_hcls_medication	effective_date_time
sn_hcls_medication	reason_code
sn_hcls_medication	start_date
sn_hcls_medication	end_date
sn_hcls_medication_prescription	external_id
sn_hcls_medication_prescription	status_reason

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 暗号化フィールド (続く)

テーブル	フィールド
sn_hcls_member_plan	group_number
sn_hcls_member_plan	rx_pcn
sn_hcls_member_plan	member_number
sn_hcls_member_plan	rx_group
sn_hcls_member_plan	rx_bin
sn_hcls_observation	observed_date
sn_hcls_patient	work_phone
sn_hcls_patient	名前
sn_hcls_patient	birth_date
sn_hcls_patient	職業
sn_hcls_patient	middle_name
sn_hcls_patient	external_id
sn_hcls_patient	primary_email
sn_hcls_patient	secondary_email
sn_hcls_patient	address_line
sn_hcls_patient	family_name
sn_hcls_patient	marital_status
sn_hcls_patient	Ssn
sn_hcls_patient	レース

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 暗号化フィールド (続く)

テーブル	フィールド
sn_hcls_patient	民族
sn_hcls_patient	given_name
sn_hcls_patient	mobile_phone
sn_hcls_patient	home_phone
sn_hcls_patient	deceased_date_time
sn_hcls_patient	guarantor_id
sn_hcls_practioner	secondary_email
sn_hcls_practioner	名前
sn_hcls_practioner	external_id
sn_hcls_practioner	family_name
sn_hcls_practioner	mobile_phone
sn_hcls_practioner	work_phone
sn_hcls_practioner	given_name
sn_hcls_practioner	birth_date
sn_hcls_practioner	work_email
sn_hcls_practioner	primary_email
sn_hcls_practioner	home_phone
sn_hcls_pre_auth_header	date_fax_received
sn_hcls_pre_auth_header	date_fax_received

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 暗号化フィールド (続く)

テーブル	フィールド
sn_hcls_pre_auth_header	primary_preauth_num
sn_hcls_pre_auth_header	secondary_preauth_num
sn_hcls_pre_auth_header	valid_from
sn_hcls_pre_auth_header	理由
sn_hcls_pre_auth_header	notes
sn_hcls_pre_auth_header	approved_date
sn_hcls_pre_auth_header	valid_to
sn_hcls_procedure	performed_date_time

ワークスペース医療関連の要求に対応するためのセットアップ

医療エージェントが患者情報を表示し、医療関連ケースを管理できるように、Healthcare Workspace を設定します。

医療要求タスクに対処するための **Healthcare Workspace** の設定

タスク	説明
での患者情報の設定 医療ワークスペース .	医療エージェントが使用する Healthcare Workspace の [患者情報] 関連リストを構成します。
医療ケースに関する患者情報を表示します。	医療エージェントが医療ケース内の関連する患者情報を表示できるようにします。

i 注: エージェントの Healthcare Workspace の設定に必要なタスクの詳細については、「[構成可能ワークスペースの設定](#)」を参照してください。

Healthcare Workspace での患者情報の設定

医療エージェントが使用する Healthcare workspace で患者情報関連リストを設定できます。

医療エージェントが使用する医療ワークスペースは、CSM 構成可能ワークスペース. admin ロールを持つユーザーは、を使用して UI ビルダー患者情報関連リストを設定できます。詳細については、「[CSM 構成可能ワークスペースの詳細](#)」を参照してください。

デフォルトでは、患者情報は患者に関連付けられたインタラクションに表示されます。医療ケースの患者情報を表示するように構成できます CSM 構成可能ワークスペース。また、特定の医療ケースとユーザーロールの [患者情報] 関連リストを設定することもできます。詳細については、「[Healthcare Workspace](#) での医療ケースタイプに関する患者情報の表示」を参照してください。

Healthcare Workspace での医療ケースタイプに関する患者情報の表示

医療ケースタイプを拡張したケース内で、医療エージェントが関連する患者情報を表示できるようにすることで、エージェントの効率と患者とのやり取りの質を向上させます。

デフォルトでは、患者情報は患者に関連付けられたインタラクションレコードに表示されます。医療ケースタイプを拡張するケースの患者情報を表示するように構成できます CSM 構成可能ワークスペース。

医療ケースの患者情報を表示するための構成タスク

タスク	説明
医療ケーステーブルの拡張。	医療ケース [sn_hcls_case] テーブルを拡張して、医療関連ケース内の患者情報を表示するケースタイプを作成します。
医療ケースを作成するインタラクションフォームを設定します。	ケースの作成 UI アクションを追加して、エージェントがインタラクションから医療ケースを作成できるようにします。
拡張医療ケーステーブルの ACL ルールを作成します。	アクセス制御リスト (ACL) ルールを作成して、適切なユーザーとアプリケーションが医療ケースにアクセスできるようにします。

医療ケーステーブルの拡張


医療ケース [sn_hcls_case] テーブルを拡張して、医療関連ケース内の患者情報を表示するケースタイプを作成します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープをヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアに設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_hcls.admin

手順

1. 移動先 [すべて](#) > システム定義 > テーブル。
2. [テーブル] ボックスの一覧で、[新規] をクリックします。
3. 新しいテーブルレコードの詳細を入力します。
詳細については、「[テーブルの作成](#)」を参照してください。
4. [拡張テーブル] フィールドで、ルックアップアイコン  をクリックし、sn_hcls_caseテーブルを検索して選択します。
5. [Submit (送信)] をクリックします。

医療ケースタイプのインタラクションの設定

[ケースを作成] UI アクションを追加して、エージェントがインタラクションからヘルスケア関連のケースを作成できるようにすることができます。

デフォルトでは、インタラクションからケースを作成する UI アクションは利用できません。管理者は、ヘルスケア関連のケースを作成するための UI アクションを作成し、その UI アクションをインタラクションフォームに追加できます。詳細については、「[UI アクションの作成](#)」を参照してください。

i 注:

エージェントが医療ケースの解決に使用する CSM 構成可能ワークスペース。で CSM 構成可能ワークスペースUI アクションを使用するには、各 UI アクションに対応するフォームアクションが必要です。詳細については、「[CSM 構成可能ワークスペースでのフォームアクションの設定](#)」を参照してください。

医療ケースにアクセスするための ACL ルールの作成

アクセス制御リスト (ACL) ルールを作成して、ユーザーとアプリケーションが医療ケースにアクセスできるようにすることができます。

sn_hcls.admin ロールのユーザーは、ACL ルールを作成して、医療ケース [sn_hcls_case] テーブルから拡張されたテーブルへのアクセスを管理します。詳細については、「[ACL ルールの作成](#)」を参照してください。

i 注:

医療ケース [sn_hcls_case] テーブルとその拡張テーブルは、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア スcope対象のアプリケーション内にあります。医療ケーステーブルの ACL ルールを作成するには、[アプリケーション管理アプリのアクセス制御ルール](#)に従う必要があります。

での医療関連要求の管理 ワークスペース

医療エージェントは、医療ワークスペースを使用して、チャットまたは電話で患者からの要求を受け入れ、患者関連情報を表示できます。

Healthcare Workspace のタスク管理

タスク	説明
へのアクセス ワークスペースランディングページ	の ワークスペース ランディングページを使用して、医療ケースをすばやくスキャンしてアクセスします。
医療の要求に応答します。	作業アイテムを承認し、インタラクションレコードを使用して医療要求に応答します。
での患者レコードのインタラクションへの関連付け ワークスペース	インタラクション内で患者情報を検索し、情報をレビューおよび確認してから、インタラクションに情報を入力してヘルスケア関連の要求を解決します。
での患者情報の表示 ワークスペース	Healthcare Workspace での患者の詳細の表示

でのヘルスケア関連ケースのランディングページの表示 ワークスペース

ヘルスケアエージェントは、の ワークスペース ランディングページを使用して、ヘルスケア関連のケースをすばやくスキャンしてアクセスできます。

の ワークスペース ヘルスケア関連ケースのランディングページには、新規、アサイン済み、高優先度のヘルスケアケース、およびグループにアサインされたヘルスケアケースの概要が表示されます。

now All Favorites History : CSM/FSM ...

Home +

Hello, John!

Get a little help monitoring your work with your personal home page.

Important items

Check these metrics to see the most important items to work on.

- 25 High-priority cas...
- 0 Not updated in ...
- 0 Case task
- 4 Unassigned cases

Cases

Track your active cases and the cases your team is working on.

By case types

38 Total

- Procedure request: 21
- Enrollment case: 17

By priority

38 Total

- 2 - High: 19
- 1 - Critical: 15
- 4 - Low: 4

My active cases 51

Last refreshed 2m ago.

Number	Short description ^	State	Priority	Channel	As
PSS00001032	Medqua Together Enrollment Case	Open	1 - Critical	Web	hc
PSS00001040	Medqua Together Enrollment Case	Open	2 - High	Web	hc
PSS00001017	Medqua Together Enrollment Case	Open	1 - Critical	Web	(e
PSS00001035	Medqua Together Enrollment Case	Open	1 - Critical	Web	hc
PSS00001038	Medqua Together Enrollment Case	Open	2 - High	Web	hc

ランディングページへのアクセスと使用

医療関連ケースにアクセスする ワークスペース には、次に移動します: **すべて > HCLS サービス管理 > 医療ワークスペース**.

ランディングページには ワークスペース、医療ケース情報を表示するコンポーネントに加えて、コンポーネントデータをさらに細分化する可視化が含まれています。各チャート化は、データソースに接続されています。たとえば、優先度別コンポーネントには、P1 とエスカレーション済みケースのチャート化が含まれます。

の ワークスペースランディングページから、エージェントは次のことができます。

- 各コンポーネントに表示されるケース情報を表示します。
- 各コンポーネントをドリルダウンして、単一スコアの背後にあるケースリストを確認します。
- ケースリストから個々のレコードに移動します。

データの表示

デフォルトでは、ワークスペース 次のセクションにデータが表示されます。

- **重要なアイテム**
- **ケース**
- **自分のアクティブなケース**

- **注:**
管理者は、ランディングページ ワークスペース をカスタマイズしたり、表示されるデータを変更したりできます。

重要なアイテム

[重要なアイテム] セクションには、最優先ケース、3 日間以上更新されていないケース、ケースに関連付けられたタスク、エージェントが監視して処理する未アサインのケースなどの測定基準が表示されます。

ケース

[ケース] セクションには、自分にアサインされたケースタイプとケース優先度のドーナツグラフが表示されます。デフォルトでは、自分が属するアサイン先グループがケースに関連付けられている場合にのみ、グラフのデータが表示されます。このセクションを監視して、優先度の高い医療ケースが迅速に解決されるようにします。

自分のアクティブなケース

[自分のアクティブなケース] セクションには、自分にアサインされているすべてのオープン医療関連ケースのリストが表示されます。

- **注:**
ワークスペースヘルスケア関連ケースのランディングページは、ランディングページと同じCSM 構成可能ワークスペースです。そのため、管理者が設定した構成に基づいて、追加情報が表示される場合があります。詳細については、次を参照してください。 [CSM 構成可能ワークスペース ランディングページ](#)。

医療に関する要求への対応

医療エージェントは、患者から提起された問題を解決するために医療の要求に応答できます。

患者は、電話またはチャットで医療要求を送信できます。ヘルスケアエージェントは、患者から作業アイテムを受け入れるか、作業アイテムを保存するインタラクションレコードにアクセスして、ヘル

スクエア要求に応答できます。詳細については、「[Interaction Management](#)」を参照してください。

での患者レコードのインタラクションへの関連付け ワークスペース

インタラクション内で患者情報を検索し、情報をレビューおよび確認してから、インタラクションに情報を入力してヘルスケア関連の要求を解決します。

始める前に

必要なロール:sn_hcls.healthcare_agent、sn_hcls.manager

このタスクについて

インタラクションフォームの [コンシューマー] フィールドには、チャットまたは電話を通じて支援を要求した要求者の名前が自動的に入力されます。エージェントは、インタラクションを適切な患者に関連付けることができます。インタラクション内から患者を検索し、要求者と詳細を確認して、正しい患者の詳細があることを確認できます。

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます **すべて > HCLS サービス管理 > 医療ワークスペース**。
2. 移動先 リスト > インタラクション > マイインタラクション。
3. 患者レコードを関連付けるインタラクションへのリンクをクリックします。
4. [インタラクション] フォームで、[患者の確認] をクリックします。
5. [患者の検証] ダイアログボックスの [名前、電話、またはレコード番号によるルックアップ] フィールドに、患者データを入力します。
名前、電話番号、メールアドレス、生年月日、MRNで患者を検索できます。[名前、電話番号、またはレコード番号によるルックアップ] フィールドでは、リストに結果を表示し、さらに文字を入力して結果を絞り込む先行入力検索機能を使用します。検索結果の複数の表示フィールドは、患者を区別するのに役立ちます。レコード番号を検索すると、そのレコードに関連付けられた患者が検索結果に返されます。検索結果をクリアするには、[名前、電話番号、またはレコード番号でルックアップ] フィールドの文字を削除します。

i 注:

先行入力検索機能は、暗号化機能が無効になっている場合にのみ機能します。暗号化機能が有効になっている場合は、患者レコードを検索するには、名、姓、電話番号、メールアドレス、生年月日、または MRN として正確なキーワードを入力する必要があります。

6. [患者の確認]ダイアログボックスで、[完了]をクリックします。

i 注:

患者レコードが見つからない場合は、インタラクション内から患者レコードを作成できます。詳細については、「[での患者レコードの作成 ワークスペース](#)」を参照してください。

7. [インタラクション] フォームで、[保存] をクリックします。

タスクの結果

[患者情報] 関連リストがインタラクションフォームに表示され、患者の詳細を表示できます。[患者情報] 関連リストは、インタラクションに関連付けられた医療ケースにも表示されます。

での患者レコードの作成 ワークスペース

の ワークスペースインタラクション内から患者レコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_hcls.healthcare_agent、sn_hcls.manager

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > **HCLS** サービス管理 > 医療ワークスペース.
2. 移動先 リスト > インタラクション > マイインタラクション.
3. 患者レコードを関連付けるインタラクションへのリンクをクリックします。
4. [インタラクション] フォームで、[患者の作成] をクリックします。
5. 新しい患者の詳細を入力します。
6. オプション: [添付ファイル] パネルの [参照] をクリックして、患者に関連する添付ファイルを追加します。
7. **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

患者レコードが作成されます。その後、患者を検証して、患者レコードをインタラクションに関連付けることができます。詳細については、「[での患者レコードのインタラクションへの関連付け ワークスペース](#)」を参照してください。

での患者情報の表示 ワークスペース

では ワークスペース患者の 360 度ビューを使用して、医療サービスの詳細にいつでもアクセスできます。

の ワークスペース [患者情報] 関連リストには、患者に関するいくつかの詳細が表示され、患者を 360 度表示できます。関連リストがインタラクションフォームとヘルスケアケースフォームに表示されます。

i 注:

管理者は、を使用してUI ビルダー患者情報を変更するように構成できますワークスペース。このトピックでは、患者情報の既定のビューについて説明します。詳細については UI ビルダー、「[UI Builder](#)」を参照してください。

患者情報

The screenshot displays the 'Healthcare Workspace' for a patient named Gilly Wood. The interface includes a navigation bar with tabs for Overview, Details, Member Plans (2), Appointments (4), Encounters (2), Procedures (2), Immunizations (4), and Medications (2). The main content area is divided into several sections:

- Personal Information:** Name (Gilly Wood), DOB (Aug 13, 1976, age 46), MRN (123 674 9999), SSN (XXX XXXX 9999), Cell phone (+1 798 282 7777), Home phone (+1 798 282 7777), Email (g.wood@mailinator.com), and Home Address (1234 Helathy Street, Santa Clara, CA 94555).
- Insurance details:** United Healthcare, Group Number (GRP-453-000), Member ID (MM-8452-000), Company Code (CC-X340-000).
- Household members:** Jack Warren (Spouse, Emergency Contact), Jill Warren (Daughter), and Jose Warren (Son).
- Medical Metrics:** 3 Health conditions, 6 Medications, 3 Active allergies, and 6 Recent immunizations.
- Charts:** 'Cases overview' and 'Claims overview' donut charts showing status distributions (Complete, Pending, Rejected, New).
- Tables:** 'Recent Interactions' and 'Appointments' tables with columns for Number, Created/Assigned to, Short description, and Status.

に表示される患者情報 ワークスペース

詳細	説明
個人の詳細	名前、生年月日、社会保障番号 (SSN)、自宅の電話番号、メール ID、自宅の住所など、患者の個人情報。
保険の詳細	メンバー番号、適用開始日、RxBin 番号、RxGroup 番号、グループ番号、適用終了日、RxPCN 番号、加入者名など、患者の保険の詳細。
世帯メンバー	患者に関連付けられた世帯のメンバー。 メンバー名または責任をクリックして、家族メンバーと患者との関係の詳細を表示します。
条件	患者で観察された健康状態の数。 数字をクリックして、患者に関連付けられた条件のリストを表示します。
医薬品	患者が服用した薬剤の数。 数字をクリックすると、患者に関連付けられている薬剤のリストが表示されます。
アレルギー	患者で観察されたアレルギーの数。 数字をクリックして、患者に関連するアレルギーのリストを表示します。

自動翻訳

に表示される患者情報 ワークスペース (続く)

詳細	説明
予防接種	患者に投与されたワクチンの数。 数字をクリックして、患者に関連付けられた予防接種のリストを表示します。
ケース概要	患者に関連付けられた医療ケースをステータス別に表示するドーナツグラフ。 ステータススライスをクリックすると、そのステータスのケースのリストが表示されます。
請求の概要	患者に関連付けられた請求をステータス別に表示するドーナツグラフ。 ステータススライスをクリックすると、そのステータスの請求のリストが表示されます。
最近のインタラクション	患者に対して作成されたインタラクションのリスト。 やり取りの番号をクリックすると、やり取りの詳細が表示されます。
予約	患者に対してスケジュールされている予約のリスト。 予約番号をクリックすると、予約の詳細が表示されます。
レコード情報	患者レコードの概要、ケースのタイムライン、および医療ケースに関連付けられた合計 SLA 時間からの残り時間を表示するために使用されるコンテキストサイドパネル。
エージェント支援	インタラクションからケースを検索するために使用されるコンテキストサイドパネル。デフォルトでは、利用可能な検索ソースには医療ケースが含まれます。

Now Assist を使用したケースの要約

の Now Assist ケース要約スキルを使用して、ケースの要約を生成し、ケースのコンテキストをすばやく理解します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションは、Customer Service Management の Now Assist 生成 AI 機能を活用してワークスペース、.

ケースの要約作成では、ケースの問題、実行されたアクション、解決の詳細など、あらゆるタイプの HCLS ケースの簡潔な要約が得られます。このスキルでできることは次のとおりです。

- ケースの初期サマリーを生成し、ケースのコンテキストを理解できるようにします。
- ケースで行われたすべての作業を要約します。

ケース要約へのアクセス権は、以下のいずれかのロールによって HCLS ユーザーに付与できます。

- sn_customerservice_agent
- sn_customerservice.consumer_agent

Now Assist は、あらゆるタイプの HCLS ケースに対して構成できます。

HCLS でのケース要約の使用

ケースサマリーパネルが [概要] タブに表示されます。

[要約を作成 (Summarize)] をクリックして、次のフィールド入力に基づいてサマリーを生成します。

- 簡単な説明
- 説明
- 作業メモ
- 追加コメント

生成されたサマリーは、ケースサマリーパネルに表示されます。ユーザーはフィードバックを提供し、サマリーを作業メモで共有できます。

注:

UI Builder を使用して、HCLS ケースフォーム内の [Case Summary] パネルの配置を構成できます。詳細については、「[Configure UI Builder workspace experiences](#)」を参照してください。

この機能の使用の詳細については、以下を参照してください [Summarize a case by using Now Assist for Customer Service Management \(CSM\)](#)。

ケース要約スキルを使用するための構成 Now Assist 方法については、次を参照してください [Configure Now Assist for Customer Service Management \(CSM\)](#)。

の患者ポータル の使用ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理

アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理利用可能な患者ポータルを使用して、どこからでも医療情報にアクセスできます。

sn_hcls.patient ロールを持つユーザーは、次の方法で患者ポータル ページにアクセスできます。[自分で登録する患者ポータル](#)。患者ポータルを開始するには、まず医療機関のプライバシーポリシーに同意してから、[重要な個人情報を入力する](#)必要があります。

患者ポータルから、医療サービスを要求し、To Do タスクを完了し、必要な承認または情報を提供するための通知を受け取ることができます。また、家族の健康情報を確認することもできます。

患者ポータルページ

自動翻訳

管理者が設定した構成に応じて、患者は患者ポータルから次のタスクを実行できます。

次の予約のリマインダーを表示する

[患者ポータル] ページで、次回の予約のリマインダーを表示します。[患者ポータル] ページのリマインダーの横にある [詳細を表示] をクリックすると、予約の詳細を表示できます。

To Do の表示と完了

ドキュメントのレビューと署名、および To Do リストの保険情報のレビューと追加または更新を含むその他のタスク。[患者ポータル] ページの [保留中の To Do] セクションで [すべて表示] をクリックすると、すべての保留中およびクローズ済みの To Do アイテムを表示できます。

要求を表示

自分と認可された世帯メンバーに関連付けられた医療ケースを含む未解決の要求を表示します。要求をクリックすると、ステータスやその他の詳細を表示したり、ドキュメントを添付したり、コメントを投稿したりできます。[患者ポータル] ページの [未解決の要求] セクションで [すべて表示] をクリックすると、保留中の要求とクローズ済みの要求をすべて表示できます。

提案されたワクチン接種を表示してスケジュールする

自分でスケジュールできる推奨予防接種を表示します。ポータル管理者が構成した患者ポータル設定に応じて、[予防接種のスケジュール] をクリックすると、患者ポータルホームページの [予防接種] セクションから提案された予防接種をスケジュールできます。[ワクチン接種のスケジュール] フォームで、ワクチン接種、サイト、スロットの詳細を選択します。

注:

[ワクチン接種] セクションは、管理者が Vaccine Administration Management アプリケーションをインストールした場合にのみ表示されます。詳細については、「[Vaccine Administration Management の使用](#)」を参照してください。

COVID-19 ワクチン接種ステータスの表示

(VAM) がインストールされている場合はVaccine Administration Management、COVID-19 ワクチン接種ステータスを自分で確認できます。

注:

[COVID-19 ワクチン接種ステータス (COVID-19 vaccination status)] セクションは、管理者がアプリケーションをインストールしVaccine Administration Managementの場合にのみ表示されます。詳細については、「[Vaccine Administration Management の使用](#)」を参照してください。

世帯メンバーの表示

自分の世帯メンバーと、今後の予約、To Do アイテム、処理待ちのワクチン接種の数、未解決の要求などの詳細を表示します。

予約を表示

今後の予約と過去の予約とその詳細を表示します。

医療サービスの要求

およびPre-Visit Managementアプリケーションがインストールされている場合はPatient Support Services、登録や手続きの要求など、ヘルスケアサービスの要求を送信します。

セルフサービスリソースへのアクセス

医療に関する問い合わせの解決、要求のステータスの確認、またはその他の情報の検索のために操作 仮想エージェント します。

アクセス記事とよくある質問

健康に関するナレッジ記事やよくある質問にアクセスできます。

患者ポータルホームページには、予約の表示とスケジュール設定、オープンおよびクローズの To Do アイテムと医療要求の表示、医療サービスの要求のためのメニューオプションもあります。

患者ポータルへの登録

患者は、患者ポータルでアカウントを作成し、予防接種のスケジュール設定など、オンラインで医療サービスを利用できます。

ポータルの設定に応じて、患者ポータルのランディングページで [アカウントの作成] をクリックし、登録フォームに情報を入力することで、患者ポータルに自分自身を患者として登録できます。情報を送信すると、次のステップの検証リンクが自動的にメールで送信されます。その後、アカウント設定を確認して、患者ポータルへのログインと使用を開始できます。

患者ポータルへの重要な個人情報の入力

患者は、患者ポータルに登録した後、組織が医療サービスを決定するのに役立つ個人情報を提供できます。

重要な個人情報は、予防接種のスケジュールの決定など、さまざまな目的で医療提供者によって必要とされます。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 参照

参照トピックには、テーブルを含むコンポーネントに関するヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア追加情報が記載されています。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアとともにインストールされるコンポーネント

ユーザーロール、テーブル、プラグインServiceNow Store、アプリケーション、ビジネスルールなど、いくつかのタイプのコンポーネントが、アプリケーションのインストールヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアとともにインストールされます。

i 注:

アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール

ロール	説明	ロールを含む
sn_hcls.admin	ユーザーがアプリケーションのロールを取得する方法を制限することで、機密データにアクセスできるユーザーを管理しますヘルスケアとライフサイエンス。	<ul style="list-style-type: none"> • decision_table_admin • sn_doc.admin • sn_hcls.マネージャー • sn_previsit.admin
sn_hcls.case_task_viewer	医療ケースに関連付けられたタスクを表示するためのアクセス権を付与します。	なし

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_hcls.case_viewer	医療ケースを表示するためのアクセス権を付与します。	なし
sn_hcls.clinical_data_viewer	予防接種や処置などの臨床データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.clinical_data_writer	予防接種や手順などの臨床データの詳細を編集します。	sn_hcls.clinical_data_viewer
sn_hcls.consumer_agent	ヘルスケアケースを作成、表示、および編集し、コンシューマーと協力してケースを解決します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_agent • sn_customerservice.consumer_agent
sn_hcls.customerservice_agent	カスタマーサービスエージェントとして、アカウントと連絡先の医療ケースを作成します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_agent • sn_customerservice_agent
sn_hcls.data_access_user	特定の機密医療データへの専用アクセスが必要なユーザーにデータアクセス権を付与します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.device_data_viewer	デバイスの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.device_data_writer	デバイスデータを作成、削除、更新します。	sn_hcls.device_data_viewer
sn_hcls.employee_patient	医療データと医療ケースを表示する権限がある場合、snc_internalロールを持つユーザーにアクセス権を付与します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_customerservice.self_contributor • sn_vaccine_sm.user • sn_hcls.data_access_user

自動翻訳

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_hcls.foundation_data_viewer	組織や医療の場所など、基盤データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.foundation_data_writer	組織や医療機関の場所など、基盤データの詳細を編集します。	sn_hcls.foundation_data_viewer
sn_hcls.healthcare_agent	コンタクトセンターのエージェントとして、患者に関連するヘルスケアデータにアクセスして表示します。	<ul style="list-style-type: none"> • canvas_user • sn_customerservice.csm_workspace_user • sn_customerservice.customer_data_viewer • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.report_viewer • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.健康保険_データ_ビューア	メンバープランや支払人プランなど、健康保険データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.健康保険_データ_ライター	メンバープランや支払人プランなど、健康保険データの詳細を編集します。	health_insurance_data_viewer
sn_hcls.マネージャー	インスタンス内の医療オブジェクトに対して作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) 操作を実行できるユーザーを管理します ServiceNow 。さらに、アカウント、連絡先、アカウント関係、連絡先関係、アカウントコンシューマー関係を作成および管理します。	<ul style="list-style-type: none"> • canvas_user • model_manager • sn_customerservice.csm_workspace_user • sn_customerservice.customer_data_viewer • sn_hcls.clinical_data_writer • sn_hcls.foundation_data_writer • sn_hcls.健康保険_データ_ライター • sn_hcls.患者_データ_ライター • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ライター • sn_hcls.report_viewer

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
		<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.revenue_cycle_data_writer • sn_previsit.患者_サービス_エージェント
sn_hcls.患者	<p>医療ケース、住所、患者データ、臨床データなどの自分のレコードを患者として表示します。また、他の患者の記録 (正式な代表者である住所など) も表示します。自分の医療ケースと認可済み担当者にコメントを追加します。世帯員を表示します (存在する場合)。</p> <p>患者に関連付けられた世帯メンバーと住所は、それぞれ世帯メンバー [csm_household_member] テーブルと場所 [cmn_location] テーブルを使用して維持されます。世帯メンバーとそのリレーションの詳細については、「業界データモデルの世帯」を参照してください。場所は、Common Services Data Model (CSDM) の基盤ドメインに関連付けられています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_customerservice.consumer • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.患者_データ_ビューア	患者やポリシーの同意など、患者データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.患者_データ_ライター	患者やポリシーの同意など、患者データの詳細を編集します。	sn_hcls.患者_データ_ビューア
sn_hcls.practitioner	医療従事者 (トリアージ看護師または臨床コーディネーター) として、患者に関連する医療データにアクセスして表示します。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_customerservice.customer_data_viewer • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア

自動翻訳

Healthcare and Life Sciences Service Management コアロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
		<ul style="list-style-type: none"> sn_hcls.report_viewer sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer
sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア	施術者や施術者施設などの施術者データの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.プラクティショナー_データ_ライター	施術者や施術者施設などの施術者データの詳細を編集します。	sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア
sn_hcls.report_viewer	エージェントまたはマネージャーとしてアクセスできるテーブルから生成されたレポートを表示します。	なし
sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer	請求などの収益サイクルデータの詳細を表示します。	なし
sn_hcls.revenue_cycle_data_writer	請求などの収益サイクルデータの詳細を編集します。	sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer

自動翻訳

インストールされるテーブル

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル

テーブル	説明
アレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy]	アレルギーまたは不耐症の臨床アセスメントに関する情報：指定された物質または物質のクラスへの将来の接触に対して副作用をもたらす傾向、または個人への潜在的なリスクを保存します。
予約 [sn_hcls_appointment]	医療機関での患者の予約の詳細を保存します。
予約患者 [sn_hcls_appointment_participant]	予約の参加者の詳細を保存します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
属性 [sn_hcls_characteristic_attribute]	医療の要求を送信するときに患者が選択したプログラムまたはプログラムサービスに関連付けられた特性オプションを保存します。
予約を取る [sn_hcls_book_appt_task]	医療のケースまたはその拡張ケースタイプに関連付けられた予約のタスクの詳細を保存します。
請求の診断 (Claim diagnosis) [sn_hcls_claim_diagnosis]	請求の診断情報を保存します。
請求ヘッダー [sn_hcls_claim_header]	患者の代わりに支払人組織に送信されたメイン請求の詳細を保存します。
請求明細 [sn_hcls_claim_line]	請求ヘッダーに関連するアイテムの詳細を保存します。
医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item]	医療デバイスの詳細をインストールベースアイテムとして保存します。
条件 [sn_hcls_condition]	懸念レベルに上昇した状態、問題、診断、またはその他のイベント、状況、問題、または臨床概念に関する情報を保存します。
用量の定義 [sn_hcls_dosage_definition]	要求定義パラメーターとして使用するための Dosage specification [sn_hcls_dosage_specification] テーブルをモデル化します。
用量の仕様 [sn_hcls_dosage_specification]	プログラムに関連付けられた薬剤製品の投与に関する情報を保存します。
用量変数 [sn_hcls_dosage_variable]	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 アプリケーションの [薬の処方箋] フォームに表示される用量の仕様に設定された変数を保存します。
診察 [sn_hcls_encounter]	ヘルスケアサービスを提供したり、患者の健康状態を評価したりするための、患者とヘルスケアプロバイダー間のやり取りに関する情報を保存します。
登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program]	患者が登録されているプログラムを保存します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program]	プログラム登録プロセスの一環として患者に提供されるプログラムサービスを保存します。
医療ケース [sn_hcls_case]	ヘルスケア関連のケースを保存します。 i 注: 医療ケース [sn_hcls_case] テーブルは抽象テーブルであり、拡張可能です。
ヘルスケアコードセット [sn_hcls_code_set]	ServiceNow インスタンスで利用可能なコードセットの詳細を保存します。
医療機関の所在地 [sn_hcls_location]	医療機関に関連付けられた場所の詳細を保存します。
医療機関 [sn_hcls_organization]	医療機関の詳細を ServiceNow インスタンスに保存します。
医療タスク [sn_hcls_task]	医療組織内の医療ケースまたは患者に関連付けられたタスクの詳細を保存します。 i 注: 医療タスク [sn_hcls_task] は抽象テーブルであり、拡張可能です。
予防接種 [sn_hcls_immunization]	患者、臨床スタッフ、または第三者によって報告された、患者のワクチン接種または予防接種記録のイベントに関する情報を保存します。
薬剤 [sn_hcls_medium]	薬剤の処方、調剤、投与、および薬剤の使用に関する情報を保存します。
薬の処方箋 [sn_hcls_medication_prescription]	患者のために注文した処方箋に関する情報を保存します。
メンバープラン [sn_hcls_member_plan]	患者に関連付けられた健康保険制度の詳細を保存します。
所見 [sn_hcls_observation]	患者に関する測定値と簡潔な主張に関する情報を保存します。
患者 [sn_hcls_patient]	医療機関での患者の詳細を保存します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
ポリシー [sn_hcls_policy]	ヘルスケアとライフサイエンス アプリケーションで患者と共有されるポリシーの詳細を保存します。
ポリシーの同意 (Policy consent) [sn_hcls_policy_consent]	患者または患者に代わって世帯メンバーが承認した同意の詳細を保存します。
施術者 [sn_hcls_practitioner]	医療機関での施術者の詳細を保存します。
施術者所在地 [sn_hcls_practitioner_facility]	施術者がヘルスケアサービスを提供する場所の詳細を保存します。
開業医所在地専門分野 [sn_hcls_pract_location_specialty]	施術者が特定の場所で組織に提供できるサービスのタイプに関する詳細を保存します。
施術者の専門分野 [sn_hcls_pract_location_specialty]	施術者の専門分野との関連付けの詳細を保存します。
事前承認診断 (Pre-authorization diagnosis) [sn_hcls_pre_auth_diagnosis]	ヘルスケアサービスの事前承認に関連する診断情報を保存します。
事前承認アイテム (Pre-authorization item) [sn_hcls_pre_auth_item]	ヘルスケアサービスの事前承認要求に関連するアイテムの詳細を保存します。
事前承認要求 [sn_hcls_pre_auth_header]	支払人組織によって提供されるヘルスケアサービスの承認要求の詳細を保存します。
手順 [sn_hcls_procedure]	患者に対して行っている、または行われたアクションに関する情報を保存します。アクションは、手術のような物理的な介入の場合もあれば、長期のサービス、カウンセリング、催眠療法のように侵襲性が低い場合もあります。
プログラム [sn_hcls_program]	医療機関によって提供されるプログラムを保存します。
プログラム関係 [sn_hcls_program_relationship]	プログラムとプログラムサービス間の関連付けの詳細を保存します。
プログラムサービス [sn_hcls_program_service]	プログラムに関連付けられたプログラムサービスを格納します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
ソースシステム [sn_hcls_source_system]	外部の医療システムのソース ID と宛先 ID を ServiceNow インスタンスに保存します。
保険情報を更新 [sn_hcls_insurance_info_task]	医療機関での患者の保健情報の更新に関するタスクの詳細を保存します。

インストール済みプラグイン

Healthcare and Life Sciences Service Management Core プラグイン

プラグイン	説明
暗号化サポートプラグイン (com.glide.encryption)	アプリケーションの EMR システム に関連付けられたテーブル列と添付ファイルを暗号化します ヘルスケアとライフサイエンス。
事業所プラグイン (com.snc.business_location)	医療機関の場所を含む組織構造を作成できます。
Customer Service インストールベース管理プラグイン (com.snc.install_base)	カスタマーサービスエージェントが適切な製品、その製品のインスタンス、およびそれらの機能に影響を与える可能性のあるその他のエンティティに関する問題を容易に追跡できるように、販売済み製品、インストールベースアイテム、およびインストール済み製品を作成することで、顧客のインストールベースをキャプチャします。
Document Templates プラグイン (com.snc.document_templates)	HTML および PDF ドキュメントテンプレートを作成して、標準のレターやドキュメントを生成できます。
Customer Service Household プラグイン (com.snc.household)	世帯を作成し、世帯のメンバーを定義し、世帯メンバー間の関係を識別できます。
Playbook Experience Core (com.glide.playbook_experience.config)	シンプルなタスク指向のビューでビジネスプロセスワークフローを可視化し、操作できるようにします。

インストール済み ServiceNow Store アプリケーション

Healthcare and Life Sciences Service Management Core Store アプリケーションがインストールされていること

アプリケーション	説明
Playbook Experience コンポーネント (now_playbook_exp)	Playbook Experience コンポーネントにアクセスして、ページおよび Healthcare Workspace での UI ビルダー プロセス実行を表示および操作できるようにします。
Playbook Experience (sn_playbook_exp)	ビジネスプロセスワークフローをリアルタイムで表示して操作できます。
Customer Service Management 用 Playbooks (sn_csm_playbook)	Playbook Experience を有効にします CSM 構成可能ワークスペース。
Product Catalog Management Core (sn_prd_pm)	製品、サービス、リソースの仕様、およびそれらの仕様に基づく製品オファリングを定義するための基本 Product Catalog データモデルと機能が含まれています
業界コア (com.sn_ind)	業界アプリケーション用の共通オブジェクト、コードアーティファクト、および要求定義が含まれています。
CIWF UI コンポーネント (sn_ciwf_ui_cmpnt)	顧客および業界のワークフローアプリケーション用の一般的なテーマ、ウィジェット、およびコードアーティファクトが含まれています。
CMDB CI Class Models	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係 (該当する場合) を含む、CMDB クラス階層を拡張する医療デバイスのクラスモデルが含まれています。

自動翻訳

インストールされたジョブスケジュール

Healthcare and Life Sciences Service Management Core のスケジュール済みジョブのインストール

ジョブスケジュール	説明
期限切れのポリシー同意の非アクティブステータスを設定	ポリシーの有効期間が期限切れになったときに、ポリシー同意のステータスを非アクティブに設定します。

インストールされたビジネスルール

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
メンバープランの追加/更新	保険情報を更新 [sn_hcls_insurance_info_task]	更新後	支払タイプが保険に設定されている場合にメンバープランを更新します。
名前を自動入力	施術者 [sn_hcls_practitioner]	挿入および更新前	施術者 [sn_hcls_practitioner] テーブルの [名前] フィールドが設定されていない場合、接頭辞、名、ファミリー名、またはサフィックスフィールドから [名前] フィールドの値を入力します。
患者が自己負担を選択した場合の保険のクリア	保険情報を更新 [sn_hcls_insurance_info_task]	更新前	支払タイプが自己支払に設定されている場合に支払人フィールドを更新します。
設定されていない場合は患者のコンシューマーを作成します	患者 [sn_hcls_patient]	挿入後	患者が作成された後にコンシューマーレコードを作成し、患者レコードから [コンシューマー] フィールドを設定して、コンシューマーを患者に関連付けます。
投与量定義の作成	用量の仕様 [sn_hcls_dosage_specification]	挿入および更新前	投与量仕様の投与量定義を作成します。
投与量変数の作成	用量の仕様 [sn_hcls_dosage_specification]	挿入および更新前	仕様特性の投与量変数を作成します。

自動翻訳

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続
く)

ビジネス ルール	テーブル	ルー ル基 準	説明
アレルギー テーブ ルへの 患者の アクセ ス	アレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューでアレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy] テーブルを照会したときに、[アレルギー:前に表示が許可されました] クエリを実行します。
予約 テーブ ルへの 患者ア クセス	予約 [sn_hcls_appointment]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューでアレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy] テーブルを照会したときに、[アレルギー:前に表示が許可されました] クエリを実行します。
ケース テーブ ルへの 患者ア クセス	医療ケース [sn_hcls_case]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで医療ケース [sn_hcls_case] テーブルを照会したときに、医療ケース - クエリ前に表示することが許可されています。
請求 ヘッ ダー テーブ ルへの 患者ア クセス	請求ヘッダー [sn_hcls_claim_header]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで請求ヘッダー [sn_hcls_claim_header] テーブルを照会したときに、[請求ヘッダー - 前に表示することが許可されました (Claim headers - authorized to view before query)] を実行します。
請求ラ イン テーブ ルへの 患者ア クセス	請求明細 [sn_hcls_claim_line]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで請求明細 [sn_hcls_claim_line] テーブルをクエリしたときに、[請求明細:前に表示することが許可されました (Claim lines - authorized to view before query)] を実行します。
条件 テーブ ルへの 患者ア クセス	条件 [sn_hcls_condition]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで条件 [sn_hcls_condition] テーブルをクエリしたときに、条件 - クエリ前に表示権限があります (Conditions - authorized to view before query) を実行します。

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
診察 テーブルへの 患者ア クセス	診察 [sn_hcls_encounter]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで診察 [sn_hcls_encounter] テーブルをクエリしたときに、診察 - クエリ前に表示権限を付与 (Encounters - authorized to view before query) を実行します。
予防接 種テー ブルへ の患者 のアク セス	予防接種 [sn_hcls_immunization]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで予防接種 [sn_hcls_immunization] テーブルをクエリしたときに、[予防接種:前表示が許可されました] クエリを実行します。
薬剤 テーブ ルへの 患者ア クセス	薬剤 [sn_hcls_medication]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで投薬 [sn_hcls_medication] テーブルをクエリしたときに、投薬 - 前表示が許可されているクエリを実行します。
メン バープ ラン テーブ ルへの 患者ア クセス	メンバープラン [sn_hcls_member_plan]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューでメンバープラン [sn_hcls_member_plan] テーブルをクエリしたときに、クエリ前に表示することが許可されたメンバープランを実行します。
観察 テーブ ルへの 患者ア クセス	所見 [sn_hcls_observation]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで観察 [sn_hcls_observation] テーブルをクエリしたときに、観察事項 - クエリ前に表示することが許可されました (Observations - authorized to view before query) を実行します。
患者 テーブ ルへの 患者ア クセス	患者 [sn_hcls_patient]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで患者 [sn_hcls_patient] テーブルをクエリしたときに、クエリの前に自分が表す患者を実行します。
処置 テーブ ルへの	手順 [sn_hcls_procedure]	クエ リー 前	患者がリストまたはフォームビューで処置 [sn_hcls_procedure] テーブルを照会したときに、処置 - 前表示権限のある処置

自動翻訳

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
患者アクセス			(Procedures - authorized to view before query) を実行します。
期間を設定	診察 [sn_hcls_encounter]	挿入および更新前	診察 [sn_hcls_encounter] テーブルの start_time値とend_time値から、診察の期間を計算して設定します。
管理組織フィールドへの入力	場所 [sn_hcls_location]	挿入および更新前	管理組織を親の場所から設定します (まだ設定されていない場合)。
名前を入力	患者 [sn_hcls_patient]	挿入および更新前	患者 [sn_hcls_patient] テーブルの [名前] フィールドが設定されていない場合、接頭辞、名、ファミリー名、またはサフィックスフィールドから [名前] フィールドの値を入力します。
プライマリメンバープランを入力	保険情報を更新 [sn_hcls_insurance_info_task]	挿入前	保険情報の更新 [sn_hcls_insurance_info_task] テーブルの [プライマリメンバープラン] フィールドからメンバープラン情報を入力します。
有効期間から有効期限を設定	ポリシーの同意 (Policy consent) [sn_hcls_policy_consent]	挿入および更新前	同意が与えられた日付とポリシーの有効期間に基づいて、ポリシーの同意の有効期限の値を設定します。
開業医のNPIはユニークです	施術者 [sn_hcls_practitioner]	挿入および更新前	施術者 ID または NPI フィールド値が重複している場合は、挿入または更新操作を中止します。
ヘルスケアケースにコンシュー	医療ケース [sn_hcls_case]	挿入および更新前	医療ケースが作成または更新されたときに、医療ケース [sn_hcls_case] の [コンシューマー] フィールドをケースに関連付けられた患者に設定します。

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続
く)

ビジネス ルール	テーブル	ルー ル基 準	説明
マーを 設定			
ヘルス ケア 販売済 み製品 にコン シュー マーを 設定す る	ヘルスケア販売済み製品 [sn_hcls_sold_product]	挿入 およ び更 新前	医療販売済み製品 [sn_hcls_sold_product] テーブルの [コ ンシューマー] フィールドを患者のコン シューマー名に設定します。
登録日 を設定	登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program_service]	更新 前	登録済みプログラムのサービスステータス が [登録済み] に変更されたときに、[登録 日] フィールドの値を現在の日時に設定し ます。
登録日 を設定	登録プログラム [sn_hcls_enrolled_program]	更新 前	登録済みプログラムのステータスが [登 録済み] に変更されたときに、[登録日] フィールドの値を現在の日時に設定しま す。
履行日 の設定	登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program_service]	更新 前	登録済みプログラムのサービスステータス が [履行済み] に変更されたときに、[履行 日] フィールドの値を現在の日時に設定し ます。
変数か ら投与 量の詳 細を設 定	薬の処方箋 [sn_hcls_medication_prescription]	挿入 およ び更 新前	投薬処方箋の投与量特性から、 <i>DosageCharacteristicsMapper</i> スク リプトインクルードによってマッピング された投薬処方箋の投与量詳細の実際の フィールドに変数値をコピーします。
表示名 を設定	薬剤製品モデル [sn_hcls_meification_product]	挿入 およ び更 新前	医薬品の表示名を、フォームコードが付加 された製品モデル名に設定します。
管理組 織を場 所の組	施術者所在地 [sn_hcls_practitioner_facility]	挿入 およ	サービス組織 [sn_customer_service_organization]

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
織に設定		び更新前	テーブルの [組織] フィールドを場所の管理組織に設定します。
患者の自己負担を設定	保険情報を更新 [sn_hcls_insurance_info_task]	更新後	ケースステータスが [完了してクローズ] に変更され、支払タイプが [自己負担] として選択されている場合、[患者自己負担]、[保険検証済み]、および [事前認証完了] フィールドの値を true に設定します。
ポリシーによってポリシーの同意を非アクティブに設定する	患者 [sn_hcls_patient]	更新後	ポリシーのステータスが非アクティブに更新されたときに、ポリシー同意レコードを非アクティブに設定します。
プラクティショナーユーザーからユーザーを設定	施術者所在地 [sn_hcls_practitioner_facility]	挿入前	サービス組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルの [ユーザー] フィールドを施術者の [ユーザー] フィールドに設定します。
HC ケースのドキュメントフローをトリガー	医療ケース [sn_hcls_case]	挿入および更新後	ケース参照が入力として設定されているすべてのドキュメント決定を評価し、意思決定条件が満たされると、関連するドキュメントテンプレートのドキュメントワークフローを開始します。
患者からのコンシューマー情報	患者 [sn_hcls_patient]	更新後	関連する患者レコードから、コンシューマーレコードの [電話番号] フィールドと [メール] フィールドを設定します。

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
報の更新			
ドキュメントの更新が生成されました	添付ファイル [sys_attachment]	挿入後	医療ケース [sn_hcls_case] テーブルの [生成されたドキュメント] フィールドを、生成または添付されたドキュメントの名前で更新します。
投与量の指定でフィールドを更新	薬の処方箋 [sn_hcls_medication_prescription]	挿入および更新前	薬剤処方箋の投与量仕様から一次、二次、および三次診断フィールドの値を更新します。
保険契約の同意に基づいて患者を更新	患者 [sn_hcls_patient]	挿入後	新しく作成された患者レコードのポリシー同意レコードの患者名を更新します。
ポリシーの一意のドキュメントテンプレートを検証	ポリシー [sn_hcls_policy]	挿入および更新前	1 つのアクティブなポリシーのみがドキュメントテンプレートに関連付けられていることを検証します。
患者の検証と設定	医療タスク [sn_hcls_task]	挿入前	医療タスク [sn_hcls_task] テーブルに患者の値を設定します。
SSN の検証と設定	患者 [sn_hcls_patient]	挿入および更新前	患者 [sn_hcls_patient] テーブルの [社会保障番号] フィールドに最後の 4 桁のみが設定されていることを確認し、データベースの値を設定するために先頭に *** - ** を付加します。

Healthcare and Life Sciences Service Management インストールされるコアビジネスルール (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
関係を検証して登録者を更新	メンバープラン [sn_hcls_member_plan]	挿入および更新前	関係が [自己] に設定されている場合、患者に登録者を設定します。登録者が設定されている場合は、関係フィールドの値を検証します。

i 注:
クエリ前ビジネスルールの詳細については、「[クエリ前ビジネスルール](#)」を参照してください。

ヘルスケアとライフサイエンス データモデルテーブル

アプリケーションとともにインストールされる ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアテーブルを使用して、ワークフローのデータモデル、タスク、および製品オフリングを決定できます ヘルスケアとライフサイエンス。

データモデルの詳細については ヘルスケアとライフサイエンス、以下を参照してください [ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)。

アレルギー不耐症テーブル

アレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy] テーブルには、アレルギーまたは不耐症の臨床評価に関する情報が保存されます。特定の物質または物質のクラスへの将来の曝露に副作用をもたらす傾向、または個人への潜在的なリスク。

主な機能

- 患者に関連するアレルギーまたは不耐症を保存します。
- アレルギーコード、タイプ、カテゴリ、重要度、臨床状態、記録日、発症日が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

アレルギー不耐症フォームフィールド

フィールド	データタイプ	説明
発症年齢	文字列	個人が最初にアレルギーまたは不耐症を経験する年齢。
アレルギー	参照	アレルギーまたは不耐症の識別子。

アレルギー不耐症フォームフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
不耐症コード		
カテゴリ	選択リスト	<p>アレルギーまたは不耐症に関連する特定された物質のカテゴリ。</p> <p>デフォルトでは、次のカテゴリを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生物 • 環境 • 食品 • 薬 <p>使用可能なカテゴリの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている アレルギー不耐症カテゴリ」を参照してください。</p>
臨床状態	選択リスト	<p>臨床試験中のアレルギーまたは不耐性の状態。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • 非アクティブ • 解決済み <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている アレルギー不耐症の臨床状態」を参照してください。</p>
重要度	選択リスト	<p>特定された物質に対する反応の潜在的な臨床的危害または重篤性の推定。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高 • 低 • にアクセスできません <p>使用可能な型の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている アレルギー不耐症の重要度の種類」を参照してください。</p>
発症日	日付/時刻	アレルギーまたは不耐症が始まった日時。

アレルギー不耐症フォームフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
記録日	日付/時刻	アレルギーまたは不耐症の最初のバージョンがアプリケーションに記録された日付。
発生	参照	このアレルギー不耐症が主張されたヘルスケアイベント。
外部 ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
番号	文字列	アレルギー不耐症の英数字のプロファイル識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しいアレルギーまたは不耐症を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は ALLR00001001 です。 i 注: 番号をカスタマイズするには、アレルギー不耐症 [sn_hcls_allergy] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。
患者	参照	アレルギーまたは不耐症の患者。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
タイプ	選択リスト	反応リスクの根底にある生理学的メカニズム。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 ・アレルギー ・不寛容 使用可能な型の詳細については、「 FHIR 仕様で定義されているアレルギー不耐症型 」を参照してください。
検証ステータス	選択リスト	同定された物質に対する反応の傾向または潜在的なリスクに関連する確実性に関する主張。 デフォルトでは、次のステータスを使用できます。 ・確認済み ・入力ミス ・反論 ・未確認

アレルギー不耐症フォームフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		使用可能な状態の詳細については、「 FHIR 仕様で定義されている アレルギー不耐症の検証状態 」を参照してください。

予約テーブル

予約 [sn_hcls_appointment] テーブルには、医療機関の患者の予約の詳細が保存されます。

主な機能

- 患者に関連付けられた予約を保存します。
- 予約タイプ、ステータス、サービスタイプ、サービスカテゴリ、開始時間と終了時間、優先度、場所、および施術者が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

予約テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
実際の終了時間	日付/時刻	予約の実際の終了日時。
実際の開始時間	日付/時刻	予約の実際の開始日時。
追加コメント	文字列	予約時に提供された予約をサポートするための詳細情報または拡張情報。
予約 ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システムに入力された予約の識別子。
予約ステータス	選択リスト	予約のステータス。 デフォルトでは、次のステータスを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 到着 • 予約済み • キャンセル

予約テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • チェック イン日時 • 入力ミス • 履行済み • ノーショー (No show) • 保留中 • 提案済み • 順番待ちリスト <p>使用可能な状態の詳細については、「 FHIR 仕様で定義されている 予定の状態」を参照してください。</p>
予約タイプ	選択リスト	<p>スロットに予約されている予約または患者のスタイル。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 検診 • 緊急 • フォローアップ日時 • ルーチン • 散歩 <p>予定の種類の詳細については、「 FHIR 仕様で定義されている 予定の種類」を参照してください。</p>
ケース	参照	この予約に関連付けられたケース。
条件	参照	予約に関連付けられている条件。
説明	文字列	会議出席依頼または予約リストの件名に表示される予定の簡単な説明。
予約の期間	期間	予約の実際の期間。
ロケーション	参照	予約の場所。
番号	文字列	予約の英数字のプロファイル識別子。

予約テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<p>値は自動生成され、インスタンスに新しい予約を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は APPT00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、予約 [sn_hcls_appointment] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
観察事項	参照	予約に関連付けられた観察事項。
患者	参照	患者の名前
患者への指示	文字列	<p>予約に関する患者向けの情報。</p> <p>たとえば、紹介状を持参するか、前夜の午後8時から断食するように要求します。</p>
開業医	参照	<p>施術者として追加されたユーザー</p> <p>予約に関連付けられた施術者は、予約参加者 [sn_hcls_appointment_participant] テーブルで参照されます。</p>
優先度	参照	優先順位付けの変更が必要な場合に、情報に基づいた意思決定を行うために使用される予約の緊急度。
手順	参照	予約の一環として、患者に対して、患者とともに、または患者のために実行されるアクティビティ。
要求された終了時間	日付/時刻	患者が要求した予約の提案された終了日時。
要求された開始時間	日付/時刻	患者が要求した予約の提案された開始日時。
サービスカテゴリ	参照	<p>この予約中に実行されるサービスの大きなカテゴリ。</p> <p>サービス カテゴリの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている サービス カテゴリ」を参照してください。</p>

予約テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
サービスタイプ	参照	この予約中に実行される特定のサービス。 サービスの種類の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている サービスの種類 」を参照してください。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
専門分野	参照	この予約で要求されたサービスを実行するために必要な開業医の専門分野。

予約参加者テーブル

予約参加者 [sn_hcls_appointment_participant] テーブルには、開業医を含む予約の参加者の詳細が保存されます。

主な機能

- 予約に関連付けられた参加者の詳細を保存します。
- 予約名、開業医カテゴリ、参加者タイプ、および開業医 ID が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

予約テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
予約	参照	電子医療記録 (EMR) システムに入力された予約の識別子。
関係者タイプ	選択リスト	参加者のタイプ。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 組織 • 開業医 • 紹介患者
開業医 ID	参照	EMR システムに入力された施術者の識別子。
開業医カテゴリー	選択リスト	開業医のカテゴリー デフォルトでは、次のカテゴリーを使用できます。

予約テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • 出席 • コンサルティング • 委託プロバイダー • 外科スタッフ • 訪問

属性テーブル

属性 [sn_hcls_characteristic_attribute] テーブルには、医療要求を送信するときに患者が選択したプログラムまたはプログラムサービスに関連付けられた特性オプションが格納されます。

主な機能

- エンティティを医療ケースタイプに関連付けます。
- プログラム [sn_hcls_program]、プログラムサービス [sn_hcls_program_service]、特性 [sn_prd_pm_characteristic]、特性オプション [sn_prd_pm_characteristic_option]、および医療ケースタイプテーブル間の関連付けを保存します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

予約テーブル

予約 [sn_hcls_book_appt_task] テーブルには、医療ケースまたはその拡張ケースタイプに関連付けられた予約のタスク詳細が保存されます。

主な機能

- 医療タスク [sn_hcls_task] テーブルを拡張して、医療ケースまたはその拡張ケースタイプに関連付けられた予約用に作成されたタスクの詳細を保存します。
- タスク番号、簡単な説明、アサイン先グループ、患者、処置、施術者、親ケース、およびタスクステータスが含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

予約テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アサイン先グループ	参照	予約タスクがアサインされたメンバーのグループ。

予約テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
番号	文字列	<p>予約タスクの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい予約タスクを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は APPTS00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、[予約] [sn_hcls_book_appt_task] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
患者	参照	患者の名前
親ケース	参照	予約タスクに関連付けられた医療ケースまたはその拡張ケースタイプ。
開業医	参照	施術者として追加されたユーザー
手順	参照	予約の一環として、患者に対して、患者とともに、または患者のために実行されるアクティビティ。
簡単な説明	文字列	予約タスクの簡単な説明。
ステータス	選択リスト	<p>予約タスクのステータス。</p> <p>予約の次のタスクステータスは、デフォルトで利用可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャンセル • 完了 • 要求済み

請求診断テーブル

請求診断テーブル [sn_hcls_claim_diagnosis] には、請求の診断情報が保存されます。

主な機能

- 請求で使用する診断コードを保存します。
- 請求情報と診断情報の両方が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

請求診断テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
請求	参照	患者に代わって支払人組織に送信された関連請求。
請求明細	参照	請求ヘッダーに関連するアイテムの詳細を含む関連請求明細。
診断コード	参照	医療従事者の診断を示すために使用されるコード。

請求ヘッダーテーブル

請求ヘッダー [sn_hcls_claim_header] テーブルには、患者に代わって支払人組織に送信されたメイン請求の詳細が保存されます。

このテーブルには次の機能があります。

- 患者に代わって支払人組織に送信されたメイン請求を保存します。
- 複数の請求明細を含めることができます。
- 支払者、取引制御番号、タイプ、ステータス、患者、メンバープラン、医療記録番号、口座番号、およびさまざまな日付と金額が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

請求ヘッダーテーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
裁定金額	通貨	プライマリ支払人がサービスに対して支払った調整済み金額。
請求済み DRGコード	文字列	請求済診断関連グループの診断関連グループ(DRG)コード。
請求金額	通貨	請求とともに送信された元の金額。

請求ヘッダーテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
受諾日	日付	支払人組織が請求を受理した日付。
裁定日	日付	請求に対する支払いが裁定された日付。
支払い日	日付	支払人組織によって請求が支払われた日付。
送信日	日付	請求が支払人組織に送信された日付。
手数料減額	通貨	元の請求金額と調整済み支払金額の差額。
カルテ番号	文字列	電子カルテ (EMR) システムに入力された患者の医療記録番号 (MRN)。
メンバープラン	参照	患者に関連付けられたメンバープラン。
名前	文字列	要求ヘッダーを識別する名前。
番号	文字列	<p>要求ヘッダーの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい要求ヘッダーを追加するたびにインクリメントされます。[数値] フィールドの初期値は CLAIMHDR00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、請求ヘッダー [sn_hcls_claim_header] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
支払額	通貨	患者が支払う金額。
患者	参照	代理で請求が提出された患者。

請求ヘッダーテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
患者アカウント番号	文字列	EMR システムに入力された患者アカウント番号。
患者支払金額	通貨	患者が負担する金額。
支払人	参照	支払人組織としてリストされている会社の名前。
事前承認ヘッダー	参照	関連する事前承認要求。
注釈	文字列	請求に関するコメントまたは追加情報。
サービスプロバイダー	参照	患者にサービスを提供した開業医。
サービスプロバイダー ID	文字列	患者に製品またはサービスを提供した施術者の識別子。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
ステータス	選択リスト	請求のステータス。 デフォルトでは、次のステータスを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • キャンセル • 拒否 • ドラフト • 入力ミス • 保留中 • 有料 • 一時停止

請求ヘッダーテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 要求の状態 」を参照してください。
トランザクション制御番号	文字列	支払人システム内の請求の一意の識別子。
タイプ	選択リスト	<p>請求のタイプ。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 機関 • 経口 • 薬剤 • プロフェッショナル • 視覚 <p>使用可能な要求の種類の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 要求の種類」を参照してください。</p>

請求明細テーブル

請求明細 [sn_hcls_claim_line] テーブルには、請求ヘッダーに関連するアイテムの詳細が保存されます。

主な機能

- 請求ヘッダーに関連するアイテムを格納します。
- 支払人、プロバイダー制御番号、明細タイトル、明細番号、親請求、明細ステータス、関連手順、場所、施術者、サービスの開始日と終了日、各種金額、およびコードが含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

請求品目テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
裁定金額	通貨	請求ラインに関連付けられたサービスに対して支払われた調整済み金額。

請求品目テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
請求	参照	請求明細に関連付けられた元の請求。
コード修飾子	文字列	定義を変更せずにプロシージャコードを詳細に記述するのに役立つ修飾子。
コメント	文字列	コラムラインに関する追加情報。
日数/単位	文字列	提供されたサービスの日数または単位数。
例外コード	文字列	クレームラインに関連付けられた例外コード
手数料の削減	通貨	元の請求金額と調整済み支払金額の差額。
行番号	文字列	請求で送信されたサービスを区別するための連番。
明細ステータス	選択リスト	請求全体ではなく請求明細のステータス。 デフォルトでは、次のステータスを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • キャンセル • 拒否 • ドラフト • 入力ミス • 保留中 • 有料 • 一時停止

請求品目テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 要求の状態 」を参照してください。
明細行タイトル	文字列	請求明細を識別する名前。
ロケーション	参照	サービスが実施された場所。
国内麻薬コード	文字列	National Drug Code (NDC) の請求ガイドラインで特定されている、サービスに含まれる医薬品のコード。
番号	文字列	請求明細の英数字のプロファイル識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しい請求明細を追加するたびにインクリメントされます。[数値] フィールドの初期値は CLAIMLN00001001 です。 i 注: 番号をカスタマイズするには、請求明細 [sn_hcls_claim_line] テーブルの自動採番形式を定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。
元のトランザクション制御番号	文字列	支払人システム内の元の請求の一意の識別子。
支払額	通貨	支払総額または請求ラインに関連付けられたサービス。
プロシージャ・コード	参照	請求に関連付けられた特定の手順を識別するコード。コードは、Current Procedural Terminology (CPT) または Healthcare Common Procedure Coding System (HCPCS) コーディング システムに基づいています。 使用可能なコードの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている プロシージャ コード 」を参照してください。
プロバイダー制御番号	文字列	追跡および請求の目的でサービスプロバイダーによってサービスに割り当てられた番号。

請求品目テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
収益コード	文字列	請求明細行に関連付けられた収益グループコード
サービス終了日	日付	請求明細のサービス終了日。
サービス価格	通貨	請求明細に関連付けられたサービスの価格。
サービスプロバイダー	参照	患者にサービスを提供した開業医。
サービス開始日	日付	請求明細のサービス開始日。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
歯のコード	文字列	サービスが実行された歯のコード。 歯科医療従事者にのみ適用されます。

条件テーブル

状態 [sn_hcls_condition] テーブルには、懸念レベルに達した状態、問題、診断、またはその他のイベント、状況、問題、または臨床概念に関する情報が保存されます。

主な機能

- 患者が報告または診断した可能性のある病状または疾患を保存します。
- コンディションコード、解剖学的位置、カテゴリ、臨床状態、記録日、発症日が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

条件テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
解剖学的位置	参照	状態が現れた身体部位。
カテゴリ	選択リスト	<p>条件のカテゴリ。</p> <p>デフォルトでは、次のカテゴリを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 診断 • 問題 <p>使用可能なカテゴリの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 条件カテゴリ」を参照してください。</p>
臨床状態	選択リスト	<p>-臨床試験中の被験者の状態。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • 非アクティブ • 繰り返し • 再発 • 赦し • 解決済み <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 条件の臨床状態」を参照してください。</p>
条件コード	参照	状態、問題、または診断の識別子。
記録日	日付/時刻	<p>条件が最初にアプリケーションに記録された日時。</p> <p>このフィールドは自動的に現在の日時に設定されます。</p>
発生	参照	この条件が作成された、またはこのレコードの作成が密接に関連しているヘルスケアイベント。

条件テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
外部識別子	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
番号	文字列	<p>条件の英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい条件を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は COND00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、条件 [sn_hcls_condition] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
発症年齢	文字列	個人が病気や障害の状態または症状を獲得、発症、または最初に経験する年齢。
発症日	日付/時刻	臨床医の意見では、状態が始まった日時。
患者	参照	条件レコードに関連付けられた患者。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
検証ステータス	選択リスト	<p>条件の臨床ステータスをサポートまたは拒否する検証ステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 確認済み • 差分 • 入力ミス • プロビジョン • 反論 • 未確認 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 条件検証状態」を参照してください。</p>

投与量定義テーブル

投与量定義 [sn_hcls_dosage_definition] テーブルは、要求定義パラメーターとして使用するための投与量仕様 [sn_hcls_dosage_specification] テーブルをモデル化します。

主な機能

- 要求定義 [sn_ind_request_definition] テーブルを拡張します。
- 投与量指定 [sn_hcls_dosage_specification] テーブルを参照します。
- 投薬処方箋の詳細、投与量仕様の公開ステータス、投与量指定に関連付けられたプログラム、および投与量仕様 [sn_hcls_dosage_specification] テーブルに保存されている診断の詳細が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

投与量定義テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	投与量の指定を有効にするためのオプション。
説明	文字列	投与量の指定に関する追加情報。
投与量の定義	参照	投与量指定 [sn_hcls_dosage_specification] テーブルをモデル化します。
医薬品	参照	患者に処方されている医薬品。
名前	文字列	投与量の指定を識別する名前。
一次診断	参照	要求された医療サービスの理由として開業医によって提出された患者の主な状態。
プログラム	参照	医薬品に関連するプログラム、
二次診断	参照	開業医が提出した患者に存在する可能性のある共存状態。

投与量定義テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
ステータス	文字列	投与量指定のステータス。 投与量の仕様を公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。投与量の仕様を既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済] に設定されます。
三次診断	参照	施術者が患者様に推奨する専門性の高い医療。

投与量指定表

投与量指定 [sn_hcls_dosage_specification] テーブルには、プログラムに関連付けられた医薬品投与量に関する情報が保存されます。

主な機能

- 仕様 [sn_prd_pm_specification] テーブルを拡張します。
- 仕様特性 [sn_prd_pm_specification_characteristic] テーブルと 1 対多の関係があります。
- 投薬処方箋の詳細、投与量指定の公開ステータス、投与量指定に関連付けられたプログラム、および診断の詳細が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

投与量指定テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	投与量の指定を有効にするためのオプション。
説明	文字列	投与量の指定に関する追加情報。
投与量の定義	参照	投与量指定 [sn_hcls_dosage_specification] テーブルをモデル化します。
医薬品	参照	患者に処方されている医薬品。

投与量指定テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
名前	文字列	投与量の指定を識別する名前。
一次診断	参照	要求された医療サービスの理由として開業医によって提出された患者の主な状態。
プログラム	参照	医薬品に関連するプログラム、
二次診断	参照	開業医が提出した患者に存在する可能性のある共存状態。
ステータス	文字列	投与量指定のステータス。 投与量の仕様を公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。投与量の仕様を既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済] に設定されます。
三次診断	参照	施術者が患者様に推奨する専門性の高い医療。

投与量変数テーブル

投与量変数 [sn_hcls_dosage_variable] テーブルには、アプリケーションの薬剤処方箋フォームヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 に表示される投与量仕様用に構成された変数が格納されます。

主な機能

- 変数 [var_dictionary] テーブルを拡張します。
- 投与量定義 [sn_hcls_dosage_definition] テーブルを参照します。
- 投与量の指定に追加されるときに変数を含めます。たとえば、数量、許可された補充の数、患者の指示、投与量、および 1 日あたりの最大投与量などです。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

診察テーブル

診察 [sn_hcls_encounter] テーブルには、医療サービスを提供したり、患者の健康状態を評価したりするための、患者と医療提供者とのやり取りに関する情報が保存されます。

主な機能

- 患者が開業医と遭遇したすべての情報を保存します。
- 診察タイプ、サービスタイプ、プラクティショナー、診察の場所、診察の開始時刻と終了時刻が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

診察テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
予約	参照	予約が履行済みとしてマークされ、診察にリンクされています。
期間	期間	参加者が参加した診察中の時間。 このフィールドは、診察の開始時間と終了時間の間の期間に自動的に設定されます。
診察タイプ	参照	診察のタイプ。
終了時間	日付/時刻	診察への患者の参加が終了した日時。
外部 ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
ロケーション	参照	診察が行われる医療機関の場所。
番号	文字列	診察の英数字のプロファイル識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しい診察を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は ENC00001001 です。 注: 番号をカスタマイズするには、診察 [sn_hcls_encounter] テーブルの自動番号付けフォーマットを定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。
親との出会い	参照	診察に関連付けられた親の健康イベント。

診察テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
患者	参照	診察に関与した患者。
開業医	参照	出会いに関わった開業医。
優先度タイプ	参照	優先順位付けの変更が必要な場合に情報に基づいた意思決定を行うために使用される診察の緊急度。
サービスプロバイダー	参照	診察に含まれるサービスを担当する医療機関。
サービスタイプ	参照	提供されるサービスの大まかなカテゴリ。 使用可能な型の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている サービスの種類 」を参照してください。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
開始時間	日付/時刻	診察への患者の参加が始まった日時。
ステータス	選択リスト	診察のステータス。 デフォルトでは、次のステータスを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 到着 • キャンセル • 入力ミス • 完了 • 対応中 • 休暇中 • 計画 • トリアージ • 不明 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 遭遇状態」を参照してください。</p>

登録済みプログラムテーブル

登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program] テーブルには、患者が登録されたプログラムが保存されます。

主な機能

- インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを、サポートされているすべての登録済みプログラムに拡張します。
- 患者に販売された登録済みプログラムを保存します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

登録済みプログラムテーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
登録日	日付	患者がプログラムに登録された日付。
Date Requested	日付	患者がプログラムへの登録を要求した日付。
ステータス	整数	登録プログラムのステータス。 ステータスは次のいずれかのタイプです。 <ul style="list-style-type: none"> • キャンセル • 登録済み • 履行済み • 履行待ち • 却下 • 要求済み
番号	文字列	登録済みプログラムの英数字のプロファイル識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しい観測事象を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は ENPG00001001 です。 i 注: 番号をカスタマイズするには、登録済みプログラム [sn_hcls_enrolled_program] テーブルの自動番号付けフォーマットを定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。

登録済みプログラムテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
患者	参照	患者としてプログラムに登録されているコンシューマー。
プログラム名	参照	登録済みプログラムを識別する名前。

登録済みプログラムサービステーブル

登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program_service] テーブルには、プログラム登録プロセスの一環として患者に提供されるプログラムサービスが保存されます。

主な機能

- インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを、サポートされているすべての登録済みプログラムサービスに拡張します。
- 患者に販売された登録済みプログラムサービスを保存します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

登録済みプログラムサービステーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
登録日	日付	患者がプログラムサービスに登録された日付。
履行日	日付	患者に対してサービスが履行された日付。
要求日	日付	患者がサービスを要求した日付。
ステータス	整数	Enrollment Program サービスのステータス。 ステータスは次のいずれかのタイプです。 <ul style="list-style-type: none"> • キャンセル • 登録済み • 履行済み

登録済みプログラムサービステーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • 履行待ち • 却下 • 要求済み
番号	文字列	<p>登録済みプログラムサービスの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい観測事象を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は ENSRV00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、登録済みプログラムサービス [sn_hcls_enrolled_program_service] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
患者	参照	患者としてプログラムに登録されているコンシューマーまたはアカウント。
プログラムサービス	参照	登録済みプログラムサービスを識別する名前。

医療ケーステーブル

医療ケース [sn_hcls_case] テーブルは抽象テーブルであり、医療関連ケースを格納する拡張可能です。

主な機能

- ケース [sn_customerservice_case] テーブルを拡張して、患者に関連付けられたすべての医療ケースを保存します。詳細については、「[Customer Service Management とともにインストールされるテーブル](#)」を参照してください。
- オプションのフィールドとして [患者] フィールドと患者 [sn_hcls_patient] テーブルへの参照を含めます。詳細については、「[患者テーブル](#)」を参照してください。
- 薬剤プログラムの登録、臨床試験の登録、請求照会、患者の予約要求などのヘルスケアケースタイプを有効にします。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

医療コードセットテーブル

医療コードセット [sn_hcls_code_set] テーブルには、インスタンスで利用可能なコードセットの詳細が保存されます ServiceNow 。

主な機能

- 医療の専門分野、サービス、処置、診察などを含む HL7 ベースのデータテーブルを有効にします。
- すべての HL7 データを、属性 type、code、および name を持つコードセットにグループ化できるようにします。
- デフォルトでは、次の HL7 ベースのデータテーブルがサポートされます。
 - ケア専門分野 [🔗](#)
 - 条件 [🔗](#)
 - 観察事項 [🔗](#)
 - 手順 [🔗](#)
 - アレルギー不耐症 [🔗](#)
 - 発生 [🔗](#)
 - 本文部位 [🔗](#)
 - サービスタイプ [🔗](#)
 - サービスカテゴリ [🔗](#)
 - 優先度 [🔗](#)
 - 薬剤コード [🔗](#)
 - 薬剤フォームコード [🔗](#)
 - 開業医タイプ [🔗](#)

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

医療コードセットテーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
コード	文字列	記号、式、またはその両方を含むコード値。
コードシステム ID	文字列	コード・セットを保持するシステムの ID。
コード・システム名	文字列	コード・セットを保持しているシステムの名前。
外部識別子	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
名前	文字列	コードを識別する名前。

医療コードセットテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
タイプ	選択リスト	<p>健康測定、観察、およびドキュメントを識別するための識別子、名前、およびコードのセットを含む共通言語。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アレルギー不耐症 • 本文部位 • ケア専門分野 • 条件 • 発生 • 言語コード • 薬剤コード • 薬剤フォームコード • 観察事項 • 開業医タイプ • 手順 • 優先度 • サービスカテゴリ • サービスタイプ <p>使用可能なコード セットの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている すべての型」を参照してください。</p>

医療の場所テーブル

医療の場所 [sn_hcls_location] テーブルには、医療機関に関連付けられた場所の詳細が保存されます。

主な機能

- サイト、病院の建物、研究所、駐車場、患者の自宅など、さまざまな物理タイプの場所をモデル化します。
- 1 つの場所に複数の場所を含めることができます。
- 処置、ケアの専門分野、および条件の関連リストは、コードセット場所 [sn_hcls_codeset_location] テーブルを介して作成されたレコードに対して表示されます。
- 医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] テーブルを介してデバイスとマッピングします。
- 施術者の場所 [sn_hcls_practitioner_facility] テーブルを介した施術者とのマップ。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

医療の場所テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
高度	浮動小数点数	絶対地理的位置の高度。
市区町村	文字列	物理的な場所がある市区町村。
国	文字列	物理的な場所がある国。
説明	文字列	名前以外に場所を識別するための追加情報として表示できる、場所に関する詳細。
FAX	電話番号	物理的な場所のファックス番号。
内部	True/False	場所が内部使用であることを示すオプション。
緯度	浮動小数点数	絶対的な地理的位置の緯度。
ロケーション	参照	この医療機関の場所の物理的な場所。 ここで選択されたエント리는、アドレスフィールドに入力されます。
場所 ID	文字列	物理的な場所の一意の識別子。
経度	浮動小数点数	絶対的な地理的位置の経度。
名前	文字列	医療機関の場所を識別する名前。
管理組織	参照	この場所を管理する組織。
親の場所	参照	この場所に関連付けられた親の場所のSys_id。
電話	電話番号	物理的な場所の電話番号。
物理タイプ	選択リスト	場所の物理的形態。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。

医療の場所テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • エリア • ベッド • 建物 • キャビネット • 廊下 • 管轄 • レベル • 部屋 • 道路 • サイト • 車両 • 翼 • 区 <p>使用可能な物理型の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 場所の種類」を参照してください。</p>
州/都道府県	文字列	物理的な場所の所在地である州または都道府県。
ステータス	選択リスト	<p>医療機関の場所が使用されているかどうかを示すオプション。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • 非アクティブ • 一時停止 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 場所の状態」を参照してください。</p>
番地	2 行テキスト エリア	物理的な場所の郵送先番地。
Web サイト	URL	関連付けられた組織の Web サイトの URL。
郵便番号	文字列	物理的な場所の郵便番号。

医療組織テーブル

医療機関 [sn_hcls_organization] テーブルには、インスタンス内の医療機関の詳細が保存されます ServiceNow。

主な機能

- 医療提供者や支払者など、さまざまなタイプの医療機関をモデル化します。
- 医療機関に他の医療機関を含めることができ、複数の場所を含めることもできます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

医療組織テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
事業所	参照	関連する事業所。
市区町村	文字列	組織が存在する市。
FAX	電話番号	組織のファックス番号。
内部	True/False	組織が内部であることを示すオプション。
名前	文字列	医療機関を識別する名前。
メモ	文字列	組織に関する有用な情報。
組織 ID	文字列	組織の一意の識別子。
組織タイプ	選択リスト	<p>代表する医療機関のタイプ。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 臨床研究スポンサー • コミュニティグループ • 教育機関 • 政府 • 医療機関 • 病院の診療科 • 非ヘルスケア事業 • 組織チーム

医療組織テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • その他 • 支払人 • 製薬会社 • 宗教施設 <p>使用可能な組織の種類の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている組織の種類」を参照してください。</p>
親	参照	組織に関連付けられた親組織。
電話	電話番号	組織の電話番号。
州/都道府県	文字列	組織が所在する都道府県。
番地	2 行テキストエリア	組織の番地。
郵便番号	文字列	組織の郵便番号。

医療タスクテーブル

医療タスク [sn_hcls_task] テーブルは抽象テーブルであり、医療機関内の医療ケースまたは患者に関連付けられたタスクの詳細を保存する拡張可能です。

主な機能

- タスク [task] テーブルを拡張して、患者または医療ケースに関連付けられたすべての医療タスクを保存します。詳細については、「[タスク テーブル](#)」を参照してください。
- 患者 [sn_hcls_patient] テーブルへの参照として [患者] フィールドを含めます。詳細については、「[患者テーブル](#)」を参照してください。
- 予約や保険情報の更新など、医療タスクタイプを有効にします。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

予防接種テーブル

予防接種 [sn_hcls_immunization] テーブルには、患者がワクチンを投与されたイベントに関する情報、または患者、臨床スタッフ、または第三者によって報告された予防接種の記録が保存されます。

主な機能

- インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを拡張して予防接種の詳細を保存します。
- 接種したワクチン、投与日、推奨用量、投与回数、投与場所、投与した開業医、ワクチンが投与された条件など、患者に関連付けられたすべての予防接種データを保存します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

予防接種テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
管理者	参照	患者を投与した開業医。
管理経路	選択リスト	<p>ワクチンが投与されたルート。</p> <p>デフォルトでは、次のルートを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 皮内 • 筋肉 • 静脈 • 鼻 • 経口 • 経皮 • 皮下 • 経皮 <p>使用可能なルートの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 予防接種ルート」を参照してください。</p>
本文部位	選択リスト	<p>ワクチンが投与された身体部位。</p> <p>既定では、次の本文サイトを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 左腕 • 左三角筋 • 中臀筋左臀筋 • 左前腕下部 • 左太もも • 左外側広筋 • 右腕 • 右三角筋

予防接種テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • 右太もも • 右中臀筋 • 右前腕下部 • 右外側広筋 <p>体の部位の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 予防接種部位」を参照してください。</p>
投与日	日付/時刻	ワクチンが投与された日時。
線量番号	整数	ワクチンシリーズ内の投与シーケンス番号。
投与量	文字列	患者に投与された投与量。
発生	参照	予防接種が一環だった出会い。
外部 ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
医療機関の場所	参照	ワクチンが投与された、または投与される予定だったサービス提供場所。
番号	文字列	<p>予防接種の英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい免疫を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は IMM00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、予防接種 [sn_hcls_immunization] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
観察事項	参照	予防接種に関連する観察。
患者	参照	ワクチンを接種し、投与されている患者。

予防接種テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
ワクチン製品	参照	投与されている患者に販売されたワクチン製品。
推奨用量。	整数	免疫を獲得するための推奨投与回数。
ステータス	選択リスト	<p>予防接種のステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 完了 • 入力 that 正しくありません • 未完了 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 予防接種状態」を参照してください。</p>
ステータスの理由	文字列	ワクチンが投与されなかった理由の説明。
対象疾患	参照	投与されているワクチンで予防可能な疾患。
ワクチンの有効期限	日付	ワクチン製品の有効期限が切れる日付。
ワクチンロット番号	文字列	ワクチン製品のロット番号。
ワクチンメーカー	文字列	ワクチン製品のメーカー。

投薬テーブル

投薬 [sn_hcls_medication] テーブルには、投薬の処方、調剤、管理、および投薬の使用に関するステートメントの作成を目的とした投薬に関する情報が格納されます。

主な機能

- インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを拡張して、患者に関連付けられた薬剤の詳細を保存します。
- 薬剤名、開始日と終了日、ステータス、投与された条件、関連付けられている可能性のある処置など、患者が受け取ったすべての薬剤を保存します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

薬剤テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
条件	参照	薬剤が投与されている状態。
投与日	日付/時刻	薬剤が投与された日時。
発生	参照	投薬が投与された一環としての関連する出会い。
終了日	日付	患者が薬剤の服用を完了した日付。
外部ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
番号	文字列	<p>投薬の英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい薬剤を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow。[数値] フィールドの初期値は MED00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、薬剤 [sn_hcls_medication] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
観察事項	参照	投薬に関連する観察。
患者	参照	薬を投与され、投与されている患者。
手順	参照	投薬が投与されている手順。

薬剤テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
医薬品	参照	患者に販売された薬。
親の薬剤	参照	投薬製品に関連付けられた親の投薬製品。
理由コード	文字列	投薬が投与された理由を表すシステム定義のコード。
理由の説明	文字列	薬剤が投与された理由。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
開始日	日付	患者が薬の服用を開始した日付。
ステータス	選択リスト	<p>投薬のステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了 入力ミス 対応中 未完了 保留中 停止 不明 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 投薬状態」を参照してください。</p>
ステータスの理由	文字列	選択したステータスの説明。

投薬処方箋テーブル

投薬処方箋 [sn_hcls_medication_prescription] テーブルには、患者のために注文した処方箋に関する情報が保存されます。

主な機能

薬の処方箋の詳細、処方箋ステータス、投与量、および診断の詳細が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

薬剤処方箋テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ケース	参照	薬の処方箋に関連付けられた親ケース。
日数供給	整数	薬剤が処方される日数。
作成日	日付/時刻	処方箋が書かれた日時。
用法・	文字列	医薬品の投与量に関する指示。
外部識別子	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
医薬品	参照	患者に処方されている医薬品。
番号	文字列	登録済みプログラムの英数字のプロファイル識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しい観測事象を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は MEDPR00001001 です。 i 注: 番号をカスタマイズするには、薬剤処方箋 [sn_hcls_medication_prescription] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。

薬剤処方箋テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
組織	参照	処方箋を担当する医療提供者。
患者	参照	薬剤を投与する患者の名前。
開業医	参照	患者の処方箋を注文した施術者の名前。
一次診断	参照	要求された医療サービスの理由として開業医によって提出された患者の主な状態。
事前処方箋	参照	患者のために以前に注文された処方箋。
優先度	選択リスト	優先する必要がある場合に情報に基づいた意思決定を行うために使用される処方箋の緊急度。
数量	10 進数	1 回の充填で指定された薬剤の数量。
参照投薬イベント	参照	患者と医療従事者の間の接触の発生を識別する診察。
リフィル	整数	薬剤の認可された補充の数。
二次診断	参照	開業医が提出した患者に存在する可能性のある共存状態。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
ステータス	選択リスト	注文された処方箋のステータス。 デフォルトでは、次のステータスを使用できます。

薬剤処方箋テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • ドラフト • キャンセル • 完了 • 入力ミス • 期限切れ • 保留中 • 停止 • 不明 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 薬の処方状態」を参照してください。</p>
ステータスの理由	文字列	選択したステータスの説明。
三次診断	参照	施術者が患者様に推奨する専門性の高い医療。
有効開始日	日付	処方箋の有効期間の最も早い時刻。
有効終了日	日付	処方箋の有効期間の最も遅い時刻。

医療デバイスインストールベースアイテムテーブル

医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] テーブルには、医療ケースまたはその拡張ケースタイプに関連付けられた医療デバイスの詳細が保存されません。

主な機能

- インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを拡張して、医療ケースまたはその拡張ケースタイプに関連付けられた医療デバイスの詳細を表示します。
- 名前、構成アイテム、サービス組織、リスクスコア、および保護された健康情報 (PHI) 指示の詳細が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

インストールベースアイテムテーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
構成アイテム	参照	インストールベースアイテムとして保存されている医療デバイス。
名前	文字列	医療機器を識別する名前。
番号	文字列	医療デバイスの英数字のプロファイル識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しい医療デバイスを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は IBITM0001001 です。 i 注: 番号をカスタマイズするには、医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。
保護された健康情報 (PHI)	True/False	医療機器が保護対象の健康情報 (PHI) アイテムかどうかを示すオプション。
リスクスコア	文字列	医療デバイスに対して計算された評価。
シリアル番号	文字列	医療デバイスのシリアル番号。
サービス組織	参照	医療機器の場所。
ステータス	選択リスト	医療機器の設置ステータス。 医療デバイスの次のインストールステータスは、デフォルトで利用できます。 <ul style="list-style-type: none"> 不在 キャンセル メンテナンス中 インストール日

インストールベースアイテムテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • インストール待ち • 廃止 • 盗難

メンバー・プラン・テーブル

メンバープラン [sn_hcls_member_plan] テーブルには、患者に関連付けられた健康保険プランの詳細が保存されます。

主な機能

- インストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルを拡張して、メンバー計画の詳細を保存します。
- メンバー番号、グループ番号、購入した支払人プラン、プランの開始日と終了日など、患者に関連付けられた健康保険データをモデル化します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

メンバー・プラン・テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
適用開始日	日付	メンバープランが有効になる開始日。
適用終了日	日付	メンバープランの有効期間が終了する終了日。
外部識別子	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
グループ番号	文字列	メンバーのグループ番号またはポリシー番号。
メンバー	参照	関連付けられたメンバーの姓と名。
メンバー番号	文字列	医療提供者が保険の適用範囲を確認し、サービスの支払いを手配できるようにする、患者の一意の ID 番号。

メンバー・プラン・テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
番号	文字列	メンバープランの英数字のプロファイル識別子。
患者	参照	プランの名前に含まれる患者の名前。
計画の優先度	文字列	計画の優先度。 計画の優先度は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> プライマリ:患者がサブスクライバーであり、患者に他のプランがないかのように使用される最初のメンバープラン。 セカンダリ:患者が扶養家族としてリストされている 2 番目のメンバープラン。 ターシャリ: 患者に対して請求される 3 番目のメンバープラン。第 3 計画は、第 1 計画と第 2 計画が正常に処理された後に使用されます。
支払人プラン	参照	患者が作成したメンバープラン。
登録者との関係	参照	依存メンバーとサブスクライバーの関係。
Rx ビン	文字列	処方薬の払い戻し方法と薬局が払い戻し請求を送信できる場所を特定するための番号。
Rx グループ	文字列	処方箋給付の処理に使用されるメンバープランの英数字または数値。
Rx PCN	文字列	薬局の払い戻しのルーティングに使用される処理担当者制御番号 (PCN)。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
登録者	参照	登録者の患者レコード。

観察事項テーブル

観察 [sn_hcls_observation] テーブルには、患者に関する測定値と簡単なアサーションに関する情報が格納されます。

主な機能

- 患者に関する観察事項を保存します。
- ステータス、カテゴリ、観察日、解剖学的位置、観察を記録した開業医が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

観察事項テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
解剖学的位置	参照	観察の身体部位。
カテゴリ	選択リスト	<p>高レベルの観察事項カテゴリ。</p> <p>デフォルトでは、次のカテゴリを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティビティ • 試験 • イメージング • 研究室 • 手順 • 社会歴 • サーベイ • 療法 • バイタルサイン <p>使用可能なカテゴリの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 監視カテゴリ」を参照してください。</p>
観測日	日付/時刻	観察事項が最初にアプリケーションに記録された日時。
発生	参照	観察事項に関連するヘルスケアイベント。
外部ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
番号	文字列	観察事項の英数字のプロファイル識別子。

観察事項テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<p>値は自動生成され、インスタンスに新しい観測事象を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は OBSV00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、観察事項 [sn_hcls_observation] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
観察事項	参照	<p>観察事項タイプのコード。</p> <p>使用可能なコードの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている オブザーベーション コード」を参照してください。</p>
組織	参照	観察事項を担当する組織。
患者	参照	観察されている患者。
開業医	参照	観察を担当する開業医。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
ステータス	選択リスト	<p>観察事項のステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 修正済み • 最終 • 予備 • 登録済み <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 監視状態」を参照してください。</p>
検証ステータス	選択リスト	<p>状態または診断の臨床ステータスをサポートまたは拒否するための検証ステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 確認済み • 差分 • 入力ミス

観察事項テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • プロビジョン • 反論 • 未確認 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 条件検証状態」を参照してください。</p>

患者テーブル

患者 [sn_hcls_patient] テーブルには、医療機関の患者の詳細が保存されます。

主な機能

- コンシューマープロフィール [sn_csm_consumer_profile] テーブルを拡張します。
- データモデルの中心的なオブジェクト ヘルスケアとライフサイエンス である患者の詳細を保存します。
- 姓、名、生年月日、性別、プライマリおよびセカンダリメール、自宅、職場、携帯電話、社会保障番号などの基本的な患者情報を保存します。
- コンシューマー [csm_consumer] テーブルへの参照である、患者に関連付けられたコンシューマー属性が含まれます。患者 [sn_hcls_patient] テーブルに患者が作成されると、コンシューマーレコードが自動的に作成されます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

患者テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
出生地	参照	患者の出生地。
生年月日	文字列	患者の生年月日。
故人	True/False	患者が死亡したことを示すオプション。
死亡日時	日付/時刻	患者の死亡日時。

患者テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
民族	選択リスト	<p>患者が識別する民族グループ。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ヒスパニック系またはラテン系 • ヒスパニック系またはラテン系ではありません • ポリシー/法律に従って報告できません
名	文字列	患者の名前 (名)。
性別	選択リスト	<p>患者の性別。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 女性 • 男性 • 非バイナリ • 非公開 • その他
保証人 ID	文字列	患者に代わって注文されたサービスのすべての料金を支払う担当者に適用される識別子
自宅電話	文字列	患者の自宅電話番号。
通訳が必要	True/False	患者とのインタラクション中に通訳者が必要であることを示すオプション。
DOB 推定	True/False	患者の生年月日 (DOB) が推定値であることを示すオプション。
言語コード	参照	患者の優先インタラクション言語を表します。
姓	文字列	患者の名前 (姓)。
婚姻区分	選択リスト	患者の婚姻区分。

患者テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
ミドルネーム	文字列	患者のミドルネーム。
携帯	文字列	患者の携帯電話番号。
職業	文字列	患者の職業。
名前	文字列	患者を識別する名前。
番号	文字列	<p>患者の英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい患者を追加するたびにインクリメントされます。[数値] フィールドの初期値は PAT00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、患者 [sn_hcls_patient] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
患者 ID または MRN	文字列	電子医療記録 (EMR) システムに入力された医療記録番号 (MRN) など、患者に適用される識別子。
優先コミュニケーションチャンネル	選択リスト	<p>患者が希望するコミュニケーションチャンネル (メール、電話、チャットなど)。</p> <p>この値は、[優先通信方法] フィールドに入力した値に依存します。</p>
優先コミュニケーション方法	選択リスト	メール、テキスト、電話など、患者が希望するコミュニケーション方法。
プリフィックス	文字列	<p>学歴、法律、雇用、または貴族の地位のために称号として取得され、名前の先頭に表示される患者名の一部。</p> <p>たとえば、Mr. や Mrs. などです。</p>
プライマリメール	文字列	連絡の送信先の患者のメールアドレス。

患者テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
人種	選択リスト	患者の人種。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • アメリカインディアンまたはアラスカの原住民 • アジア人 • 黒人またはアフリカ系アメリカ人 • ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島系アメリカ人 • その他の種族 <p>ポリシー/法律に従って報告できません</p> <ul style="list-style-type: none"> • 白
研究同意が得られました	True/False	患者が研究プログラムに参加することに同意したことを示すオプション。
セカンダリメール	文字列	患者の代替メールアドレス。
SMS での同意が得られました	True/False	患者が SMS を介した通信に同意したことを示すオプション。保護された健康情報は、指示された場合にのみ共有されます。
社会保障番号	文字列	医療ドキュメントに含める患者の社会保障番号 (SSN) の最後の 4 桁。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
サフィックス	文字列	学歴、法律、雇用、または貴族の地位のために称号として取得され、名前の末尾に表示される患者名の一部。 たとえば、MD や PhD などです。
仕事用の電話	文字列	患者の勤務先電話番号。

ポリシーテーブル

ポリシー [sn_hcls_policy] テーブルには、アプリケーションで患者と共有されるポリシーの詳細が保存されます ヘルスケアとライフサイエンス。

主な機能

- 同意番号と日付、患者名、保険契約タイプ、ステータス、および同意が世帯メンバーによって署名されたかどうかが含まれます。
- ドキュメントテンプレート [sn_doc_template] テーブルを参照します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

ポリシーテーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	ポリシーが使用中であることを示すオプション。
文書テンプレート	参照	<p>ポリシーに関連付けられた標準のレターまたはドキュメントを生成するためのドキュメントテンプレート。</p> <p>このフィールドは、ポリシー タイプ フィールドがドキュメントテンプレートに設定されている場合にのみ使用されます。</p> <p>注: ドキュメントテンプレートに関連付けることができるアクティブなポリシーは 1 つだけです。</p> <p>詳細については、「ドキュメントテンプレートの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。</p>
外部ポリシーのリンク	URL	同意スコープに含まれるポリシーへの外部参照。
番号	文字列	<p>ポリシーの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しいポリシーを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は POL00001000 です。</p> <p>注: 番号をカスタマイズするには、ポリシー [sn_hcls_policy] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
ポリシーカテゴリ	選択リスト	<p>ポリシーのカテゴリ。</p> <p>デフォルトでは、次のカテゴリを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登録 • 事前ケア指示書

ポリシーテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • 蘇生しないでください • 緊急時のみ • 医療指令 • プライバシー慣行に関する通知 • 情報開示 • 患者の同意 • プライバシーポリシー確認書 • プライバシーポリシー組織文書 <p>使用可能なカテゴリの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 同意カテゴリ値セット」を参照してください。</p>
ポリシー名	文字列	ポリシーを識別する名前。
ポリシータイプ	文字列	<p>ポリシーのタイプ。 ポリシーは次のいずれかのタイプです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 標準: 患者が同意書に署名する必要のないポリシー。 • ドキュメントテンプレート: 同意書に患者の署名を要求するポリシー。 <p>ドキュメントテンプレートポリシータイプでは、患者が同意フォームに署名するための To Do アイテムが作成されます。</p>
スコープ	選択リスト	<p>ポリシーに含まれる同意のタイプ。 デフォルトでは、次のスコープタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 事前ケア指示書 • 調査 • プライバシーに関する同意 • 治療 <p>使用可能なスコープの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 同意スコープ値セット」を参照してください。</p>
有効期間 (日数)	文字列	患者が保険契約に署名してから保険契約が有効な日数。

ポリシー同意テーブル

ポリシーの同意 [sn_hcls_policy_consent] テーブルには、患者または患者に代わって世帯メンバーが承認した同意の詳細が保存されます。

主な機能

- 同意番号と日付、患者名、保険契約タイプ、ステータス、および同意が世帯メンバーによって署名されたかどうかが含まれます。
- ポリシー [sn_hcls_policy]、医療組織 [sn_hcls_organization]、医療ケース [sn_hcls_case]、および患者 [sn_hcls_patient] テーブルを参照します。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

ポリシー同意テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ケース	参照	ポリシーに関連付けられた医療ケース。
同意日	日付/時刻	同意が受け入れられた日時。
外部識別子	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
番号	文字列	<p>同意の英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい同意を追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は CON00001000 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、ポリシー同意 [sn_hcls_policy_consent] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
患者	参照	個人的な同意を確立する個人。
ポリシー	参照	同意の対象となるポリシー。
ステータス	選択リスト	<p>同意のステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • ドラフト

ポリシー同意テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		<ul style="list-style-type: none"> • 非アクティブ • 提案済み • 却下 <p>使用可能なカテゴリの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 同意状態値セット」を参照してください。</p>
家族メンバーが署名	True/False	同意が患者の世帯員によって提供されたことを示すオプション。
有効期限	日付	<p>患者に対する保険契約の有効期限。有効期限の日付は、同意が与えられた日付以降のポリシーの有効期間に基づいて計算されます。</p> <p>i 注: [ステータス] フィールドの値は、有効期限の日付に基づいてアクティブまたは非アクティブとして更新されます。</p>

施術者テーブル

施術者 [sn_hcls_practitioner] テーブルには、医療機関の施術者の詳細が保存されます。

主な機能

- 医療従事者データオブジェクトをモデル化します。
- プラクティショナーの名前、性別、生年月日、電話番号やメールアドレスなどの連絡先情報が含まれます。
- 施術者がインスタンスにログインし ServiceNow でタスクを実行するためのsys_userエントリへの参照が含まれています。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

施術者テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	施術者が医療機関に関連付けられていることを示すオプション。
市区町村	文字列	施術者が所在する市区町村。

施術者テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
国	文字列	施術者が所在する国。
生年月日	日付	施術者の生年月日。
地区	文字列	開業医が所在する都市の地区。
適用開始日	日付	施術者がその場所での実行を許可されている期間の開始日。
適用期限	日付	施術者がその場所での実行を許可されている期間の終了日。
民族	選択リスト	プラクティショナーが識別する民族グループ。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ヒスパニック系またはラテン系 • ヒスパニック系またはラテン系ではありません • ポリシー/法律に従って報告できません
名	文字列	施術者の名。
性別	選択リスト	施術者の性別。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 女性 • 男性 • 非バイナリ • 非公開 • その他
自宅電話	文字列	施術者の自宅電話番号。
姓	文字列	施術者の姓。

施術者テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
携帯	文字列	施術者の携帯電話番号。
名前	文字列	施術者を識別する名前。
番号	文字列	<p>施術者の英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しい施術者を追加するたびにインクリメントされます。[数値] フィールドの初期値は PRACT00001001 です。</p> <p>注: 番号をカスタマイズするには、施術者 [sn_hcls_practitioner] テーブルの自動番号付けフォーマットを定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
開業医 ID または NPI	文字列	施術者ロールのユーザーに適用される識別子。
プリフィックス	文字列	<p>学歴、法律、雇用、貴族の地位により称号として取得され、名前の先頭に表示される開業医名の一部。</p> <p>たとえば、Doctor や Dr.</p>
プライマリメール	文字列	通信の送信先となる施術者のメールアドレス。
人種	選択リスト	<p>開業医の人種。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アメリカインディアンまたはアラスカの原住民 • アジア人 • 黒人またはアフリカ系アメリカ人 • ハワイ先住民またはその他の太平洋諸島系アメリカ人 • その他の種族 <p>ポリシー/法律に従って報告できません</p> <ul style="list-style-type: none"> • 白

施術者テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
セカンドリメール	文字列	施術者の代替メールアドレス。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
都道府県	文字列	施術者が所在する州または都道府県。
番地	文字列	開業医の郵送先住所。
サフィックス	文字列	学歴、法律、雇用、貴族の地位のために称号として取得され、名前の末尾に表示される開業医の名前の一部。 例:M.D. (医師)
仕事用のメール	文字列	施術者のビジネス プロフィールに関連付けられている施術者のメールアドレス。
仕事用の電話	文字列	施術者の勤務先電話番号。
郵便番号	文字列	開業医の郵便番号。

施術者所在地テーブル

施術者の場所 [sn_hcls_practitioner_facility] テーブルには、施術者がヘルスケアサービスを提供する場所の詳細が保存されます。

主な機能

- 施術者を医療の場所にリンクします。
- その施術者と場所の関連付けの日付範囲を指定できるようにします。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

施術者所在地テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	場所が施術者に関連付けられているかどうかを示すオプション。
適用開始日	日付	施術者がその場所での実行を許可されている期間の開始日。
適用期限	日付	施術者がその場所での実行を許可されている期間の終了日。
組織	参照	施術者が代表または代表して行動する組織の ID。
開業医	参照	施術者として追加されたユーザー
ロケーション	参照	関連する施術者の場所名。

開業医の場所専門テーブル

施術者の場所の専門分野 [sn_hcls_pract_location_specialty] テーブルには、施術者が特定の場所で組織に提供できるサービスのタイプに関する詳細が保存されます。

主な機能

- 施術者の場所オブジェクトを特定のケア専門分野と施術者タイプにリンクします。
- 場所が施術者の主要な専門分野であるかどうかを示すことができます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

施術者の場所の専門テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	場所と特殊マッピングが使用されているかどうかを示すオプション。
開業医の場所	参照	開業医がケアの専門分野を提供する場所。
開業医タイプ	参照	施術者のタイプ
主な専門分野	True/False	専門分野が、その場所で施術者によって提供される主な専門医療であるかどうかを示すオプション。

施術者の場所の専門テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
専門分野	参照	施術者の専門分野

開業医専門表

施術者の専門分野 [sn_hcls_practitioner_specialty] テーブルには、専門分野と施術者の関連付けの詳細が格納されます。

主な機能

- 施術者を、施術者が専門とする複数のケア専門分野にリンクします。
- 医療コードセット [sn_hcls_code_set] テーブルでサポートされている医療専門分野モデルを有効にします。
- 施術者への参照と、ケア専門タイプのコード セットを提供します。
- 開業医タイプへの参照が含まれます (コード セットとしてもモデル化されます)。
- 場所が施術者の主要な専門分野であるかどうかを示すことができます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

施術者の専門分野テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/ False	専門分野が施術者に関連付けられているかどうかを示すオプション。
開業医	参照	施術者として追加されたユーザー
開業医タイプ	参照	施術者のタイプ
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
専門分野	参照	施術者の専門分野

事前承認診断テーブル

事前承認診断 [sn_hcls_pre_auth_diagnosis] テーブルには、ヘルスケアサービスの事前承認に関連する診断情報が保存されます。

主な機能

- 事前承認で使用する診断コードを保存します。
- 事前承認と診断の両方の情報が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

事前承認診断テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
事前承認要求	参照	関連する事前承認要求。
事前承認アイテム	参照	関連する事前承認アイテム。
診断コード	参照	医療従事者の診断を示すために使用されるコード。

事前承認アイテムテーブル

事前承認アイテム [sn_hcls_pre_auth_item] テーブルには、ヘルスケアサービスの事前承認要求に関連するアイテムの詳細が保存されます。

主な機能

- 事前承認要求と事前承認診断に関連するアイテム情報を保存します。
- アイテム注文、関連する事前承認要求、および手順コードが含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

事前承認アイテムテーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
事前承認要求	参照	関連する事前承認要求番号。
アイテムの注文	文字列	注文されているアイテム。
プロシーチャー・コード	参照	特定のプロシーチャーを識別するコード。コードは、Current Procedural Terminology (CPT) または Healthcare Common Procedure Coding

事前承認アイテムテーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
		System (HCPCS) コーディング システムに基づいています。 使用可能なコードの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている プロシージャ コード 」を参照してください。
開始日	日付	予定されているアイテムの開始日。たとえば、処理の開始日などです。
終了日	日付	予定されているアイテムの終了日。たとえば、治療の終了日などです。
注釈	文字列	事前承認アイテムに関するコメントまたは追加情報。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソース システムの詳細。

事前承認要求テーブル

事前承認要求 [sn_hcls_pre_auth_header] テーブルには、支払人組織が提供する医療サービスの承認要求の詳細が保存されます。

主な機能

- 支払人組織が提供するヘルスケアサービスの事前承認要求の詳細を保存します。
- 患者のヘルスケアサービスの事前承認を有効にします。
- 事前承認番号、事前承認タイプ、事前承認有効日、およびヘルスケアサービスオーダーの詳細が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#)」を参照してください。

事前承認要求テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ケース	参照	患者のためにオーダーされた医療サービスに関連付けられた医療ケース。

事前承認要求テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
レビュータイプ	選択リスト	<p>医療サービスのカテゴリ。</p> <p>デフォルトでは、次のタイプを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ルーチン:開業医が慣習的に実施する医療サービスで、患者と開業医の好みに基づいて事前にスケジュールすることができます。 • 選択的:患者と開業医の好みに基づいて、将来いつでもスケジュールできるオプションの医療サービス。 • 緊急:緊急と見なされ、すぐにスケジュールする必要がある必須の医療サービス。 • 非緊急:緊急とは見なされず、近い将来にスケジュールできるヘルスケアサービス。
承認日	日付	事前承認要求が支払人組織によって承認された日付。
FAX 受信日	日付/時刻	事前承認要求で受信したファックスの日付とタイムスタンプ。
保険	参照	患者に関連付けられたメンバープラン。
患者	参照	代理で事前承認要求が送信された患者。
サービスの場所	参照	提供されるサービスの場所。
プライマリ事前認証番号	文字列	支払人組織によって生成されたプライマリ事前認証番号。
理由	文字列	事前承認要求の理由。
紹介プラクティショナー	参照	事前承認要求に関連付けられた医療サービスを推奨した施術者。
注釈	文字列	事前承認要求に関するコメントまたは追加情報。
レンダリングプラクティショナー	参照	サービスを提供するプロバイダー。

事前承認要求テーブルのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
セカンダリ事前認証番号	文字列	支払人組織によって生成されたセカンダリ事前認証番号。
簡単な説明	文字列	この事前承認要求の簡単な説明。
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
ステータス	選択リスト	事前承認要求の承認ステータス。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ドラフト:事前承認要求がまだ送信されていません。 • [処理待ち]:事前承認要求がレビューのために支払人組織に送信されます。 • 承認済み:事前承認要求が支払人組織によって承認されました。 • 拒否:事前承認要求が支払人組織によって拒否されました。 • 完了:事前承認要求が完了しましたが、要求で 1 つ以上のアイテムが拒否されました。
レビュータイプ	文字列	事前承認要求で要求された医療サービスのタイプ。 デフォルトでは、次のタイプを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 医療 • 処方 • 新規
有効開始日	日付	事前承認要求の有効期間の開始日。
有効期限	日付	事前承認要求の有効期間の終了日。

手順テーブル

処置 [sn_hcls_procedure] テーブルには、患者に対して実行された、または実行されたアクションに関する情報が格納されます。アクションは、手術のような物理的な介入の場合もあれば、長期のサービス、カウンセリング、催眠療法のように侵襲性が低い場合もあります。

主な機能

- 患者に関連付けられた医療処置を保存します。
- 施術コード、ステータス、カテゴリ、実施日、場所、施術者が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

手順テーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
カテゴリ	選択リスト	<p>検索、並べ替え、および表示の目的でプロシージャを分類するコード。</p> <p>デフォルトでは、次のカテゴリを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 精神科の処置またはサービス • カウンセリング • 教育 • 手術 • 診断手順 • カイロプラクティックマニピュレーション • 社会福祉のプロシージャ <p>使用可能な型の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている プロシージャ カテゴリ」を参照してください。</p>
実施日	日付/時刻	手順が実行された日時。
発生	参照	手順の一部として作成された診察。
外部 ID	文字列	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
医療機関の場所	参照	処置が行われた医療機関の場所。
番号	文字列	<p>プロシージャーの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しいプロシージャを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は PRCD00001001 です。</p> <p>注: 番号をカスタマイズするには、手順 [sn_hcls_procedure] テーブルの自動番号付けフォーマットを定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>

手順テーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
観察事項	参照	手順の一部として記録された観察事項。
親	参照	処置に関連付けられた親医療イベント。
患者	参照	処置に関与する患者。
開業医	参照	施術に携わる施術者。
プロシージャ・コード	参照	<p>特定のプロシージャを識別するコード。コードは、Current Procedural Terminology (CPT) または Healthcare Common Procedure Coding System (HCPCS) コーディング システムに基づいています。</p> <p>使用可能なコードの詳細については、「FHIR 仕様で定義されている プロシージャ コード」を参照してください。</p>
ソース	参照	ServiceNow インスタンスにある、外部医療システムのソースシステムの詳細。
ステータス	選択リスト	<p>手順のステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 完了 • 入力エラー • 対応中 • 未完了 • 保留中 • 準備 • 停止 • 不明 <p>使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている イベントの状態」を参照してください。</p>

プログラムテーブル

プログラム [sn_hcls_program] テーブルには、医療機関が提供するプログラムが保存されます。

主な機能

- 製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルを拡張して、医療機関から利用可能なすべてのプログラムをモデル化します。
- プログラム名、適格基準、医薬品製品、およびプログラムの期間が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

プログラムテーブルフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	プログラムが使用中であることを示すオプション。
適格基準	参照	プログラムに関連付けられたチェックリスト。
終了日	日付	プログラム期間の終了日。
医薬品	リスト	プログラムに関連付けられた薬剤製品。
名前	文字列	プログラムの名前
番号	文字列	プログラムの英数字の識別子。 値は自動生成され、インスタンスに新しいプログラムを追加するたびにインクリメントされます。[数値] フィールドの初期値は PSSPG00001001 です。 注: 番号をカスタマイズするには、プログラム [sn_hcls_program] テーブルの自動番号付けフォーマットを定義します。詳細については、「 テーブルに自動番号付けレコードを追加する 」を参照してください。
開始日	日付	プログラム期間の開始日。
ステータス	文字列	プログラムのステータスは [ドラフト] または [公開済み] です。

プログラムテーブルフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
説明	文字列	プログラムに対して作成されたケース名に表示されるプログラムの簡単な説明。

プログラム関係テーブル

プログラム関係 [sn_hcls_program_relationship] テーブルには、プログラムとプログラムサービス間の関連付けの詳細が保存されます。

主な機能

- 仕様関係 [sn_prd_pm_specification_relationship] テーブルを拡張して、プログラムとプログラムサービスの間の関係を定義します。
- 関係名、プログラム、プログラムサービス、および関係タイプが含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

プログラム関係テーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	プログラムとプログラムサービス間の関連付けが使用中であることを示すオプション。
名前	文字列	プログラムとプログラムサービス間の関係の名前。
ソース仕様	参照	関係に含まれるプログラム。
ターゲット仕様	参照	関係に含まれるプログラムサービス。
関係性タイプ	文字列	プログラムとプログラムサービス間の関係タイプ。

プログラム・サービス・テーブル

プログラムサービス [sn_hcls_program_service] テーブルには、プログラムに関連付けられたプログラムサービスが格納されます。

主な機能

- 製品仕様 [sn_prd_pm_product_specification] テーブルを拡張して、プログラム内で使用可能なすべてのプログラムサービスをモデル化します。
- プログラムサービス名とプログラムサービスの期間が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

プログラムサービステーブルのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	プログラムサービスが使用中であることを示すオプション。
終了日	日付	プログラムのサービス期間の終了日。
名前	文字列	プログラムサービスの名前
番号	文字列	<p>プログラムサービスの英数字の識別子。</p> <p>値は自動生成され、新しいプログラムサービスをインスタンスに追加するたびにインクリメントされます。[数値] フィールドの初期値は PGSRV00001001 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、プログラムサービス [sn_hcls_program_service] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
開始日	日付	プログラムサービス期間の開始日。
ステータス	文字列	プログラムサービスのステータスは [ドラフト] または [公開済み] です。
説明	文字列	プログラムサービスの簡単な説明。

ソースシステムテーブル

ソースシステム [sn_hcls_source_system] テーブルには、インスタンス内の外部医療システムのソース ID と宛先 ID が格納されます ServiceNow 。

主な機能

- すべてのヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア データテーブルには、ソースシステム [sn_hcls_source_system] テーブルへの参照が含まれています。
- 外部 EMR システムまたは別の医療システムの送信元 ID と宛先 ID が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

ソースシステム

フィールド	説明
ソース ID	システムからインスタンスへのServiceNow受信 API 応答の処理に使用される外部 Redox 医療システムの ID。
宛先 ID	インスタンスからServiceNowシステムへの送信 API 要求の送信に使用される外部 Redox 医療システムの ID。
ソース	インスタンス内のServiceNowソースシステムとして外部の Redox 医療システムを識別する名前。

保険情報テーブルを更新

保険情報の更新 [hcls_insurance_info_task] テーブルには、医療機関内の患者の保険情報を更新するためのタスクの詳細が保存されます。

主な機能

- 医療タスク [sn_hcls_task] テーブルを拡張して、患者の保険情報を更新するために作成されたタスクの詳細を保存します。
- 支払タイプ、保険会社、保険プラン、メンバー番号、グループ番号、Rx ビン、Rx グループ、Rx PCN が含まれます。

テーブルの設定に必要なロール：sn_hcls.admin

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

保険情報テーブルのフィールドの更新

フィールド	データタイプ	説明
グループ番号	文字列	メンバーのグループ番号またはポリシー番号。
保険会社	参照	支払人組織としてリストされている会社の名前。

保険情報テーブルのフィールドの更新 (続く)

フィールド	データタイプ	説明
医療保険モデル	参照	患者に関連付けられた支払人プラン。
メンバー番号	文字列	医療提供者が保険の適用範囲を確認し、サービスの支払いを手配できるようにする、患者の一意の ID 番号。
番号	文字列	メンバープランの英数字のプロファイル識別子。
患者	参照	プランの名前に含まれる患者の名前。
Rx ビン	文字列	処方薬の払い戻し方法と薬局が払い戻し請求を送信できる場所を特定するための番号。
Rx グループ	文字列	処方箋給付の処理に使用されるメンバープランの英数字または数値。
Rx PCN	文字列	処理担当者制御番号 (PCN) は、薬局の払い戻しをルーティングするために使用される別の識別子です。

患者ポータル ウィジェットライブラリ

患者ポータルに含まれているウィジェットを使用すると、データや外観をカスタマイズしたり、独自のウィジェットを構築するときに基本的なコードサンプルとして参照したりできます。

ウィジェットのインスタンス オプションを表示するには、[ウィジェット コンテキストメニュー] を使用します。

予約リマインダーカード ウィジェット

予約リマインダーカードウィジェットは、ログインしているユーザーの次の予約リマインダーを表示します。

予約リマインダーカード ウィジェット



Your next appointment is on Dec 20, Monday at 12:30 PM. [See details](#)

主な機能

- 個人情報が入力されたログインユーザーに対してのみ表示されます。
- デフォルトでは、次回予定されている予約のリマインダーのみを表示します。
- ユーザーがウィジェットで [詳細を表示] をクリックすると、予約の詳細が表示されます。

予約リマインダーカードウィジェットにはインスタンスオプションは含まれません。

COVID-19 ステータス ウィジェット

COVID-19 ウィジェットには、ログインしたユーザーが接種または自己申告した COVID-19 ワクチン接種の投与のステータスと、COVID テスト結果が表示されます。

COVID-19 ステータス ウィジェット

COVID-19 status

[View details](#)


Scan the QR code to share your COVID-19 status

Vaccination status

Unknown

[Report vaccination](#)

Test result

Positive 

Test conducted on
2021-12-28

[Report test result](#)

主な機能

- 個人情報が入力され、アプリケーションがインストールされたとき Vaccine Administration Management にログインしているユーザーにのみ表示されます。
- デフォルトでは、COVID-19 ワクチン接種ステータス、ワクチン接種ステータス、および COVID テスト結果の QR コードを表示します。ワクチン接種ステータスが不明な場合、ワクチン接種ステータスを報告するリンクを表示します。COVID 検査結果が陽性または結果なしの場合、最新の検査結果を報告するためのリンクを表示します。
- ユーザーがウィジェットで [詳細を表示] をクリックすると、COVID-19 ワクチン接種ステータスと検査結果の詳細が表示されます。

COVID-19 ステータスウィジェットにはインスタンスオプションは含まれません。

FAQ ウィジェット

FAQ ウィジェットには、患者に関するよくある質問 (FAQ) 記事のリストが表示されます。

FAQ ウィジェット

Frequently asked questions

[I am pregnant, can I still get the COVID vaccine?](#)

Yes, COVID-19 vaccines currently authorized by the Food and Drug Administration (FDA) are recommended for pregnant and lactating individuals as well as those trying or intending to

[Is there a risk of severe allergic reaction if I receive the vaccine?](#)

Severe allergic reactions to vaccines are rare and difficult to predict, generally occurring at a rate of approximately one event per million administrations. This topic review focuses on allergic

[Can I get COVID-19 vaccine at the same time as another vaccine?](#)

People should be offered vaccination regardless of their history of symptomatic or asymptomatic SARS-CoV-2 infection; this includes people with prolonged post-COVID-19

主な機能

- ログインしているユーザーとログインしていないユーザーの両方に表示されます。
- デフォルトでは、ナレッジベースからヘルスケアとライフサイエンス 最大 5 件の FAQ 記事が表示されます。

FAQ ウィジェットのインスタンスオプション

Faq

Presentation

Bootstrap color

Default ▼

Show star rating

No ▼

Other Options

Number of articles to display per page

5

FAQ ウィジェットインスタンスオプションフィールド

フィールド	説明
プレゼンテーション	
ブートストラップの色	ウィジェットヘッダーのカラー スキーム。一般的なブートストラップ色のリストから、ウィジェットに使う色を選択します。
星による評価を表示する	FAQ 記事に星による評価を表示するオプション。
その他のオプション	
1 ページに表示する記事の数	ウィジェットに表示される記事の最大数。デフォルト値は [3] です。



世帯 ウィジェット

世帯ウィジェットには、ログインしたユーザーが正式な担当者となっている世帯メンバーのリストが表示されます。

世帯 ウィジェット

Household

[View all](#)

	Gina Parker	0	Appointments	0	To-dos	1	Requests	0	Vaccinations
	Sam Parker	0	Appointments	0	To-dos	3	Requests	0	Vaccinations

主な機能

- 個人情報が入力されていて、世帯メンバーがいるログインユーザーに対してのみ表示されます。
- デフォルトでは、最大 2 人の世帯メンバーが、名前と詳細 (今後の予約の数、To Do アイテム、未解決の要求、推奨される予防接種など) で昇順で表示されます。各アイテムの番号は、そのアイテムの詳細ページにリンクされています。
- ログインしているユーザーが認可済み担当者であるすべての世帯メンバーと、ユーザーがウィジェットで [すべて表示] をクリックしたときの世帯メンバーの詳細を表示します。


世帯ウィジェットにはインスタンス オプションは含まれません。

ニュースと記事 ウィジェット

ニュースと記事ウィジェットには、患者がアクセスできる記事のリストが表示されます。

ニュースと記事 ウィジェット

Latest news & articles

 Article

Eight Ways to Build Wellness into Your Business Wellness programs.

Wellness programs have had a place in large companies for more than a decade. Typically, they are well-intentioned...

19d ago

主な機能

- ログインしているユーザーとログインしていないユーザーの両方に表示されます。
- デフォルトでは、ナレッジベースから ヘルスケアとライフサイエンス 最大 4 件の記事が表示されます。

ニュースと記事 ウィジェットのインスタンス オプション

☰ News and Articles

Data

topic

Latest news & articles

Select list of taxonomy content configurations

Knowledge

Presentation

Number of articles to display per page

4

ニュースと記事ウィジェットのインスタンス オプション フィールド

フィールド	説明
データ	
トピック	記事のカテゴリ。
分類コンテンツ構成のリストを選択	分類コンテンツ構成のリスト。
プレゼンテーション	
1 ページに表示する記事の数	ウィジェットに表示される記事の最大数。デフォルト値は [3] です。

未解決の要求 ウィジェット

未解決の要求ウィジェットには、患者に対して作成された医療関連ケースを含む未解決の要求のリストが表示されます。

未解決の要求 ウィジェット

Open requests

[View all](#)

<p>Specialty referral</p> <p>REQ08953 • an hour</p>
<p>Patient services program</p> <p>REQ06850 • 4d</p>

主な機能

- 個人情報が入力された状態でログインしているユーザーにのみ表示されます。
- デフォルトでは、医療ケース [sn_hcls_case] テーブルを拡張するアプリケーションケース テーブルから最大 2 つのレコードが作成日の昇順で表示されます。アプリケーションケース テーブルの例には、アプリケーションで Pre-Visit Management 利用可能な手続き要求 [sn_previsit_procedure_request] テーブルや、アプリケーションで Patient Support Services 利用可能な登録ケース [sn_patientservice_enroll_case] テーブルがあります。
- ユーザーがウィジェットで [すべて表示] をクリックすると、それぞれのセクションにすべての処理待ちおよびクローズ済みの要求が表示されます。

未解決の要求ウィジェットにはインスタンス オプションは含まれません。

保留中の **To Do** ウィジェット

保留中の To Do ウィジェットには、患者にアサインされた To Do アイテムのリストが表示されます。

保留中の **To Do** ウィジェット

Pending to-dos

[View all](#)

<p>Procedure consent for TPA sur</p> <p>HC008953 • an hour</p>
<p>HIPAA consent</p> <p>HC006850 • 4d</p>

主な機能

- 個人情報が入力された状態でログインしているユーザーにのみ表示されます。
- デフォルトでは、医療タスク [sn_hcls_task] テーブルの最大 2 つのレコードが作成日別の昇順で表示されます。
- ユーザーがウィジェットで [すべて表示] をクリックしたときに、それぞれのセクションにあるすべての保留中およびクローズ済みの To Do アイテムを表示します。

保留中の To Do ウィジェットにはインスタンスオプションは含まれません。

ワクチン接種 ウィジェット

[ワクチン接種] ウィジェットには、ログインユーザーに推奨されているワクチンのリストが表示されます。

ワクチン接種 ウィジェット

Vaccinations

[View all](#)

It's time to schedule these vaccinations

Flu vaccination - Annual dose

COVID-19 - First dose

[Schedule vaccination](#)

主な機能

- 個人情報が入力され、アプリケーションがインストールされたとき Vaccine Administration Management にログインしているユーザーにのみ表示されます。
- デフォルトでは、予防接種プログラムリストから、ユーザーが対象となる最大 3 つのプログラムを投与日別のプログラムとして昇順で表示します。
- ユーザーがウィジェットで [すべて表示] をクリックすると、提案および完了したすべてのワクチン接種がそれぞれのセクションに表示されます。

ワクチン接種 ウィジェットのインスタンスオプション

☰ Vaccinations

Other Options

limit item

5

ワクチン接種 ウィジェットのインスタンス オプション フィールド

フィールド	説明
制限アイテム	ウィジェットに表示される予防接種プログラムの最大数。デフォルト値は [3] です。

医療機関フォーム

医療機関フォームには、医療機関の詳細が含まれています。

医療機関フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	医療機関を識別する名前。
組織タイプ	代表する医療機関のタイプ。 使用可能な組織の種類の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 組織の種類 」を参照してください。
内部	組織が内部であることを示すオプション。
組織 ID	組織の一意の識別子。
親	組織に関連付けられた親組織。
番地	組織の番地。
市区町村	組織が所在する市。
州/都道府県	組織が所在する都道府県。
郵便番号	組織の郵便番号。
電話	組織の電話番号。
FAX	組織のファックス番号。
メモ	組織に関する有用な情報。

薬の処方箋フォーム

[薬の処方箋] フォームには、患者に注文された処方箋の詳細が含まれています。

[薬剤処方箋] フォームフィールド

フィールド	説明
薬の処方箋	
番号	処方箋の自動生成番号。
患者	薬剤を投与する患者の名前。
医薬品	患者に処方されている医薬品。
開業医	患者の処方箋を注文した施術者の名前。
事前処方箋	患者のために以前に注文された処方箋。
参照投薬イベント	患者と医療従事者の間の接触の発生を識別する診察。
組織	処方箋を担当する医療提供者。
投与量指定	<p>患者の投与量指定。</p> <p>i 注: このフィールドは、プログラムがケースに関連付けられている場合にのみ必須として設定されます。この場合、薬の処方箋は、プログラムに対して公開された投与量仕様に従って入力されます。</p>
ステータス	<p>注文された処方箋のステータス。</p> <p>デフォルトでは、次のステータスを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ • ドラフト • キャンセル • 完了 • 入力ミス • 期限切れ • 保留中 • 停止 • 不明

[薬剤処方箋] フォームフィールド (続く)

フィールド	説明
薬の処方箋	
	使用可能な状態の詳細については、「FHIR 仕様で定義されている 薬の処方状態 」を参照してください。
ステータスの理由	選択したステータスの説明。
優先度	優先する必要がある場合に情報に基づいた意思決定を行うために使用される処方箋の緊急度。
作成日	処方箋が書かれた日時。
有効開始日	処方箋の有効期間の最も早い時刻。
有効終了日	処方箋の有効期間の最も遅い時刻。
外部 ID (External ID)	電子医療記録 (EMR) システム内のレコードの識別子
ケース	処方箋に関連付けられた登録ケース。
診断の詳細	
プログラムがケースに関連付けられている場合、このセクションの各フィールドは、プログラムに含まれる対応する値に自動的に設定されます。	
一次診断	要求された医療サービスの理由として開業医によって提出された患者の主な状態。
三次診断	施術者が患者様に推奨する専門性の高い医療。
二次診断	開業医が提出した患者に存在する可能性のある共存状態。
投与特性	
このセクションは、投与量の仕様が薬の処方箋に関連付けられている場合にのみ表示されます。このセクションには、選択した投与量仕様に対して管理者が設定した投与量特性が表示されます。	

[薬剤処方箋] フォームフィールド (続く)

フィールド	説明
薬の処方箋	
投与量の詳細	
このセクションは、薬剤処方箋に対して投与量の仕様が選択されると自動的に入力されます。このセクション内のフィールドは読み取り専用で、投与特性に対応して入力されます。投与量の指定が選択されていない場合、セクションには医療担当者が入力した値が表示されます。	
投与量	投薬量の推奨。
数量	1 回の充填で指定された薬剤の数量。
認定された補充の数	薬剤の認可された補充の数。
患者様への説明	医薬品の投与量に関する指示。

ポリシーフォーム

[ポリシー] フォームには、医療ケースに関連付けられたプライバシーポリシーの詳細が含まれています。

ポリシーフォームフィールド

フィールド	説明
番号	<p>ポリシーの英数字のプロファイル識別子。</p> <p>値は自動生成され、インスタンスに新しいポリシーを追加するたびにインクリメントされます ServiceNow 。[数値] フィールドの初期値は POL00001000 です。</p> <p>i 注: 番号をカスタマイズするには、ポリシー [sn_hcls_policy] テーブルの自動番号付け形式を定義します。詳細については、「テーブルに自動番号付けレコードを追加する」を参照してください。</p>
ポリシーカテゴリ	このフィールドは [登録] に設定する必要があります。

ポリシーフォームフィールド (続く)

フィールド	説明
ポリシータイプ	<p>ポリシーのタイプ。</p> <p>ポリシーは次のいずれかのタイプです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準: 患者が同意書に署名する必要のないポリシー。 ドキュメントテンプレート: 同意書に患者の署名を要求するポリシー。 <p>ドキュメントテンプレートポリシータイプでは、患者が同意フォームに署名するための To Do アイテムが作成されます。</p>
有効期間 (日数)	患者が保険契約に署名してから保険契約が有効な日数。
アクティブ	プライバシーポリシーを有効にするためのオプション。
スコープ	<p>ポリシーに含まれる同意のタイプ。</p> <p>プライバシーに関する同意の場合は、[プライバシーに関する同意] を選択します。それ以外の場合、このフィールドは空のままにする必要があります。</p>
文書テンプレート	<p>ポリシーに関連付けられた標準のレターまたはドキュメントを生成するためのドキュメントテンプレート。</p> <p>このフィールドは、ポリシータイプフィールドがドキュメントテンプレートに設定されている場合にのみ使用されます。</p> <p>i 注: ドキュメントテンプレートに関連付けることができるアクティブなポリシーは 1 つだけです。</p> <p>詳細については、「のドキュメントテンプレートの構成 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア」を参照してください。</p>
外部ポリシーのリンク	同意スコープに含まれるポリシーへの外部参照。
ポリシー名	ポリシーを識別する名前。
ポリシーの内容	登録時に患者ポータルユーザーが読んで同意する必要があるポリシーのコンテンツ。

事前承認要求フォーム

[事前承認要求] フォームには、支払者が患者に提供した事前承認要求の詳細が含まれています。

事前承認要求フォームのフィールド

フィールド	説明
プライマリ事前認証番号	支払人組織によって生成されたプライマリ事前認証番号。
セカンダリ事前認証番号	支払人組織によって生成されたセカンダリ事前認証番号。
一次診断	事前承認要求で要求された医療サービスの理由として開業医によって提出された患者の主な状態。
薬の処方箋	患者に対して事前承認要求が作成される投薬処方箋。
ステータス	事前承認要求の承認ステータス。
承認日	事前承認要求が支払人組織によって承認された日付。
有効開始日	事前承認要求の有効期間の開始日。
有効期限	事前承認要求の有効期間の終了日。
メモ	事前承認要求の指示または説明。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアのプロパティ

アプリケーションで使用されるヘルスケアとライフサイエンス機能に対して構成できる詳細ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアプロパティがいくつかあります。

これらのプロパティはヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアで利用可能です。

i 注:

システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアのプロパティ

プロパティ	説明
患者ポータルに表示されるすべての To Do タスクテーブルのカンマ区切りリスト	患者ポータルで To Do アイテムとして表示されるタスクテーブル名のリストを入力します。複数のエントリでは、タスクテーブル名をカンマで区切ります。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
sn_hcls.to.do.tasks.list	<ul style="list-style-type: none"> • タイプ：文字列 • デフォルト値:sn_doc_task,sn_hcls_insurance_info_task • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る：患者の To Do アイテムの指定
医療患者ポータルで自己登録を有効にします sn_hcls.enable_self_registration	<p>患者ポータルで自己登録機能を有効にするには、プロパティを True に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タイプ：true false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る：患者ポータルでの自己登録機能の構成

ドメイン分離とヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに回答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「[アプリケーションでのドメイン分離のサポート](#)」を参照してください。

概要

ドメイン分離は、Fast Healthcare Interoperability Resources (FHIR) 標準を含む Health Level Seven International (HL7) 業界標準と互換性のある [ヘルスケアとライフサイエンスデータモデル](#) 利用できます。ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションには、患者 [sn_hcls_patient] テーブル、予約 [sn_hcls_appointment] テーブル、予防接種 [sn_hcls_immunization] テーブルなどのデータテーブルのドメイン分離が含まれています。さらに、ドメイン分離は、ヘルスケアタスクやヘルスケアケースなどのトランザクションデータに使用できます。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアにおけるドメイン分離の仕組み

アプリケーションを使用してヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアヘルスケア関連の要求を出す顧客の場合、ドメインは、ログインユーザーのセッション、作成されたケースまたはタスク、および関連するヘルスケアデータから設定されます。

ユースケース

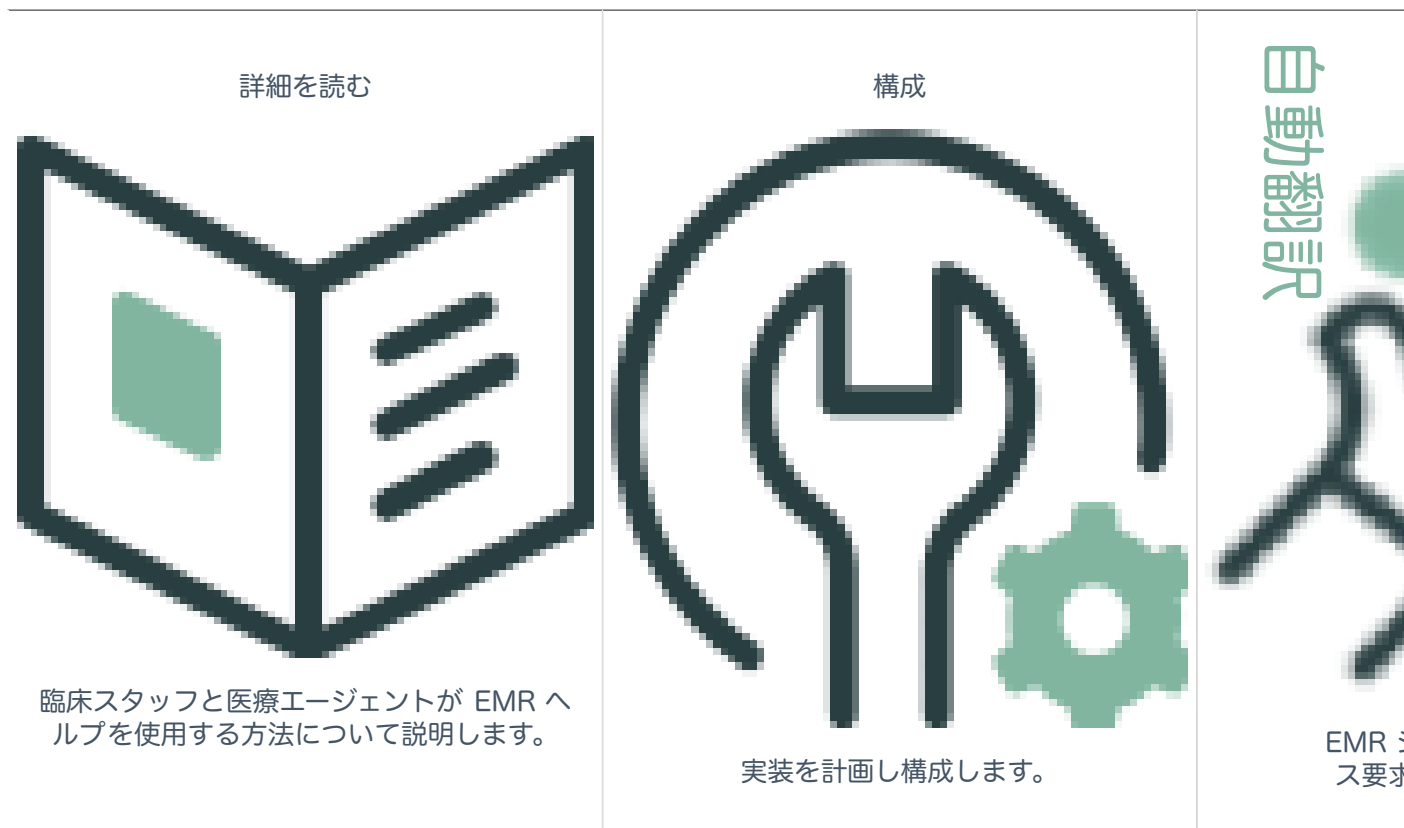
ヘルスケアプロバイダーのヘルスケアデータがドメイン別に分離されている場合、ヘルスケア要求と対応する実行タスクはそれぞれの顧客ドメインに関連付けられます。

EMR Help

この ServiceNow EMR Help アプリケーションを使用して、電子医療記録 (EMR) システムに関連するサービス要求を送信する ServiceNow プロセスを簡素化および合理化します。

ストアでアプリを要求する

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。



解決	参照
 <p data-bbox="319 850 662 913">EMR システムからのサービス要求の解決ServiceNow</p>	 <p data-bbox="821 955 1356 1018">フィールド、テーブル、プロパティなど、コンポーネントに関する詳細を取得します。</p>

その他のリソース

- [リモートヘルプ要求 API](#)
- [EMR Help のフォーラム ServiceNow Community site](#)

探索 EMR Help

アプリケーションの実装 EMR Help を開始するか拡張するかにかかわらず、臨床医が外部の EMR システムから要求を出すためのシームレスなエクスペリエンスを作成するために利用できる機能の詳細をご確認ください。

概要

臨床医からの EMR サービス要求を自動化して適切なチームにルーティングすることで、臨床医が患者ケアを提供する時間を最適化します。EMR システム内で問題報告機能が利用できない場合、臨床医が問題を報告する時間がなく、その結果、問題が報告されなかったり、解決が遅れたりする可能性があります。別の問題報告プロセスにアクセスする必要があるため、臨床医は患者から時間を奪い、日常的なワークフローを中断します。

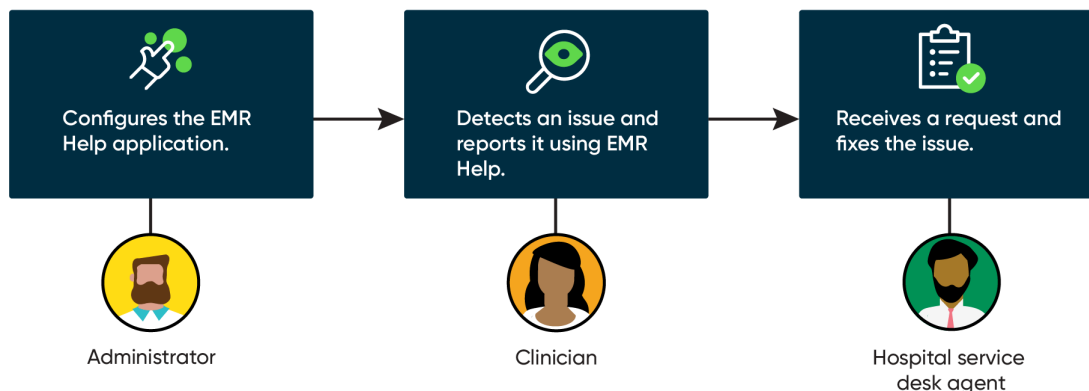
たとえば、臨床スタッフが患者レコードを表示しているときに、IT またはヘルスケア関連の問題に遭遇する場合があります。を使用すると EMR Help、臨床スタッフはインスタンスで ServiceNow サービス要求を自動的に作成する EMR システム内で直接サービスを要求できます。患者記録などの必要な詳細が自動的に追加され、サービスエージェントは臨床医が検出した問題を迅速かつ効果的に解決できます。

アプリケーションは EMR HelpEMR システムをServiceNowインスタンスと統合し、臨床スタッフが EMR システム内からサービス要求を送信できるようにします。サービス要求ごとに、インスタンスに ServiceNow 同等のレコードが作成されます。ヘルスケアエージェントは、インスタンスから ServiceNow そのようなレコードを調べて解決できます。

注:

医療ケース要求機能は、カスタム医療ケースタイプに対してのみ実行できます。医療ケースを履行するには、まず独自のカスタム医療ケースタイプを作成する必要があります。これに関する詳細については、「[EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプの設定](#)」を参照してください。

EMR ヘルプワークフロー



EMR ヘルプワークフローで、次の操作を行います。

1. 管理者は、EMR システムから送信されたさまざまなタイプの臨床スタッフの問題に対処するように EMR ヘルプアプリケーションを設定します。
2. 臨床スタッフは問題を検出し、EMR ヘルプポータルを使用して EMR システム内から直接サービスリクエストを作成します。
3. 病院のデスクサービスエージェントが要求を受信し、インスタンスを使用して ServiceNow 問題を修正します。

福利厚生

EMR ヘルプには次の利点があります。

EMR ヘルプのメリット

メリット	主な機能	ロール
EMR システムから直接 ServiceNow インスタンスに要求を送信することで、時間を節約できます。	EMR 内でのリクエストの作成	臨床スタッフ
ケース、インシデント、作業指示などのタスクベースのレコードを追跡することで、可視性が向上します。	EMR Help データモデル	Service Desk エージェント

EMR ヘルプのメリット (続く)

メリット	主な機能	ロール
機密情報を保護するための暗号化サポートを提供します。	の暗号化オプション EMR Help	管理者
病院のサービスデスクエージェントにインスタンス情報を自動的に送信します。	EMR ヘルプ要求の解決	Service Desk エージェント

EMR Help アプリケーションで開始するには、「[EMR Help の構成](#)」を参照してください。

EMR Help - IT サービス要求ワークフローのシナリオ

この EMR Help アプリケーションを使用して、インスタンスを ServiceNowEMR システム と統合し、臨床スタッフから送信された IT サービス要求を解決します。

シナリオ: EMR システムは、EMR ヘルプアプリケーションを使用してインスタンスと統合ServiceNowされます。この統合の結果、EMR システム 内でヘルプフォームが使用可能になり、臨床スタッフはインスタンスの ServiceNow インシデントとして IT サービス要求を送信できます。

次の図は、IT エージェントがシナリオで説明した臨床スタッフの問題を解決する方法を示しています。

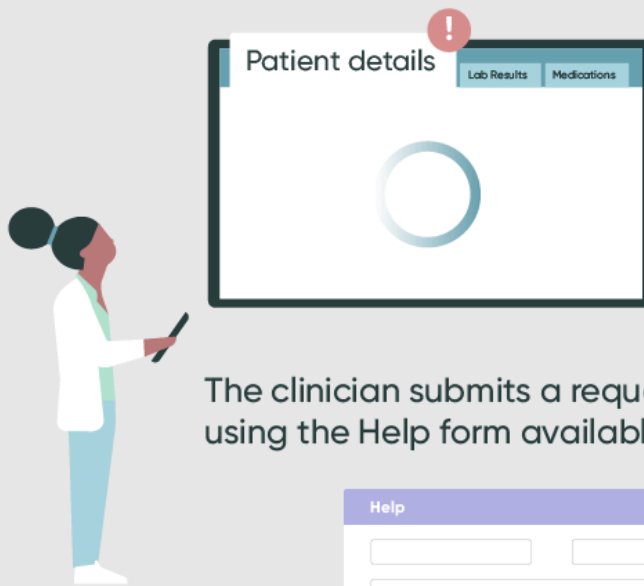
EMR Helpアプリケーションを使用して臨床スタッフの問題を解決する

EMR Help

EMR system is integrated with a ServiceNow instance using the EMR Help application



A clinician uses the EMR system to view details about the patient but experiences an issue with the patient record



The clinician submits a request for IT services using the Help form available in the EMR system

An incident record is created and assigned to an IT agent on the ServiceNow instance



以下のワークフローの手順では、IT エージェントが一般的な臨床スタッフの問題を解決する方法を詳しく説明します。

1. 臨床スタッフは、EMR システムで患者の詳細を表示しているときに、患者レコードが正しくロードされていないことに気付きます。
2. 臨床スタッフは、EMR システム内で利用可能なヘルプフォームを使用して IT サービスを要求します。
3. 臨床スタッフが要求を送信すると、サービス要求のインシデントレコードがインスタンスに ServiceNow 作成され、IT エージェントにアサインされます。
4. 患者 ID や臨床スタッフロールなどの EMR セッションの詳細は、EMR システム から取得され、インシデントレコードに自動的に追加されます。IT エージェントは、この追加情報を使用して、臨床スタッフが EMR システムへの適切なアクセス権を持っていないことをすぐに発見します。
5. IT エージェントは臨床スタッフのアクセスの問題を修正し、インシデントを解決します。
6. 臨床スタッフは、患者レコードが EMR システムに表示されるようになったことを確認します。

関連情報

[探索 EMR Help](#)

[EMR Help の構成](#)

[EMR システムからの IT サービス要求の送信ServiceNow](#)

[EMR システムから送信された IT サービス要求の表示と解決ServiceNow](#)

[store-future: BEGIN review]

EMR Help 医療ケースワークフローシナリオ

この EMR Help アプリケーションを使用して、インスタンスを ServiceNowEMR システム と統合し、臨床スタッフによって報告された医療ケースを管理します。

次のワークフローステップでは、エージェントが一般的な臨床スタッフの問題を解決する方法を詳しく説明します。

1. 臨床スタッフは、EMR システムで患者の詳細を表示しているときに、患者レコードが正しくロードされていないことに気付きます。
2. 臨床スタッフは、EMR システム内で利用可能なヘルプフォームを使用して、サービスに関する支援を要求します。
3. 臨床スタッフが要求を送信すると、サービス要求のレコードがインスタンスに ServiceNow 作成され、エージェントにアサインされます。
4. 患者 ID や臨床スタッフロールなどの EMR セッションの詳細は、EMR システム から取得され、レコードに自動的に追加されます。エージェントは、この追加情報を使用して、臨床医が EMR システムの患者レコードにアクセスできない理由をすぐに見つけます。
5. エージェントは臨床スタッフのアクセスの問題を修正し、インシデントを解決します。
6. 臨床スタッフは、患者レコードが EMR システムに表示されるようになったことを確認します。

[End]

EMR Help の構成

EMR システムから送信されたさまざまなタイプの臨床スタッフの問題に対処するようにアプリケーションを設定します EMR Help。




EMR Help 構成タスク

タスク	説明
EMR Help のインストール。	EMR Helpアプリケーションをインストールして、インスタンスを EMR システムと統合しますServiceNow。
要求タイプのデータテーブルを構成します。	<p>EMR インシデントデータ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルなどの IT 要求に関連付けられたデータテーブルを確認し、EMR システムからフェッチする予定の各システム変数を格納する列がテーブルにあることを確認します。テーブルに存在しないシステム変数に対応する新しい列を追加します。</p> <p>IT 要求のデータテーブルが存在しない場合は、リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルを拡張して別のデータテーブルを作成します。</p> <p>詳細については、「Table Administration」を参照してくださいEMR Help データモデル。</p>
EMR システムの要求パラメーターの設定。	EMR システムのリモート要求パラメーターを設定します。
EMR システムの要求定義の設定。	EMR システムからの IT サービス要求をサポートするように、要求定義を作成または変更します。さらに、リモート要求パラメーターを、タスクに関連付けられた要求データテーブルの列にマッピングします。
ユーザーにロールをアサインするEMR Help。	アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします EMR Help。
EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプの設定。	<p>EMR ヘルプポータルから行われたサービス要求を実行するために、EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプを設定します。</p> <p>ベースとなる医療ケースタイプ [sn_hcls_case] は、独自の医療ケースタイプを構築する際に拡張する基盤を提供する抽象ケースタイプです。</p>
EMR ヘルプのダイジェストトークン認証の設定。	ダイジェストトークン認証を利用する ServiceNow シングルサインオンを Epic で設定します。
ServiceNow での EMR ヘルプの iFrame サポートの設定	Epic Hyperspace および Hyperdrive のフレーム内で起動するように EMR ヘルプを設定します。

EMR Help 構成タスク (続く)

タスク	説明
EMR セッション情報コンテキストサイドバーの設定。	ワークスペースで EMR セッション情報コンテキストサイドバーを構成して、そこに表示されるフィールドを管理します。
EMR ヘルプサービスポータルの設定。	管理者は、EMR システムから IT サービスリクエストを送信するための EMR ヘルプサービスポータルを設定できます。
IT サービス要求の実行プロセスを設定します。	専用のサービスポータルまたはシステムサポートモジュールを使用して、EMR システムから送信された IT サービスリクエストを管理します。
(オプション) EMR ヘルプで暗号化を実装します。	フィールド、添付ファイル、またはその両方を暗号化して、EMR システム データを保護します。
(オプション)。EMR システムの URL および REST API タスクパラメーターのカスタマイズ	スクリプト化された拡張ポイントを使用して、EMR システムの URL パラメーターと REST API タスクパラメーターを操作します。

i 注:

- の EMR Helpダイジェストトークン認証を設定するには、ナレッジベースの記事「[How to Configure Digest Token Authentication for EMR Help with Epic Hyperspace \[KB1002504\]](#) (EMR のダイジェストトークン認証の設定方法 )」を参照してください Now Support。
- 用に EMR HelpEpic EMR システムを設定するには、ナレッジベースの記事「[How to create the Epic piece for the EMR Help store application \(EMR ヘルプストアアプリケーション用のエピックピースの作成方法\)](#)」[KB0964037]  を参照してください Now Support。
- Epic Hyperspace および Hyperdrive の iframe 内で起動するように EMR ヘルプを設定するには、ナレッジベースの記事「[How to configure EMR Help to launch within an iFrame in Epic Hyperspace and Hyperdrive \(Epic Hyperspace および Hyperdrive の iFrame 内で起動するように EMR ヘルプを設定する方法\)](#)」  を参照してください Now Support [KB1207128]。

EMR Help のインストール

admin ロールをお持ちであれば、EMR Help アプリケーション (sn_ind_rmt_help) をインストールできます。アプリケーションには、デモデータが含まれています。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。
- ServiceNow ITSM Healthcare and Life Sciences Service Management Core パッケージが管理者によって既にインストールされていることを確認します。

必要なロール：admin

このタスクについて

EMR Help とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

詳細については、「[EMR Help とともにインストールされるコンポーネント](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて](#)。
2. EMR Help フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_ind_rmt_help) を検索します。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Store バージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、EMR ヘルプ アプリケーションをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

i 重要:

インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

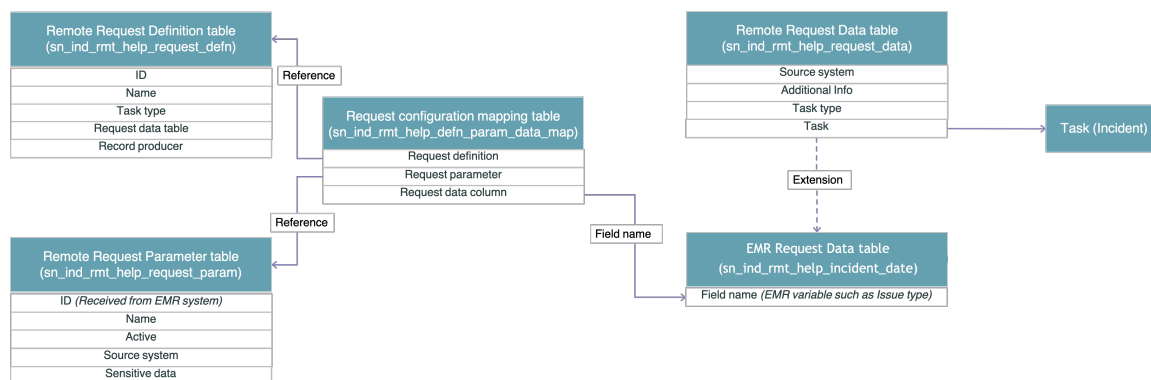
EMR Help データモデル

データモデルを使用するとEMR Help、臨床スタッフは EMR システムからインスタンスのServiceNowサービス要求を送信できます。

EMR Helpデータモデルは、アプリケーションを機能させるEMR Helpために必要な EMR システムデータにのみアクセスします。

次の図は、データ モデルを構成する EMR Help テーブルとその列、および各テーブル間の関係を示しています。

EMR Help データモデル



EMR Help データモデルは、次のテーブルの組み合わせを使用してデータを保存します。

- Now Platform インシデント [incident] テーブルや医療ケース [sn_hcls_case] などのタスクテーブル。
- アプリケーションに含まれる EMR Help テーブル:
 - リモート要求定義テーブル
 - リモート要求パラメーターテーブル
 - リモート要求データテーブル
 - EMR 要求データテーブル
 - 要求構成マッピングテーブル

例 - リクエストタイプのデータテーブルの設定

EMR 要求データ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルなどの要求に関連付けられたデータテーブルを確認し、EMR システムからフェッチする予定の各システム変数を格納する列がテーブルにあることを確認します。

たとえば、管理者として、Cerner EMR システムからのシステム変数エンカウンターを EMR インシデントリクエストタイプに含めるとします。

次のワークフローを使用して、インシデント要求タイプに 遭遇 システム変数が表示されるようにします。

1. EMR 要求データ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルを確認するには、すべて > システム定義 > テーブル テーブルを選択します
2. encounterシステム変数に対応する列がテーブルに存在するかどうかをチェックします。

列が存在しないことを確認します。

3. encounterシステム変数に対応する新しい列を追加するには、「列」関連リストで「新規」をクリックし、辞書エントリフォームでencounterシステム変数に関連付けられた列の詳細を入力して「送信」をクリックします。

詳細については、「辞書エントリフォーム」を参照してください。

EMR システムの要求定義の設定

インスタンスの EMR システム からのサービス要求を受け入れるように、要求定義を作成または変更します ServiceNow 。

始める前に

- アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを EMR Help に設定します。詳細については、「アプリケーションピッカー」を参照してください。
- 要求パラメーターと、すべての要求パラメーターの同等の列がリモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルに存在することを確認します。詳細については、「EMR システムの要求パラメーターの設定」を参照してください。

必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin または admin

このタスクについて

リクエスト定義は、EMR システムから作成されたリクエストタイプのモデルです。デフォルトでは、IT サービス要求 [sn_it_request] 要求定義はインシデントタイプのタスクレコードに提供され、Cerner EMR システムにマッピングされます。このリクエスト定義に関連付けられたパラメータも事前定義されており、リモートリクエストデータ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルまたはその拡張データテーブル (EMR リクエストデータ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルなど) の列にマッピングされます。

- ❗ **注:**
sn_ind_rmt_help.admin ロールを持つユーザーは、事前定義された要求定義と構成マッピング設定を削除できません。

手順

1. 移動先 すべて > **EMR Help** > 管理 > 要求定義。
2. [リモート要求定義] リストで、既存の要求定義を変更するか、別の要求定義を作成します。
 - 既存の要求定義を変更するには、[リモート要求定義] リストの [ID] 列の要求定義をクリックします。
 - 別の要求定義を作成するには、[リモート要求定義] リストで [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。



リモート要求定義フォーム

フィールド	説明
ID	要求定義の一意的識別子。 ❗ 注: 要求定義の作成後に ID を変更することはできません。
名前	要求定義を識別する名前。

フィールド	説明
タスクタイプ	IT サービス要求に関連付けられたタスクテーブル。 たとえば、インシデント [incident] テーブルなどです。
要求データテーブル	EMR システムからの追加データを保存するデータテーブル。 追加データには、環境、ワークステーション、および EMR システムからのその他のデータが含まれる場合があります。
レコードプロデューサー	タスクレコード内のフィールドを変更し、IT サービス要求フォームで使用できるようにするレコードプロデューサー。 専用のサービスポータルを持つレコードプロデューサーを使用する。
REST API タスクパラメーター	
Scripted REST APIs のパラメーター。システムサポートモジュールで Scripted REST APIs を使用します。詳細については、「 リモート ヘルプ要求 API 」を参照してください。	
タスク作成パラメーター	EMR システムで IT サービス要求を作成するときに利用可能なタスクレコードのパラメーター。
タスクリストパラメーター	EMR システムで IT サービス要求のリストを表示するときに利用可能なタスクレコードのパラメーター。
タスク詳細パラメーター	EMR システムで IT サービス要求の詳細を表示するときに利用可能なタスクレコードのパラメーター。
タスク更新パラメーター	EMR システムで IT サービス要求を更新するときに利用可能なタスクレコードのパラメーター。

i 注:

REST API タスクパラメーターを入力できるようにするには、パラメータータイプに対応するロックアイコンをクリックします。たとえば、タスク作成パラメータを入力するには、次のようにします。

- a. タスク作成パラメーターのロック解除アイコン () をクリックします。
- b. 目的のパラメーターを [利用可能] 列の利用可能なパラメーターから [選択済み] 列に移動します。
- c. 上アイコンまたは下アイコンをクリックして、EMR システムの IT サービスリクエストページに表示する順序でパラメーターを配置し、タスクのロックパラメーター作成アイコン () をクリックします。

4. リモート要求定義設定を保存します。

- 新しい要求定義を保存するには、「送信」をクリックします。
 - 既存の要求定義に対する変更を保存するには、「更新」をクリックします。
5. 要求パラメーターを要求データテーブルの列にマッピングすることで、要求パラメーターからのデータをリモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルに格納します。
- a. [構成マッピングの要求] セクションで、既存の構成マッピングを変更するか、別の構成マッピングを作成します。
- 既存の構成マッピングを変更するには、[要求構成マッピング] セクションの [要求パラメーター] 列の要求パラメーターの横にあるプレビューアイコン ([i] をクリックし、[レコードを開く] をクリック) をクリックします。
 - 別の構成マッピングを作成するには、[構成マッピングの要求] セクションで [新規] をクリックします。
- b. フォームのフィールドに入力します。

[要求構成マッピング] フォーム

フィールド	説明
要求パラメーター	EMR システムから受信した要求パラメーター。
要求データ列	リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルの列名またはインスタンス内の ServiceNow その拡張。

i 注:
 1 つの要求パラメーターをデータテーブルの一意の列にマップします。ただし、異なる EMR システムからの類似のパラメータが利用可能な場合は、それらをデータテーブルの同じ列にマッピングできます。

- c. 構成マッピングを保存します。
- 新しい設定マッピングを作成した場合は、[送信(Submit)] をクリックします。
 - 既存の設定マッピングを変更した場合は、[更新(Update)] をクリックします。

EMR システムの要求パラメーターの設定

EMR システムの EMR 変数をサービス要求に含める ServiceNow パラメーターを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin または admin

このタスクについて

パラメーターは、サービス要求を充実させる EMR システム で定義された EMR 変数です。

システム固有のパラメータをリモートリクエストパラメータとして作成し、リクエストのヘルプフォームに自動的に入力される EMR 変数としてデータを送信することもできます。例えば、システム固有のパラメーターを使用して、ユーザーのワークステーションまたは環境設定を保管できます。

次のデフォルトの要求パラメーター設定に注意してください。

- Cerner EMR システムの場合、リモート要求パラメーターは事前定義されており、削除できません。Scripted REST APIs は、Cerner EMR システム システムとの統合に使用されます。定義済みの Cerner EMR システム 変数は、リモート要求パラメーター [sn_ind_rmt_help_request_param] テーブルで定義されています。Cerner EMR システムパラメーターを表示するには、[リモート要求パラメーター] フォームでソースシステムとして **[Cerner]** を選択します。
- エピック EMR システムの場合、サンプルの EMR 変数は、アプリケーションのデモデータ EMR Help とともに要求パラメーターとして利用できます。これらの要求パラメーターを削除または再利用するか、パラメーターを追加するか、またはその両方を行うことができます。エピック EMR システムパラメーターを表示するには、**リモート要求パラメーターフォーム**でソースシステムとして [エピック] を選択します。

手順

1. 移動先 **すべて > EMR Help > 管理 > 要求パラメータ**.
2. [リモート要求パラメーター] リストで、既存のパラメーターを変更するか、別のパラメーターを作成します。
 - 既存の要求パラメーターを変更するには、[リモート要求パラメーター] リストの **[ID]** 列でパラメーターを選択します。
 - 別の要求パラメーターを作成するには、「リモート要求パラメーター」リストで「新規」をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

リモート要求パラメーターフォーム

フィールド	説明
ID	EMR システムで利用可能なパラメーターの一意的識別子。 i 注: 要求定義の作成後に ID を変更することはできません。
名前	要求パラメーターを識別する名前。
アクティブ	要求パラメーターを有効にするためのオプション。
ソースシステム	パラメーターがマッピングされている EMR システム。 パラメーターを関連付けることができるソース・システム・タイプは、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ Epic: Epic EMR システム。 ◦ Cerner: Cerner EMRシステム。 ◦ 任意のシステム: Epic EMR システムや Cerner EMR システムなど、あらゆるタイプの EMR システム。

フィールド	説明
	<p>i 注:</p> <p>ソースシステムエントリーをさらに追加するには、リモート要求パラメーター [sn_ind_rmt_help_request_param] テーブルの [ソースシステム] 列の辞書エントリーを変更します。詳細については、「辞書エントリーの変更」を参照してください。</p>
機密データ	パラメーターに機密データが含まれていることを示すオプション。

4. リモート要求パラメーターの設定を保存します。

- 新しいパラメータを保存するには、[送信(**Submit**)] をクリックします。
- 既存のパラメータに対する変更を保存するには、「更新」をクリックします。

5. 新しい要求パラメーターを作成した場合は、リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルまたはその拡張された子データテーブルに同等の列を追加します。

- i** 注:
- EMR 変数の列がデータテーブルに既に存在する場合は、別の列を作成する代わりに同じ列を再利用できます。たとえば、いくつかの共通の EMR 変数を持つ複数の EMR システムがある場合、異なる EMR システムの共通変数をデータテーブルの同じ列にマッピングできません。

ユーザーにロールをアサインする**EMR Help**

アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします EMR Help 。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

次のテーブルにリストされているロールを持つユーザーは、EMR Help アプリケーションを使用できます。

EMR Help に必要なロール

ロール	タスク
sn_ind_rmt_help.admin	リモート要求定義とデータテーブルを設定し、使用するスクリプト化された REST API を特定し、レコードプロデューサーを構成します。
sn_ind_rmt_help.requester	EMR システム内からサービス要求を ServiceNow 送信およびモニタリングします。
sn_ind_rmt_help.viewer	サービス要求に関連付けられた ServiceNow EMR データの詳細を表示します。

EMR Help に必要なロール (続く)

ロール	タスク
	<p>i 注:</p> <p>EMR システムから報告された問題を処理するエージェントに、sn_ind_rmt_help.viewer ロールをアサインします。デフォルトでは、このロールは EMR リクエストデータ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルに保存されている EMR 変数へのアクセスを提供します。</p>

手順

ユーザー管理機能を使用して、Now Platform ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールの割り当て](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプの設定

EMR ヘルプポータルから行われたサービス要求を実行するために、EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプを設定します。

ベースとなる医療ケースタイプ [sn_hcls_case] は、独自の医療ケースタイプを構築する際に拡張する基盤を提供する抽象ケースタイプです。

EMR ヘルプには、独自の設定方法の例として、この基本ケースタイプに基づいて構築されたデフォルトのレコードプロデューサーとリクエスト定義が用意されています。

抽象的なケースタイプに対して作成されたレコードを満たすには、独自の医療ケースタイプを設定する必要があります。抽象医療ケースタイプの詳細については、次を参照してください [医療ケーステーブル](#)。

次の手順では、新しいケースタイプを作成し、それをサポートするためにデフォルトのレコードプロデューサーと要求定義を変更する手順を説明します。

設定要件

- ServiceNow 管理者
- EMR Help
- ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理

カスタム医療ケースタイプの作成

EMR ヘルプ用のカスタム医療ケースタイプを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて](#) > [システム定義](#) > [テーブル](#)。
2. **[New (新規)]** をクリックします。

3. 次のフィールドに入力します。

- ラベル:医療ケースタイプのラベル。例:EMR ケース
- 名前:医療ケースタイプのテーブル名。たとえば、sn_hcls_emr_case
- 拡張テーブル:医療ケース

4. [コントロール] タブで、[自動番号] を **[true]** に設定します。**5.** [アプリケーションのアクセス] タブで、次のようにフィールドに入力します。

- 読み込み可能:True
- 作成可能:True
- 更新可能:True
- 他のアプリケーションスコープからの削除アクセスを許可:True
- 構成を許可:True

6. **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

これで、医療ケースの抽象ケースタイプから拡張された新しいケースタイプができました。抽象医療ケースタイプの詳細については、次を参照してください [医療ケーステーブル](#)。

次のタスク

[医療ケースタイプのレコードプロデューサーの構成](#)。

医療ケースタイプのレコードプロデューサーの構成

新しく作成したテーブルを指すように医療ケースレコードプロデューサーを更新します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

- 1.** 移動先 [すべて](#) > [サービスカタログ](#) > [カタログ定義](#) > [レコードプロデューサー](#)。
- 2.** 医療ケースのレコードプロデューサーを開きます。
- 3.** テーブル名を新しい医療ケースタイプに設定します。
例:EMR ケース。
- 4.** **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

新しく作成したテーブルを指すようにレコードプロデューサーを構成しました。

次のタスク

[医療ケースタイプの要求定義の設定](#)。

医療ケースタイプの要求定義の設定

HCLS ケース要求定義を構成して、新しく作成された医療ケースタイプをサポートします。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 **すべて > EMR Help > 管理 > 要求定義**.
2. **HCLS** ケース [sn_hcls_case_request] 定義を開きます。
3. [タスクタイプ] フィールドを新しい医療ケースタイプに設定します。
例:EMR ケース。
4. **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

ヘルスケースタイプをサポートするように HCLS ケース要求定義が構成されました。

次のタスク

[カスタム医療ケースタイプをサポートするように医療レコードページを設定する。](#)

カスタム医療ケースタイプをサポートするように医療レコードページを設定する

EMR セッション情報を表示するには、カスタムケースタイプを含めるようにワークスペースのヘルスケアレコードページを設定します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 **すべて > Now Experience フレームワーク > UI ビルダー**.
2. エクスペリエンスで、**CSM/FSM** 構成可能ワークスペースを開きます。
3. 受信 ページとバリエーション > レコードで、[ヘルスケアレコードページ (**Healthcare record page voltron**)] をクリックします。
4. [設定] ボタンを切り替えます。
5. [条件] の [バリエーション条件] に、新しい医療ケースタイプ名 `^ORtable=<your table name` を含む追加の OR ステートメントを追加します>

例：

```
table=sn_hcls_patient^ORtable=sn_hcls_case^ORtable=sn_hcls_emr_case
```

i 注:

医療ケースタイプテーブル名を見つけるには、[すべての>システム定義>テーブル] に移動し、新しい医療ケースタイプを検索します。テーブル名が [名前] 列に表示されます。

6. **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

これで、カスタムヘルスケアケースタイプを含めるようにワークスペースが構成されました。

EMR ヘルプのダイジェストトークン認証の設定

ダイジェストトークン認証を利用する ServiceNow シングルサインオンを Epic で設定します。

ServiceNow インスタンスは、エピックハイパースペース FDI レコードから、暗号化されていない HTTP ヘッダー内のユーザー名とダイジェストトークンを受け取ります。ServiceNow は HTTP ヘッダー値を読み取り、ダイジェストトークンを検証します。ダイジェストトークンが正常に検証されると、インスタンスはユーザーテーブルで一致するユーザー資格情報を検索します。一致する値がある場合、ユーザーはログインします。ダイジェストトークンが正常に検証されない場合、または

ユーザーテーブルに一致するユーザーがない場合、ユーザーは標準ログインページにリダイレクトされ、アクセスは許可されません。

Epic Hyperspace/Hyperdrive を使用したダイジェストトークン認証には以下が必要です。

- Epic Hyperspace/Hyperdrive 実装に固有の生成された暗号化キー
- AES256 を復号化できるスクリプトインクルードまたは javascript ライブラリ
- URL パラメーターでユーザーとダイジェストトークンをターゲットインスタンスに渡す Hyperspace 内の構成済み統合レコード (FDI)
- ServiceNow 管理者
- エピックアナリスト

この設定を行う方法については、ナレッジベースの記事「[How to Configure Digest Token Authentication for EMR Help with Epic Hyperspace and Hyperdrive \[KB1002504\] \(EMR のダイジェストトークン認証の設定方法\)](#)」を参照してください Now Support 。

ServiceNow での EMR ヘルプの iFrame サポートの設定

Epic Hyperspace および Hyperdrive のフレーム内で起動するように EMR ヘルプを設定します。

始める前に

必要なロール：admin

iframe 内で ServiceNow ページまたはポータルを起動するには、HTTP 応答ヘッダーを適切なコンテンツセキュリティポリシーで設定する必要があります。このコンテンツセキュリティポリシーによって、iframe 内に ServiceNow ページまたはポータルをロードできるサードパーティ Web サイトが決まります。

EMR ヘルプポータル (業界リモートポータル) では、iframe で EMR ヘルプを起動する Epic Hyperdrive サイトの URL に対して特定の HTTP 応答ヘッダーを設定する必要があります。

この HTTP 応答ヘッダーは、グローバル HTTP 応答ヘッダーの後に並べる必要があります、[追加方法 (Add by)] を [上書き] に設定する必要があります。

この構成は、ハイパードライブとハイパースペースの両方で機能します。ServiceNow はブラウザーのバージョンを検出し、それに応じて HTTP 応答ヘッダーを自動的に変更します。

手順

1. スコープを [EMR ヘルプ] に設定します。
2. 移動先 すべて > **HTTP 応答ヘッダー**。
(または sys_response_header.list を検索)
3. [HTTP Response Headers] をクリックします。
4. リストビューで、[新規] をクリックします。
5. [HTTP Response Header] フォームに次のように入力します。
6. [送信] をクリックします。
7. リストビューで、[順序] フィールドでソートします。
8. 新しく作成した HTTP 応答ヘッダーの [順序] フィールドをダブルクリックし、値を 500 に設定します。
9. [追加方法 (Add by)] フィールドをダブルクリックし、値を [上書き] に設定します。

タスクの結果

これで、次のような HTTP 応答ヘッダーが作成されました。

次のタスク

Epic 内のその他の設定手順については、ナレッジベースの記事「[How to configure EMR Help to launch within an iFrame in Epic Hyperspace and Hyperdrive \(Epic Hyperspace および Hyperdrive の iFrame 内で起動するように EMR ヘルプを設定する方法\)](#)」 [KB1207128] を参照してください Now Support。

EMR セッション情報コンテキストサイドバーの設定

ワークスペースで EMR セッション情報コンテキストサイドバーを構成して、そこに表示されるフィールドを管理します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 **すべて > EMR Help > 要求定義**.
2. コンテキストサイドバーを構成する要求定義を選択します。
3. [要求構成マッピング] 関連リストで、[順序] 列を使用してコンテキストサイドバーのフィールド順序をソートします。

最も小さい数値が常にサイドバーの最初に表示されます。したがって、たとえば、メールアドレスの値が 210 で電話番号の値が 200 の場合、これらの値を入れ替えて、メールアドレスの前に電話番号を表示することができます。

ソース・システムが要求で定義されている場合、そのソース・システムのパラメーターのみが、ソート順に基づいてコンテキスト・サイドバーに表示されます。要求でソースシステムが定義されていない場合は、すべてのパラメーターがコンテキストサイドバーに表示されます。

EMR ヘルプサービスポータルの設定

EMR ヘルプサービスポータルを使用すると、ユーザーは EMR システム内から IT サービスリクエストを送信ServiceNowできます。

管理者は、EMR システムから IT サービスリクエストを送信するための EMR ヘルプサービスポータルを設定できます。EMR ヘルプサービスポータルにアクセスするには、サービスポータル > ポータル をクリックし、[**Industry Remote Help**] をクリックします。

EMR ヘルプサービスポータル内で利用可能なデフォルトのホームページには、新規 > 問題の報告 EMR システムから Remote Assist インシデントを送信するためのメニューオプション。デマンドや変更要求など、インシデント以外の IT サービス要求の場合は、IT サービス要求に関連付けられた定義用の新しいメニューを追加するように EMR ヘルプサービスポータル を設定する必要があります。

ます。臨床スタッフは、構成された IT サービス要求タイプを送信するためのオプションをサービスポータルで表示できます。

サービスポータルを使用したカスタムインターフェイスの作成の詳細については、「[サービスポータル](#)」を参照してください。

ServiceNowEMR システムの IT サービス要求履行プロセスの設定

システムサポートモジュールまたは専用のサービスポータルを使用して、EMR システムからの IT サービスリクエストを管理しServiceNowます。

EMR システムのシステムサポートモジュールの使用

Cerner EMR システムなどの EMR システム内で IT サービス要求を送信するには、構築済みのServiceNowスクリプト化された REST APIs を使用します。リモートヘルプリクエスト API は、EMR システムとの統合に使用できます。詳細については、「[リモートヘルプ要求 API](#)」を参照してください。

EMR システム専用のサービスポータルの使用

エピック EMR システムなどの EMR システム内に IT サービス要求を送信するServiceNowためのサービスポータルページを埋め込みます。

i 注:

外部 Web アプリケーションを Epic EMR システムに統合するには、Epic の Web サイトでユーザー向けに提供されているセットアップおよびサポート ガイドの次のセクションを参照してください。

- ユーザーがツールバーボタンから Web アプリケーションを起動できるようにする
- HTTP GET のデータ連携レコードの構成
- ワークフローのアクティビティと実行パラメーターを準備する

詳細については、教育機関のEpicチーム担当者にお問い合わせください。

管理者は、EMR ヘルプサービスポータル を使用して、臨床スタッフが IT サービスリクエストを送信できるようにすることができます。詳細については、「[EMR ヘルプサービスポータルの設定](#)」を参照してください。

専用のサービスポータルを使用するには、レコードプロデューサーを作成してレコードプロデューサーでヘルプフォームのフィールドを定義し、そのフォームをサービスポータルに埋め込みます。臨床スタッフは、このヘルプフォームを使用して IT サービス要求を送信できます。

デフォルトでは、レコードプロデューサーは、*EMR Incident* インシデントに関連付けられた IT サービス要求を送信するために使用できます。デフォルトのレコードプロデューサーを使用して、さらに変数を追加したり、独自のレコードプロデューサーを作成したりできます。詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」を参照してください。

サービスポータルにフォームを埋め込む場合は、次の点に注意してください。

- IT サービス要求を送信するためのサービスポータルページを埋め込むには、`https://<instance name>.service-now.com/emr-assist?id=emr_assist_home_page&sysparm_source=source_name` という URL 形式を使用します。

`source_name`の場合は、要求パラメーターで定義されたパラメーターを指定します。詳細については、「[EMR システムの要求パラメーターの設定](#)」を参照してください。

- `https://<instance name>.service-now.com/emr-assist?id=emr_assist_home_page&sysparm_source=source_name&var1_id=Value1&var2_id=Value2` の形式を使用して、EMR 変数をサービスポータルページの URL に追加することもできます。

たとえば、 `https://<instance name>.service-now.com/emr-assist?`

`id=emr_assist_home_page&sysparm_source=epic&sysparm_ws=Workstation&sysparm_ws=Env` などです。

i 注:

EMR 変数には、ワークステーション ID、サーバー、患者の医療記録番号 (MRN) などがあります。EMR 変数をタスクパラメーターとして定義します。EMR システムのヘルプフォームに表示されるように設定されている場合、EMR 変数の値は自動的に入力されます。詳細については、「[EMR システムの要求パラメーターの設定](#)」を参照してください。

の暗号化オプション **EMR Help**

EMR Help は、機密情報を保護するための暗号化サポートを提供します。

暗号化により、権限のないユーザーが機密の EMR システム データを表示するのを防ぎます。

アプリケーション Now Platform では EMR Help、次の暗号化オプションがサポートされています。

- [Column Level Encryption](#)
- [列レベル暗号化エンタープライズ](#)

Column Level Encryption

Column Level Encryption (CLE) は、暗号化モジュールでの暗号化を可能にする組み込み機能です。サービス要求で EMR システムに関連付けられたテーブル列と添付ファイルの暗号化を可能にする CLE プラグイン (`com.glide.encryption`) は、管理者がアプリケーションをインストールする EMR Help とデフォルトで有効になります。

CLE プラグイン (`com.glide.encryption`) が有効になったら、暗号化モジュールを設定し、アプリケーションを使用する EMR Help 必要なルールに関連付けます。テーブルまたはフィールド (テーブル内の列) は暗号化できますが、暗号化が最も役立つのは、機密データとしてマークされた要求パラメーターのデータテーブル内の列です。

デフォルトでは、`sn_ind_rmt_help_viewer` ルールに関連付けられた **rmt_help_data_view** 暗号化モジュールをアプリケーションで使用できます EMR Help。さらに、リモートリクエストデータ [`sn_ind_rmt_help_request_data`] テーブルの [追加情報] フィールド (列) と、EMR インシデントデータ [`sn_ind_rmt_help_incident_data`] テーブルの [電話番号] フィールドと [メールアドレス] フィールド (列) は、デフォルトで暗号化されています。

詳細については、「[Column Level Encryption](#)」を参照してください。

列レベル暗号化エンタープライズ

列レベル暗号化エンタープライズ は、拡張暗号化機能を提供し、Key Management Framework (KMF) を利用します。アプリケーションで EMR Help このオプションを使用するには列レベル暗号化エンタープライズ、管理者がプラグイン (`com.glide.now.platform.encryption`) をアクティブ化する必要があります。管理者は、KMF での CLE の使用をオプトインできます。詳細については、「[Column Level Encryption Enterprise のアクティブ化](#)」を参照してください。

このリリース以降 Quebec、暗号化のサポートから Column Level Encryption へのキーと暗号化データの移行は、ジョブスケジュールを使用して自動化されます。詳細については、「[Column Level Encryption Enterprise への移行](#)」を参照してください。

i 注:

このリリースを利用している既存のお客様は、Paris カスタマーサポートに連絡し ServiceNow で、キーと暗号化データを暗号化サポート 列レベル暗号化エンタープライズから移行する必要があります。

EMR システムの URL および REST API タスクパラメーターのカスタマイズ

スクリプト化された拡張ポイントを使用して、EMR システムの URL パラメーターと REST API タスクパラメーターを操作します。

始める前に

EMR Help アプリケーションをインストールします。詳細については、「[EMR Help のインストール](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

拡張ポイントを使用すると、ベースコードを変更することなくカスタマイズを簡単に統合することができます。カスタマイズされたスクリプトを使用して、標準的な基本機能を拡張することができます。詳細については、「[拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 **すべて > システムの拡張点 > スクリプト化済みの拡張点**.
2. [API 参照名] 列で、「sn_ind_rmt_help」を検索して選択します。
。RemoteHelpParamTransformerです。
3. [拡張ポイント] フォームで、sn_ind_rmt_helpを使用するようにスクリプトインクルードを変更します。RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイントを設定するか、カスタムスクリプトインクルードを作成して登録します。
 - カスタムスクリプトインクルードを作成および登録します。

詳細については、「[Registering custom script includes against the scripted extension points](#)」を参照してください。

- 既存のスクリプトインクルードを変更するには、[実装] 関連リストに移動し、[クラス] 列のスクリプトインクルードを選択します。

i 注:

デフォルトでは、sn_ind_rmt_helpを使用する RemoteHelpParamTransformer スクリプトインクルード。アプリケーションで RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイントを使用できます。EMR Help

4. sn_ind_rmt_helpを追加して、EMR システムの パラメーターをカスタマイズします。スクリプトインクルードへの RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイント。
拡張ポイントに対して複数の実装を作成し、各実装に順序番号を指定できます。順序番号が最も小さい実装が最初に実行されます。

EMR システムのカスタマイズ

カスタマイズ	実装
受信タ	sn_ind_rmt_helpに transformIncomingTaskParams メソッドを含めます。 。RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイント。このメソッドは、EMR システムから

カスタマイズ	実装
スクパラメーター	IT サービスリクエストを作成および更新する前に REST API から呼び出され、任意の入力パラメータを変更できます。
送信タスクパラメーター	sn_ind_rmt_helpに <code>transformOutgoingTaskParams</code> メソッドを含めます。 RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイント。このメソッドは、タスク関連データを EMR システムに送信する前に、タスクリストとタスクの詳細を取得するために REST API から呼び出されます。
受信 URL パラメーター	sn_ind_rmt_helpに <code>transformURLParams</code> メソッドを含めます。 RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイント。このメソッドは、URL パラメーターを格納する前にサービスポータルから呼び出されます。 注: EMR システムに暗号化アルゴリズムがある場合は、sn_ind_rmt_helpで受信 URL パラメータメソッドを設定できます。インスタンスから暗号化されたタスクパラメーターを復号化するための RemoteHelpParamTransformer 拡張ポイント。ServiceNow

5. [拡張ポイント] フォームで、[更新] をクリックします。

EMR 内でのリクエストの作成

EMR システム内で直接サービスを要求できます。EMR システムでは、ServiceNow インスタンスでサービス要求が自動的に作成されます

EMR ヘルプポータルから、画面の右上隅にある [Help] (ヘルプ) メニューを使用して、EMR 内から直接サービスリクエストを作成します。

EMR システムからの IT サービス要求の送信ServiceNow

IT サービス要求を送信しServiceNowで、EMR システムの問題を報告します。

sn_ind_rmt_help.requester ロールを持つユーザーは、EMR システム内から IT サービス要求を送信およびモニタリングServiceNowできます。管理者は、IT サービス要求のサービス遂行方法を指定します。詳細については、「[ServiceNowEMR システムの IT サービス要求履行プロセスの設定](#)」を参照してください。

EMR 内からの医療ケースの作成

EMR ヘルプサービスポータルを使用して、EMR システム内から直接医療ケースを作成します。

sn_ind_rmt_help.requester ロールを持つユーザーは、EMR システム内から医療ケースを送信できます。これらのケースは、ServiceNow インスタンス内で実行できます。

注:

医療ケース要求機能は、カスタム医療ケースタイプに対してのみ実行できます。医療ケースを履行するには、まず独自のカスタム医療ケースタイプを作成する必要があります。これに関する詳細については、「[EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプの設定](#)」を参照してください。

医療ケースの作成

EMR 内からケースを作成するには、右上の [Requests] オプションメニューから [Healthcare Case] を選択します。[Healthcare Case] フォームが表示されます。

医療ケースのフィールド

フィールド	説明
EMR セッション情報	EMR セッション情報には、EMR からキャプチャされた設定済みパラメーターの値が表示されます。 ここに表示するように設定されたパラメータがあるのに生成されない場合は、そのパラメータ

医療ケースのフィールド (続く)

フィールド	説明
	<p>の値が EMR から渡されていないことが原因です。</p> <p>これらのフィールドは自動的に入力され、読み取り専用です。</p>
医療機関	<p>この医療ケースに関連付けられた医療機関。</p> <p>このフィールドは、ユーザーの関連する組織に基づいて自動的に入力されます。</p>
医療従事者	<p>この医療ケースに関連付けられた医療従事者。</p> <p>このフィールドは、要求を行う施術者に基づいて自動的に入力されます。</p>
サポートが必要です	<p>要求の理由。</p> <p>ドロップダウンリストから、支援が必要なヘルスケアサービスのタイプを選択します。</p>
これは患者レコードに関連していますか?	<p>この要求が患者レコードに関連付けられていることを示す場合に選択します。</p> <p>「はい」の場合、[患者] フィールドが表示され、入力できるようになります。</p>
患者	<p>この医療ケースに関連付けられた患者。</p> <p>このフィールドは、patient_id/パラメーターが EMR から渡された場合に自動的に入力されます。</p>
説明	<p>問題の説明。</p>
保護された健康情報 (PHI)	<p>患者名、医療記録番号 (MRN)、生年月日 (DOB) などの詳細を入力します。</p> <p>このフィールドに入力された値は暗号化されます。</p>

[送信] をクリックして、医療ケース要求を履行にルーティングします。

送信された医療ケース情報

ヘルスケアケースを送信した後、送信した情報をポータルから直接確認できます。

Help is on its way! Requests

Home > My Request - CS0001016

Created just now Updated just now State **New**

CS0001016
Show more

Opened by System Administ... Service EMR Services Patient Gilly Parker

Activity Attachments Additional info

System Administrator
CS0001016 Created just now

Start

- [アクティビティ] タブに要求のステータスが表示されます。
- [添付ファイル] タブには、要求に関連付けられたすべての添付ファイルが表示されます。
- [追加情報] タブには、要求で送信されたすべての情報の読み取り専用バージョンが表示されます。

Help is on its way! Requests

Home > My Request - CS0001016

Created just now Updated just now State **New**

CS0001016
Show more

Opened by System Administ... Service EMR Services Patient Gilly Parker

Activity Attachments **Additional info**

EMR Session Information
Millennium username 1234 **Server** Test Client

Healthcare organization

Healthcare Practitioner

I need help with
EMR Services

Is this related to a patient record?

Patient
Gilly Parker

Description
Description of your issue.

Protected health information (PHI)

EMR ヘルプの仮想エージェント

ServiceNow の会話型ボットプラットフォームである仮想エージェントは、EMR ヘルプポータルから要求を作成するときに利用できます。

仮想エージェントを使用すると、情報をすばやく取得し、意思決定を行い、一般的な作業タスクを実行できます。

仮想エージェントとやり取りするには、画面の右下隅にあるチャットウィンドウアイコンをクリックするだけです。

Help is on its way!



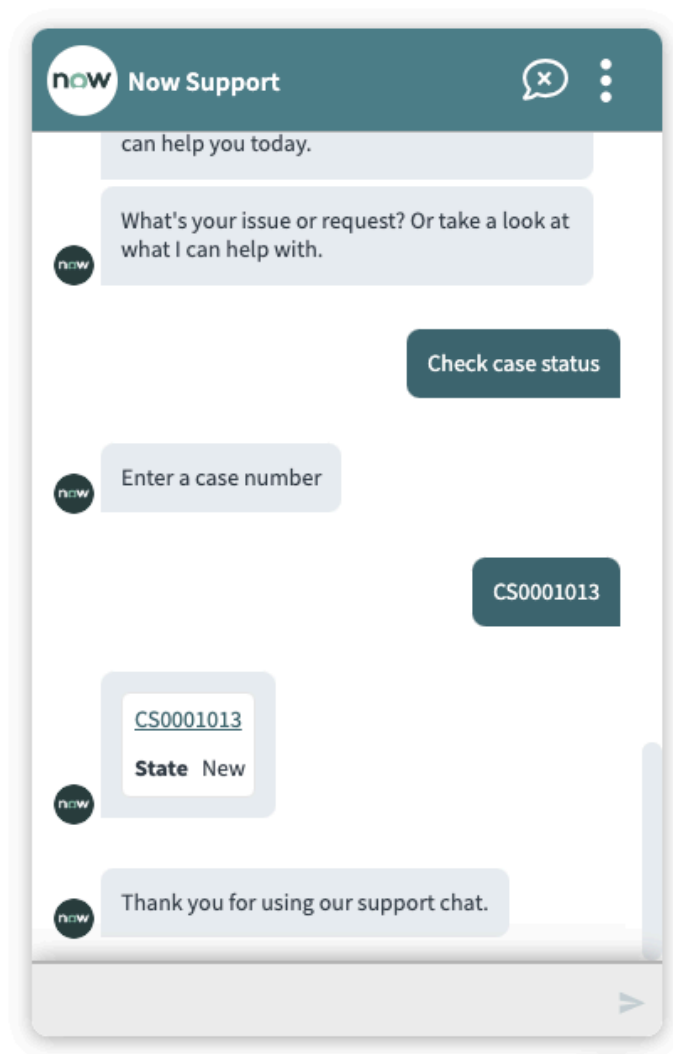
My Open Requests

CS0001016

• 4 - Low • • New

CS0001013

• 4 - Low • • New



自動翻訳



仮想エージェントの詳細については、「」を参照してください [Virtual Agent as an application design element](#)。

EMR ヘルプ要求の解決

ServiceNow インスタンスを使用して、EMR ヘルプサービスポータルで生成されたリクエストを解決できます。

臨床スタッフが EMR システムから ServiceNow サービス要求を送信すると自動的に作成されるタスクレコードを操作します。

履行者として、たとえば IT エージェントであれば、EMR システムにリンクされた ServiceNow インスタンス上の IT サービス要求のタスクレコードにアクセスできます。インシデントは、EMR ヘルプアプリケーションでデフォルトで構成されるタスクタイプです。

i 注:

インシデントフォームの [EMR 要求データ] 関連リストには、EMR システム固有のデータが含まれています。[EMR 要求データ] 関連リストのデータは、itil ロールに加えて sn_ind_rmt_help.viewer ロールがある場合にのみ表示できます。必要なロールがない場合、この関連リストは空になります。

医療ケースを履行するには、まず独自のカスタム医療ケースタイプを作成する必要があります。これに関する詳細については、「[EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプの設定](#)」を参照してください。

Workspace を使用して、EMR システムから送信された要求を表示します。

EMR システムから送信された IT サービス要求の表示と解決 **ServiceNow**

臨床スタッフが EMR システムから IT サービス要求を送信する ServiceNow と自動的に作成されるタスクレコードを操作します。

管理者が [EMR インシデントデータ] 関連リストを [インシデント] フォームに追加していることを確認してください。詳細については、「[フォームレイアウトの構成](#)」を参照してください。

インシデントは、デフォルトでアプリケーションとともに EMR Help 構成されるタスクタイプです。

EMR Help モジュールまたはインシデントモジュールを使用して、EMR システムから送信されたインシデントにアクセスできます。

- インシデントモジュールを使用するには、「」を参照してください [インシデントモジュールからの EMR インシデントの表示と解決](#)。
- モジュール EMR Help を使用するには、「」を参照してください [モジュールから EMR インシデントを表示して解決する EMR Help](#)。

インシデントモジュールからの **EMR** インシデントの表示と解決

インシデントモジュールを使用して、臨床スタッフから送信された IT サービス要求を処理し ServiceNow ます。

始める前に

必要なロール: itil および sn_ind_rmt_help.viewer

手順

1. 移動先 [すべて](#) > [インシデント](#) > [オープン](#)。
2. [インシデント] リストで、作業する EMR インシデントを検索します。
3. [番号] 列で、EMR インシデントへのリンクをクリックします。

4. インシデントフォームの [EMR インシデントデータ] 関連リストで、EMR システムからの情報を表示します。

i 注:

場合によっては、管理者がフォームを設定して EMR インシデントデータ関連リストを追加する必要があります。この関連リストのデータを表示できるのは、itil ロールに加えて sn_ind_rmt_help.viewer ロールがある場合のみです。必要なロールがない場合、[EMR インシデントデータ] 関連リストは空になります。

5. インシデントを解決してクローズします。

a. 「解決情報」タブを選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

のフィールド

フィールド	説明
ナレッジ	インシデントの情報を使用してナレッジ記事を生成するオプション。
解決者	問題を解決したユーザーと、インシデントがクローズされた日時。
解決済み	インシデントが解決された日時
解決コード	解決済みケースを分類するための情報。
解決メモ	インシデントの解決方法に関するメモ。

c. [解決] をクリックします。

d. オプション: [インシデントのクローズ] をクリックして、インシデントをクローズします。

モジュールから **EMR** インシデントを表示して解決する**EMR Help**

モジュールを使用して、臨床スタッフから送信された IT サービス要求を処理し ServiceNow または EMR Help。

始める前に

必要なロール:itil および sn_ind_rmt_help.viewer

手順

1. 移動先 **すべて > EMR Help > EMR** インシデント > マイオープン.
2. [EMR インシデント] リストで、作業する EMR インシデントを検索します。
3. [番号] 列で、EMR インシデントへのリンクをクリックします。
4. インシデントフォームの [EMR インシデントデータ] 関連リストで、EMR システムからの情報を表示します。

i 注:

場合によっては、管理者がフォームを設定して EMR インシデントデータ関連リストを追加する必要があります。この関連リストのデータを表示できるのは、itil ロールに加えて sn_ind_rmt_help.viewer ロールがある場合のみです。それ以外の場合、[EMR インシデントデータ] 関連リストは空になります。

5. インシデントを解決してクローズします。

a. [Resolution Information (解決情報)] タブを選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

のフィールド

フィールド	説明
ナレッジ	インシデントの情報を使用してナレッジ記事を生成するオプション。
解決者	問題を解決したユーザーと、インシデントがクローズされた日時。
解決済み	インシデントが解決された日時
解決コード	解決済みケースを分類するための情報。
解決メモ	インシデントの解決方法に関するメモ。

c. [解決] をクリックします。

d. オプション: [インシデントのクローズ] をクリックして、インシデントをクローズします。

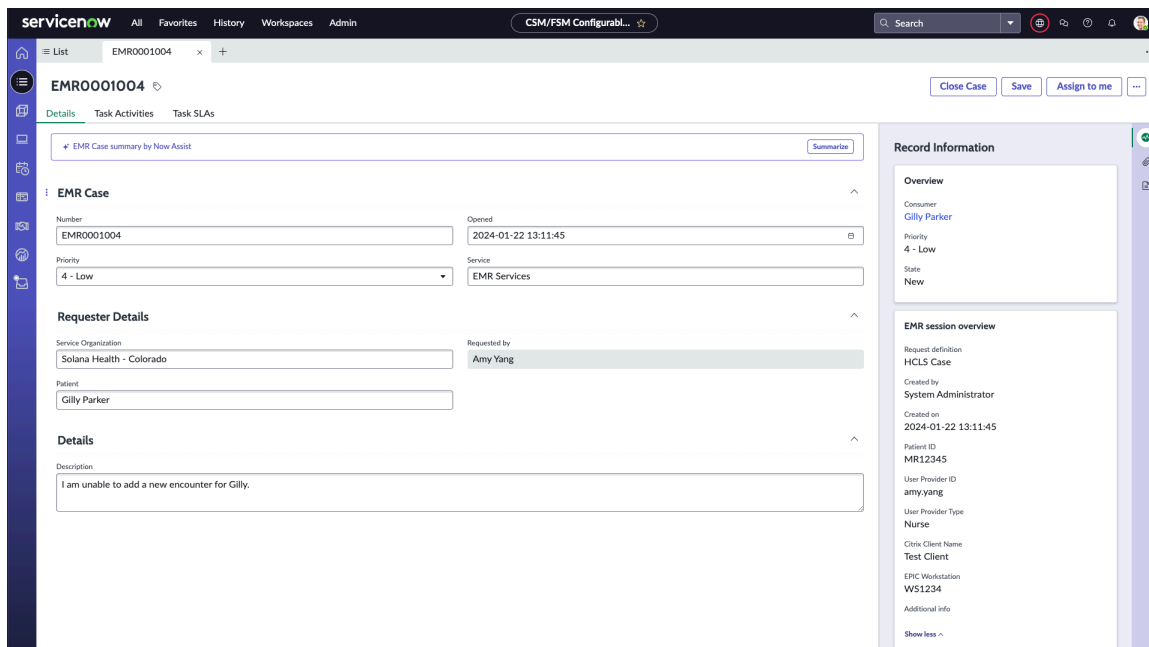
EMR システムから送信された医療ケースの表示と解決

インスタンスで ServiceNow ワークスペースを使用して、EMR システムから作成された医療ケースを処理します。

ワークスペースからの **EMR** 医療ケースの表示と解決

ワークスペースを使用して、EMR ヘルプから生成された医療ケースを実行します。

医療ケースを履行するには、まず独自のカスタム医療ケースタイプを作成する必要があります。これに関する詳細については、「[EMR ヘルプのヘルスケアケースタイプの設定](#)」を参照してください。



EMR リクエストからの情報は、EMR セッションの概要コンテキストサイドパネルにキャプチャされます。

EMR Help 参照

参照トピックには、機能に関する追加情報が EMR Help 記載されています。

EMR Help とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、プラグインなど) が、アプリケーションのアクティブ化 EMR Help とともにインストールされます。

注:

アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

にインストールされているロール **EMR Help**

ロール	説明	ロールを含む
sn_ind_rmt_help.admin	リモート要求定義とデータテーブルを設定し、使用するスクリプト化された REST API を特定し、レコードプロデューサーを構成します。	sn_ind_rmt_help.requester
sn_ind_rmt_help.requester	EMR システム内からサービス要求を ServiceNow 送信およびモニタリングします。	sn_ind_rmt_help.viewer

にインストールされているロール **EMR Help** (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_ind_rmt_help.viewer	<p>サービス要求に関連付けられた ServiceNow EMR データの詳細を表示します。</p> <p>注: EMR システムから報告された問題を処理するエージェントに、sn_ind_rmt_help.viewer ロールをアサインします。デフォルトでは、このロールは EMR リクエストデータ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルに保存されている EMR 変数へのアクセスを提供します。</p>	なし

インストールされるテーブル

にインストールされるテーブル **EMR Help**

テーブル	説明
リモート要求パラメーター [sn_ind_rmt_help_request_param]	インスタンスから ServiceNowEMR システムで利用可能な IT サービス要求のパラメーターが含まれています。
リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data]	<p>IT サービス要求の基本的なフィールドを提供します。このテーブルを拡張して、IT サービス要求からのより多くのデータを含めることができます。</p> <p>各リモート要求パラメーターには、このテーブルに対応する列があります。</p>
リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn]	タスクタイプを要求データテーブルに関連付け、要求構成マッピングも含めます。
EMR インシデントデータ [sn_ind_rmt_help_incident_data]	IT サービス要求に含まれる EMR システムからのデータが含まれます。このテーブルは、リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルを拡張して、IT サービス要求からのタスク固有のデータを含めます。
要求構成マッピング [sn_ind_rmt_help_defn_param_data_map]	要求パラメーターをリモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] データテーブルまたはその子テーブルの列とマッピングします。

インストール済みプラグイン

にインストールされているプラグイン **EMR Help**

プラグイン	説明
暗号化サポートプラグイン (com.glide.encryption)	IT サービス要求の EMR システム に関連付けられたテーブル列と添付ファイルを暗号化します。

インストール済み **ServiceNow Store** アプリケーション

ServiceNow Store にインストールされているアプリケーション **EMR Help**

アプリケーション	説明
業界コア (com.sn_ind)	業界アプリケーション用の共通オブジェクト、コードアーティファクト、および要求定義が含まれています。

EMR ヘルプデータモデルテーブル

EMR Help アプリケーションとともにインストールされるテーブルを使用すると、EMR システムから ServiceNow インスタンスでリクエストを送信できます。

EMR ヘルプデータモデルの詳細については、「[EMR Help データモデル](#)

リモート要求定義テーブル

リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn] テーブルには、レコードプロデューサーとスタンプが保存されます。

リモート要求定義テーブル

リモート要求定義 [sn_ind_rmt_help_request_defn] テーブルには、次の機能があります。

- update_synch ディクショナリ属性を使用するアプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルを拡張してカスタマイズを有効にします。詳細については、「[更新セットによって追跡されるカスタマイズ](#)」を参照してください。
- EMR システムから発生した要求パラメーターをモデル化します。

テーブルの構成に必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin

リモート要求定義フォームのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
レコードプロデューサー	参照	リモート要求定義に関連付けられたレコードプロデューサーを表します。 詳細については、「 Create a record producer 」を参照してください。

リモート要求定義フォームのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
要求データテーブル	テーブル名	レコードプロデューサーによってタスクを作成したときにキャプチャされた EMR セッション情報の値を保存するテーブル。
REST API タスクパラメーター	フィールドリスト	一覧表示された API アクションで使用できるようにするフィールドを選択できます。選択したフィールドは、次の関連する要求定義の REST API 操作で使用できます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. タスク作成 2. タスクリスト 3. タスク詳細 4. タスクの更新

リモート要求パラメーターテーブル

リモート要求パラメーター [sn_ind_rmt_help_request_param] テーブルには、すべてのリモート要求定義で使用できるすべてのパラメーターが格納されます。

リモート要求パラメーターテーブル

リモート要求パラメーター [sn_ind_rmt_help_request_param] テーブルには、次の機能があります。

- update_synch ディクショナリ属性を使用するアプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルを拡張してカスタマイズを有効にします。詳細については、「[更新セットによって追跡されるカスタマイズ](#)」を参照してください。
- EMR システムから発生した要求パラメーターをモデル化します。

テーブルの構成に必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin

リモート要求パラメーターフォームのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
アクティブ	True/False	要求定義で使用されるパラメーターをアクティブに設定します。
ドメイン	ドメイン ID	このレコードに関連付けられたドメイン。
ID	文字列	要求定義で使用されるこのパラメーターの一意の識別子。

リモート要求パラメーターフォームのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
名前	文字列	このリモート要求パラメーターの名前。
機密データ	True/False	このパラメーターによって受信した情報が機密であるかどうかを分類するために使用されます。 i 注: true とマークされたフィールドは、列レベルの暗号化が有効になっているデータ列にのみマップする必要があります。列レベルの暗号化の詳細については、以下を参照してください。 Column Level Encryption
ソースシステム	文字列	このパラメーターがサポートする EMR システムを表します。すべての EMR システムをサポートするには、このフィールドを any に設定します。

リモート要求データテーブル

リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルには、タスクレコードに関連付けられたすべてのキャプチャパラメーターデータが格納されます。

リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルには、次の機能があります。

- EMR システムからの追加データを保存します。
- 拡張可能で、タスクタイプに基づいてデータテーブルを作成するために使用されます。

テーブルの構成に必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin

- i** 注:
 EMR システムからのデータをリモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルまたはその拡張子データテーブルに保存すると、セキュリティのレイヤーが提供されません。管理者は、特定のタスクタイプのリモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルを拡張して、EMR システムからの追加情報を保存できます。たとえば、アプリケーションは、EMR Help リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルを拡張し、インシデントをサービス要求に関連付ける EMR 要求データ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルを提供します。

リモート要求データフォームフィールド

フィールド	データタイプ	説明
追加情報	文字列	このフィールドは、EMR から要求を送信するときに追加の機密情報を保存するために使用されます。 このフィールドには、列レベルの暗号化があります。
作成日時	日付/時刻	このレコードが作成された日時スタンプ。
作成者	文字列	このレコードを作成したユーザーの名前。
ドメイン	ドメイン ID	このレコードに関連付けられたドメイン。
患者 ID	文字列	EMRシステムにおけるこの患者の一意の患者識別子(すなわちMRN)を表す。
要求定義	参照	リモート要求定義を参照します。
ソースシステム	文字列	この要求の送信元の EMR システムを表します。IE、Epic/Cerner。 i 注: この値が不明な場合は、レコードの作成時にソースシステムが提供されなかったことを意味します。
Sys ID	Sys ID (GUID)	各テーブルが持つ一意の Sys ID。
タグ	関連タグ	このレコードに関連するタグ。
タスク	参照	関連タスクを参照します。

リモート要求データフォームフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
タスクタイプ	テーブル名	このレコードを生成するために使用されたリモート要求定義で構成されたタスクタイプ。
更新日時	日付/時刻	最後に更新された日時のスタンプ。
更新者	文字列	レコードを最後に更新する人の名前。
更新回数	整数	発生した更新の数。

EMR 要求データテーブル

EMR 要求データ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルには、タスクレコードに関連付けられたすべてのキャプチャパラメーターデータが格納されます。

EMR 要求データ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルには次の機能があります。

- リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_incident_data] テーブルを拡張します。
- 要求固有の EMR データをモデル化します。
- 要求パラメーターに対応します。
- 追加パラメーターの列を追加する機能が含まれています。

テーブルの構成に必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin

リモート要求データフォームフィールド

フィールド	データタイプ
メールアドレス	文字列
環境	文字列
ユーザーは医師ですか？	文字列
問題タイプ	文字列
ミレニアムユーザー名	文字列
内線電話	文字列

リモート要求データフォームフィールド (続く)

フィールド	データタイプ
ポジション	文字列
サーバー	文字列
セッション記録 ID	文字列
ワークステーション	文字列

要求構成マッピングテーブル

要求構成マッピング [sn_ind_rmt_help_defn_param_data_map] テーブルには、要求パラメーターと要求定義の間の関連付けが保存されます。

要求構成マッピング [sn_ind_rmt_help_defn_param_data_map] テーブルには、次の機能があります。

- update_synch ディクショナリ属性を使用するアプリケーションファイル [sys_metadata] テーブルを拡張してカスタマイズを有効にします。詳細については、「[更新セットによって追跡されるカスタマイズ](#)」を参照してください。
- 要求定義の場合、アクティブな各要求パラメーターを対応する要求データテーブルの特定の列にマップします。

テーブルの構成に必要なロール:sn_ind_rmt_help.admin

[要求構成マッピング] フォームのフィールド

フィールド	データタイプ	説明
ドメイン	ドメイン ID	このレコードに関連付けられたドメイン。
内部 ID	文字列	このレコードに関連付けられた内部 ID。
順序	整数	パラメーターがコンテキストサイドバーに表示される順序。
要求データ列	フィールド名	要求定義で定義されたタスクタイプテーブルのフィールド。
要求定義	参照	リモート要求定義を参照します。

[要求構成マッピング] フォームのフィールド (続く)

フィールド	データタイプ	説明
要求パラメーター	参照	リモート要求パラメーターを参照します。

ドメイン分離と EMR Help

EMR Help ではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに回答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「[アプリケーションでのドメイン分離のサポート](#)」を参照してください。

概要

アプリケーション EMR Help には、構成テーブル (要求定義、要求パラメーター、およびパラメーターマッピングに対する定義) のドメイン分離と、EMR システムから受信するタスクや関連する要求データなどのトランザクションデータのドメイン分離が含まれています。

ドメイン分離は、アプリケーションの次の側面 EMR Help で有効になります。

- リモート要求データ [sn_ind_rmt_help_request_data] テーブルに格納されるデータは、ドメイン分離されています。
- レコードプロデューサーから、または REST API を使用して作成されたタスクは、ドメイン分離されています。
- 要求パラメーターは、さまざまなドメインで使用するために作成できます。
- 要求定義は、さまざまなドメインで使用するために作成できます。
- 要求定義マッピングは、さまざまなドメインで使用するために作成できます。

EMR Help におけるドメイン分離の仕組み

EMR システム内で EMR ヘルプサービスポータル を使用して IT サービス要求を発生させている ServiceNow お客様の場合、ドメインは、ログインしたユーザーのセッション、作成されたタスク、および関連する要求データから設定されます。

リモートヘルプ要求 API を使用しているお客様の場合、管理者は要求の作成時にオブジェクトで `task_parameters` 次のパラメーターのいずれかを送信することで、タスクと関連するリモート要求データをドメイン分離できます。

- ユーザーのタスク (`task_for`)

i 注:
すべてのタスクタイプに有効です。

- 問い合わせユーザー (`caller_id`)

i 注:
インシデント [`incident`] テーブルに対してのみ有効です。

インシデントの場合、タスクのドメインは、要求本文で指定されている場合、`caller_id` パラメーターから設定されます。`caller_id` パラメーターが指定されていない場合、タスクのドメインは `task_for` パラメーターで指定されたユーザーのドメインとして設定されます。これらのパラメーターのいずれも要求本文で指定されていない場合、タスクのドメインは、リモートヘルプ要求 API を呼び出す認証済みユーザーのドメインから設定されます。

ドメイン分離の構成 **EMR Help**

作成されたタスクなどのトランザクションデータと関連するリモート要求データは、自動的にドメイン分離されます。

Cerner EMR システムとの統合は、デフォルトで Cerner EMR システムにのみマップされた IT サービス要求 [`sn_it_request`] 要求定義で機能します。この場合、タスクとリモート要求データのみをドメイン分離できます。

ドメイン分離テーブル

- リモート要求定義 (`sn_ind_rmt_help_request_defn`)
- リモート要求パラメーター (`sn_ind_rmt_help_request_param`)
- 要求構成のマッピング (`sn_ind_rmt_help_defn_param_data_map`)
- リモート要求データ (`sn_ind_rmt_help_request_data`) とその拡張子データテーブル
- タスク [`task`]

関連情報

[サービスプロバイダーのドメイン分離](#)

Patient Support Services

この ServiceNow Patient Support Services アプリケーションを使用して、患者のオンボーディング、教育、および割引計画、遵守プログラム、オピオイド、および糖尿病管理などのさまざまな患者サポートサービスを簡素化します。

ストアでアプリを要求する

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

詳細を読む



医療機関が Patient Support Services.

構成



実装を計画し構成します。

完了



登録要求の To Do アイテムを完了します。

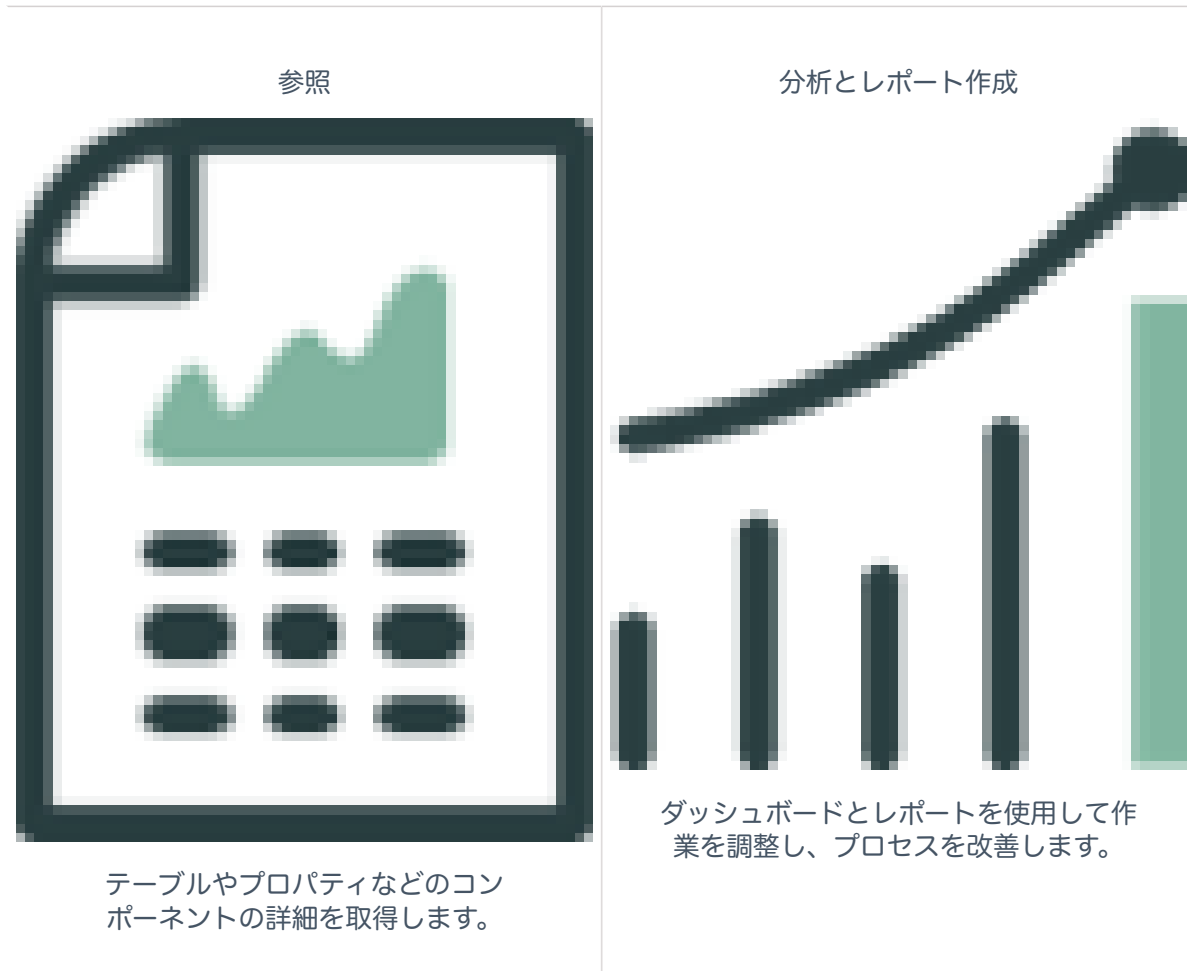
トレーニング要求の予約



登録トレーニング要求の予約を行います。

自動翻訳

貢献者として



探索 Patient Support Services

アプリケーションの実装 Patient Support Services を開始する場合でも拡張する場合でも、患者のオンボーディング、教育、エンゲージメントのプロセスを合理化するために利用できる機能について詳しく知ることを検討してください。

概要

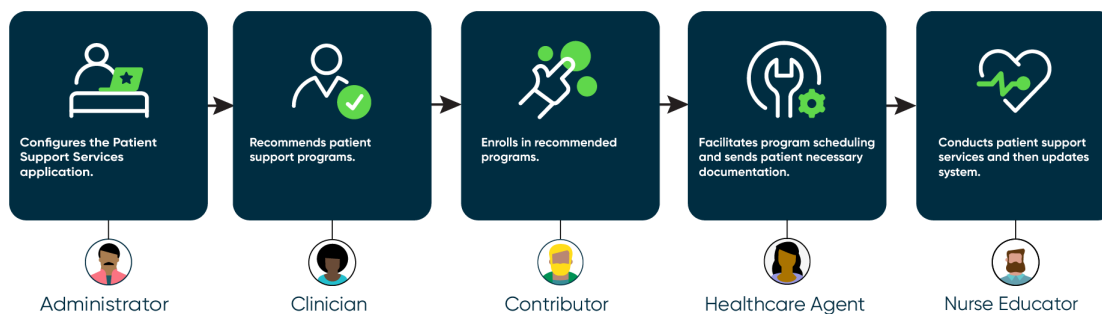
患者にとっては、あらゆる治療のオンボーディングを容易にし、アドヒアランスを促進して健康状態を改善します。

医療機関は、経済的な障壁を取り除き、アクセスを改善し、オンボーディングを合理化して患者がより早く治療を開始できるようにすることで、患者が治療を開始する際に直面するハードルを克服します。

ケアコーディネーターの場合、Patient Support Services Playbook は登録要求を確認するためのガイド付きエクスペリエンスを提供します。患者情報を検証し、登録の詳細を確認し、必要な同意タスクとフォームを特定してアサインし、事前承認のために適切なドキュメントを患者の保険組織に送信できます。

Patient Support Servicesアプリケーションは、アプリケーションによってヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア提供されるデータモデルを使用します。登録要求は登録ケースとして送信され、ケアコーディネーターとして機能する患者サービスエージェントにアサインされると、ケアコーディネーターは、患者サポートプログラム内のタスクを実行し、登録ケースをクローズするために、患者 ワークスペース サービスエージェント内でガイド付き Playbook を使用できます。

患者サポートサービスワークフロー



患者サポートサービスワークフローでは、次の操作を行います。

1. 管理者が患者サポートサービスアプリケーションを設定します。
2. 臨床医は患者支援プログラムを勧める。
3. 共同作成者が推奨プログラムに登録します。
4. 医療エージェントは、プログラムのスケジューリングを容易にし、患者に必要なドキュメントを送信します。
5. ナースエドゥケーターが患者支援サービスを行い、システムを更新します。

福利厚生

患者サポートサービスには、次の利点があります。

患者サポートサービスのメリット

メリット	主な機能	ロール
登録要求を管理し、トレーニングタスクなどの To Do アイテムを完了します。	での登録要求の管理 ワークスペース	ケアコーディネーター
サポートプログラムの予約を行い、患者に割り当てられた To Do アイテムを完了します。	の To Do アイテムの完了 Patient Support Services	患者
登録トレーニング要求の予約を行います。	の予約 Patient Support Services	ケアコーディネーター
ビジネスプロセスを改善し、セルフサービスの価値を定量化するのに役立つ分析とデータの可視化を表示します。	Patient Support Servicesダッシュボード	HCLS マネージャー

Patient Support Services アプリケーションで開始するには、「[Patient Support Services の構成](#)」を参照してください。

Patient Support Services - ワークフローシナリオ

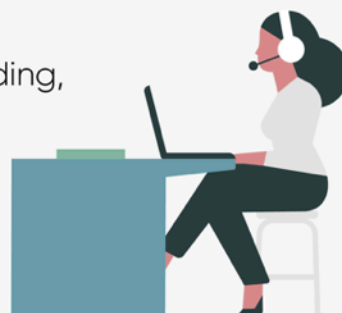
Patient Support Services このアプリケーションを使用して、患者のオンボーディングや事前承認など、患者サポートサービスの登録アクティビティを簡素化します。

シナリオ: 医師は、患者で診断された病気を治療するためにいくつかの薬と注射を処方します。患者は自己負担額の高い医療保険プランのために費用を心配しており、自分で注射を打つことに不安を感じています。医師は、製薬会社が提供する貯蓄カードと患者サポートプログラムについて患者に伝えます。その後、医師は患者が登録申請書を提出するのを手伝います。登録申請書に、患者はすべての個人と保険の詳細を入力し、貯蓄カード、鋭利物処理サービス、および注射トレーニングのサポートを要求します。患者は、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) の同意書に署名し、登録申請書を提出します。インスタンスで ServiceNow 登録ケースが作成されると、ワークフローによって Patient Support Services 登録ケース用に構成された Playbook が開始されます。ケースは、ケアコーディネーターである John にアサインされます。

次の図は、シナリオで説明したように、Patient Support Services 患者サポートプログラムを管理するためにアプリケーションがどのように使用されるかを示しています。

Patient Support Services

A workflow to streamline patient onboarding, education, and engagement for various patient support services.



Playbook enables care coordinators with the steps they are responsible for, as well as full visibility into the end-to-end process life cycle.

The care coordinator views and validates patient information, including enrollment eligibility and medication prescriptions.



After reviewing the application and verifying the prescription and eligibility criteria, the patient is enrolled into the patient support program.



The Patient Support Services workflow triggers fulfillment tasks, such as sending out a savings card or scheduling an appointment for injection training.

The patient's pharmacy is contacted, and drug delivery details are confirmed and shared with the patient.



次のワークフローでは、さまざまなユーザーがこの Patient Support Services アプリケーションを使用して、患者が患者サポートプログラムに登録し、製薬会社から貯蓄カードを取得できるようにする方法を詳しく説明しています。

1. John は、を使用して ワークスペース Enrollment ケースを表示します。
2. では ワークスペース、John は [患者情報] タブから患者に関する完全な情報を表示できます。
John は、登録されている保険、連絡先情報、病歴など、患者の詳細を検証します。
3. 次に、John は [**Playbook**] タブを選択して、必要なすべてのケース関連情報を表示します。
Playbook のレイアウトにより、ケアコーディネーターは、エンドツーエンドのプロセスライフサイクルを完全に可視化しながら、担当するステップに集中できます。
4. John は申請書をレビューし、処方箋と同意を確認し、患者がプログラムの適格基準を満たしていることを確認した後、登録申請を受け入れます。
5. 患者は患者サポートプログラムに登録され、ようこそメール通知が患者に送信されます。
6. 患者の希望に基づいて、John は保険会社と連携するか、専門薬局と連携して福利厚生調査アクティビティを完了します。
7. 利益調査アクティビティが完了するように設定されると、ワークフローは次のことを行います Patient Support Services 。
 - 患者が登録した各サービスの実行タスクをトリガーします。この例では、貯蓄カードと鋭利物廃棄コンテナを送信するためのタスクが作成されます。
 - 注射トレーニングサポートの予約を依頼するメール通知を患者に送信します。
8. John は薬局に連絡して FAX またはメールで処方箋を注文し、薬局で薬剤の配送日を確認して、患者に確認メールを送信します。
9. 患者は、患者ポータルから注射トレーニングの予約をすると、トレーニングタスクが [看護師トレーニングサポート] アサイン先グループにアサインされます。
10. Nurse Training Support アサイン先グループの看護師教育者が、患者に注射トレーニングを提供し、 で ワークスペーストレーニングチェックリストを完了します。
11. Playbook ですべての登録タスクが完了に設定されると、登録ケースは [完了] に設定されます。

Patient Support Services の構成

患者サービスプログラムに関連付けられた登録アクティビティを完了するようにアプリケーションを設定します Patient Support Services 。

注:

アプリケーションは Patient Support Services 、 Patient Support Services すべての登録要求を拡張し [ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#) で登録ケース [sn_patientservice_enroll_case] テーブルに格納するデータモデルに基づいています。

次の表に、に必要な Patient Support Services構成タスクの概要を示します。

Patient Support Services 構成タスク

タスク	説明
Patient Support Services のインストール。	Patient Support Services患者サポートサービスで作業するためのアプリケーションをインストールします。
ユーザーにロールをアサインするPatient Support Services。	アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Patient Support Services 。
次を使用： Patient Support Services データモデル。	テーブルを使用して Patient Support Services 、登録要求に関連するデータを保存します。
の制限付きの発信者アクセス特権の承認 Patient Support Services。	アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を承認します Patient Support Services 。
登録要求フォームを構成します。	患者または開業医が医療機関が提供するプログラムに Patient Support Services 登録できるように、登録要求フォームを構成します。
登録要求フォームの送信フローを構成する。	スクリプト化された拡張ポイントを使用して、登録要求フォームの送信後にどのレコードを作成または更新するかを決定します。
トレーニングタスクを実施できるユーザーを決定します。	トレーニングを Patient Support Services 実施できるユーザーを [看護師トレーニングサポート] アサイン先グループに追加します。
予約設定を構成します。	患者がアプリケーション内で Patient Support Services 実施されるトレーニングタスクの予約を予約できるようにします
プログラムを構成します。	患者がアプリケーションのプログラム Patient Support Services に登録できるようにします。
プログラムのチェックリストを構成します。	プログラムのチェックリスト Patient Support Services は、登録要求の完了のリマインダーとして使用される質問またはタスクの正式なリストとして構成します。
ドキュメントの自動生成を設定します。	登録要求のドキュメントを自動生成するための条件を定義します。

Patient Support Services 構成タスク (続く)

タスク	説明
患者ポータルに To Do メニューアイテムを追加します。	登録要求タスクのすべての To Do アイテムを一覧表示するメニューアイテムを追加するように、患者ポータルを設定します。
の Playbook の構成 Patient Support Services.	登録ケースを解決するためのステップバイステップのガイダンスを提供するように Playbook を構成します。
の構成 Patient Support Services メール通知.	プログラムについて Patient Support Services 患者に送信されるメール通知を構成します。
追加のユーザー・プロフィールを決定します。	アプリケーションの登録ケース Patient Support Services のエージェントコネクタまたは貢献者として行動できるユーザーを決定します。
貢献者が登録ケースを作成するプロセスを設定します。	サービスポータルで登録ケースを作成するプロセスを設定します。

Patient Support Services のインストール

admin ロールをお持ちであれば、Patient Support Services アプリケーション (sn_patientservice) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションと関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。[エンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。

必要なロール：admin

このタスクについて

Patient Support Services とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- テーブル
- ServiceNow Store アプリケーション
- ビジネスルール

詳細については、「[Patient Support Services とともにインストールされるコンポーネント](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて](#).
2. Patient Support Services フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_patientservice) を検索します。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
4. [インストール] を選択します。

ユーザーにロールをアサインする **Patient Support Services**

アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Patient Support Services。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Patient Support Services に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_patientservice.admin または admin

このタスクについて

次のテーブルにリストされているロールを持つユーザーは、Patient Support Services アプリケーションを使用できます。

にインストールされているロール **Patient Support Services**

ロール	説明	ロールを含む
sn_patientservice.admin	アプリケーションにアクセスできる Patient Support Services 管理者。	sn_patientservice.agent
sn_patientservice.agent	ケアコーディネーターとして登録ケースを表示して履行します。	sn_hcls.healthcare_agent
sn_patientservice.ナース_エドゥケーター	看護師教育者としての Patient Support Services トレーニング要求を管理します。 i 注: デフォルトでは、sn_patientservice.nurse_educator ロールは、Nurse Training Support アサイン先グループのメンバーにアサインされます。	sn_hcls.practitioner

にインストールされているロール **Patient Support Services** (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_patientservice.case_creator	関連するすべてのオブジェクトの登録ケースを作成します。	sn_patientservice.case_vi
sn_patientservice.agent_connector	<p>関連付けられたすべてのオブジェクトの登録ケースを表示、作成、および更新します。</p> <p>このロールは、エージェントコネクタプロファイルを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロファイルの決定 Patient Support Services」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_ager • sn_patientservice.sm_a
sn_patientservice.case_task_viewer	ユーザーがアクセスできる登録ケースに関連付けられたすべてのタスクを表示します。	なし
sn_patientservice.case_viewer	アプリケーションで利用可能なすべての登録ケースを表示します。	なし
sn_patientservice.contributor	<p>患者の登録ケースを作成します。</p> <p>このロールは、貢献者プロファイルを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロファイルの決定 Patient Support Services」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.clinical_data_vie • sn_hcls.foundation_data • sn_patientservice.case_ • sn_hcls.患者_データ_ビ • sn_hcls.プラクティショナ ビューア • sn_hcls.健康保険_データ • sn_patientservice.case_ • sn_hcls.revenue_cycle_ • sn_patientservice.case_
sn_patientservice.sm_agent	ケアコーディネーターとして登録要求に関連するすべてのデータにアクセスして表示します。	sn_patientservice.case_cr

手順

ユーザー管理機能を使用して、Now Platform ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールの割り当て](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

Patient Support Services データモデル

アプリケーションは Patient Support Services 、ワークフローで使用する Patient Support Services データモデルを提供します。

概要

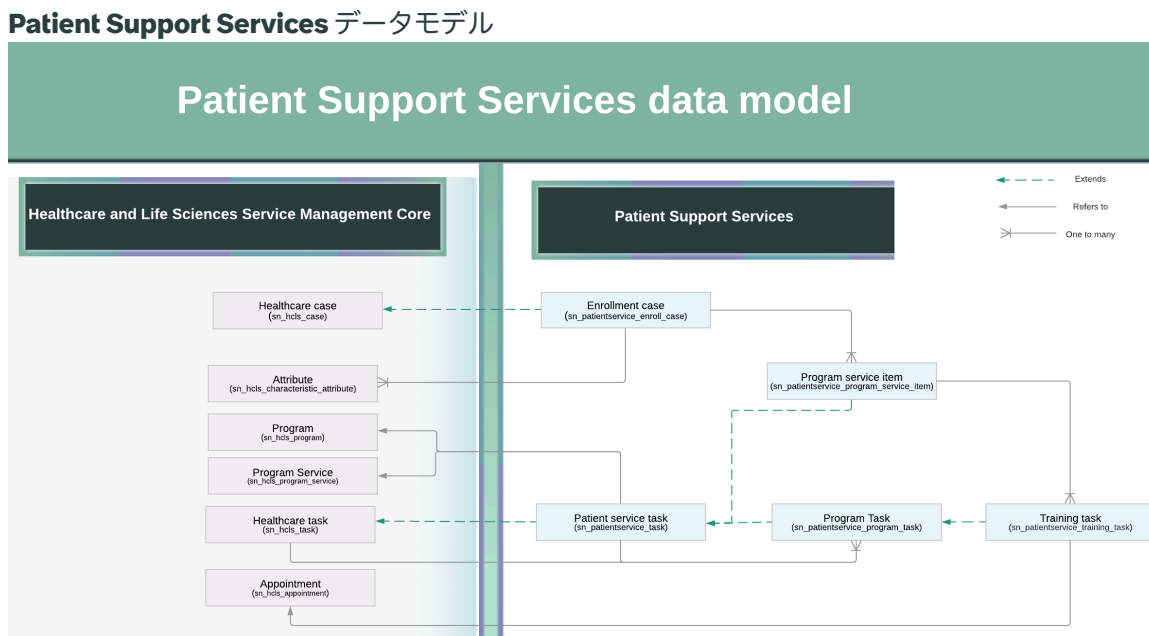
Patient Support Servicesデータモデルは、データモデルを拡張しますヘルスケアとライフサイエンス。

Patient Support Services データモデルは、次のテーブルの組み合わせを使用してデータを保存します。

- アプリケーション内 Patient Support Services に含まれるテーブル。
- アプリケーション内 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア に含まれるテーブル。

アプリケーションをインストールし Patient Support Services で、そのデータモデルを使用できます。

次の図は、Patient Support Services データモデルを構成するテーブルとその関係性を示しています。



自動翻訳

Patient Support Services データモデルは、 Patient Support Services アプリケーションに含まれる次のテーブルを使用してデータを格納します。

Patient Support Services アプリケーションテーブル

テーブル	説明
登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	登録ケースを保存します。 登録ケースの場合、[患者] フィールドは必須です。

Patient Support Services アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
患者サービスタスク [sn_patientservice_task]	プログラムタスク [sn_patientservice_program_task] テーブルとプログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item] テー ブルの拡張元であるベースタスクテーブル。医療タ スク [sn_hcls_task] テーブルを拡張します。
患者サービストレーニング [sn_patientservice_training_task]	プログラムタスクに関連付けられたトレーニングタ スクの詳細を保存します。
プログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item]	プログラムサービスに関連付けられたプログラム サービスアイテムタスクの詳細を保存します。
プログラムタスク [sn_patientservice_program_task]	患者が要求したサービスを履行するために作成され たプログラムタスクの詳細を保存します。

Patient Support Servicesデータモデルは、アプリケーションに含まれるヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア次のテーブルを使用します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル

テーブル	説明
属性 [sn_hcls_characteristic_attribute]	登録要求を送信するときに患者が選択したプログラムまたは プログラムサービスに関連付けられた特性オプションを保存 します。
予約 [sn_hcls_appointment]	医療機関での患者の予約の詳細を保存します。
医療ケース [sn_hcls_case]	医療ケースタイプをサポートします。
医療タスク [sn_hcls_task]	医療タスクをサポートします。
プログラム [sn_hcls_program]	プログラムとトレーニングタスクをサポートします。
プログラムサービス [sn_hcls_program_service]	プログラム・サービス・タスクをサポートします。

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

の制限付き発信者アクセス特権の承認 **Patient Support Services**

アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を承認します Patient Support Services。

アプリケーションから Patient Support Services ドキュメントテンプレートにアクセスするには、管理者として必要な RCA 権限を承認する必要があります。詳細については、「[の制限付き発信者アクセス特権の承認 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理](#)」を参照してください。

登録要求フォームの構成

患者または開業医が医療機関が提供するプログラムに Patient Support Services 登録できるように、登録要求フォームを構成できます。

医療提供者は、登録申請フォームを使用して、患者または開業医が登録要求を送信できるようにすることができます。

admin ロールを持つユーザーは、スクリプトインクルードを使用して

`PatientServicePortalUtils` 登録アプリケーションフォームを設定し、フォームフィールドをアプリケーションテーブルに関連付けることができます。スクリプトインクルードはデフォルトの実装を提供し、アプリケーション内で Patient Support Services 使用できます。独自の実装を作成し、それをスクリプト インクルードに `PatientServicePortalUtils` 関連付けることができます。詳細については、「[スクリプトインクルード](#)」を参照してください。

登録要求フォームの送信フローを構成する

スクリプト化された拡張ポイントを使用して、登録要求フォームの送信後にどのレコードを作成または更新するかを決定します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Patient Support Services に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

アプリケーションによって Patient Support Services `sn_patientservice`がインストールされます。EnrollmentCaseUtilService スクリプト、EnrollmentCaseUtilService スクリプトインクルード、および EnrollmentCaseServiceExtPoint 拡張ポイント。

`sn_patientservice`、EnrollmentCaseUtilService スクリプトは、アプリケーション内でデフォルトで使用可能な登録要求フォーム用に事前設定されています。登録ケースを作成する前に、アプリケーションは `sn_patientservice`を実行します。EnrollmentCaseUtilService スクリプトを使用し、次の送信ワークフローロジックを使用してレコードを作成し、レコードの重複を回避します。

1. 患者レコードが存在しない場合は作成します。
2. コンシューマーレコードが存在しない場合は作成します。
3. 施術者レコードが存在しない場合は作成します。
4. メンバー計画が存在しない場合は作成します。

拡張ポイントを使用すると、実際にベースコードを変更することなくカスタマイズを統合することが容易になります。カスタマイズされたスクリプトを使用して、標準的な基本機能を拡張することができます。詳細については、「[拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する](#)」を参照してください。

実装は、スクリプト化された拡張ポイントに対してベースシステムで利用できます。データを変更し、フィールドを追加することができます。

手順

1. 移動先 すべて > システムの拡張点 > スクリプト化済みの拡張点.
2. **[API Name (API 参照名)]** 列で、「sn_patientservice」を検索してクリックします。EnrollmentCaseServiceExtPointです。
3. [拡張ポイント] フォームで、EnrollmentCaseServiceExtPoint 拡張ポイントを使用するスクリプトインクルードを選択します。
 - 既存のスクリプトを変更するには、[実装] 関連リストに移動して **[sn_patientservice]** をクリックします。EnrollmentCaseServiceExtPointです。
 - カスタムスクリプトインクルードを作成および登録します。
4. EnrollmentCaseServiceExtPoint 拡張ポイントを実装するスクリプトインクルードに createPatient、createMemberPlan、および createPractitioner メソッドを追加して、登録フォームの送信ワークフローロジックをカスタマイズします。
 拡張ポイントに対して複数の実装を作成し、各実装に順序番号を指定できます。順序番号が最も小さい実装が最初に実行されます。

登録フォームのカスタマイズテーブル

カスタマイズ	実装
患者レコードが存在しない場合は作成します。	実装に EnrollmentCaseServiceExtPoint 拡張ポイントの createPatient メソッドを含めます。
メンバープランが存在しない場合は作成します。	実装に EnrollmentCaseServiceExtPoint 拡張ポイントの createPatient メソッドを含めます。
施術者レコードが存在しない場合は作成します。	実装に EnrollmentCaseServiceExtPoint 拡張ポイントの createPatient メソッドを含めます。

5. [拡張ポイント] フォームで、[更新] をクリックします。

トレーニングを実施できるユーザーを決定する **Patient Support Services**

トレーニングを Patient Support Services 実施できるユーザーを [看護師トレーニングサポート] アサイン先グループに追加します。

始める前に

必要なロール：user_admin または管理者

このタスクについて

Patient Support Servicesアプリケーションでは、患者のトレーニングを実施するために sn_patientservice.nurse_educator ロールが必要です。トレーニングは、に関連付けられたプログラム Patient Support Services内の患者から要求されます。デフォルトでは、Nurse Training Support アサイン先グループのメンバーには sn_patientservice.nurse_educator ロールが割り当てられます。

手順

- トレーニングタスクを実行しているユーザーに sn_patientservice.nurse_educator ロールを割り当てます。
 詳細については、「[ユーザーへのロールのアサイン](#)」を参照してください。

- トレーニングタスクを実行しているユーザーを、ナーストレーニングサポートのアサイン先グループに追加します。
詳細については、「[グループへのロールのアサイン](#)」を参照してください。

関連情報

グループ

の予約設定の構成 **Patient Support Services**

看護師教育者が実施するトレーニング要求の予約を患者が予約できるようにします。

Patient Support Servicesアプリケーションでは、プログラムサービスに含まれるトレーニング要求をスケジュールするために予約します。プログラムサービスアイテムを完了するために、アプリケーションにプログラムタスクが作成されます。

Patient Support Servicesアプリケーションは、予約プラグイン (com.snc.appointment_booking) を使用して、予約 [sn_hcls_appointment] テーブルに予約レコードを作成します。予約レコードは、予約が必要なプログラムタスクに対して作成されます。プラグインは、管理者がアプリケーションをインストールする Patient Support Services と自動的に有効になります。予約機能の詳細については、「[予約コンポーネント](#)」を参照してください。

sn_patientservice.admin ロールを持つユーザーは、次の予約設定を構成します。

1. [で予約設定を構成する Patient Support Services](#)。
2. [で予約サービスの設定を構成する Patient Support Services](#)。

i 注:

予約機能では、スケジュール設定された予約を提供するプログラムタスクの構成が必要です。サービス構成には、その特定のサービスにのみ適用される設定が含まれます。

3. オプション: [で日レベルの予約設定を構成する Patient Support Services](#)。
4. [患者ポータルに予約ウィンドウを表示する](#)。

関連情報

の予約 Patient Support Services

で予約設定を構成する **Patient Support Services**

患者がアプリケーションで Patient Support Services 予約するために使用できるプログラムタスクを実施するための時間枠を設定します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Patient Support Services に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_patientservice.admin

このタスクについて

デフォルトでは、アプリケーションにはプログラムタスクの プログラムサービスの予約 設定が含まれています。

手順

1. 移動先 [すべて](#) > *Patient Support Services* > 管理 > 予約設定。
2. [予約の構成] リストで、既存の設定を構成するか、新しい設定を作成します。

- [予約の設定] リストで既存の構成を選択します。
 - [予約の設定] リストで [新規] をクリックして、新しい設定を作成します。
3. フォームで、既存の構成のデフォルトフィールド値を確認するか、カスタム構成の値を入力します。

[予約の設定] フォーム

フィールド	説明
名前	構成を識別する名前。
タスクテーブル	予約が作成されるタスクテーブル。 患者サービストレーニング [sn_patientservice_training_task] テーブルは、トレーニングタスクの Patient Support Services デフォルトのテーブルです。
可用性メソッド	予約の可用性を判断する方法。 可用性メソッドは、次のいずれかのタイプです。 スロットあたりの予約数 時間スロットあたりの特定の予約数。この方法では、時間枠ごとに指定された数の利用可能な予約が使用されます。実際の予約数は、予約サービスの設定で指定されます。たとえば、管理者が期間ごとに 10 件の予約を指定した場合、各予約ウィンドウには利用可能な 10 件の予約があります。予約期間内の予約が予約されるたびに、予約可能な予約の数が 1 つずつ減少します。 スクリプト化 時間枠ごとに利用可能な予約の数を決定するスクリプト。
ポータルの詳細カレンダービュー	患者ポータルの [予約を選択] ウィンドウに利用可能な予約の詳細カレンダービューを表示するオプション。 詳細カレンダービューには、午前、午後、夕方など、その日のさまざまな時間帯に分類された予約が表示されます。
アクティブ	アプリケーション設定をアクティブ化して予約を有効にするためのオプション。
自動受け入れ	エージェントによるトレーニングタスクの自動受け入れを有効にするオプション。 の場合 Patient Support Services、トレーニングタスクの予約は患者によって予約されているため、[自動受け入れ] チェックボックスをオフにします。
カレンダービュー	患者ポータルの [予約の選択] ウィンドウでの 1 日または 1 週間の利用可能な予約の表示。

フィールド	説明
ポータル の詳細 カレンダー ビュー	患者ポータルの [予約を選択] ウィンドウで利用可能な予約の詳細ビュー。
スクリプト	利用可能な予約の数を決定するために使用されるスクリプト。このフィールドは、[可用性メソッド (Availability Method)] で [スクリプト化 (Scripted)] を選択した場合にのみ表示されます。

4. 変更内容を保存します。

- 既存の構成の場合は、[更新] をクリックします。
- 新しい構成の場合は、[送信] をクリックします。

次のタスク

で予約サービスの設定を構成する [Patient Support Services](#)。

で予約サービスの設定を構成する **Patient Support Services**

プログラムタスク内で患者に提供されるサービスの予約構成を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_patientservice.admin

このタスクについて

デフォルトでは、アプリケーションには、トレーニングタスクに含まれるPatient Support Servicesサービスのプログラムサービス予約構成設定が含まれています。

手順

1. 移動先 [すべて > Patient Support Services > 管理 > 予約設定](#).
2. 設定を関連付ける予約構成へのリンクをクリックします。
3. 既存の設定を構成するか、新しい設定を作成します。
 - [予約サービスの設定] 関連リストで既存の設定を選択します。
 - [予約サービスの設定] 関連リストで [新規] をクリックして、新しい設定を作成します。
4. フォームで、既存の構成のデフォルトフィールド値を確認するか、カスタム構成の値を入力します。

[予約サービスの設定] フォーム

フィールド	説明
日レベルの構成を有効にする	予約時に日レベルで異なるスケジュールを構成するオプション。
アクティブ	サービスの予約を有効にします。 ① 注: 無効にすると、顧客はサービスの予約をスケジュール設定することはできませんが、作業指示書を作成することはできます。
一般情報	
名前	サービス設定を識別する名前。
構成	このサービスに関連付けられている予約設定の名前。このフィールドは、選択した予約構成に自動的に設定されます。
可用性テーブル	予約の可用性を計算するために使用されるテーブル。デフォルトは予約 [sn_hcls_appointment] テーブルです。
祝祭日スケジュール	予約の可用性を判断するときに使用する祝祭日スケジュール。 ルックアップアイコン (🔍) をクリックし、[スケジュール] リストからスケジュールを選択します。 予約機能は、利用可能な予約の数を決定するときに休日のスケジュールを評価し、[除外] に設定されている日をスケジュールで除外します。詳細については、「休日📅」を参照してください。
カタログ情報	
カタログアイテム	この予約設定が作成されているサービスカタログ内のサービス。 ルックアップアイコン (🔍) をクリックし、[レコードプロデューサー] リストからサービスを選択します。 デフォルトでは、アプリケーションにはプログラムサービスの予約構成のレコードプロデューサーが含まれています <i>Program service appointment</i> 。
ロケーション	予約場所を決定するレコードプロバイダのフィールド。
タイムゾーン	患者レコードで指定された [タイムゾーン] フィールド、またはトレーニングタスクの予約がスケジュールされている場所に基づいた予約期間。

フィールド	説明
予約は必須	要件としてサービスを要求するときに予約を作成するオプション。
ユーザー連絡先	予約の作成対象を決定するレコードプロバイダのフィールド。 sys_user変数を検索し、レコードプロデューサーで変数を設定する参照フィールド。たとえば、患者です。
予約	
期間ごとの予約	設定された各予定時間スロットで利用可能な予定の数。 入力する数値によって、[予約の選択] ウィンドウに表示される利用可能な予約の数が決まります。
リードタイム	現在の時刻からこのサービスを予約できるようになるまでの時間数または日数。
今後の最大予約可能日数	このサービスを予約できる現在の日までの日数。
再スケジュール/キャンセル期限 (時間)	予約をキャンセルまたはスケジュール変更するために必要な、予約開始時刻までの時間または日数。 患者がこの時間内に予約をキャンセルまたはスケジュール変更しようとする、[キャンセル] ボタンは使用できません。
予約	
予約期間	予約期間の長さ。 i 注: この期間内にトレーニングが開始および完了するために十分な時間を見込んでください。
作業期間	レコードプロデューサーによって作成されたすべてのタスクを完了するために必要な時間数。
移動期間 (往復)	エージェントに必要な平均移動時間。このフィールドは、では Patient Support Services使用されません。
日次スケジュール	
予約可能な日	予約できる曜日。

フィールド	説明
毎日の開始時刻	Workday 内の予約期間の最も早い開始時刻。
毎日の終了時刻	Workday の予約期間の最も遅い終了時刻。
1 日の休暇を含める	予約可能な日ごとに休憩をスケジュールするオプション。 [毎日の休憩を含める] チェック ボックスをオンにすると、表示されるボックスに休憩の開始時刻と終了時刻を指定できます。
予約プレビュー	選択した開始時間と終了時間、休憩時間、予約期間に基づく予約期間と時間のプレビュー。

5. 変更内容を保存します。

- 既存の構成の場合は、[更新] をクリックします。
- 新しい構成の場合は、[送信] をクリックします。

で日レベルの予約設定を構成する **Patient Support Services**

プログラムタスクの予約時に、日レベルでさまざまなスケジュールを作成または変更します。予約は、午前、午後、夕方など、1 日のさまざまな時間帯にスケジュールできます。

始める前に

1. [で予約設定を構成する Patient Support Services。](#)
2. [で予約サービスの設定を構成する Patient Support Services。](#)

必要なロール：admin

このタスクについて

予約が必要なプログラムタスクごとに、1 日または複数の日レベルの構成を作成できます。

手順

1. 移動先 [すべて > Patient Support Services > 管理 > 予約設定。](#)
2. 設定を関連付ける予約構成へのリンクをクリックします。
3. 別の予約スケジュールを設定する予約サービス構成へのリンクをクリックします。
4. [日レベルの構成を有効にする] チェックボックスをオンにします。
5. [予約日の構成] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

予約日の構成フォーム

フィールド	説明
名前	午前、午後、夕方など、日レベルの構成を識別する名前。
アクティブ	予約スロットを有効にするためのオプション。
開始日	予約期間の開始日。
終了日	予約期間の終了日。
毎日の開始時刻	Workday 内の予約期間の最も早い開始時刻。
毎日の終了時刻	Workday の予約期間の最も遅い終了時刻。
サービス構成	日レベルで構成をスケジュールするサービス構成の名前。
作業期間	レコードプロデューサーによって作成されたすべてのタスクを完了するために必要な時間数。
移動期間 (往復)	エージェントがタスクを実行するために必要な平均移動時間 (往復) の推定値。このフィールドは適用されません Patient Support Services。
予約期間	予約期間の長さ。 i 注: この期間内にトレーニングが開始および完了するために十分な時間を見込んでください。
期間ごとの予約	設定された各予定時間スロットで利用可能な予約の数。 入力する数値によって、[予約の選択] ウィンドウに表示される利用可能な予約の数が決まります。
1 日の休暇を含める	予約可能な日ごとに休憩をスケジュールするオプション。 [毎日の休憩を含める] チェック ボックスをオンにすると、表示されるボックスに休憩の開始時刻と終了時刻を指定できます。

フィールド	説明
予約プレビュー	選択した開始時間と終了時間、休憩時間、予約期間に基づく予約期間と時間のプレビュー。

7. [Submit (送信)] をクリックします。

患者ポータルでの予約ウィンドウの表示

患者ポータルで予約 Patient Support Services または再スケジュールするときに、予約を選択するためのメニューアイテムを表示します。

デフォルトでは、*Program service appointment* レコードプロデューサーはに関連付けられた Patient Support Services 予約に使用できます。デフォルトのレコードプロデューサーを使用して、患者が予約したり、独自のレコードプロデューサーを作成したりできるようになります。

管理者は、予約のレコードプロデューサーをサービスカタログに含め、そのサービスカタログを患者ポータルにモジュールとして表示することができます。その後、患者はモジュールを使用してトレーニング要求の予約を登録できます。

詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログを設定する](#)」を参照してください。

プログラムの構成 Patient Support Services

患者がアプリケーションのプログラム Patient Support Services に登録できるようにします。

アプリケーションは Patient Support Services、アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 使用可能なプログラムおよびプログラム・サービスを使用します。sn.hcls_manager ロールを持つユーザーは、プログラムに合わせた Patient Support Services プログラムおよびプログラム・サービスを作成できます。既定では、アプリケーションには、プログラムおよびプログラム サービスの作成時に参照として使用できる既定のプログラムとプログラム サービスが含まれています。詳細については、「[プログラムサービスの構成](#)」と「[プログラムを構成する](#)」を参照。

のチェックリストを構成する Patient Support Services

プログラムのチェックリスト Patient Support Services は、登録要求の完了のリマインダーとして使用される質問またはタスクの正式なリストとして構成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

チェックリスト機能は、チェックリストプラグイン (com.glide.ui.checklist) で利用できます。管理者は、プログラムの適格性チェックリストや看護師教育者のトレーニング完了チェックリストなどのチェックリストを作成し、それらをプログラムに Patient Support Services 関連付けることができます。

Patient Support Services アプリケーションでは、次のチェックリストを使用できます。

- 適格性チェックリスト:プログラムの患者の Patient Support Services 適格性を判断するためのサンプル チェックリスト。
- ナースエドューターチェックリスト:トレーニングタスクを実施するためのサンプルチェックリスト。デフォルトでは、このチェックリストは看護師トレーニングサポートグループにアサインされています。

または、チェックリストフォーマッターを使用してチェックリストを作成することもできます。詳細については、「[チェックリストの作成](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて](#) > *Patient Support Services* > 管理 > チェックリスト。
2. 既存のチェックリストを構成するか、新しいチェックリストを作成します。
 - 既存のチェックリストテンプレートを選択します。
 - [新規] をクリックして、新しいチェックリストテンプレートを作成します。
3. フォームで、既存のチェックリストのデフォルトフィールド値を確認するか、カスタム構成の値を入力します。

チェックリストテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	チェックリストテンプレートを識別する名前
ユーザー	テンプレートを作成したユーザー。
グループ	チェックリストテンプレートを使用できるグループ。 注: 選択したグループのメンバーとチェックリストを作成したユーザーのみが、このチェックリストをテンプレートとして使用できます。このフィールドを空のままにすると、テンプレート作成者以外はチェックリストテンプレートを使用できなくなります。
テンプレート	チェックリストの JSON 表現。

4. 変更内容を保存します。
 - [送信] をクリックして新しいチェックリストを保存します。
 - 既存のチェックリストに対する変更を保存するには、[更新] をクリックします。

次のタスク

チェックリストをプログラムに関連付けます *Patient Support Services* 。詳細については、「[プログラムの構成 Patient Support Services](#)」を参照してください。

登録要求のドキュメントの自動生成の設定

登録要求のドキュメントを自動生成するための条件を定義できます。

デフォルトでは、プライバシーに関する同意ドキュメントは、ワークフローとともに *Patient Support Services* 登録要求に対して自動的に生成されます。ただし、ワークフロー要件に基づいて、事前に入力された再利用可能なドキュメントテンプレートを作成できます。詳細については、

「[のドキュメントテンプレートの構成](#) [ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

登録ケースに対して、プライバシーに関する同意ドキュメントが自動的にトリガーされます。の Playbook Patient Support Servicesでケアコーディネーターによって登録要求レビュータスクが [完了] に設定されている場合、プライバシーに関する同意決定ルールによってプライバシーに関する同意ドキュメントが生成されます。

管理者ルールを持つユーザーは、アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア登録要求ドキュメントの意思決定テーブルを構成するには、次の場所に移動します。すべて > **HCLS** サービス管理 > 管理 > ドキュメントの決定. 詳細については、「[医療ケースのドキュメントの自動生成の設定](#)」を参照してください。

登録要求タスクの **To-do** メニューアイテムを追加するための患者ポータルの設定

患者ポータルの To-do メニューアイテムを有効にして、登録要求の To Do アイテムを表示します。

患者ポータル管理者は、登録要求タスクを一覧表示するために、患者ポータルに To-do メニュー項目を含めることができます。デフォルトでは、アプリケーションとともにヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア提供される hcls_todos ページは、患者の To Do アイテムを表示するように事前設定されています。患者ポータルのヘッダーメニューにメニューアイテムを追加して、hcls_todos ページにアクセスできます。詳細については、「[医療関連タスクを完了するための To Do メニューアイテムを追加するようにサービスポータルを設定します](#)」を参照してください。

の Playbook の構成 Patient Support Services

登録ケースを解決するためのステップバイステップのガイダンスを提供するように Playbook を構成します。

admin ロールを持つユーザーは、機能を使用して Playbook Now Platform Playbook を作成できます。詳細については、「[Process Automation Designer](#)」を参照してください。

アプリケーションの Playbook Patient Support Services は Playbook Experience を使用します CSM 構成可能ワークスペース。デフォルトでは、アプリケーションには、Patient Support Services ケアコーディネーターが登録ケースを解決するのを支援するための Playbook が含まれています。

Playbook を構成するには、次の場所に移動します。すべて > プロセス自動化 > **Process Automation Designer**. 既存のプロセス定義を選択するか、登録ケースに関連付けられた Playbook の新しいプロセス定義を作成できます。詳細については、「[プロセス定義](#)」を参照してください。

i 注:

登録ケースに関連付けられた Playbook のプロセス定義を構成するときは、アプリケーションスコープがアプリケーションピッカーに設定され Patient Support Services ているかヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア、アプリケーションピッカーを使用していることを確認してください。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

メール通知の構成 Patient Support Services

プログラムについて Patient Support Services 患者に送信されるメール通知を構成します。

Patient Support Services には以下のメール通知が含まれています。

Patient Support Services [メール通知] テーブル

通知	条件	受信者
患者登録が却下されました	登録要求がケアコーディネーターによって却下されました。	患者
登録要求を受信しました	患者から登録要求を受信しました。	患者
患者サポートプログラム To Do	患者が同意フォームを確認して署名するためのドキュメントタスクが作成されました。	患者
トレーニングの予約をスケジュールする	患者がプログラムのトレーニングサポートを要求しました。	患者
患者登録が承認されました	プログラムに対する患者登録要求が受理されました。	患者

sn_patientservice.admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動して、アプリケーションのメール通知 Patient Support Services を設定できます。すべて > システム通知 > メール > **Notifications**. メール通知の編集の詳細については、「[メール通知を作成する](#)」を参照してください。

での追加ユーザー・プロファイルの決定 **Patient Support Services**

アプリケーションの登録ケースのエージェントコネクタまたは貢献者として行動できるユーザーを Patient Support Services 決定できます。

admin ロールを持つユーザーは、登録ケース、ケースタスク、およびその他のケース関連情報への必要なレベルのアクセス権を持つ貢献者プロファイルとエージェントコネクタプロファイルを作成できます。

アプリケーションとともに Patient Support Services インストールされる sn_patientservice.agent_connector ロールと sn_patientservice.contributor ロールは、次のユーザープロファイルを提供します。

- [エージェントコネクタ](#)
- [貢献者](#)

エージェントコネクタ

アプリケーション内の Patient Support Services エージェントコネクタは、登録ケースとタスクを作成、更新、およびクローズできる履行者として機能します。

admin ロールを持つユーザーは、sn_patientservice.agent_connector ロールとその他のエージェント固有のロールをグループにアサインし、そのグループをエージェントコネクタプロファイルを持つユーザーにアサインすることで、登録ケースのエージェントコネクタとして機能できるユーザーを決定できます。グループにロールを割り当てるには、「[グループにロールを割り当てる](#)」を参照してください。

次の表では、Patient Support Services アプリケーションで sn_patientservice.agent_connector ロールと [業界データモデルロール](#) を組み合わせる例として参照できる、アプリケーションスコープ内の場所エージェントプロファイルについて説明します CSM。

のエージェントコネクタプロファイルの例 **Patient Support Services**

プロフィール	説明	アサイン済みのロール
場所エージェント	<p>エージェントの事業所で登録ケースを作成し、履行します。</p> <p>注: サービス組織 (事業所) の登録ケースを作成するには、場所エージェントプロファイルを持つユーザーがサービス組織のメンバーであり、場所コンシューマーエージェントの責任タイプが割り当てられている必要があります。サービス組織とそのメンバーのマッピングは、サービス組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルに含まれています。</p>	sn_patientservice.agent_connector および sn_customerservice.svc_location_consumer_agent

自動翻訳

貢献者

アプリケーション内の Patient Support Services 貢献者は、登録ケースを作成および読み取ることができる要求者として機能します。

admin ロールを持つユーザーは、sn_patientservice.contributor ロールと他の貢献者ロールをグループにアサインし、そのグループを貢献者プロファイルを持つユーザーにアサインすることで、登録ケースの貢献者として行動できるユーザーを決定できます。グループにロールを割り当てるには、「[グループにロールを割り当てる](#)」を参照してください。

次の表は、sn_patientservice.contributor ロールとアプリケーションの共同CSM[作成者ロール](#) を組み合わせる例として参照できる、アプリケーションスコープ内のPatient Support Servicesさまざまな貢献者プロファイルを示しています。

の貢献者プロファイルの例 **Patient Support Services**

プロフィール	説明	アサイン済みのロール
関係貢献者 (Relationship contributor)	<p>関係が確立されている患者に対してのみ登録ケースを作成します。詳細については、「関係の作成」を参照してください。</p>	sn_patientservice.contributor および sn_cust

の貢献者プロファイルの例 **Patient Support Services** (続く)

プロフィール	説明	アサイン済みのロール
	<p>i 注:</p> <p>患者の登録ケースを作成するには、関係貢献者プロファイルを持つユーザーが、コンシューマーチームメンバー [sn_customer_rel_consumer_to_user_list] テーブルに含まれる患者との関係および関係マネージャーの責任タイプを持っている必要があります。</p>	
患者貢献者	任意の患者の登録ケースを作成します。	sn_patientservice.contributor および sn_cust
場所の貢献者	<p>ユーザーがサービス組織のメンバーとして関連付けられている特定のサービス組織 (事業所) の患者に対して登録ケースを作成します。</p> <p>i 注:</p> <p>サービス組織 (事業所) の登録ケースを作成するには、場所の貢献者プロファイルを持つユーザーがサービス組織のメンバーであり、場所の貢献者の責任タイプが割り当てられている必要があります。サービス組織とそのメンバーのマッピングは、サービス組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルに含まれています。</p>	sn_patientservice.contributor、sn_customers および sn_customerservice.consumer_contri

貢献者として登録ケースを作成するプロセスの設定

の CSM 貢献者ロールを持つユーザーがサービスポータルで登録ケースを作成するプロセスを設定します。

アプリケーションに加えて Patient Support Services CSM Contributor User プラグイン (com.snc.csm_contributor_user) がインストールされている場合は、*Create an enrollment case* Consumer Service Portal ページの [ケース] メニューからレコードプロデューサーを使用して登録ケースを作成できます。ユーザーを有効にするには [の貢献者ロール CSM](#) 登録ケースの作成では、デフォルトのレコードプロデューサーを使用することも、独自のレコードプロデューサーを作成することもできます。

管理者は、登録ケースを作成するためのレコードプロデューサーをサービスカタログに含めることができ、そのサービスカタログをモジュールとして Consumer Service Portal ページに表示することができます。貢献者プロファイルを持つユーザーは、モジュールを使用して登録ケースを作成できます。

詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログを設定する](#)」を参照してください。

貢献者として登録ケースを作成する

貢献者プロファイルを持つユーザーとして、サービスポータルから患者の登録ケースを作成します。

管理者は、登録ケースを作成するためのオプションを設定できます。デフォルトでは、このオプションは、Consumer Service Portal ページの [ケース] メニューから利用できます。あなたが持っている

る場合の貢献者ロール CSMTMでは、このオプションを使用して、Consumer Service Portal から登録ケースを作成できます。

での登録要求の管理 ワークスペース

ケアコーディネーターまたはナースエドゥケーターは、それぞれ登録要求またはトレーニングタスクを管理するために使用できます ワークスペース。

登録要求ワークスペースでのタスクの管理

タスク	説明
ワークスペースにアクセスします。	ワークスペースのホームページを使用して、登録ケースをすばやくスキャンしてアクセスします。
での登録ケースの表示 ワークスペース。	で ワークスペース 登録ケースを表示し、患者サポートサービスプログラムの患者登録アクティビティを完了します。
での登録ケースの患者情報の表示 ワークスペース。	で ワークスペース患者の詳細を表示します。
での登録要求ケースの処理 ワークスペース。	アプリケーションで Patient Support Services 利用可能な Playbook を使用して、登録ケースを管理します。
でのトレーニング要求の管理 ワークスペース。	トレーニングタスクとチェックリストを使用して、プログラムのトレーニングサポート Patient Support Services を管理します。

での登録ケースのランディングページの表示 ワークスペース

ケアコーディネーターは、の ワークスペース ランディングページを使用して、登録ケースをすばやくスキャンしてアクセスできます。

の ワークスペース ランディングページには、自分と自分のグループにアサインされた登録ケースの概要が表示されます。

必要なロール

ケアコーディネーターが を使用するには、sn_patientservice.agent ロール ワークスペースが必要です。詳細については、「ユーザーにロールをアサインするPatient Support Services」を参照してください。

ランディングページへのアクセスと使用

登録要求ワークスペースにアクセスするには、次の場所に移動します。すべて > Patient Support Services > ワークスペース。

ランディングページには ワークスペース、登録ケース情報を表示するコンポーネントに加えて、コンポーネントデータをさらに細分化する可視化機能が含まれています。各チャート化は、データソースに接続されています。たとえば、新規ケースコンポーネントには、新規ケースの可視化が含まれます。

ケアコーディネーターは、のランディングページから次のタスクを実行できます。ワークスペース

- 各コンポーネントに表示されるケースまたはタスク情報を表示します。
- 各コンポーネントをドリルダウンして、単一スコアの背後にあるケースリストを確認します。
- ケースリストから個々のレコードに移動します。

データの表示

ワークスペース登録ケースのランディングページは、登録要求に対応するために作成されたケースを含む、ヘルスケア関連ケースのワークスペースランディングページと同じです。詳細については、「[でのヘルスケア関連ケースのランディングページの表示 ワークスペース](#)」を参照してください。

i 注:

管理者は、ランディングページ ワークスペース をカスタマイズしたり、表示されるデータを変更したりできます。

での登録ケースの表示 ワークスペース

で ワークスペース 登録ケースを表示し、患者サポートサービスプログラムの患者登録アクティビティを完了します。

始める前に

登録ケースへのアクセス権が必要です。

必要なロール:sn_hcls.manager、sn_patientservice.agent

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます **すべて** > *Patient Support Services* > ワークスペース。
2. 自分または自分のグループにアサインされた登録ケースを表示します。
 - 自分にアサインされた登録ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 **リスト** > 登録ケース > 自分のケース。
 - すべてのオープン登録ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 **リスト** > 登録ケース > 自分のオープンケース。
 - グループに属しているが、誰にもアサインされていない登録ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 **リスト** > 登録ケース > 自分のグループの未アサインケース。
 - すべての登録ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 **リスト** > 登録ケース > **すべて**。
3. 表示するケースへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した 登録ケース ページが別の ワークスペース タブで開き、次のコンポーネントが表示されます。

- Playbook
- 詳細
- 患者情報
- タスク
- SLA タスク
- メール
- 事前承認要求
- 薬の処方箋

- 登録済みプログラム
- 登録済みプログラムサービス
- 予約

登録ケースはヘルスケアケースに基づいており、ヘルスケアケースはカスタマーサービスケースに基づいています。管理者とロールによって行われた構成によっては、カスタマーサービスケースに類似した追加のタブが登録ケースに表示される場合があります。

注:
[患者] フィールドは、登録要求ケースには必須です。

カスタマーサービスケースで利用可能なタブの詳細については、「[カスタマーサービスケース フォーム](#)」を参照してください。

次のタスク

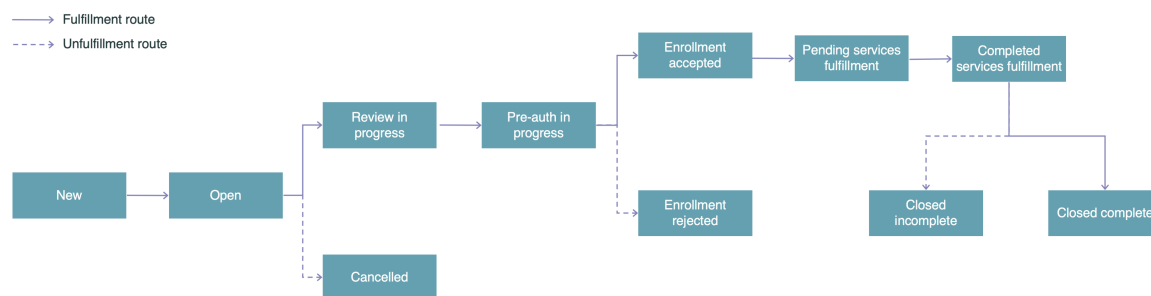
のワークスペース [患者情報] タブを選択して、患者の詳細を表示できます。詳細については、「[での登録ケースの患者情報の表示 ワークスペース](#)」を参照してください。

登録ケースのライフサイクル

アプリケーション内の登録ケースは、Patient Support Services 履行サイクルの進行に応じて、いくつかのステータスのいずれかになります。

次の図は、登録ケースのさまざまなステータスを示しています。

登録ケースのライフサイクル



登録ケースのステータス

ステータス	説明
新規	登録ケースは作成されますが、まだ誰にもアサインされていません。
オープン	登録ケースがアサインされます。
レビュー中	登録要求はケアコーディネーターによってレビューされています。
事前認証が進行中です	患者の同意がケアコーディネーターによってレビューされ、事前承認要求が進行中です。

登録ケースのステータス (続く)

ステータス	説明
登録が承認されました	登録要求が受け入れられます。
登録が却下されました	登録要求が却下されました。
保留中のサービス履行	事前承認レビュー要求は完了としてマークされ、サービスはまだ履行されていません。
完了したサービス履行	登録要求に関連付けられたプログラムサービスが履行されます。
完了してクローズ	登録ケースが解決コードとメモでクローズされ、患者がプログラムに登録されました。
未完了でクローズ	患者がプログラムに登録されなかったため、登録ケースが未完了としてマークされました。
キャンセル	無効な要求だったため、登録ケースはキャンセルされました。

i 注:

ケースのステータスが [登録却下]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [キャンセル] に設定されている場合、ケースを編集することはできません。

での登録ケースの患者情報の表示 ワークスペース

で ワークスペース患者の 360 度ビューを使用すると、登録ケースを完了するために患者の詳細にいつでもアクセスできます。

の ワークスペース[患者情報] タブには、患者に関するいくつかの詳細が表示され、患者を 360 度表示できます。このタブは、ワークスペース 登録ケースに表示されます。

i 注:

管理者は、を使用してUI ビルダー患者情報を変更するように構成できますワークスペース。このトピックでは、患者情報の既定のビューについて説明します。詳細については UI ビルダー、「[UI Builder](#)」を参照してください。

患者情報

自動翻訳

登録ケースについて表示される患者情報

詳細	説明
個人の詳細	名前、生年月日、社会保障番号 (SSN)、自宅の電話番号、メール ID、自宅の住所など、患者の個人情報。
保険の詳細	メンバー番号、適用開始日、RxBin 番号、RxGroup 番号、グループ番号、適用終了日、RxPCN 番号、加入者名など、患者の保険の詳細。
世帯メンバー	患者に関連付けられた世帯のメンバー。 メンバー名または責任をクリックして、家族メンバーと患者との関係の詳細を表示します。
条件	患者で観察された健康状態の数。 数字をクリックして、患者に関連付けられた条件のリストを表示します。
医薬品	患者が服用した薬剤の数。

登録ケースについて表示される患者情報(続く)

詳細	説明
	数字をクリックすると、患者に関連付けられている薬剤のリストが表示されます。
アレルギー	患者で観察されたアレルギーの数。 数字をクリックして、患者に関連するアレルギーのリストを表示します。
予防接種	患者に投与されたワクチンの数。 数字をクリックして、患者に関連付けられた予防接種のリストを表示します。
ケース概要	患者に関連付けられた登録ケースをステータス別に表示するドーナツグラフ。 ステータススライスをクリックすると、そのステータスのケースのリストが表示されます。
請求の概要	患者に関連付けられた請求をステータス別に表示するドーナツグラフ。 ステータススライスをクリックすると、そのステータスの請求のリストが表示されます。
最近のインタラクション	患者に対して作成されたインタラクションのリスト。 やり取りの番号をクリックすると、やり取りの詳細が表示されます。
予約	患者に対してスケジュールされている予約のリスト。 予約番号をクリックすると、予約の詳細が表示されます。
登録済みプログラム	患者が登録されているプログラムのリストと登録日。 プログラム名をクリックすると、プログラムの詳細が表示されます。
処方	患者に処方された医薬品のリスト。 薬剤製品をクリックすると、製品の詳細が表示されます。
レコード情報	患者レコードの概要、ケースのタイムライン、および登録ケースに関連付けられた合計 SLA 時間のうちの残り時間を表示するために使用されるコンテキストサイドパネル。

での登録ケースの処理 ワークスペース

アプリケーションで Patient Support Services 利用可能な Playbook を使用して、登録ケースを管理し、患者サポートサービスの要求を完了します。

Playbook Experience は、ビジネス間のワークフローと、これらのワークフローを完了するために使用される実行可能なアクティビティを履行者に可視化します。で Playbook Experience を有

効にするワークスペースと、登録ケースの **[Playbook]** タブが表示されます。Patient Support Services Playbook の操作方法の詳細については、「[Playbook の操作](#)」を参照してください。

sn_patientservice.agent ロールを持つケアコーディネーターは、Playbook を使用して Patient Support Services 患者のすべての登録要求アクティビティを完了できます。登録ケースがアサインされると、のワークスペース**[Playbook]** タブにアクセスできます。ワークフローにより Patient Support Services、[**Playbook**] タブで起動されたすべてのアクティビティのケースデータが入力されます。Playbook のステージを選択して、ステージに関連付けられたアクティビティを完了することができます。

デフォルトでは、sn_patientservice.agent ロールを持つケアコーディネーターは、登録要求ワークスペースの **[Playbook]** タブで次のステージを利用できます。

Patient Support Services Playbook ステージ

ステージ	説明
取り込み	初期登録アプリケーションのレビューアクティビティを完了します。
福利厚生 の調査	患者が選択した福利厚生調査設定を取得またはレビューし、事前承認アクティビティを管理します。 i 注: デフォルトでは、利益調査 特性はアプリケーション内の Patient Support Services プログラムで使用できます。管理者は、特性をさらに追加して、1 つ以上のプログラムに関連付けることができます。構成によっては、特性に関連付けられたアクティビティが Playbook に表示される場合があります。
処方箋の 詳細	処方箋を注文します。
プログラム サービス	患者が登録されているプログラムサービスをレビューして履行します。
解決してク ローズ	登録要求をクローズします。

i 注:

Playbook のステージを完了すると、登録ケースのステータスが進行します。詳細については、「[登録ケースのライフサイクル](#)」を参照してください。

初期レビューアクティビティの完了

Playbook の [取り込み] ステージで、次のアクティビティを完了します。

1. 登録の詳細の確認:登録要求に含まれる患者について入力された患者、処方者、プログラム、およびプログラムサービスの詳細を確認します。[登録の詳細を確認] アクティビティが [完了] に設定されている場合、ワークフローは Patient Support Services 自動的に同意フォームを患者に送信します。
2. 保険の詳細の確認:患者の保険情報を取得または確認します。

ケアコーディネーターは、患者に直接連絡して保険情報を確認できます。Playbook の Patient Support Servicesワークスペース [保険のレビュー] アクティビティから保険情報を入力または確認し、完了したらアクティビティを完了としてマークできます。

3. 処方箋のレビュー:患者に注文された処方箋をキャプチャまたはレビューします。新しい処方箋レコードを追加して、処方の詳細を含めることができます。処方箋がない場合は、処方者に連絡して処方箋の詳細を入力してください。

新しい処方箋を追加するには、[新しく追加] をクリックし、[薬の処方箋] フォームに処方箋の詳細を入力して、[保存] をクリックします。詳細については、「[薬の処方箋フォーム](#)」を参照してください。

i 注:

プログラムに関連付けられた薬剤製品がない場合、[処方箋のレビュー] アクティビティは Playbook に表示されません。

4. 患者の同意の確認:患者に割り当てられた患者の同意フォームの記入状況を確認します。患者が同意フォームの To Do アイテムを完了すると、同意がアクティビティに一覧表示されます。ケアコーディネーターは、同意をレビューし、Playbook で [患者の同意をレビュー] アクティビティを完了としてマークできます。
5. 登録の適格性をレビュー:適格性チェックリストに基づいて登録要求を承認または却下します。

福利厚生調査アクティビティの完了

Playbook の [福利厚生調査] ステージで、次のアクティビティを完了します。

1. 患者設定をレビュー:患者が選択した福利厚生調査設定を確認します。
2. 専門薬局の詳細の確認:患者から提供された専門薬局の詳細を確認します。専門 薬局の詳細のレビュー アクティビティは、患者が登録要求フォームで専門薬局を選択した場合にのみ表示されません。
3. 事前承認のレビュー:プログラムに事前承認が必要かどうかを確認して検証します。事前承認が必要な場合は、[新規追加] をクリックし、支払人組織から提供された事前承認の詳細を [事前承認要求] フォームに入力して、[保存] をクリックします。詳細については、「[事前承認要求フォーム](#)」を参照してください。

i 注:

投薬処方箋に事前承認が必要ない場合は、このアクティビティをスキップできます。

処方箋の注文

Playbook の [処方箋の詳細] ステージで、薬局に連絡して処方箋を注文し、[処方箋注文を送信する] アクティビティを完了します。さらに、薬局で薬の投与量と配送場所を確認し、配送予定日を取得します。

i 注:

プログラムに関連付けられた薬剤製品がない場合、処方箋の詳細 ステージは Playbook に表示されません。

プログラムサービスの履行

Playbook の [プログラムサービス] ステージで、患者が登録されているプログラムサービスをレビューして履行することで、[サービスを履行] アクティビティを完了します。[サービスの履行] アクティビティは、サービス履行ステータスを完全に可視化します。

[サービスの履行] アクティビティの [番号] 列でプログラム番号をクリックし、プログラム サービスが完了したら、アクティビティを完了としてマークします。必要に応じて、追跡番号などの他の詳細とともに [サービスを履行] アクティビティで出荷の詳細をキャプチャできます。

i 注:

サービスは、自分で履行することも、サービスアクティビティを履行できる別のチームにアサインすることもできます。

すべてのプログラムサービスが履行されると、関連付けられた登録済みプログラムサービスレコードのステータスが [履行済み] に変わり、履行日が自動的に現在の日付に設定されます。

登録要求をクローズする

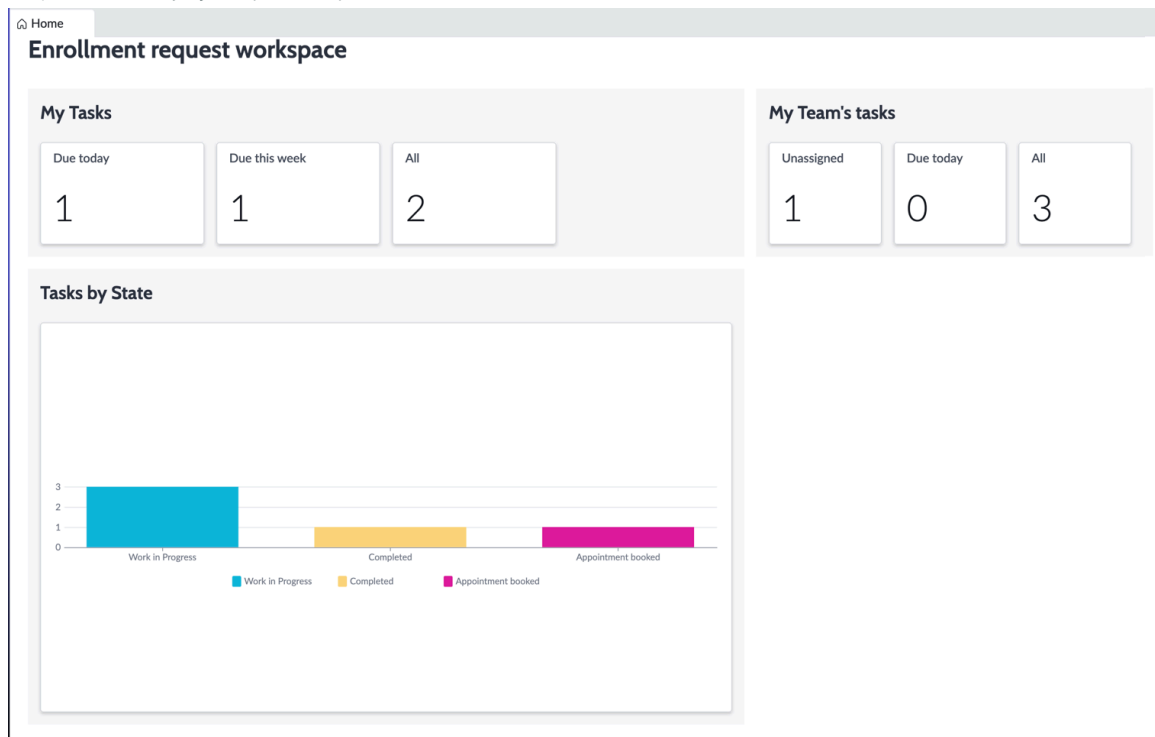
Playbook の [解決してクローズ] ステージで、他のすべてのアクティビティが完了するまで待つから、解決コードを選択して解決メモを追加して、[登録要求をクローズ] アクティビティを完了します。[完了してクローズ] とマークされたケースについて、記入を求めるサーベイが患者に送信されます。

での登録関連のトレーニングタスクのホームページの表示 ワークスペース

看護師教育者は、の ワークスペース ホームページを使用して、登録プログラムのトレーニング要求をすばやくスキャンしてアクセスできます。

の ワークスペース ホームページには、自分と自分のグループにアサインされたトレーニングタスクの概要が表示されます。

のトレーニングタスクワークスペース



必要なロール

ナース教育者は、ナーストレーニングサポートのアサイン先グループのメンバーであるか、またはプログラムのトレーニングタスクPatient Support Servicesを表示するために使用する `sn_patientservice.nurse_educator` ロールがワークスペース割り当てられている必要があります。詳細については、「[ユーザーにロールをアサインするPatient Support Services](#)」を参照してください。

ホームページからトレーニングタスクにアクセスする

にアクセスするには、ワークスペースに移動します。 *Patient Support Services* > ワークスペース。

ホームページには、ワークスペース トレーニングタスク情報を表示するコンポーネントが含まれています。

看護師教育者は、登録要求ワークスペースのホームページから次のタスクを実行できます。

- 各コンポーネントに表示されるタスク情報を表示します。
- 各コンポーネントを掘り下げて、単一スコアの背後にあるタスクリストを確認します。
- タスクリストから個々のレコードに移動します。

データの表示

看護師教育者は、デフォルトで次のセクション ワークスペース を表示できます。

- [自分のタスク](#)
- [ステータス別のタスク](#)
- [自分のチームのタスク](#)

i 注:

管理者は、ホームページ ワークスペース をカスタマイズしたり、表示されるデータを変更したりできます。

自分のタスク

[自分のタスク] セクションには、予約予約ステータスで自分にアサインされているトレーニングタスクのインジケータが表示されます。このセクションを監視して、差し迫ったタスクが完了したことを確認します。

タスクに関するレポート

インジケータ	説明
今日が期限	自分にアサインされており、ステータスが予約済みで、予約時間が現在の日付が期限になっているタスクの数。
今週が期限	自分にアサインされており、ステータスが予約済みで、期限が現在の週の予約時間になっているタスクの数。
すべて	自分にアサインされたすべてのトレーニングタスクの数。

ステータス別のタスク

[ステータス別のタスク] セクションには、インスタンス内のすべての ServiceNow トレーニング要求をステータス別にグループ化して表示する棒グラフが表示されます。

自分のチームのタスク

[自分のチームのケース] セクションには、グループにアサインされているトレーニングタスクのインジケータが表示されます。

チームのケースに関するレポート

インジケータ	説明
未アサイン	チームメンバーにまだアサインする必要があるトレーニングタスクの数。
今日が期限	現在の日付が期限のチームのトレーニングタスクの数。
すべて	チームのすべてのトレーニングタスクの数。

でのトレーニングタスクの表示 ワークスペース

で ワークスペース トレーニングタスクを表示して、患者サポートサービスプログラムの登録アクティビティを完了します。

始める前に

必要なロール:sn_patientservice.nurse_educator

このタスクについて

トレーニングタスクは、予約ワークフローに基づいて作成されます。詳細については、「」を参照してください [の予約ワークフロー Patient Support Services](#)。

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > *Patient Support Services* > ワークスペース。
2. 自分または自分のグループにアサインされたトレーニングタスクを表示します。
 - 自分にアサインされたトレーニングタスクを表示するには、次の場所へ移動します。 リスト > トレーニングタスクの実施 > 自分のタスク。
 - グループに属しているが、誰にもアサインされていないトレーニングタスクを表示するには、以下へ移動します。 リスト > トレーニングタスクの実施 > 自分のグループの未アサインタスク。
 - すべてのトレーニングタスクを表示するには、次の場所へ移動します。 リスト > トレーニングタスクの実施 > すべて。
3. 表示するトレーニングタスクへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した トレーニングタスク ページが別のタブで ワークスペース 開き、トレーニングタスクの詳細が表示されます。

次のタスク

[でのトレーニングタスクの管理](#) ワークスペース。

でのトレーニングタスクの管理 ワークスペース

トレーニングタスクとチェックリストを使用して、プログラムのトレーニングサポート *Patient Support Services* を管理します。

始める前に

登録ケースへのアクセス権が必要です。

必要なロール:sn_patientservice.nurse_educator

このタスクについて

トレーニングタスクは、予約ワークフローに基づいて作成されます。詳細については、「[の予約ワークフロー Patient Support Services](#)」を参照してください。

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > *Patient Support Services* > ワークスペース。
2. 検索項目 リスト > トレーニングタスクの実施 > 自分のタスク。
3. ステータスを更新するタスクへのリンクをクリックします。
タスクのステータスが [予約済み] の場合、トレーニングタスクで作業できます。アプリケーションでは *Patient Support Services* 、トレーニングタスクは患者によって予約されます。
4. [ステータス] フィールドで、タスクのステータスを更新します。
 - まだタスクを実行している場合は、[対応中] を選択します。
 - タスクが完了したら、[完了] を選択します。
 - タスクを完了できなかった場合は、[キャンセル] を選択します。

5. 変更内容を保存します。

- タスクがまだ進行中またはキャンセルされている場合は、トレーニングページで [保存] をクリックします。
- タスクが完了したら、トレーニング ページで [完了] をクリックします。

タスクの結果

タスクのステータスは、Playbook のプログラムサービスアクティビティの [サービスの履行] タスク ページに反映されます。詳細については、「[での登録ケースの処理 ワークスペース](#)」を参照してください。

の予約ワークフロー **Patient Support Services**

予約機能を使用して、患者がアプリケーション内で Patient Support Services トレーニング要求の予約を行えるようにすることができます。

アプリケーションの予約機能では、Patient Support Services 次のワークフローが使用されます。

1. 患者は、利用可能な予約ウィンドウを表示し、選択を行い、患者ポータルからトレーニング要求の予約を行います。
2. 予約すると、予約 [sn_hcls_appointment] テーブルにレコードが作成され、トレーニングタスクレコードが作成されます。予約に関するメール通知が患者に送信されます。
3. トレーニングタスクは、ナーストレーニングサポートアサイン先グループに自動的にアサインされ、ナーストレーニングサポートアサイングループのメンバーであるナース教育者がタスクを処理します。
4. その後、看護師教育者は、スケジュールされた予約日に基づいて患者にトレーニングを実施し、ワークスペーストレーニングタスクの状態を更新します。看護師教育者は、トレーニングチェックリストにアクセスし、トレーニング中にチェックリストを完了し、タスクのメモをキャプチャできます。

予約機能を開始するには、「」を参照してください [の予約設定の構成 Patient Support Services](#)。

の **To Do** アイテムの完了 **Patient Support Services**

患者ポータルから、患者として自分にアサインされたすべての To Do アイテムを表示して完了します。

To Do ページは、患者ポータルの 1 つのページですべての To Do を表示して完了できるページです。デフォルトでは、次の To Do アイテムが手順要求に割り当てられます。

- プライバシーに関する同意フォームを確認して署名します。
- トレーニングプログラムの予約を行います。

To Do アイテムごとに、アイテム情報と患者ポータルへのリンクを含むメール通知を受信します。[To Do] ページにアクセスして、To Do アイテムを完了できます。

i 注:

管理者は、To Do ページを設定して、To Do アイテムをさらに追加できます。

の予約 **Patient Support Services**

プログラム内の Patient Support Services トレーニング要求の患者としての予約。

患者は、患者ポータルから、利用可能な予約期間を表示し、選択して、トレーニング要求の予約を行うことができます。

管理者は、予約の選択に利用できる予約期間を設定できます。患者ポータル内で利用可能な予約ウィンドウを使用して、利用可能な予約タイムスロットを表示し、希望する日時を選択して、予約要求を送信できます。予約機能の使用例については、「[ポータルから予定を予約](#)」および「[予約ウィンドウを選択する](#)」を参照してください。

予約すると、ナースエドゥケーター用のトレーニングタスクが作成され、予約確認メール通知が送信されます。

詳細については、「[の予約ワークフロー Patient Support Services](#)」を参照してください。

関連情報

[の予約ワークフロー Patient Support Services](#)

[の予約設定の構成 Patient Support Services](#)

Patient Support Services の分析およびレポート作成

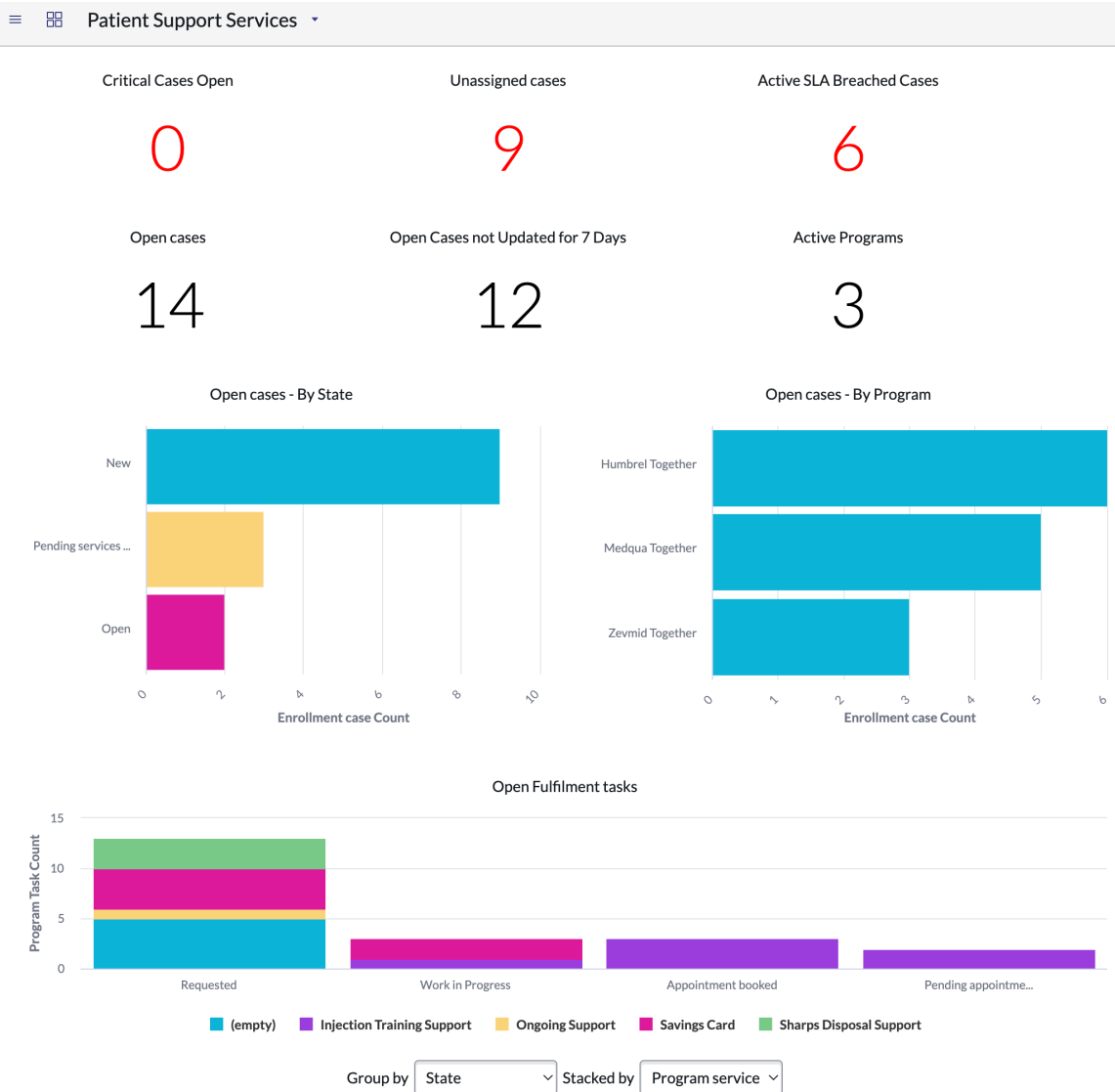
Patient Support Services には、アクション可能なデータ表示方法を備えた事前構成済みのダッシュボードがあり、ビジネスプロセスの改善とセルフサービスの価値の定量化に役立ちます。

は [Patient Support Servicesダッシュボード](#) アプリケーションで使用できます Patient Support Services 。

Patient Support Servicesダッシュボード

オープン登録ケースのステータスを監視して、プログラムの患者登録アクティビティを簡素化します Patient Support Services 。

Patient Support Servicesダッシュボード



自動翻訳

Patient Support Services ダッシュボードにアクセスします。

ダッシュボードを開くには、次の場所へ移動します。 *Patient Support Services* > ダッシュボード。

ユースケース

組織内のさまざまなユーザーがこのダッシュボードをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ダッシュボードユースケース

ユーザー	ダッシュボードの使用法
sn_patientservice.agent または sn_hcls.manager	登録ケースを監視し、パフォーマンスを測定してバックログを常に把握し、患者に合理化されたエクスペリエンスを提供します。


レポート

ダッシュボードレポート

タイトル	タイプ	ソーステーブル	説明
重大なケースのオープン	単一スコア 42	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	まだオープンな優先度の登録ケースの数。
未アサインのケース	単一スコア 42	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	患者サービス担当者に割り当てられていない登録ケースの数。
アクティブな SLA 違反ケース	単一スコア 42	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	ビジネスのサービスレベルアグリーメント (SLA) に違反した登録ケースの数。
オープンケース	単一スコア 42	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	まだオープンしている登録ケースの数。
過去 7 日間更新されていないオープンケース	単一スコア 42	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	過去 7 日間更新されていない登録ケースの数。
アクティブなプログラム	単一スコア 42	プログラム [sn_hcls_program]	アクティブなプログラムの数。
オープンケース - ステータス別	水平バー ☰	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	[完了したサービス履行]、[承認]、[新規]、[オープン]、[処理待ちのサービス履行]、または [レビュー中] のステータスに分類されたすべてのオープン登録ケースのステータス。
オープンケース - プログラム別	水平バー ☰	登録ケース [sn_patientservice_enroll_	関連付けられているプログラム別に分類された、すべての未解決の登録ケースの数。

自動翻訳

ダッシュボードレポート (続く)

タイトル	タイプ	ソーステーブル	説明
実行タスクを開く	棒グラフ 	プログラムタスク [sn_patientservice_programtasks]	ステータス別にグループ化されたプログラムサービスアイテム別に積み重ねられた、すべてのオープンプログラムタスクの数。

Patient Support Services 参照

参照トピックには、コンポーネントに関する Patient Support Services 追加情報が記載されています。

Patient Support Services とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ServiceNow Storeアプリケーション、ビジネスルールなど) が、アプリケーションのインストールPatient Support Servicesとともにインストールされます。

- i 注:**
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

にインストールされているロール **Patient Support Services**

ロール	説明	ロールを含む
sn_patientservice.admin	アプリケーションにアクセスできる Patient Support Services 管理者。	sn_patientservice.agent
sn_patientservice.agent	ケアコーディネーターとして登録ケースを表示して履行します。	sn_hcls.healthcare_agent
sn_patientservice.ナース_エドゥケーター	看護師教育者としての Patient Support Services トレーニング要求を管理します。 i 注: デフォルトでは、sn_patientservice.nurse_educator ロールは、Nurse Training Support アサイン先グループのメンバーにアサインされます。	sn_hcls.practitioner

にインストールされているロール **Patient Support Services** (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_patientservice.case_creator	関連するすべてのオブジェクトの登録ケースを作成します。	sn_patientservice.case_vi
sn_patientservice.agent_connector	<p>関連付けられたすべてのオブジェクトの登録ケースを表示、作成、および更新します。</p> <p>このロールは、エージェントコネクタプロフィールを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロフィールの決定 Patient Support Services」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_ager • sn_patientservice.sm_a
sn_patientservice.case_task_viewer	ユーザーがアクセスできる登録ケースに関連付けられたすべてのタスクを表示します。	なし
sn_patientservice.case_viewer	アプリケーションで利用可能なすべての登録ケースを表示します。	なし
sn_patientservice.contributor	<p>患者の登録ケースを作成します。</p> <p>このロールは、貢献者プロフィールを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロフィールの決定 Patient Support Services」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.clinical_data_vie • sn_hcls.foundation_data • sn_patientservice.case_ • sn_hcls.患者_データ_ビ • sn_hcls.プラクティショナ ビューア • sn_hcls.健康保険_データ • sn_patientservice.case_ • sn_hcls.revenue_cycle_ • sn_patientservice.case_
sn_patientservice.sm_agent	ケアコーディネーターとして登録要求に関連するすべてのデータにアクセスして表示します。	sn_patientservice.case_cr

インストールされるテーブル

Patient Support Services アプリケーションテーブル

テーブル	説明
登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	登録ケースを保存します。

Patient Support Services アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
	登録ケースの場合、[患者] フィールドは必須です。
患者サービスタスク [sn_patientservice_task]	プログラムタスク [sn_patientservice_program_task] テーブルとプログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item] テーブルの拡張元であるベースタスクテーブル。医療タスク [sn_hcls_task] テーブルを拡張します。
患者サービストレーニング [sn_patientservice_training_task]	プログラムタスクに関連付けられたトレーニングタスクの詳細を保存します。
プログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item]	プログラムサービスに関連付けられたプログラムサービスアイテムタスクの詳細を保存します。
プログラムタスク [sn_patientservice_program_task]	患者が要求したサービスを履行するために作成されたプログラムタスクの詳細を保存します。

インストール済み **ServiceNow Store** アプリケーション

ServiceNow Store にインストールされているアプリケーション **Patient Support Services**

アプリケーション	説明
Healthcare and Life Sciences Service Management Core (sn_hcls)	患者の 360 度ビュー、同意管理、デジタル文書などのデータモデルと重要なデジタル医療機能を提供し、医療サービスへの対応を改善します。

インストールされたビジネスルール

にインストールされているビジネスルール **Patient Support Services**

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
自動アセスメントビジネスルール	登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	挿入後	登録ケースが [完了してクローズ] に設定されると、患者満足度サーベイをトリガーします。

にインストールされているビジネスルール **Patient Support Services** (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
非アクティブなケースで Playbook をキャンセル	登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	更新後	関連する登録ケースのステータスが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [キャンセル] に設定されている場合、Playbook のアクティビティを無効にします。
予約ステータスの変更	患者サービストレーニング [sn_patientservice_training_task]	更新後	関連する実施トレーニングタスクのステータスが [完了] または [キャンセル] に設定されている場合、予約ステータスを [履行済み] または [キャンセル] に設定します。
患者と保険の入力	事前承認要求 [sn_hcls_pre_auth_header]	挿入後	登録ケースに入力された患者の名前に基づいて、事前承認の詳細フォームに患者、施術者、および保険の詳細を入力します。
患者と処方者の入力	薬の処方箋 [sn_hcls_medication_prescription]	挿入後	登録ケースに入力された患者の名前に基づいて、[処方箋] フォームに患者と開業医の詳細を入力します。
子アイテムをキャンセルに設定	登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	挿入および更新後	登録ケースのステータスが [未完了でクローズ] または [キャンセル] に変更されたときに、オープン患者タスク、オープン登録済みプログラムサービス、オープン登録済みプログラム、およびドキュメントタスクを含むすべての子アイテムをキャンセルします。
EPS ステータスを [キャンセル] に設定	プログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item]	更新後	関連するプログラムサービスアイテムの状態が [キャンセル] に設定されている場合に、登録済みプログラムサービスの状態を [キャンセル] に設定します。
EPS ステータスを [履行	プログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item]	更新後	関連するプログラムサービスアイテムの状態が [完了] に設定されている場合に、登録済みプログラム

にインストールされているビジネスルール **Patient Support Services** (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
済み] に設定			サービスの状態を [履行済み] に設定します。
EPS ステータスを [履行処理待ち] に設定	プログラムサービスアイテム [sn_patientservice_program_service_item]	更新後	関連するプログラムサービスアイテムのステータスが [対応中] に設定されている場合、登録済みプログラムサービスのステータスを [履行処理待ち] に設定します。
PSI ステータスを [キャンセル] に設定	プログラムタスク [sn_patientservice_program_task]	更新後	関連するプログラムタスクの状態が [キャンセル] に設定されている場合に、プログラムサービスアイテムの状態を [キャンセル] に設定します。
PSI ステータスを完了に設定	プログラムタスク [sn_patientservice_program_task]	更新後	関連するプログラムタスクの状態が [完了] に設定されている場合に、プログラムサービスアイテムの状態を [完了] に設定します。
PSI ステータスを対応中に設定	プログラムタスク [sn_patientservice_program_task]	更新後	関連するプログラムタスクの状態が [対応中] に設定されている場合、プログラムサービスアイテムの状態を [対応中] に設定します。
簡単な説明を設定	登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	更新後	登録ケースの作成時または更新時に、登録ケースの簡単な説明を <プログラム名> 登録ケース の形式で設定します。
アサイン済み時にステータスをオープンに設定	登録ケース [sn_patientservice_enroll_case]	挿入および更新後	ケースがケアコーディネーターにアサインされたときに、登録ケースのステータスを [オープン] に設定します。

ドメイン分離と **Patient Support Services**

Patient Support Services ではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに回答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「[アプリケーションでのドメイン分離のサポート](#)」を参照してください。

概要

アプリケーション Patient Support Services には、プログラムタスクやプログラムサービスタスクなど、登録ケースやヘルスケアタスクなどのトランザクションデータのドメイン分離が含まれています。このアプリケーションは、[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#) ドメイン分離も含むに基づいています。

Patient Support Servicesにおけるドメイン分離の仕組み

アプリケーションを使用して Patient Support Services 登録要求を出す顧客の場合、ドメインは、ログインユーザーのセッション、作成されたケースとタスク、および関連するヘルスケアデータから設定されます。

ユースケース

ヘルスケアプロバイダーのヘルスケアデータがドメイン別に分離されている場合、ヘルスケア要求と対応する実行タスクはそれぞれの顧客ドメインに関連付けられます。

Pre-Visit Management

この ServiceNow Pre-Visit Management アプリケーションを使用して、患者の処置要求のスケジューリングプロセスを簡素化し、スケジュールされた処置の前の事前承認の可視性を高めます。

ストアでアプリを要求する

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

詳細を読む



医療機関が Pre-Visit Management.

構成



実装を計画し構成します。

完了



手順要求の To Do アイテムを完了します。

寄稿



貢献者として手順要求ケースを作成します。

自動翻訳

テーブル
ポーネン

分析とレポート作成



ダッシュボードとレポートを使用して作業を調整し、プロセスを改善します。

探索 Pre-Visit Management

アプリケーションの実装 Pre-Visit Management を開始するか拡張するかにかかわらず、患者の処置要求のスケジューリングを合理化およびデジタル化するために利用できる機能の詳細について学習することを検討してください。

概要

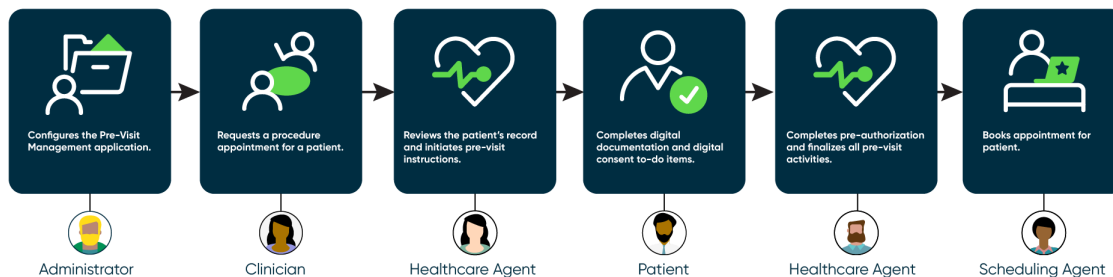
このアプリケーションを使用して Pre-Visit Management、患者が処置スケジュールの要求に必要なすべての書類をデジタルで簡単に確認し、署名できるようにします。

紙ベースのプロセスや複数の EMR システムを使用している医療従事者にとって、チームや患者間で事前承認、承認、同意などの手順要求を管理することは、コストと時間がかかり、効率が低下する可能性があります。医療提供者は、この Pre-Visit Management アプリケーションを使用して、処置のスケジューリング要求に関するワークフローを効率的に管理することで、医療サービスを提供できます。

患者サービス担当者の場合、Pre-Visit Management Playbook は、手順要求を確認し、患者情報を検証し、必要な同意タスクとフォームを特定してアサインし、事前承認のために適切なドキュメントを患者の保険組織に送信するためのガイド付きエクスペリエンスを提供します。

Pre-Visit Management アプリケーションは、アプリケーションによってヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア提供されるデータモデルを使用します。処置要求は処置要求ケースとして送信され、患者サービス担当者にアサインされ、患者サービス担当者はその中でガイド付き Playbook ワークスペース を使用して処置要求ケースをクローズできます。

Pre-Visit Management ワークフロー



Pre-Visit Management ワークフローで、次の操作を行います。

1. 管理者が Pre-Visit Management アプリケーションを設定します。
2. 臨床スタッフは、患者の処置の予約を要求します。
3. 医療エージェントは患者の記録を確認し、訪問前の指示を開始します。
4. 患者は、デジタルドキュメントとデジタル同意 To Do 項目を完了します。
5. 医療エージェントは事前承認を完了し、すべての訪問前アクティビティを終了します。
6. スケジューリングエージェントは、患者の予約を行います。

福利厚生

Pre-Visit Management には次のメリットがあります。

Pre-Visit Management のメリット

福利厚生	主な機能	ロール
デジタルドキュメントとデジタル同意を使用して、患者ポータルから処置要求に関連付けられたすべての To Do アイテムをデジタルで完了できるようにすることで、患者エクスペリエンスを向上させます。	患者ポータルから To Do アイテムを完了する	患者
Playbook を使用してPre-Visit Management、患者サービス担当者が手順要求ワークスペースを完了するためのガイド付きエクスペリエンスを提供します。	での手続き要求の管理 ワークスペース	HCLS エージェント

Pre-Visit Management のメリット (続く)

福利厚生	主な機能	ロール
ワークスペース内で手順要求をスケジュールするための予約を管理します。	手続き要求の予約の管理	HCLS エージェント

Pre-Visit Management アプリケーションで開始するには、「[Pre-Visit Management の構成](#)」を参照してください。

Pre-Visit Management - ワークフローシナリオ

この Pre-Visit Management アプリケーションを使用して、患者の To Do、承認、事前認証、スケジューリングなど、手順要求の訪問前アクティビティを簡素化します。

シナリオ: 医師が EMRシステムに患者の大腸内視鏡検査手順を注文します。手順要求ケースがインスタンスに ServiceNow 作成されると、ワークフローは Pre-Visit Management 手順要求ケース用に構成された Playbook を開始します。このケースは、患者サービスグループの John Jason にアサインされます。

次の図は、Pre-Visit Management シナリオで説明した患者の大腸内視鏡検査手順要求を管理するためにアプリケーションがどのように使用されるかを示しています。

Pre-Visit Management

A workflow to streamline patient pre-visit activities.



The patient service representative reviews a new request case and selects a workflow for the patient's care. Tasks are assigned and notifications are automatically sent as needed throughout the workflow.

The patient logs in to the patient portal to review and sign forms.



The patient service representative obtains insurance pre-authorization.

The scheduling group coordinates procedure appointment with



次のワークフローは、さまざまなユーザーが大腸内視鏡検査手順にアプリケーションをどのように使用する Pre-Visit Management かを詳しく説明しています。

1. John は、ワークスペース を使用して手順要求ケースを表示します。
2. ワークスペースでは、John は [患者情報] タブから患者に関する完全な情報を表示できます。
John は、登録されている保険、連絡先情報、病歴など、患者の詳細を検証します。
3. 次に、John は [**Playbook**] タブを選択して、必要なすべてのケース関連情報を表示します。
Playbook のレイアウトにより、患者サービス担当者は、エンドツーエンドのプロセスライフサイクルを完全に可視化しながら、担当するステップに集中できます。
4. Playbook に記載されているとおり、John は最初に次のタスクを実行して注文レビューを完了します。
 - a. 注文の詳細を確認し、医師から追加の正当性を取得します。
 - b. レビューを完了としてマークします。
5. ワークフローは Pre-Visit Management 、 To Do を患者に自動的に割り当て、 To Do アイテムに関するメール通知を患者に送信します。
6. 患者は患者ポータルにログインし、保留中の To Do アイテムを確認します。
7. 患者ポータルで、患者は次のタスクを実行します。
 - a. プライバシーに関する同意を開き、確認して署名します。
 - b. 保険情報を確認して確認します。
8. Playbook に記載されているとおり、John は保険会社と協力し、次のタスクを実行して患者の事前承認を得ます。
 - a. 手順の事前承認要求を作成します。
 - b. 保険会社から受け取った事前承認を確認して確認します。
9. このワークフローは Pre-Visit Management 、処置をスケジュールする別のタスクをトリガーし、処置スケジュールグループから Ben Jackson に割り当てます。
10. 次に、Ben は次のタスクを実行して、患者の予約を行います。
 - a. 患者および医師と調整して、手順をスケジュールします。
 - b. の ワークスペース [予約] タブを選択し、患者の予約を行います。
11. メール通知が生成され、予約の詳細が記載されたメール通知が患者に送信されます。
12. 手順要求ケースが [完了] に設定されます。
13. 処置の 3 日前に、ワークフローによって Pre-Visit Management 、手順の同意を確認して署名するための To Do アイテムが患者に自動的に割り当てられ、患者にメール通知が送信されます。
14. 患者は患者ポータルにログインし、オンラインで手順の同意を確認して送信します。

Pre-Visit Management の構成

手順に関連する訪問前アクティビティを完了するようにアプリケーションを設定します Pre-Visit Management 。

i 注:

この Pre-Visit Management アプリケーションは、 [ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#) に基づいてすべての手続き要求を Procedure request [sn_previsit_procedure_request] テーブルに格納します。

次の表に、に必要な Pre-Visit Management構成タスクの概要を示します。

Pre-Visit Management 構成タスク

タスク	説明
Pre-Visit Management のインストール。	Pre-Visit Management手順要求を処理するアプリケーションをインストールします。
ユーザーにロールをアサインするPre-Visit Management。	アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Pre-Visit Management。
の制限付きの発信者アクセス特権の承認 Pre-Visit Management。	アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を承認します Pre-Visit Management。
手順の予約タスクを実行できるユーザーを決定します。	手順の予約タスクを処理できるユーザーを、手順スケジューラーのアサイン先グループに追加します。
処置同意書を患者に送信するタイミングの設定。	Pre-Visit Management処置の予約日より前に、レビューと署名のために処置の同意書を患者に送信するタイミングをアプリケーションを構成します。
患者の To Do アイテムを指定します。	患者が訪問前計画の一環として完了する必要がある To Do アイテムを追加します。
手順要求のドキュメントの自動生成を設定します。	手順要求のドキュメントを自動生成するための条件を定義します。
処置要求タスクの To-do メニューアイテムを追加するように患者ポータルを設定します。	患者のすべての To Do アイテムを一覧表示するメニューアイテムを追加するように、患者ポータルを構成します。
の Playbook の構成 Pre-Visit Management。	手順要求ケースを解決するためのステップバイステップのガイダンスを提供するように Playbook を構成します。
の構成 Pre-Visit Management メール通知。	処置要求の Pre-Visit Management 訪問前アクティビティについて患者に送信されるメール通知を構成します。
追加のユーザー・プロフィールを決定します。	手順要求ケースのエージェントコネクターまたは貢献者として行動できるユーザーを決定します。

Pre-Visit Management 構成タスク (続く)

タスク	説明
貢献者が手順要求ケースを作成するプロセスを設定します。	サービスポータルで手続き要求ケースを作成するプロセスを設定します。

Pre-Visit Management のインストール

admin ロールをお持ちであれば、Pre-Visit Management アプリケーション (sn_previsit) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。

必要なロール：admin

このタスクについて

Pre-Visit Management とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- テーブル
- ServiceNow Store アプリケーション
- ジョブスケジュール
- ビジネスルール

詳細については、「[Pre-Visit Management とともにインストールされるコンポーネント](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて](#)。
2. Pre-Visit Management フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_previsit) を検索します。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
4. [インストール] を選択します。

ユーザーにロールをアサインする**Pre-Visit Management**

アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Pre-Visit Management。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Pre-Visit Management に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_previsit.admin、 sn_hcls.admin、 または admin

このタスクについて

次のテーブルにリストされているロールを持つユーザーは、Pre-Visit Management アプリケーションを使用できます。

Pre-Visit Management とともにインストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
sn_previsit.admin	アプリケーションにアクセスできる Pre-Visit Management 管理者。	sn_previsit.患者_サービス_エージェント
sn_previsit.患者_サービス_エージェント	患者サービス担当者として手順要求ケースを表示して実行します。	sn_hcls.healthcare_agent
sn_previsit.case_creator	関連するすべてのオブジェクトの手順要求ケースを作成します。	sn_previsit.case_viewer
sn_previsit.agent_connector	<p>関連付けられたすべてのオブジェクトの手順要求ケースを表示、作成、および更新します。</p> <p>このロールは、エージェントコネクタプロファイルを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロファイルの決定 Pre-Visit Management」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> sn_hcls.healthcare_agent sn_previsit.sm_agent
sn_previsit.case_viewer	アプリケーションで利用可能なすべての手続き要求ケースを表示します。	なし

Pre-Visit Management とともにインストールされるロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_previsit.貢献者	<p>患者の処置要求ケースを作成します。</p> <p>このロールは、貢献者プロフィールを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロフィールの決定 Pre-Visit Management」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_previsit.case_viewer • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer • sn_previsit.case_creator
sn_previsit.sm_agent	<p>患者サービス担当者として、処置要求に関連するすべてのデータにアクセスして表示します。</p>	sn_previsit.case_creator

手順

ユーザー管理機能を使用して、Now Platform ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールの割り当て](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

の制限付き発信者アクセス特権の承認 **Pre-Visit Management**

アプリケーションからドキュメントテンプレートにアクセスするための制限付き発信者アクセス (RCA) 特権を承認します Pre-Visit Management。

アプリケーションから Pre-Visit Management ドキュメントテンプレートにアクセスするには、管理者として必要な RCA 権限を承認する必要があります。詳細については、「[の制限付き発信者アクセス特権の承認 ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理](#)」を参照してください。

手順の予約タスクを実行できるユーザーを決定します

手順の予約タスクを処理できるユーザーを、手順スケジューラーのアサイン先グループに追加します。

始める前に

必要なロール：user_admin または管理者

手順

1. 移動先 [すべて](#) > [ユーザー管理](#) > [グループ](#).
2. [グループ] リストの [名前] 列で、「Procedure scheduler」を検索します。
3. 「名前」列から「プロシージャー・スケジューラー」をクリックします。
4. [グループメンバー] 関連リストで、[編集] をクリックします。

5. [メンバーの編集] フォームで、手順をスケジュールするユーザーを、[コレクション] 列の使用可能なユーザーから [グループメンバーリスト] 列に移動します。
6. [Save (保存)] をクリックします。

関連情報

グループ

処置同意書を患者に送信するタイミングの設定

Pre-Visit Management 処置の予約日より前に、レビューと署名のために処置の同意書を患者に送信するタイミングをアプリケーションを構成します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Pre-Visit Management に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_previsit.admin または admin

このタスクについて

デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブは、*Send procedure consent schedule* 手順の同意書を患者に自動的に送信するように構成されています。ドキュメントを送信するリードタイムは、*sn_previsit.procedure_consent_lead_time* プロパティで設定します。このプロパティを構成して、手順の同意ドキュメントを患者に送信するタイミングを指定できます。

手順

1. ナビゲーションフィルターに「sys_properties.list」と入力して、*sn_previsit.procedure_consent_lead_time* プロパティを開きます。
2. [値] フィールドに、手順の同意書がレビューまたは署名のために患者に送信される手順の予約日の前の日数を示す数値を入力します。
3. [Update (更新)] をクリックします。

関連情報

Pre-Visit Managementのプロパティ

での患者の To Do アイテムの指定 Pre-Visit Management

患者が訪問前計画の一環として完了する必要がある To Do アイテムを追加します。

この Pre-Visit Management アプリケーションを使用すると、患者はプライバシーに関する同意、処置の同意を完了し、患者ポータル の To Do リストから保険情報を確認できます。デフォルトでは、患者の To Do アイテムはプロパティで構成されています *sn_hcls.to.do.tasks.list*。

admin ロールを持つユーザーは、患者の To Do アイテムとしてタスクテーブルを追加するようにプロパティを構成できます *sn_hcls.to.do.tasks.list*。このプロパティはアプリケーションで使用できますヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア。詳細については、「[患者の To Do アイテムの指定](#)」を参照してください。

手順の要求に対するドキュメントの自動生成の構成

手順要求のドキュメントを自動生成するための条件を定義できます。

デフォルトでは、プライバシーに関する同意および手続きの同意書は、ワークフローを使用して Pre-Visit Management 手順要求に対して自動的に生成されます。ただし、ワークフロー要件に基づいて、事前に入力された再利用可能なドキュメントテンプレートを作成できます。詳細については、「[ドキュメントテンプレートの構成ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア](#)」を参照してください。

手順要求ケースに対して、プライバシーに関する同意ドキュメントが自動的にトリガーされます。の Playbook Pre-Visit Management で患者サービス担当者によって手順要求レビュータスクが [完了] に設定されている場合、プライバシーに関する同意決定ルールによってプライバシーに関する同意ドキュメントが生成されます。

管理者ルールを持つユーザーは、次の場所に移動して、アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 意思決定テーブルを設定できます。すべて > **HCLS** サービス管理 > 管理 > ドキュメントの決定. 詳細については、「[医療ケースのドキュメントの自動生成の設定](#)」を参照してください。

手順の同意書は、[手順の同意スケジュールを送信] スケジュール設定済みジョブを使用して患者に送信されます。デフォルトでは、スケジューラーは処置の予約日の 3 日前に処置同意書を患者に送信します。sn_previsit.admin ロールを持つユーザーは、[手順の同意スケジュールの送信 (**Send procedure consent schedule**)] スケジュール設定済みジョブを構成して、スケジュールを変更できます。詳細については、「[処置同意書を患者に送信するタイミングの設定](#)」を参照してください。

処置要求タスクの **To-do** メニュー項目を追加するための患者ポータル構成

患者ポータルに To Do 項目を表示するために HCLS To Do (hcls-todo-list) ウィジェットを使用する To-do メニュー項目を使用可能にします。

デフォルトでは、HCLS To Do (hcls-todo-list) ウィジェットは、アプリケーションでヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 提供される hcls_todos ページに含まれています。hcls_todos ページは、患者の To Do アイテムを表示するように事前設定されています。患者ポータルのヘッダーメニューにメニューアイテムを追加して、hcls_todos ページにアクセスできます。詳細については、「[医療関連タスクを完了するための To Do メニューアイテムを追加するようにサービスポータルを設定します](#)」を参照してください。

の **Playbook** の構成 **Pre-Visit Management**

手順要求ケースを解決するためのステップバイステップのガイダンスを提供するように Playbook を構成します。

admin ロールを持つユーザーは、機能を使用して **Playbook Now Platform** Playbook を作成できます。詳細については、「[Process Automation Designer](#)」を参照してください。

アプリケーションの **Playbook Pre-Visit Management** は **Playbook Experience** を使用します **CSM 構成可能ワークスペース**。デフォルトでは、アプリケーションには、**Pre-Visit Management** 患者サービス担当者が手順要求ケースを解決するのを支援するための **Playbook** が含まれています。

Playbook を構成するには、次の場所に移動します。すべて > プロセス自動化 > **Process Automation Designer**. 既存のプロセス定義を選択するか、手順要求ケースに関連付けられた **Playbook** の新しいプロセス定義を作成できます。詳細については、「[プロセス定義](#)」を参照してください。

i 注:

手順要求ケースに関連付けられた **Playbook** のプロセス定義を構成する場合は、アプリケーションスコープがアプリケーションピッカーに設定され **Pre-Visit Management** ているかヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア、アプリケーションピッカーを使用して設定されていることを確認してください。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

メール通知の構成 **Pre-Visit Management**

処置要求の **Pre-Visit Management** 訪問前アクティビティについて患者に送信されるメール通知を構成します。

Pre-Visit Management には以下のメール通知が含まれています。

Pre-Visit Management のメール通知

通知	条件	受信者
患者の To Do	処置要求ケースが患者サービス担当者によってレビューされました。	患者
患者の To Do:アサイン済み	患者に対してドキュメントタスクが作成されました。	患者
患者の予約	手順の予約は、患者のために予約されます。	患者

sn_previsit.admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動して、アプリケーションのメール通知 Pre-Visit Management を設定できます。すべて > システム通知 > メール > **Notifications**。メール通知の編集の詳細については、「[メール通知を作成する](#)」を参照してください。

での追加ユーザー・プロファイルの決定 **Pre-Visit Management**

アプリケーションのプロシージャ要求ケースのエージェントコネクタまたは貢献者として行動できるユーザーを Pre-Visit Management 決定できます。

admin ロールを持つユーザーは、手順要求ケース、ケースタスク、およびその他のケース関連情報への必要なアクセスレベルを持つ貢献者およびエージェントコネクタプロファイルを作成できます。

アプリケーションとともに Pre-Visit Management インストールされる sn_previsit.contributor ロールと sn_previsit.agent_connector ロールは、次のユーザープロファイルを提供します。

- [エージェントコネクタ](#)
- [貢献者](#)

エージェントコネクタ

アプリケーション内の Pre-Visit Management エージェントコネクタは、手順要求ケースとタスクを作成、更新、およびクローズできる履行者として機能します。

admin ロールを持つユーザーは、sn_previsit.agent_connector ロールと他のエージェント固有のロールをグループにアサインし、そのグループをエージェントコネクタプロファイルを持つユーザーにアサインすることで、手順要求ケースのエージェントコネクタとして機能できるユーザーを決定できます。グループにロールを割り当てるには、「[グループにロールを割り当てる](#)」を参照してください。

次の表は、アプリケーションで sn_previsit.agent_connector ロールと [業界データモデルロール](#) を組み合わせる例として参照できる、アプリケーションスコープ内の Pre-Visit Management 場所 エージェントプロファイルを示しています CSM。

のエージェントコネクタプロファイルの例 **Pre-Visit Management**

プロフィール	説明	アサイン済みのロール
場所エージェント	<p>エージェントの事業所で手続き要求ケースを作成し、履行します。</p> <p>注: サービス組織 (事業所) の手続き要求ケースを作成するには、場所エージェントプロファイルを持つユーザーがサービス組織のメンバーであり、[場所コンシューマーエージェント] 責任タイプが割り当てられている必要があります。サービス組織とそのメンバーのマッピングは、サービス組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルに含まれています。</p>	sn_previsit.agent_connector および sn_customerservice.svc_location_consumer_agent

貢献者

アプリケーション内の Pre-Visit Management 貢献者は、手順要求ケースを作成および読み取ることができる要求者として機能します。

admin ロールを持つユーザーは、sn_previsit.contributor ロールと他の貢献者ロールをグループにアサインし、そのグループを貢献者プロファイルを持つユーザーにアサインすることで、手順要求ケースの貢献者として行動できるユーザーを決定できます。グループにロールを割り当てるには、「[グループにロールを割り当てる](#)」を参照してください。

次の表は、アプリケーションの sn_previsit.contributor ロールと貢献者ロール CSMを組み合わせる例として参照できる、アプリケーションスコープ内のPre-Visit Managementさまざまな貢献者プロファイルを示しています。

の貢献者プロファイルの例 **Pre-Visit Management**

プロフィール	説明	アサイン済みのロール
関係貢献者 (Relationship contributor)	<p>関係が確立されている患者のみの処置要求ケースを作成します。詳細については、「関係の作成」を参照してください。</p> <p>注: 患者の処置要求を作成するには、関係貢献者プロファイルを持つユーザーが、コンシューマーチームメンバー [sn_customer_rel_consumer_to_user_list] テーブルに含まれる患者との関係および関係マネージャーの責任タイプを持っている必要があります。</p>	sn_previsit.contributor および sn_customerservice

自動翻訳

の貢献者プロフィールの例 **Pre-Visit Management** (続く)

プロフィール	説明	アサイン済みのロール
患者貢献者	任意の患者の処置要求ケースを作成します。	sn_previsit.contributor および sn_customerservice
場所の貢献者	<p>ユーザーがサービス組織メンバーとして関連付けられている特定のサービス組織 (事業所) の患者に対して、処置要求ケースを作成します。</p> <p>i 注: サービス組織 (事業所) の手順要求ケースを作成するには、場所貢献者プロフィールを持つユーザーがサービス組織のメンバーであり、場所貢献者 責任タイプが割り当てられている必要があります。サービス組織とそのメンバーのマッピングは、サービス組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルに含まれています。</p>	sn_previsit.contributor、sn_customerservice および sn_customerservice.consumer_contributor

貢献者として手順要求ケースを作成するプロセスの設定

貢献者プロフィールを持つユーザーがサービスポータルで手順要求ケースを作成するプロセスを設定します。

アプリケーションに加えて Pre-Visit Management CSM Contributor User プラグイン (com.snc.csm_contributor_user) がインストールされている場合は、*Create a procedure request case* Consumer Service Portal ページの [ケース] メニューからレコードプロデューサーを使用して、手順要求ケースを作成できます。ユーザーを有効にするには [の貢献者ロール CSM](#) 手順要求ケースの作成では、デフォルトのレコードプロデューサーを使用することも、独自のレコードプロデューサーを作成することもできます。

管理者は、手順要求ケースを作成するためのレコードプロデューサーをサービスカタログに含め、サービスカタログをモジュールとして Consumer Service Portal ページに表示することができます。貢献者プロフィールを持つユーザーは、モジュールを使用して手順要求ケースを作成できます。

詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログを設定する](#)」を参照してください。

貢献者としての手続き要求ケースの作成

貢献者プロフィールを持つユーザーとして、サービスポータルから患者の処置要求ケースを作成します。

管理者は、手順要求ケースを作成するためのオプションを設定できます。デフォルトでは、このオプションは、Consumer Service Portal ページの [ケース] メニューから利用できます。あなたが持っている場合 [の貢献者ロール CSM](#) では、このオプションを使用して、Consumer Service Portal から手続き要求ケースを作成できます。

での手続き要求の管理 ワークスペース

患者サービス担当者は、を使用して ワークスペース 処置要求を管理およびスケジュールできます。

タスクを管理する手順要求ワークスペース

タスク	説明
ワークスペースにアクセスします。	手順要求のホームページ ワークスペース を使用して、手順要求ケースをすばやくスキャンしてアクセスします。
での手続き要求ケースの表示 ワークスペース。	で ワークスペース 処置要求ケースを表示して、処置のための患者の訪問前アクティビティを完了します。
での手順要求ケースの患者情報の表示 ワークスペース。	で ワークスペース患者の詳細を表示します。
での手続き要求ケースの処理 ワークスペース。	アプリケーションで Pre-Visit Management 利用可能な Playbook を使用して、処置要求ケースを管理し、患者にとって価値の高い処置をスケジュールします。
予約を管理します。	アプリケーションで手続きの要求の予約を管理します Pre-Visit Management 。

での手順要求ケースのランディングページの表示 ワークスペース

患者サービス担当者は、の ワークスペース ランディングページを使用して、処置要求ケースをすばやくスキャンしてアクセスできます。

の ワークスペース ランディングページには、自分と自分のグループにアサインされた手順要求ケースの概要が表示されます。

必要なロール

患者サービス担当者が を使用するには ワークスペース、sn_previsit.patient_service_agent または sn_hcls.manager ロールが必要です。詳細については、「[ユーザーにロールをアサインするPre-Visit Management](#)」を参照してください。

ランディングページへのアクセスと使用

にアクセスするには、ワークスペースに移動します。すべて > *Pre-Visit Management* > ワークスペース。

ランディングページには ワークスペース、手順要求ケース情報を表示するコンポーネントに加えて、コンポーネントデータをさらに細分化する視覚化が含まれています。各チャート化は、データソースに接続されています。たとえば、新規ケースコンポーネントには、新規ケースの可視化が含まれます。

患者サービス担当者は、のランディングページから次のタスクを実行できます。ワークスペース

- 各コンポーネントに表示されるケースまたはタスク情報を表示します。
- 各コンポーネントをドリルダウンして、単一スコアの背後にあるケースリストを確認します。
- ケースリストから個々のレコードに移動します。

データの表示

ワークスペース手順要求ケースのランディングページは、手順の要求に対応するために作成されたケースを含む、すべてのヘルスケア関連ケースのワークスペースランディングページと同じです。詳細については、「[でのヘルスケア関連ケースのランディングページの表示 ワークスペース](#)」を参照してください。

i 注:

管理者は、ランディングページ ワークスペース をカスタマイズしたり、表示されるデータを変更したりできます。

での手続き要求ケースの表示 ワークスペース

で ワークスペース 処置要求ケースを表示して、処置のための患者の訪問前アクティビティを完了します。

始める前に

手順要求ケースへのアクセス権が必要です。

必要なロール:sn_hcls.manager または sn_previsit.patient_service_agent

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます [すべて > Pre-Visit Management > ワークスペース](#).
2. 自分または自分のグループにアサインされた手続き要求ケースを表示します。
 - 自分にアサインされた手続き要求ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 [リスト > 手続き要求 > 自分のケース](#).
 - 自分にアサインされたすべてのオープン手続き要求ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 [リスト > 手続き要求 > マイオープン](#).
 - グループに属しているが、誰にもアサインされていない手順要求ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 [リスト > 手続き要求 > グループに割り当てられていない](#).
 - に移動して、すべての手順要求ケースを表示します [リスト > 手続き要求 > すべて](#).
3. 表示するケースへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した 手順要求ケース ページが別の ワークスペース タブで開き、次のコンポーネントが表示されます。

- Playbook
- 詳細
- 患者情報
- タスク
- 予約
- 事前承認要求
- メール
- SLA タスク

手順要求ケースは、代わりにカスタマーサービスケースに基づく医療ケースに基づいています。管理者とロールによって行われた構成によっては、カスタマーサービスケースに類似した追加のタブが手順要求ケースに表示される場合があります。

注:
[患者] フィールドは、手順要求ケースには必須です。

カスタマーサービスケースで利用可能なタブの詳細については、「[カスタマーサービスケース フォーム](#)」を参照してください。

次のタスク

のワークスペース[患者情報] タブを選択して、患者の詳細を表示できます。詳細については、「[での処置要求の患者情報の表示 ワークスペース](#)」を参照してください。

での処置要求の患者情報の表示 ワークスペース

で ワークスペース患者の 360 度ビューを使用すると、いつでも患者の詳細にアクセスして、処置要求ケースを完了できます。

のワークスペース[患者情報] タブには、患者に関するいくつかの詳細が表示され、患者を 360 度表示できます。このタブは、ワークスペース 手順要求ケースの場合に表示されます。

注:
管理者は、を使用してUI ビルダー患者情報を変更するように構成できますワークスペース。このトピックでは、患者情報の既定のビューについて説明します。詳細については UI ビルダー、「[UI Builder](#)」を参照してください。

患者情報

The screenshot displays a comprehensive patient profile for Gilly Parker. Key sections include:

- Header:** Clotting screening order - Gilly Parker with action buttons (Close Case, Save, Assign to me).
- Navigation:** Details, Patient information, Tasks, Appointments, Pre-authorization requests, Emails, Task SLAs, Interactions, More.
- Profile Summary:** GP Gilly Parker, 111-22-5552. Includes MRN, SSN, work/home phone, email, and home address.
- Insurance:** Solana PPO plus, Member number M1155171, Group number AG161.
- Household members:** Sam Parker (Authorized Representative, Spouse).
- Medical Overview:** 2 Conditions, 2 Medications, 1 Allergies, 4 Immunizations.
- Charts:** Cases overview (New, Closed Complete, Work in Progress) and Claims overview (Paid).
- Recent Interactions & Appointments:** Lists recent medical events and scheduled appointments.
- Record Information:** Overview of patient data (MRN, Date of birth, etc.) and Active SLA status.

自動翻訳

手順要求ケースに表示される患者情報

詳細	説明
個人の詳細	名前、生年月日、社会保障番号 (SSN)、自宅の電話番号、メール ID、自宅の住所など、患者の個人情報。

手順要求ケースに表示される患者情報 (続く)

詳細	説明
保険の詳細	メンバー番号、適用開始日、RxBin 番号、RxGroup 番号、グループ番号、適用終了日、RxPCN 番号、加入者名など、患者の保険の詳細。
世帯メンバー	患者に関連付けられた世帯のメンバー。 メンバー名または責任をクリックして、家族メンバーと患者との関係の詳細を表示します。
条件	患者で観察された健康状態の数。 数字をクリックして、患者に関連付けられた条件のリストを表示します。
医薬品	患者が服用した薬剤の数。 数字をクリックすると、患者に関連付けられている薬剤のリストが表示されます。
アレルギー	患者で観察されたアレルギーの数。 数字をクリックして、患者に関連するアレルギーのリストを表示します。
予防接種	患者に投与されたワクチンの数。 数字をクリックして、患者に関連付けられた予防接種のリストを表示します。
ケース概要	患者に関連付けられた処置要求ケースをステータス別に表示するドーナツグラフ。 ステータススライスをクリックすると、そのステータスのケースのリストが表示されます。
請求の概要	患者に関連付けられた請求をステータス別に表示するドーナツグラフ。 ステータススライスをクリックすると、そのステータスの請求のリストが表示されます。
最近のインタラクション	患者に対して作成されたインタラクションのリスト。 やり取りの番号をクリックすると、やり取りの詳細が表示されます。
予約	患者に対してスケジュールされている予約のリスト。 予約番号をクリックすると、予約の詳細が表示されます。
レコード情報	患者レコード、ケースタイムライン、およびケースに関連付けられた SLA の概要を表示するために使用されるコンテキストサイドパネル。

手順要求ケースに表示される患者情報 (続く)

詳細	説明
エージェント支援	ケースの検索に使用されるコンテキストサイドパネル。デフォルトでは、利用可能な検索ソースには手順要求ケースが含まれます。

での手続き要求ケースの処理 ワークスペース

アプリケーションで Pre-Visit Management 利用可能な Playbook を使用して、処置要求ケースを管理し、患者にとって価値の高い処置をスケジュールします。

Playbook Experience は、ビジネス間のワークフローと、これらのワークフローを完了するために使用される実行可能なアクティビティを履行者に可視化します。で Pre-Visit Management Playbook Experience を有効にするワークスペースと、手順要求ケースの **[Playbook]** タブが表示されます。Playbook の操作方法の詳細については、「[Playbook の操作](#)」を参照してください。

sn_previsit.patient_service_agent ロールがアサインされた患者サービス担当者は、Playbook を使用して患者のすべての訪問前アクティビティを完了できます。手順要求ケースがアサインされると、の ワークスペース**[Playbook]** タブにアクセスできます。ワークフローにより Pre-Visit Management、**[Playbook]** タブで起動されたすべてのアクティビティのケースデータが入力されます。Playbook のステージを選択して、ステージに関連付けられたアクティビティを完了することができます。

デフォルトでは、sn_previsit.patient_service_agent ロールを持つ患者サービス担当者は、[手順要求] ワークスペースの **[Playbook]** タブで次のステージを利用できます。

Pre-Visit Management Playbook ステージ

ステージ	説明
取り込み	最初の手順の注文レビューアクティビティを完了します。
事前承認	フォローアップと監査のために事前承認の詳細を取得します。
スケジュール手順	手順に対して作成された予約を確認します。
解決してクローズ	すべての子アクティビティが完了するまで待機して、手順要求が自動的にクローズされるようにします。

i 注:

予約日の前に、ワークフローは Pre-Visit Management、手順の同意を確認して署名するために To Do アイテムを患者に自動的に割り当て、To Do アイテムに関するメール通知も患者に送信します。手続き同意書を送信する日は、管理者が設定します。詳細については、「[処置同意書を患者に送信するタイミングの設定](#)」を参照してください。

初期レビューアクティビティの完了

Playbook の [取り込み] ステージで、次のアクティビティを完了します。

1. レビュー順序:患者の処置要求オーダーをレビューします。注文のレビューアクティビティが [完了] に設定されると、Pre-Visit Management ワークフローは自動的に To Do を患者にアサインし、To Do アイテムに関するメール通知を患者に送信します。
2. 患者 To Do:患者にアサインされた処置要求の To Do 項目のステータスを確認します。デフォルトでは、患者に対して構成された To Do アイテムは、保険情報を確認し、プライバシー同意フォームに署名することです。
3. 保険の確認:患者の保険情報を取得または確認します。

患者サービス担当者は、患者に直接連絡して保険金支払い情報を確認できます。Playbook の Pre-Visit Managementワークスペース [保険のレビュー] アクティビティから保険支払情報を入力または確認し、完了したらアクティビティを完了としてマークできます。[支払情報の確認] フォームには、手順支払タイプの詳細も含まれています。事前承認は、保険支払タイプでのみ必要です。自己支払いタイプが選択されている場合、事前承認 ステージが Playbook から Pre-Visit Management 自動的に削除されます。

i 注:

患者は、患者ポータルから To Do リストにアクセスして、保険情報の検証アクティビティを完了することもできます。患者が保険支払情報の To Do アイテムを完了すると、[保険のレビュー] アクティビティは自動的に [レビュー待ち] に設定されます。患者サービス担当者は、Playbook で [保険のレビュー] アクティビティを完了としてマークできます。

4. 患者の同意の確認:患者に割り当てられた患者の同意フォームの記入状況を確認します。患者が同意フォームの To Do アイテムを完了すると、同意がアクティビティに一覧表示されます。その後、患者サービス担当者は同意をレビューし、Playbook で [患者の同意をレビュー] アクティビティを [完了] としてマークできます。

事前承認アクティビティの完了

Playbook の [事前承認] ステージで、次のアクティビティを完了します。

1. 事前承認の作成:保険会社から提供された事前承認参照番号を入力します。
2. 事前承認のレビュー:監査のために、事前承認の最終ステータス、承認または拒否の理由、およびその他の詳細をキャプチャします。

手続きの予約の確認

[スケジュール手順] ステージで、[予定の確認] アクティビティを完了します。

[予約を作成] UI アクションを使用して予約された予約の詳細を入力した後のみ、患者サービス担当者は予約の詳細を確認し、Playbook で Pre-Visit Management [スケジュール] 手順ステージの [予約の確認] アクティビティを完了としてマークできます。詳細については、「[手続き要求の予約の管理](#)」を参照してください。

i 注:

[スケジュール手順] ステージが完了すると、[解決してクローズ] ステージが自動的に実行されます。

手続き要求のクローズ

[解決してクローズ] ステージは、手順要求ケースに関連付けられたすべての子アクティビティが完了すると自動的に閉じられます。

手続き要求の予約の管理

アプリケーションで Pre-Visit Management 予約を管理して、患者の処置を確認およびスケジュールします。

Playbook で Pre-Visit Management 患者サービス担当者が処置要求オーダーを確認した後、ワークフローによって Pre-Visit Management 処置スケジューラーエージェントの予約タスクがトリガーされます。手順スケジューラーエージェントは、sn_previsit.patient_service_agent ロールを持ち、手順スケジューラーのアサイン先グループに追加されます。

プロシージャー・スケジューラー・エージェントは、以下のタスクを実行します。

1. 患者と直接協力するか、予約された予約の詳細を収集することにより、手順の予約が予約されていることを確認します。たとえば、サードパーティーのスケジューリングシステムや EMR システムから。
2. アプリケーション内で Pre-Visit Management 利用可能な [予約を作成] UI アクションを使用して、インスタンスに予約の詳細を記録します ServiceNow。詳細については、「[手順要求の予約](#)」を参照してください。

i 注:

[予約を作成] UI アクションを使用して予約された予約の詳細を入力した後にのみ、患者サービス担当者は予約の詳細を確認し、Playbook で Pre-Visit Management [スケジュール] 手順ステージの [予約の確認] アクティビティを完了としてマークできます。詳細については、「[での手続き要求ケースの処理 ワークスペース](#)」を参照してください。

手順要求の予約

で ワークスペース手順の要求の予約を行います。

始める前に

[手順の予約タスクを実行できるユーザーを決定します。](#)

必要なロール:sn_previsit.patient_service_agent が Procedure scheduler アサイン先グループに追加されました

手順

1. 次の場所に移動して、自分 ワークスペース を開きます **すべて > Pre-Visit Management > ワークスペース**.
2. 移動先 リスト > 予約タスクの予約 > 自分のタスク.
3. [自分のタスク] リストの [番号] 列で、予約するタスク番号へのリンクをクリックします。
4. オプション: [詳細] タブで予約要求の詳細を確認します。
5. [予約を作成] をクリックします。
6. 新しい予約の詳細を入力します。
事前に患者様と予約スケジュールを話し合って、予約の詳細を記入することができます。
7. オプション: [添付ファイル] パネルの [参照] をクリックして、予約に関連する添付ファイルを追加します。
8. **[Save (保存)]** をクリックします。

タスクの結果

Playbook の Pre-Visit Management[手順のスケジュール] アクティビティで、関連するケースの予約レコードが作成され、予約情報が更新されます。その後、患者サービス担当者は予約を確認し、[予約の確認] タスクを完了としてマークできます。詳細については、「[での手続き要求ケースの処理 ワークスペース](#)」を参照してください。

患者ポータルから **To Do** アイテムを完了する

患者ポータルから、患者として自分にアサインされたすべての To Do アイテムを表示して完了します。

To Do ページは、患者ポータルの 1 つのページですべての To Do を表示して完了できるページです。デフォルトでは、次の To Do アイテムが手順要求に割り当てられます。

- 保険情報を確認する
- プライバシー同意フォームを確認して署名する
- 手続き同意書を確認して署名する

To Do アイテムごとに、アイテム情報と患者ポータルへのリンクを含むメール通知を受信します。[To Do] ページにアクセスして、To Do アイテムを完了できます。

i 注:

管理者は、To Do ページを設定して、To Do アイテムをさらに追加できます。

Pre-Visit Management の分析およびレポート作成

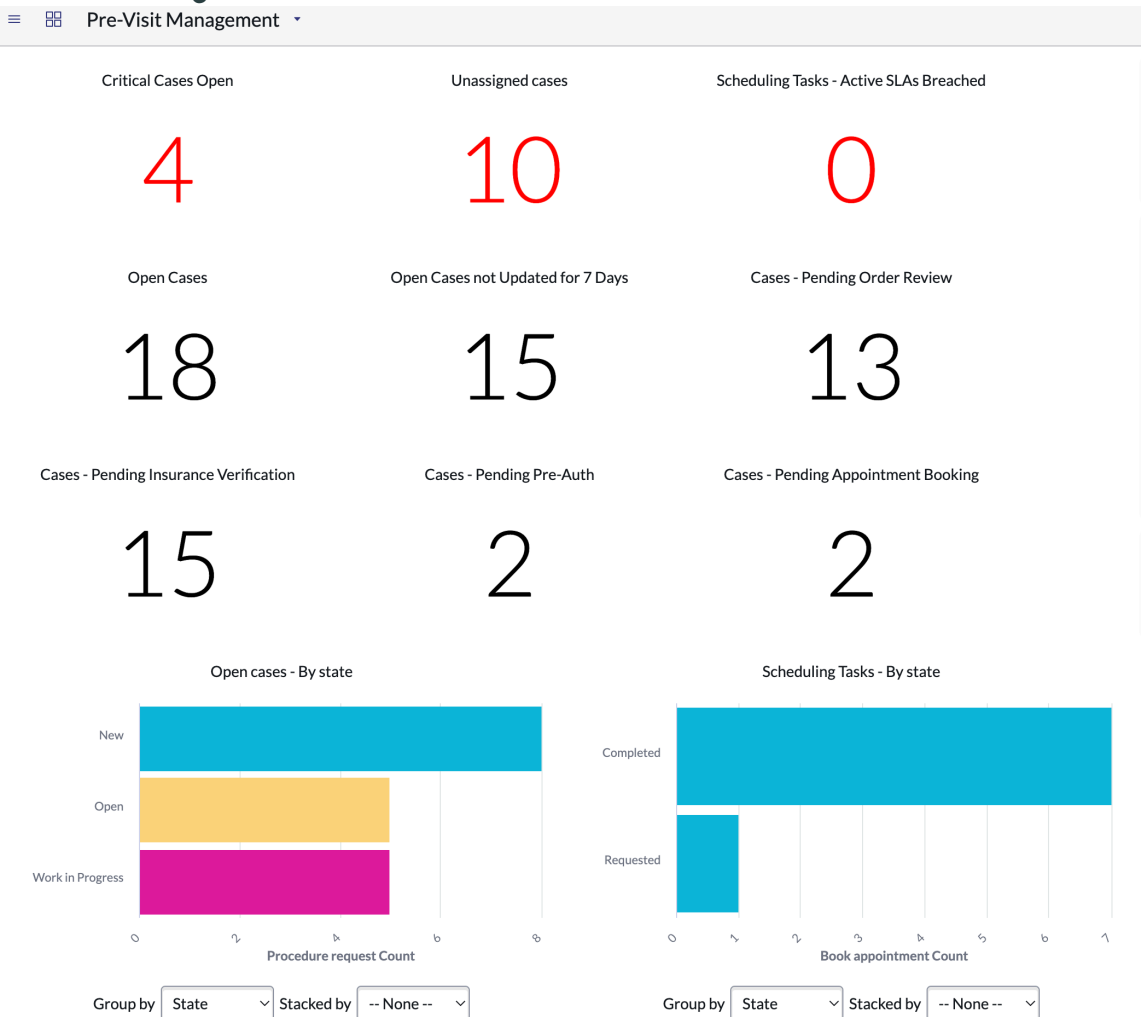
Pre-Visit Management には、アクション可能なデータ表示方法を備えた事前構成済みのダッシュボードがあり、ビジネスプロセスの改善とセルフサービスの価値の定量化に役立ちます。

は [Pre-Visit Managementダッシュボード](#) アプリケーションで使用できます Pre-Visit Management。

Pre-Visit Managementダッシュボード

未解決処置要求ケースのステータスを監視して、処置のための患者の来院前アクティビティを簡素化します。

Pre-Visit Managementダッシュボード



自動翻訳

Pre-Visit Management ダッシュボードにアクセスします。

ダッシュボードを開くには、次の場所へ移動します。 *Pre-Visit Management* > ダッシュボード。

ユースケース

組織内のさまざまなユーザーがこのダッシュボードをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ダッシュボードの **Pre-Visit Management** ユースケース

ユーザー	ダッシュボードの使用法
sn_previsit.患者_サービス_エージェント sn_hcls_manager	処置要求ケースを監視し、パフォーマンスを測定してバックログを把握し、患者に合理化されたエクスペリエンスを提供します。

レポート

Pre-Visit Management レポート

タイトル	タイプ	ソーステーブル	説明
重大なケースのオープン	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	まだオープンな優先度の低い手続き要求ケースの数。
未アサインのケース	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	患者サービス担当者にアサインされていない処置要求ケースの数。
タスクのスケジュール - アクティブな SLA 違反	単一スコア 42	タスク SLA [task_sla]	ビジネスのサービスレベルアグリーメント (SLA) に違反した予約タスクの数。
オープンケース	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	まだオープンな手続き要求ケースの数。
ケース:保留中の注文のレビュー	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	注文レビューを保留している手続き要求ケースの数。
ケース - 保険検証待ち	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	保険の検証処理待ちのケースの数。
過去 7 日間更新されていないオープンケース	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	過去 7 日間更新されていない手続き要求ケースの数。
ケース - 予約処理待ち	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	予約待ちの手続き要求ケースの数。
ケース:事前認証処理待ち	単一スコア 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	事前承認を待機している手順要求ケースの数。
オープンケース - ステータス別	水平バー 42	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	ステータス別に [完了]、[未完了でクローズ]、[新

自動翻訳

Pre-Visit Management レポート (続く)

タイトル	タイプ	ソーステーブル	説明
			規]、[オープン]、または [対応中] に分類された、まだオープンの手順要求ケースのステータス。
タスクのスケジュール設定 - ステータス別	水平バー 	予約を取る [sn_hcls_book_appt_tasks]	[キャンセル]、[完了]、または [要求済み] のステータス別に分類された、予約のスケジュールタスクのステータス。

Pre-Visit Management 参照

参照トピックには、コンポーネントに関する Pre-Visit Management 追加情報が記載されています。

Pre-Visit Management とともにインストールされるコンポーネント

アプリケーションのインストール Pre-Visit Management 時に、テーブル、ユーザーロール、ServiceNow Store アプリケーション、ジョブスケジュール、ビジネスルールなど、いくつかのタイプのコンポーネントがインストールされます。

i 注:

アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

Pre-Visit Management とともにインストールされるロール

ロール	説明	ロールを含む
sn_previsit.admin	アプリケーションにアクセスできる Pre-Visit Management 管理者。	sn_previsit.患者_サービス_エージェント
sn_previsit.患者_サービス_エージェント	患者サービス担当者として手順要求ケースを表示して実行します。	sn_hcls.healthcare_agent

Pre-Visit Management とともにインストールされるロール (続く)

ロール	説明	ロールを含む
sn_previsit.case_creator	関連するすべてのオブジェクトの手順要求ケースを作成します。	sn_previsit.case_viewer
sn_previsit.agent_connector	<p>関連付けられたすべてのオブジェクトの手順要求ケースを表示、作成、および更新します。</p> <p>このロールは、エージェントコネクタプロファイルを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロファイルの決定 Pre-Visit Management」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.healthcare_agent • sn_previsit.sm_agent
sn_previsit.case_viewer	アプリケーションで利用可能なすべての手続き要求ケースを表示します。	なし
sn_previsit.貢献者	<p>患者の処置要求ケースを作成します。</p> <p>このロールは、貢献者プロファイルを持つユーザーの他のロールと組み合わせることができます。詳細については、「での追加ユーザー・プロファイルの決定 Pre-Visit Management」を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sn_hcls.clinical_data_viewer • sn_hcls.foundation_data_viewer • sn_hcls.患者_データ_ビューア • sn_hcls.プラクティショナー_データ_ビューア • sn_hcls.健康保険_データ_ビューア • sn_previsit.case_viewer • sn_hcls.revenue_cycle_data_viewer • sn_previsit.case_creator
sn_previsit.sm_agent	患者サービス担当者として、処置要求に関連するすべてのデータにアクセスして表示します。	sn_previsit.case_creator

インストールされるテーブル

Pre-Visit Management とともにインストールされるテーブル

テーブル	説明
手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	手続き要求ケースを保存します。医療ケース [sn_hcls_case] テーブルを拡張します。

インストール済み ServiceNow Store アプリケーション

ServiceNow Store とともにインストールされるアプリケーション Pre-Visit Management

アプリケーション	説明
Healthcare and Life Sciences Service Management Core (sn_hcls)	患者の 360 度ビュー、同意管理、デジタル文書などのデータモデルと重要なデジタル医療機能を提供し、医療サービスへの対応を改善します。

インストールされたジョブスケジュール

Pre-Visit Management とともにインストールされるジョブスケジュール

スケジュール設定済みジョブ	説明
手続きの同意スケジュールを送信	手術予約日より前に手続き同意書を送信します。

インストールされたビジネスルール

インストールされているビジネスルール Pre-Visit Management

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
予約タスクを作成	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	更新後	患者が保険を選択し、エージェントが患者保険のレビューを完了したときに、スケジュールグループの予約タスクを作成します。
保険情報タスクを作成	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	更新後	患者サービス担当者が処置要求ケースのレビューを完了したときに、患者の保険タスクを作成します。

インストールされているビジネスルール **Pre-Visit Management** (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
手順要求で予約されたアプリを更新	予約を取る [sn_hcls_book_appt_task]	挿入および更新後	予約タスクがターミナルステータスに移行したときに、手続き要求の予約が予約されていることを示します。
処置要求への患者アクセス	手続き要求 [sn_previsit_procedure_request]	クエリー前	患者が処置要求ケースを表示できるようにします。

Pre-Visit Managementのプロパティ

患者の訪問前手順をスケジュールするために構成できるいくつかの詳細 Pre-Visit Management プロパティがあります。

これらのプロパティはPre-Visit Managementで利用可能です。

i 注:

システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

Pre-Visit Management のプロパティ

プロパティ	説明
手術の同意書がレビューまたは署名のために患者に送信される手順予約日までの日数 sn_previsit.procedure_consent_lead_time	<p>手順の同意書がレビューまたは署名のために患者に送信される手順の予約日までの日数を示す数値に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル • 詳細を見る：処置同意書を患者に送信するタイミングの設定

ドメイン分離と **Pre-Visit Management**

Pre-Visit Management ではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに回答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「[アプリケーションでのドメイン分離のサポート](#)」を参照してください。

概要

Pre-Visit Managementアプリケーションには、手順要求ケースなどのトランザクションデータのドメイン分離が含まれています。このアプリケーションは、[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#) ドメイン分離も含むに基づいています。

Pre-Visit Managementにおけるドメイン分離の仕組み

アプリケーションを使用して Pre-Visit Management 処置要求を出す顧客の場合、ドメインは、ログインしたユーザーのセッション (作成されたケース) および関連する医療データから設定されます。

ユースケース

ヘルスケアプロバイダーのヘルスケアデータがドメイン別に分離されている場合、ヘルスケア要求と対応する実行タスクはそれぞれの顧客ドメインに関連付けられます。

Vaccine Administration Management

ServiceNow Vaccine Administration Management アプリケーションは、COVID-19 のような感染症の予防接種を最初から最後まで管理するためのワークフローを、ユーザー、ヘルスケアプロバイダー、および臨床スタッフに提供します。

Vaccine Administration Management アプリケーションは、事前に定義されたコンテンツを展開して予防接種を管理することで、予防接種プロセスを迅速に実施できるようにします。

ユーザー向けポータル

ユーザーは、モバイルデバイスまたは Web ブラウザーからアクセスできるセルフサービスポータルを使用して、ワクチンについてさらに学び、予防接種をスケジュール設定できます。

- 自己登録し、予防接種にサインアップします。
- サポートをServiceNow 仮想エージェントに求めます。
- COVID-19 など、感染症に関するナレッジコンテンツを読みます。
- ワクチン接種前の予診票に回答して、ワクチンの適格性を判断します。
- 日時別に予約をスケジュールします。ユーザーは予約の再スケジュールやキャンセルもできます。
- 前回と次回の予約を表示します。
- ワクチン接種履歴と、ユーザーが対象となる推奨ワクチンを表示します。

- ワクチン予約の QR コードを受信します。
- 予約に関する通知を受信します。

ヘルスケアプロバイダー管理

予防接種の要求は、ワクチン接種タスクを開始し、プロバイダー管理者がワクチン接種プロセスを追跡して完了できるようにします。

他のVaccine Administration Management機能を使用すると、COVID-19 のようなパンデミックや緊急事態の際に、ユーザー、ヘルスケアプロバイダー、および臨床スタッフが予防接種の要求および管理できるように準備できます。

- ワクチンに関する情報 (モデル、プログラム、可用性など) を最新の状態に保ちます。
- 予防接種やプログラムの管理に使用する予防接種センターのリストを管理します。
- ユーザーが予防接種を要求するために使用できるセルフサービスポータルを管理します。
- ベースシステムナレッジコンテンツを提供するか、または記事を作成して、ユーザーがワクチンについて詳細を学べるようにします。
- ユーザーがサポートを受けられるように、ベースシステム仮想エージェントで会話ができるようにします。
- ユーザーの予防接種を個別に要求するか、または集団予防接種の予約を行います。
- 場所固有および在庫ベースの予約スケジュールを構成します。

臨床スタッフ予約管理

臨床スタッフは、QR コードをスキャンして、予防接種タスクを迅速に見つけ、予防接種を管理できます。

臨床スタッフは、ワクチン接種要求、ワクチン接種タスク、およびワクチン接種アンケートの作成、読み取り、更新を実行できます。臨床スタッフは、予防接種を管理および記録する前に、ユーザーの適格性を検証できます。臨床スタッフは、ワクチンを管理した後、在庫を消費できます。

スケジュールリングの問題や問題が発生した場合、臨床スタッフは予約をキャンセルできます。ユーザーが予定どおりに来ない場合、臨床スタッフは予約を未接種としてマークすることができます。

追加情報

- Vaccine Administration Management には、Rome にアップグレードされたインスタンスが必要です。以前のインスタンスでサポートされている以前のバージョンの Vaccine Administration Management については、『Rome』ドキュメントの「Vaccine Administration Management」を参照してください。
- ローカライズと言語をアクティブ化する方法の詳細については、「[システムのローカライズ](#)」および「[言語のアクティブ化](#)」を参照してください。
- ワクチンと臨床スタッフの両方のポータルが、WCAG 2.1 との互換性を有しています。

組織による使用に関する通知

このアプリケーションの実装に関連するすべての意思決定は、このアプリケーションを利用する組織の判断によるものとします。組織は、アプリケーションの使用は法律または規制へのアプリケーションのコンプライアンスに関する ServiceNow による表明ではなく、アプリケーションですぐに利用できる推奨文言が ServiceNow による法的な助言によるものでないことに同意するものとします。

組織は、データ保護法および雇用法を含む (ただし、これらに限定されない)、該当する法律に基づく法律義務に準拠する責任を単独で担い、組織の特定の要件を満たすため、提供されたテンプレート内の任意の文言を変更するものとします。

政府機関による使用に関する通知

ServiceNow は、政府機関およびその認可されたユーザーにこのアプリケーションを提供するもので、個々の立場での政府機関の従業員に提供するものではありません。このアプリケーションの使用は、限定または延長された期間において無償で提供され、その期間内に政府機関から ServiceNow への支払いは想定されていません。また、使用によって、政府機関に代わり、実際のまたは暗示的の将来的な義務を課すことはありません。ServiceNow は、これによって、アプリケーションの使用に関連する機関への将来的な支払い請求を明示的に放棄するものとします。政府機関のお客様は、当該機関の倫理管理部門またはその認可された担当者に、アプリケーションの受け入れと使用が許容されていることを確認する責任を単独で担います。

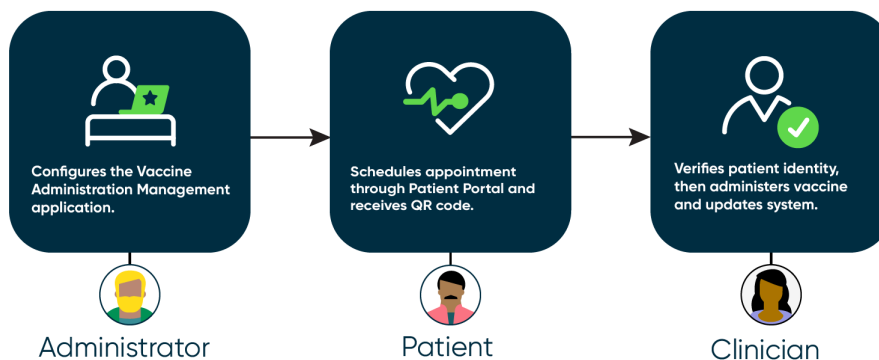
このアプリケーションの実装に関連するすべての意思決定は、このアプリケーションを利用する政府機関の判断によるものとします。機関は、データ保護および雇用の法律や規制を含む (ただし、これらに限定されない)、該当する法律や規制に基づく法律義務に準拠する責任を単独で担い、機関の特定の要件を満たすため、提供されたテンプレート内の任意の文言を変更するものとします。

Vaccine Administration Management の探索

ServiceNow Vaccine Administration Management アプリケーションは、ユーザー、医療提供者、および臨床スタッフが COVID-19 などの感染症のワクチン接種を最初から最後まで管理するためのワークフローを提供します。

Vaccine Administration Management アプリケーションは、予防接種を管理するための事前定義されたコンテンツを配信することで、予防接種プロセスを迅速化します。

Vaccine Administration Management ワークフロー



Vaccine Administration Management ワークフローで、次の操作を行います。

1. 管理者が EMR ヘルプアプリケーションを設定します。
2. 臨床スタッフは問題を検出し、EMR ヘルプを使用して報告します。
3. 病院のサービスデスクエージェントが要求を受信し、問題を修正します。

福利厚生

Vaccine Administration Management には次のメリットがあります。

Vaccine Administration Management のメリット

メリット	主な機能	ロール
患者がオンラインで予約できる予約タイプとタイムスロットを管理します。	患者ポータルを使用した予防接種プログラムへの登録	臨床スタッフ
ユーザーは、モバイルデバイスまたは Web ブラウザーからアクセスできるセルフサービスポータルを使用して、ワクチンについてさらに学び、予防接種をスケジュール設定できます。	臨床スタッフポータルを使用したユーザーの予防接種の予約の検索と管理	患者
ワクチンの予約を日、週、月ごとに表示します。スケジュール済み、完了済み、未接種の予約を表示し、ワクチンセンター、日付、メソッド、臨床スタッフで予約をフィルタリングします。	Vaccine Administration Managementダッシュボード	HCLS マネージャー

Vaccine Administration Management データモデル

アプリケーションは Vaccine Administration Management、ワクチン管理ワークフローで使用されるデータモデルを提供します。

概要

Vaccine Administration Managementデータモデルは、データモデルを拡張しますヘルスケアとライフサイエンス。

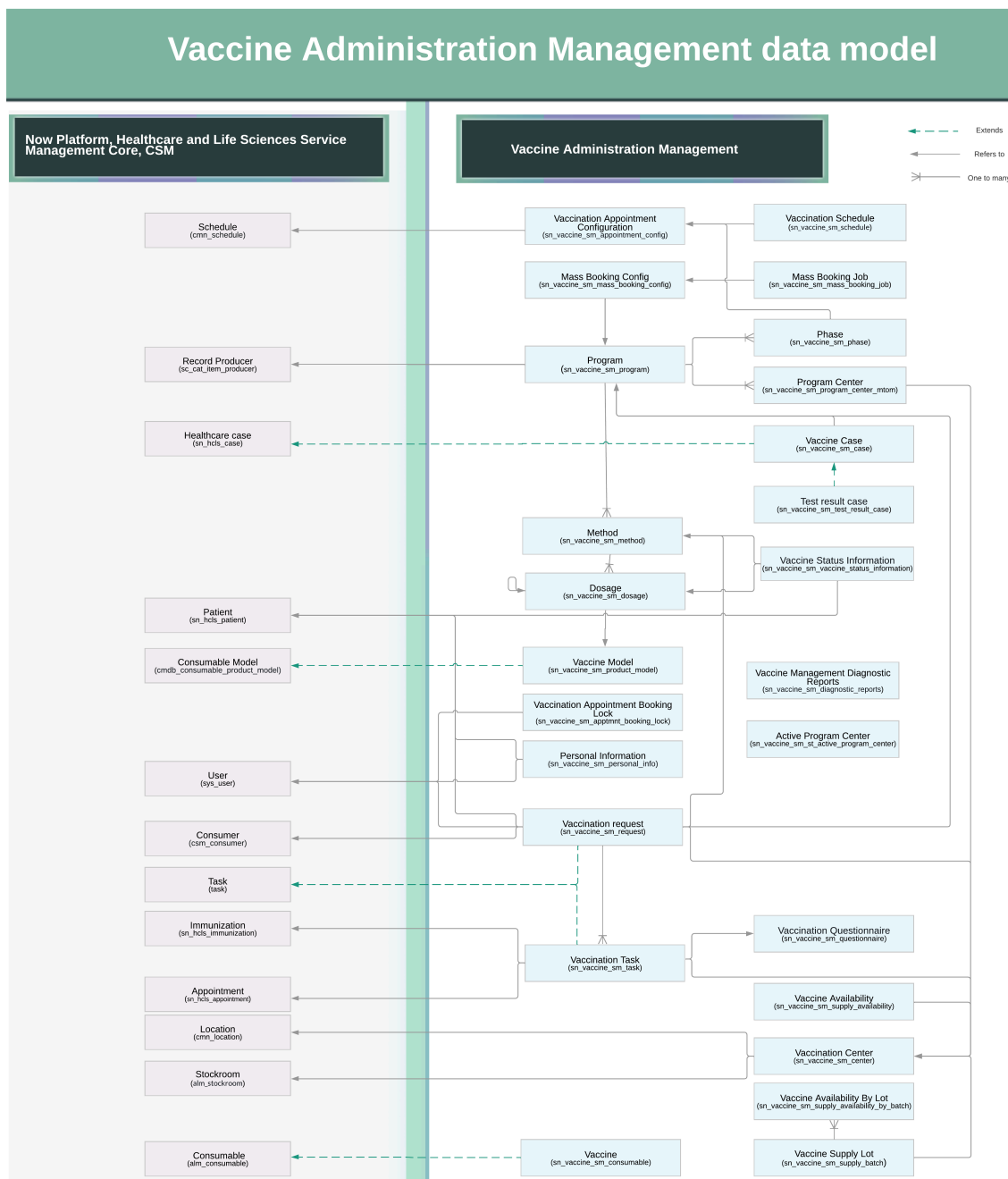
Vaccine Administration Management データモデルは、次のテーブルの組み合わせを使用してデータを保存します。

- アプリケーション内 Vaccine Administration Management に含まれるテーブル。
- アプリケーション内ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアに含まれるテーブル。
- カスタマーサービス管理 (CSM) アプリケーションのテーブル
- Now Platform アプリケーションのテーブル

アプリケーションをインストールし Vaccine Administration Management で、そのデータモデルを使用できます。

次の図は、Vaccine Administration Management データモデルを構成するテーブルとその関係性を示しています。

Vaccine Administration Management データモデル



自動翻訳

Vaccine Administration Management データモデルは、 Vaccine Administration Management アプリケーションに含まれる次のテーブルを使用してデータを格納します。

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル

テーブル	説明
アクティブ・プログラム・センター [sn_vaccine_sm_st_active_program_center]	ワクチンプログラムの一部であり、現在も使用されているワクチン接種センターのリストを保存します。

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
投与量 [sn_vaccine_sm_dosage]	ワクチン接種方法のワクチン投与の詳細を保存します。
一括予約構成 [sn_vaccine_sm_mass_booking_config]	予防接種の一括スケジュールに使用される構成のリストを保存します。
一括予約ジョブ [sn_vaccine_sm_mass_booking_job]	一括予約要求が生成されたときに、ジョブで予約された予約の合計数、合計ワクチン接種タスク、失敗した予約を含む一括予約ジョブレコードを保存します。
メソッド [sn_vaccine_sm_method]	予防接種プログラム内で誰かにワクチンを接種するために利用できるメソッドの詳細を保存します。
個人情報 [sn_vaccine_sm_personal_info]	ワクチン接種のサインアッププロセス中にユーザーから取得した情報 (職業、人口統計上のデータ、住所、身分証明書など) を保存します。
フェーズ [sn_vaccine_sm_phase]	ワクチンプログラムがあるリリースのステージと、いつ投与できるようになるかを保存します。開始日、終了日、および追加の適格性基準が含まれています。
プログラム [sn_vaccine_sm_program]	ワクチン接種の管理に使用される利用可能なプログラムのリストを保存します。
プログラムセンター [sn_vaccine_sm_program_center_mtom]	ワクチンプログラムの一部であるワクチン接種センターのリストを保存します。
テスト結果ケース [sn_vaccine_sm_test_result_case]	患者名、検査日、有効期限、ワクチン接種プログラムの詳細、検査結果ステータスなど、検査結果ケースの詳細を保存します。
ワクチン接種予約ロック [sn_vaccine_sm_apptmnt_booking_lock]	予約手順中に予約スロットのロックとして機能するレコードを保存します。予約が完了すると、レコードは自動的に削除され、スロットのロックが解除されます。
ワクチン接種の予約構成 [sn_vaccine_sm_appointment_config]	ワクチン接種の予約に使用される構成を保存します。

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
ワクチン接種センター [sn_vaccine_sm_center]	ワクチン接種センター、ワクチン接種センターの場所、連絡先情報、およびワクチン接種センターの倉庫の詳細を保存します。
ワクチン接種アンケート [sn_vaccine_sm_questionnaire]	ワクチン接種の予約を行ったユーザーに送信されたアンケートに対する回答を保存します。
ワクチン接種要求 [sn_vaccine_sm_request]	すべてのワクチン接種要求と、要求の対象者、ワクチン接種とプログラム、およびステータスを含む、関連するワクチン接種タスク番号を保存します。
ワクチン接種スケジュール [sn_vaccine_sm_schedule]	予約内のすべてのワクチン接種スケジュールの詳細を保存します。
ワクチン接種タスク [sn_vaccine_sm_task]	ワクチン接種要求に含まれるすべてのワクチン接種タスクを保存します。
ワクチン [sn_vaccine_sm_consumable]	モデル、数量、可用性に関する情報など、ワクチン在庫の詳細を保存します。
ワクチンの可用性 [sn_vaccine_sm_supply_availability]	ワクチンを利用できるセンターと日付、ワクチンモデル、割り当て済み、予約済み、使用済み、無駄にした投与など、ワクチンの可用性に関する詳細を保存します。
ロット別のワクチン可用性 [sn_vaccine_sm_supply_availability_by_batch]	ワクチンが利用可能になった日付や割り当てられた投与量など、ワクチンの可用性に関連付けられた供給ロットに関する詳細を保存します。
ワクチン症例 [sn_vaccine_sm_case]	ワクチンケースを保存します。
ワクチン管理診断レポート [sn_vaccine_sm_diagnostic_reports]	ワクチン接種レコードのない登録済みユーザーのリストを保存します。このテーブルは、[ワクチン接種管理 - ワクチン接種要求のない登録済みユーザー (Vaccination management - Registered users without vaccination requests)] スケジュール設定済みジョブが実行されたときに入力されます。デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブは非アクティブです。

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
ワクチンモデル [sn_vaccine_sm_product_model]	ワクチンのモデル (タイプ、メーカー、モデル番号など) を保存します。
ワクチン接種状況情報 [sn_vaccine_sm_vaccine_status_information]	ワクチンのステータス、投与された投与量、ワクチンメソッド、患者名、証明キーなどのワクチンステータス情報を保存します。
ワクチン供給ロット [sn_vaccine_sm_supply_batch]	タイプ、投与回数、有効期限など、在庫に追加されたワクチンのロットに関する詳細を保存します。

Vaccine Administration Managementデータモデルは、 および Now Platformアプリケーションカスタマーサービス管理 (CSM)に含まれるヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア次のテーブルを使用してデータを保存します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア**Now Platform**、 および**CSM**データモデルで使用される**Vaccine Administration Management**テーブル

テーブル	説明	アプリケーション
[予約sn_hcls_appointment]	患者の予約の詳細を提供します。	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア
消耗品 [alm_consumable]	ワクチンに関連する資産を提供します。	Now Platform
消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	消耗品モデルの説明を提供します。	Now Platform
コンシューマー (csm_consumer)	コンシューマーレコードに関連付けられた患者レコードを提供します。	CSM
医療ケース [sn_hcls_case]	ワクチンケースを含む医療ケースタイプをサポートします。	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア
予防接種 [sn_hcls_immunization]	ワクチンを投与されている患者のイベントに関する情報を提供します。	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア**Now Platform**、および**CSM**データモデルで使用される**Vaccine Administration Management**テーブル(続く)

テーブル	説明	アプリケーション
場所 [cmn_location]	患者に関連付けられた住所を提供します。	Now Platform
患者 [sn_hcls_patient]	ワクチンレコードに関連付けられた患者の詳細を提供します。	ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア
レコードプロデューサー [sc_cat_item_producer]	予防接種プログラムのレコードプロデューサーを提供します。	Now Platform
スケジュール [sn_cmn_schedule]	ワクチンスケジュールの予約可用性から除外する休日スケジュールを日時で提供します。	Now Platform
タスク [task]	タスクを拡張する各テーブルで使用される、一連の標準タスクフィールドを提供します。	Now Platform
ユーザー [sys_user]	テーブルを拡張する各テーブルで使用される、一連の標準ユーザーフィールドを提供します。	Now Platform

、Now PlatformおよびCSMテーブルの詳細についてはヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア、「[業界データモデルテーブル](#)」、「[モデル管理とともにインストールされるテーブル](#)」、および「[Customer Service Management とともにインストールされるテーブル](#)」を参照してくださいヘルスケアとライフサイエンス データモデル。

Vaccine Administration Management のインストール

Vaccine Administration Management (VAM) は ServiceNow Store で入手可能です。

始める前に

Vaccine Administration Management ServiceNow® ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理には、アプリケーション、Appointment Booking プラグイン (com.snc.appointment_booking)、が必要です。オプションで仮想エージェントプラグイン (com.glide.cs.chatbot) をインストールすることで、セルフサービスポータルでチャットボット会話ができるようになります。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 のライセンスがない場合は、ServiceNow アカウント担当者にお問い合わせください。ServiceNow プラットフォームは、Vaccine Administration Management アプリケーションでテーブルの列レベルの暗号化 (CLE) をサポートします。ただし、アプリの初期インストールの一環として有効化されることはありません。

i 注:

- Vaccine Administration Management のインストールは、依存関係プラグインとしてヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア (com.sn_hcls) に依存しています。
- 顧客は、現地のコンプライアンスルール、規制、および法律を満たすように実装を構成する責任があります。
- インスタンスが既に列レベルの暗号化に暗号化コンテキストを使用するように設定されている場合、暗号化モジュールを使用するには移行が必要です。移行については、Now Support にお問い合わせください。
- 列レベル暗号化エンタープライズを使用するには、お客様は列レベル暗号化エンタープライズ SKU を購入する必要があります。お客様が、列レベル暗号化エンタープライズ暗号化フィールドに含まれるデータをインスタンス間で共有しない場合は、単一のインスタンス (およびすべてのアカウントインスタンスではない) に列レベル暗号化エンタープライズをインストールして有効化できます。列レベル暗号化エンタープライズの使用料を回避するために、既存の ServiceNow のお客様は、追加コストなしで提供される列レベルの暗号化 (CLE) を使用するか、サードパーティの暗号化ソリューションを使用できます。
- 暗号化をサポートする CLE を Vaccine Administration Management のためにインストールする場合、詳細については、「[暗号化をサポートする CLE を VAM のためにインストールする \[KB0952557\]](#)」を参照してください。
- sys_platform_encryption_configuration テーブルの下のレコードは、機密データを含むフィールドを暗号化する VAM の一部として追加されます。対応するフィールドで暗号化を有効にするには、これらのレコードを有効にする必要があります。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。
2. Vaccine Administration Management を検索します。
3. [インストール] をクリックします。

[アプリケーションのインストール] ダイアログボックスが開きます。

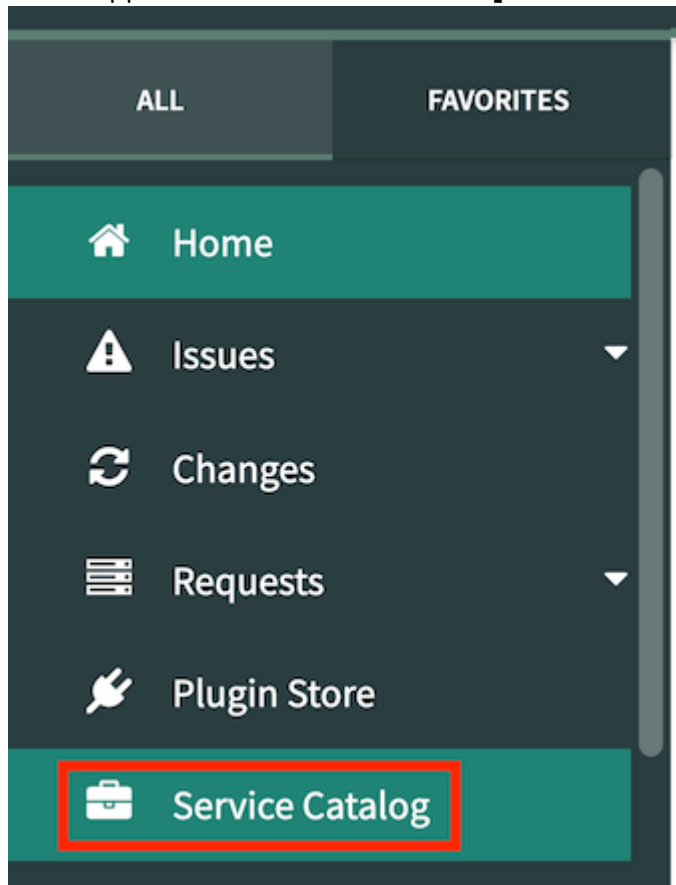
4. をクリックします。

i 注:

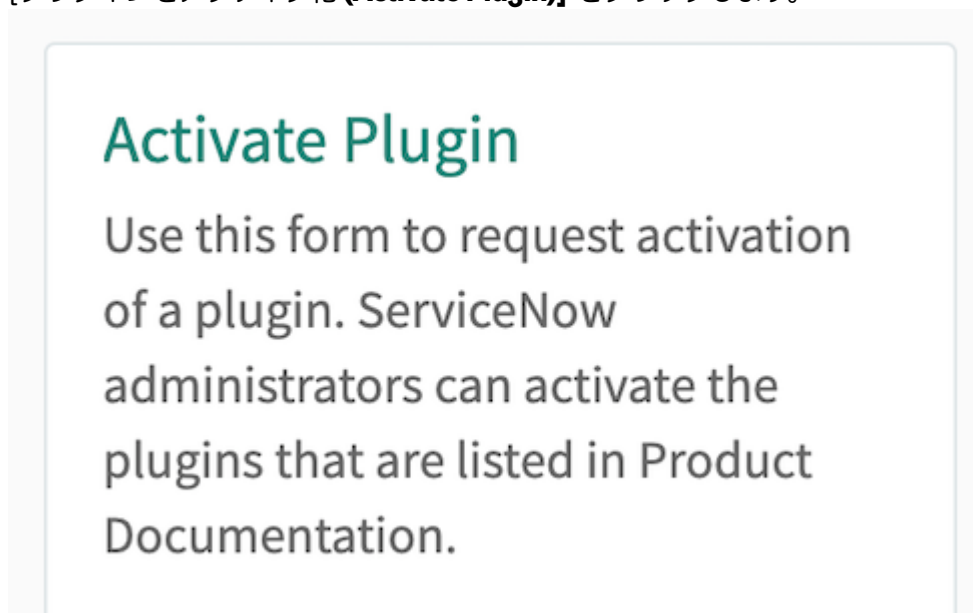
本番および非本番インスタンスで機密データの保護に取り組むなど、現地のコンプライアンスルール、規制、および法律を遵守するために実装を構成する責任は、お客様が負うものとします。この Vaccine Administration Management アプリは、プラグインをインストールすることで有効になる CLE および KMF 暗号化を利用するように設計されています。顧客は、機密データを含まないインスタンス (ダミーデータのみを含むテスト用インスタンスなど) に対しては、このステップを省略しようと決める場合があります。

5. 列レベル暗号化エンタープライズ を有効にします。

- a. Now Support に移動し、メニューから **[Service Catalog]** を選択します。



- b. [プラグインをアクティブ化 (**Activate Plugin**)] をクリックします。



- c. [ターゲットインスタンスは何ですか (**What is your target instance**)] フィールドで、インスタンスを指定します。
- d. [探しているプラグインが表示されていません (**Plugin I'm looking for is not listed**)] を選択します。

- e. [プラグインの名前を指定してください (**Specify the name of the plugin**)] に、Platform Encryption プラグイン (com.glide.now.platform.encryption) と入力します。
- f. [理由/コメント] フィールドに、Vaccine Administration Management の プラグイン (com.glide.now.platform.encryption) が必要であることを記入します。

Reason/Comments:

We need KMF for Vaccine Administration Management

- g. [メンテナンス開始時間を選択] フィールドで、開始日時の値を選択します。

Select Maintenance Start Time
Select start date and time

- h. [Submit (送信)] をクリックします。

Key Management Framework プラグイン (com.glide.kmf.global) が新しいインスタンスでアクティブになっています。

- 6. オプション: CLE プラグインおよび KMF プラグインを使用している場合は、フィールドを暗号化できるようにキーを生成します。

i 重要:

必要なテーブルにアクセスできるように、管理者に sn_kmf.cryptographic_manager ロールがあることを確認します。

- a. 移動先 キー管理 > 暗号化モジュール > すべて。
- b. sn_vaccine_sm.vm_crypto_module 暗号化モジュールレコードをクリックします。
- c. [暗号化仕様] 関連リストで、リストに表示されるレコードをクリックします。
- d. 移動先 アルゴリズム定義 > ライフサイクル定義 > キーの作成元 > キーの作成。

< ≡ Crypto Specification - vm_crypto_module [Key Creation view*] 🔍 ⬆️ 🗑️ ⋮ Back

Algorithm Definition ✓ Lifecycle Definition ✓ Key Origin ✓ **Key Creation**

Crypto module	vm_crypto_module	* Crypto purpose	Symmetric Data Encryption/Decryption
Key alias	test	Origin	ServiceNow
Generate key	Generate Key	Algorithm	AES 256 CBC

Back 🔄

- e. [キーの生成] をクリックします。

sn_vaccine_sm.vm_crypto_module 暗号化モジュールレコードの [モジュールキー] 関連リストにキーが作成されます。

注:
暗号化されているフィールドを表示するには、次に移動します: システムセキュリティ > フィールド暗号化 > 暗号化フィールドの設定。

重要:
admin ロールを持つユーザーが [フィールドの暗号化] メニューにアクセスするには、昇格したロールが必要です。

要件と構成に基づいて、追加のデータフィールドを暗号化することができます。エッジ暗号化、データベース暗号化、およびフルディスク暗号化などの追加暗号化機能に関する情報は、[データ暗号化のホワイトペーパー](#) を参照してください。

Vaccine Administration Management とともにインストールされるコンポーネント

ユーザーロール、テーブルなどを含む、いくつかのタイプのコンポーネントが Vaccine Administration Management とともにインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

インストールされるロール

にインストールされているロール **Vaccine Administration Management**

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
Vaccine Administration Management admin [sn_vaccine_sm.admin]	Vaccine Administration Management アプリケーション固有の管理者。 重要: デフォルトでは、admin ロールには sn_vaccine_sm.admin ロールが含まれています。sn_vaccine_sm.admin ロールを別のユーザーにアサインし直した後に、admin ロールから削除する必要があります。このプロセスは、アプリケーションへのアクセスを制限することで、機密アプリケーションデータを保護します。	<ul style="list-style-type: none"> sn_vaccine_sm.clinician sn_vaccine_sm.manager sn_apptmnt_booking.appointment_booking_manager

にインストールされているロール **Vaccine Administration Management** (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
臨床スタッフ [sn_vaccine_sm.clinician]	ワクチン接種要求、ワクチン接種タスク、およびワクチン接種アンケートの作成、読み取り、更新を実行できます。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_vaccine_sm.viewer • agent_workspace_user • sn_apptmnt_booking.appointment_booking_manager • sn_hcls.practitioner
Vaccine Administration Management マネージャー [sn_vaccine_sm.manager]	ワクチン接種プログラム、フェーズ、センター、メソッド、および投与量の作成、読み取り、更新を実行できます。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_vaccine_sm.viewer • sn_vaccine_sm.model_manager • agent_workspace_user • sn_apptmnt_booking.appointment_booking_admin
Vaccine Administration Management モデルマネージャー [sn_vaccine_sm.model_manager]	ワクチンモデルおよびワクチン消耗品を作成、読み取り、および更新できます。	<ul style="list-style-type: none"> • sn_vaccine_sm.model_viewer
Vaccine Administration Management モデルビューアー [sn_vaccine_sm.model_viewer]	ワクチンモデルおよびワクチン消耗品への読み取り専用アクセス。	なし
Vaccine Administration Management ビューアー [sn_vaccine_sm.viewer]	ワクチン接種プログラム、フェーズ、センター、メソッド、および投与量への読み取り専用アクセス。	sn_vaccine_sm.model_viewer
Vaccine Administration Management セルフサービスポータル のユーザー [sn_vaccine_sm.user]	ワクチン接種を要求し、予約を管理できます。	sn_apptmnt_booking.appointment_b
Vaccine Administration Management ダッシュボード マネージャー [sn_vaccine_sm.report_manager]	予約ダッシュボードを読み取りおよび編集できます。	sn_vaccine_sm.report_viewer
Vaccine Administration Management ダッシュボード ビューアー	予約ダッシュボードを読み取り できます。	なし

自動翻訳

にインストールされているロール **Vaccine Administration Management** (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
[sn_vaccine_sm.report_viewer]		
Vaccine Administration Management 在庫マネージャー [sn_vaccine_sm.inventory_manager]	ワクチン供給情報と配布を管理できます。	sn_vaccine_sm.inventory_viewer
Vaccine Administration Management 在庫ビューアー [sn_vaccine_sm.inventory_viewer]	ワクチン在庫管理テーブルを読み込むことができます。	なし

インストールされるテーブル

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル

テーブル	説明
アクティブ・プログラム・センター [sn_vaccine_sm_st_active_program_center]	ワクチンプログラムの一部であり、現在も使用されているワクチン接種センターのリストを保存します。
投与量 [sn_vaccine_sm_dosage]	ワクチン接種方法のワクチン投与の詳細を保存します。
一括予約構成 [sn_vaccine_sm_mass_booking_config]	予防接種の一括スケジュールに使用される構成のリストを保存します。
一括予約ジョブ [sn_vaccine_sm_mass_booking_job]	一括予約要求が生成されたときに、ジョブで予約された予約の合計数、合計ワクチン接種タスク、失敗した予約を含む一括予約ジョブレコードを保存します。
メソッド [sn_vaccine_sm_method]	予防接種プログラム内で誰かにワクチンを接種するために利用できるメソッドの詳細を保存します。
個人情報 [sn_vaccine_sm_personal_info]	ワクチン接種のサインアッププロセス中にユーザーから取得した情報 (職業、人口統計上のデータ、住所、身分証明書など) を保存します。

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
フェーズ [sn_vaccine_sm_phase]	ワクチンプログラムがあるリリースのステージと、いつ投与できるようになるかを保存します。開始日、終了日、および追加の適格性基準が含まれています。
プログラム [sn_vaccine_sm_program]	ワクチン接種の管理に使用される利用可能なプログラムのリストを保存します。
プログラムセンター [sn_vaccine_sm_program_center_mtom]	ワクチンプログラムの一部であるワクチン接種センターのリストを保存します。
テスト結果ケース [sn_vaccine_sm_test_result_case]	患者名、検査日、有効期限、ワクチン接種プログラムの詳細、検査結果ステータスなど、検査結果ケースの詳細を保存します。
ワクチン接種予約ロック [sn_vaccine_sm_apptmnt_booking_lock]	予約手順中に予約スロットのロックとして機能するレコードを保存します。予約が完了すると、レコードは自動的に削除され、スロットのロックが解除されます。
ワクチン接種の予約構成 [sn_vaccine_sm_appointment_config]	ワクチン接種の予約に使用される構成を保存します。
ワクチン接種センター [sn_vaccine_sm_center]	ワクチン接種センター、ワクチン接種センターの場所、連絡先情報、およびワクチン接種センターの倉庫の詳細を保存します。
ワクチン接種アンケート [sn_vaccine_sm_questionnaire]	ワクチン接種の予約を行ったユーザーに送信されたアンケートに対する回答を保存します。
ワクチン接種要求 [sn_vaccine_sm_request]	すべてのワクチン接種要求と、要求の対象者、ワクチン接種とプログラム、およびステータスを含む、関連するワクチン接種タスク番号を保存します。
ワクチン接種スケジュール [sn_vaccine_sm_schedule]	予約内のすべてのワクチン接種スケジュールの詳細を保存します。
ワクチン接種タスク [sn_vaccine_sm_task]	ワクチン接種要求に含まれるすべてのワクチン接種タスクを保存します。

Vaccine Administration Management アプリケーションテーブル (続く)

テーブル	説明
ワクチン [sn_vaccine_sm_consumable]	モデル、数量、可用性に関する情報など、ワクチン在庫の詳細を保存します。
ワクチンの可用性 [sn_vaccine_sm_supply_availability]	ワクチンを利用できるセンターと日付、ワクチンモデル、割り当て済み、予約済み、使用済み、無駄にした投与など、ワクチンの可用性に関する詳細を保存します。
ロット別のワクチン可用性 [sn_vaccine_sm_supply_availability_by_batch]	ワクチンが利用可能になった日付や割り当てられた投与量など、ワクチンの可用性に関連付けられた供給ロットに関する詳細を保存します。
ワクチン症例 [sn_vaccine_sm_case]	ワクチンケースを保存します。
ワクチン管理診断レポート [sn_vaccine_sm_diagnostic_reports]	ワクチン接種レコードのない登録済みユーザーのリストを保存します。このテーブルは、[ワクチン接種管理 - ワクチン接種要求のない登録済みユーザー (Vaccination management - Registered users without vaccination requests)] スケジュール設定済みジョブが実行されたときに入力されます。デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブは非アクティブです。
ワクチンモデル [sn_vaccine_sm_product_model]	ワクチンのモデル (タイプ、メーカー、モデル番号など) を保存します。
ワクチン接種状況情報 [sn_vaccine_sm_vaccine_status_information]	ワクチンのステータス、投与された投与量、ワクチンメソッド、患者名、証明キーなどのワクチンステータス情報を保存します。
ワクチン供給ロット [sn_vaccine_sm_supply_batch]	タイプ、投与回数、有効期限など、在庫に追加されたワクチンのロットに関する詳細を保存します。

統合：ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア

Vaccine Administration Management は ServiceNow® ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションと統合され、アプリケーションやサービス間での一部のレコードの同期や、患者ユーザーが表示できるワクチン接種履歴などの機能が有効になります。

Vaccine Administration Management は、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア 既存の患者、コンシューマー、および予防接種レコードを作成またはリンクするために、アプリケーションに依存しています。とヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア のデータ連携では、次のテーブルが使用されます。

- 患者 [sn_hcls_patient] テーブル - 患者の詳細と、ユーザーの個人情報、ユーザー、およびコンシューマーレコードへのリンクを格納します。
- 予防接種 [sn_hcls_immunization] テーブル - 関連付けられたユーザーがワクチンポータルからワクチン接種履歴として表示できる予防接種データのレコードを格納します。

統合ではヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア、sn_hcls.patient ロールもセルフサービスポータルユーザー [sn_vaccine_sm.user] ロールに追加されます Vaccine Administration Management。

関連情報

- ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理
- 患者テーブル
- 予防接種テーブル

Vaccine Administration Managementの構成

すべての構成タスクを完了し、Vaccine Administration Management が組織に合わせて正しく設定されていることを確認します。

ワクチンモデルを作成

Vaccine Administration Managementでさまざまなワクチンを追跡および管理するためのワクチンモデルを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.model_manager

このタスクについて

Vaccine Administration Management には、Moderna COVID-19 ワクチンおよび Pfizer-BioNTech COVID-19 ワクチンのワクチンモデルが含まれています。他のワクチンを追跡して管理するには、ワクチンモデルを作成します。

手順

1. 移動先 **すべて > ワクチン投与 > 管理 > ワクチンモデル** をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [モデルカテゴリ] フィールドで、[ワクチン] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

モデルフォーム

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。glide.cmdb_model.display_name.shorten と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルを構築した会社。
名前	フィールド エージェントのノートパソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。

フィールド	説明
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
モデルカテゴリ	モデルのアサイン先のカテゴリ。このフィールドは Glide リストであり、レポートの作成には使用できません。
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のいずれか 1 つを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ カテゴリに残す：モデルには透明性があり、カテゴリは資産クラスを定義します。 ○ 消耗資産を作成：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産クラスを消耗品とします。 ○ 資産を作成しない：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産のインスタンス化をブロックします。
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位です。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。
プロジェクトコスト	モデルの単一のコスト。
減価償却	モデルの 減価償却スキーム 。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額です。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
モデル番号	メーカーがアイテムにアサインするモデル番号です。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、[販売済み] があります。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。

フィールド	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。

4. [送信] をクリックします。

ワクチン消耗資産を作成する

ワクチン消耗資産を作成し、それをワクチンモデルに関連付けます。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.model_manager

手順

1. 移動先 **すべて > ワクチン投与 > 管理 > ワクチン** をクリックし、[**新規**] をクリックします。
2. [**モデルカテゴリ**] フィールドで、[**ワクチン**] を選択します。
3. [**モデル**] フィールドで、ワクチン消耗資産と関連付けたいワクチンモデルを選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	消耗資産の名前。
モデルカテゴリ	モデルを関連付けることができるモデルカテゴリです。モデルカテゴリは、構成アイテム (CI) と資産を作成するために使用されます。
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が表すアイテムの量
全般	

フィールド	説明
状態	資産の状態
親タスク	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート。
担当者	レコードにアサインされたユーザー。
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
廃棄	
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。

フィールド	説明
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
アクティビティ	
作業メモ	資産に関連する作業メモ

5. [送信] をクリックします。

ワクチン接種プログラムを作成

ワクチン接種プログラムを作成し、予防接種を追跡および管理します。

始める前に

必要なロール： sn_vaccine_sm.manager

このタスクについて

インフルエンザまたは COVID-19 のワクチン接種を管理するには、提供されたインフルエンザ予防接種プログラムまたは COVID-19 ワクチン接種プログラムを使用してください。その他の予防接種を管理するには、プログラムを作成します。

インフルエンザ予防接種プログラムおよび COVID-19 ワクチン接種プログラムには事前に定義されたワクチン接種方法が含まれていますが、センターとフェーズをプログラムに追加する必要があります。

手順

1. 移動先 **すべて > ワクチン投与 > 管理 > プログラム** をクリックし、[新規] をクリックします。
2. フォームのフィールドに入力します。

プログラムフォーム

フィールド	説明
名前	ワクチン接種プログラムの名前。
カタログアイテム	ワクチン接種の予約スケジュール。

フィールド	説明
説明	プログラムの説明。
アクティブ	使用するプログラムを有効化するためのオプション。このフィールドは自動的に [アクティブ] に設定されます。

3. [保存] をクリックします。

4. [センター] 関連リストで、ワクチンを投与する場所を追加します。

- 場所と倉庫を含めた新しいセンターを作成するには、[新規] をクリックします。
- 既存のセンターをプログラムに追加するには、[編集] をクリックします。

i 注:

必要に応じて、プログラムから既存のセンターを削除することもできます。プログラムから既存のセンターを削除すると、そのセンターに予約を登録できなくなります。ただし、登録済みの予約は変更されません。

各地のセンターでは、予約スケジュールの構成を指定できるだけでなく、利用可能な在庫に基づいてスケジュールを構成することもできます。詳細については、以下を参照してください。

- [センターの詳細予約スケジュールを構成する](#)
- [センターの在庫ベースのスケジューリングを構成する](#)

5. [フェーズ] 関連リストで、ワクチンを投与するフェーズを定義します。

- a. フェーズの名前を入力します。
たとえば「フェーズ 1」などします。
- b. フェーズの開始日と終了日を選択します。
- c. このフェーズ中、誰がワクチンを接種するか決めるには、適格性基準に条件を追加します。
たとえば、フェーズ 1 を高齢者グループの人々に限定することができます。

6. [メソッド] 関連リストで、ワクチン接種プログラムで利用可能なワクチンの各バージョンを追加します。

- a. [新規] をクリックします。
- b. ワクチンメソッドの名前を入力します。
- c. **[Applicable to (適用先)]** フィールドでフィルター条件を追加して、ワクチンメソッドを受けられる人を定義します。
たとえば、ワクチン接種は特定の年齢グループにのみ適している場合もあれば、特定のセンターでのみ提供される場合もあります。
- d. [保存] をクリックします。

7. [投与量] 関連リストで、それぞれ必要な投与に対して投与量レコードを作成します。

- a. [新規] をクリックします。
- b. フォームのフィールドに入力します。

投与量フォーム

フィールド	説明
名前	投与の名前。例えば「初回投与」などとします。
後	この投与の前に受ける必要がある投与。これが初回の投与である場合は、このフィールドで値を選択しないでください。
リードタイム	前回投与した後にこの投与を行うまでの間に最低限必要な日数。これが初回の投与である場合は、このフィールドで値を選択しないでください。このフィールドは、 [After (次の後)] フィールドで値が選択されている場合にのみ表示されます。
最大期間	<p>前回投与した後にこの投与を行うまでの間に最大限必要な日数。これが初回の投与である場合は、このフィールドで値を選択しないでください。このフィールドは、[After (次の後)] フィールドで値が選択されている場合にのみ表示されます。</p> <p>i 注: 最大時間はリードタイムより長くする必要があります。</p>
順番	投与の順番。例えば、最初の投与は 100、2 回目の投与は 200 などとします。
手法	投与に対するワクチンメソッド。このフィールドは自動的に設定されます。
予防接種	投与に対するワクチンモデル。
適格基準	ユーザーが対象になるために満たす必要がある指定投与の適格性基準を構成します。たとえば、投与量は特定の年齢グループにのみ適している場合があります。

- c. [送信] をクリックします。

予防接種プログラムの適格性基準を構成します

ユーザーが対象になるために満たす必要がある予防接種プログラムの適格性基準を構成します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin

このタスクについて

ユーザーがポータルに登録して個人情報を入力すると、その情報が、予防接種プログラムの適格性基準と比較され、ユーザーがプログラムの対象であるかどうか判断されます。対象となる場合、ユー

ザーは次のステージに進み、予防接種をスケジュールすることができます。適格性基準が指定されていない場合、登録されているすべてのユーザーは、予防接種をスケジュールする資格があります。

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > 管理 > プログラム**.
2. 適格性基準を構成したい予防接種プログラムレコードを開きます。
3. 適格性基準条件ビルダーで、1 つ以上のフィルター条件を追加して、予防接種プログラムの対象となるためにユーザーが満たす必要がある基準を定義します。
たとえば、60 歳以上のユーザーまたは医療従事者の場合、次の適格性基準が定義されています。ユーザーがポータルで自分の個人情報を入力する場合、予防接種プログラムの対象となるには、ユーザーがこれらの条件のいずれかを満たす必要があります。
4. [更新] をクリックします。

センターの詳細予約スケジュールを構成する

センターの詳細予約スケジュールを構成します。詳細予約スケジュールにより、さまざまな場所のセンターやプログラムの変化するニーズを満たすように、さまざまな予防接種スケジュール、週次、日次などとキャパシティを構成できます。

始める前に

移動先 **Vaccine Administration Management > 管理 > プロパティ** をクリックし、[**Vaccine Administration Management** 場所固有の予約構成を有効にする] プロパティ (`sn_vaccine_sm.enable_vam_appointment_config`) が選択されていることを確認します。

警告:

プロパティを有効にして詳細予約スケジュール構成をライブにした後に、データの不整合を防ぐためにこのプロパティを無効にしないでください。

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin

このタスクについて



センターの詳細予約スケジュールを構成します。特定の場所で使用したり、複数箇所のセンターやプログラムで再利用したりするために予約構成を作成できます。

予約構成ごとに、1 つ以上の予防接種スケジュールを作成し、毎日の開始時間と終了時間、予約できる日数、毎日の休憩を含めるなどを構成できます。予約構成は、自己スケジュール予約と一括予約の両方に適用されます。

重要:

この機能を有効にすると、すべてのセンターに適用されるデフォルトの予約スケジュール構成が置き換えられます。デフォルト構成の詳細については、[ワクチン接種の予約スケジュールの設定](#)を参照してください。

手順

1. 移動先 **Vaccine Administration Management > 管理 > プログラム**.
2. プログラムレコードを開きます。
3. センター関連リストで、プレビューアイコン () をクリックして、プログラムセンターレコードを開きます。
4. [予約構成] フィールドで、ルックアップアイコン () をクリックします。
5. [新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

ワクチン接種予約構成フォーム

フィールド	説明
名前	予約構成の名前。
説明	予約構成の説明。
祝祭日スケジュール	予約構成に関連付ける祝祭日スケジュール。
予約期間	予約構成の予約期間で、10分から8時間の範囲で指定できます。
リードタイム	最初の利用可能な予約スロットがユーザーに表示されるまでの時間。たとえば、リードタイムが4時間だとします。現在の時刻が午前7時である場合、ユーザーに表示される利用可能な次のスロットは午前11時となります。
今後の最大予約可能日数	ユーザーが予約のために利用可能なスロットを表示できる日数の範囲。たとえば、値が14日だとします。ユーザーが予約をスケジュールするとき、今後14日間の利用可能なスロットが表示されます。
再スケジュール/キャンセル期限 (時間)	ユーザーが予約を再スケジュールまたはキャンセルできる期限 (時間)。たとえば、値が6時間だとします。予約が月曜日の午後3時にスケジュールされている場合、ユーザーは同日の午前9時までには予約を再スケジュールまたはキャンセルする必要があります。
有効	予約構成の使用を有効にするオプション。有効化されると、予約構成は、自己スケジュール予約と一括予約の両方に適用されます。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
8. [ワクチン接種スケジュール] 関連リストで、予約構成ためのワクチン接種スケジュールを1つ以上作成します。
 - a. [新規] をクリックします。
 - b. フォームのフィールドに入力します。

ワクチン接種スケジュールフォーム

フィールド	説明
名前	ワクチン接種スケジュールの名前。
開始日時	オンコールスケジュールの開始日です。
期間ごとの予約	期間ごとの予約数。
毎日の開始時刻	スケジュールの毎日の開始時刻。
予約可能な日	予約できる日。
毎日の休憩を含める	毎日の休憩を含めるオプション。有効にすると、毎日の休憩の開始時間と終了時間を指定できます。
予約構成	このフィールドは、関連付けられた予約構成レコードに自動的に設定されます。
終了日	スケジュールの終了日。
予約期間	このフィールドは、関連付けられた予約構成レコードで設定された予約期間に自動的に設定されます。
毎日の終了時刻	スケジュールの毎日の終了時間。
予約プレビュー	予防接種スケジュールのプレビュー。

c. [送信] をクリックします。

d. 必要に応じて、ワクチン接種スケジュールの作成手順を繰り返します。

次のタスク

構成が確定した時点で、構成値の一部を変更すると、既存の予約スケジュールと将来の予約スケジュールの両方に望ましくない影響を与える可能性があります。センターの詳細予約スケジュール構成の処理方法の詳細については、「[ワクチン接種センターの詳細予約スケジュールを構成するためのガイダンス](#)」を参照してください。

ワクチン接種センターの詳細予約スケジュールを構成するためのガイダンス

詳細予約スケジュール構成により、管理者は予約期間、日次スケジュール、祝祭日スケジュールなどを設定できます。この構成は、指定された日の利用可能なスロットと場所のキャパシティを識別し、

ユーザーが構成したパラメーターに基づいて予約スロットを選択できるようにするために使用されます。

ワクチン接種センターの構成が確定した後に、構成値の一部を変更すると、既存の予約と将来の予約の両方に望ましくない影響を与える可能性があることに注意してください。

次のフォームとテーブルは、ワクチン接種センターの詳細予約スケジュール構成を処理するための役立つガイダンスと、特定の変更による影響の一部を示しています。ただし、このガイダンスは、考えられるすべての影響の完全なリストには対応していません。

ワクチン接種予約構成フォーム

ワクチン接種予約構成フォーム

フィールド	推奨事項と影響
名前	望ましくない影響を引き起こすことなく、名前フィールドを変更できます。
説明	望ましくない影響を引き起こすことなく、説明フィールドを変更できます。
祝祭日スケジュール	現在の場所に既存の予約がある場合は、新しい祝祭日スケジュールを追加しないでください。既存の予約が無効になります。既存の祝祭日スケジュールに祝祭日を追加しないでください。新しい祝祭日に、予約済みの予約が既に含まれている場合があります。
予約期間	<ul style="list-style-type: none"> 現在の場所で予約が既に作成されている場合は、予約期間を変更しないでください。 影響：場所の合計キャパシティを変更すると、スロットが重複し、予約がオーバーブッキングします。 例を次に示します。

ワクチン接種予約構成フォーム (続く)

フィールド	推奨事項と影響
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 以前の構成では、予約期間が 5 分だった場合、日次スケジュールは 9:00 ~ 9:05、9:05 ~ 9:10、9:10 ~ 9:15、および 9:15 ~ 9:20 のようになります。この構成では、9:00 ~ 9:05 および 9:05 ~ 9:10 の予約と、9:10 ~ 9:15 および 9:15 ~ 9:20 の予約が可能です。 2. 予約期間が 10 分の新しい構成を作成する場合、日次スケジュールは次のようになります。9:00 ~ 9:10、9:10 ~ 9:20、9:10 ~ 9:20 までの利用可能なスロットで、実際のスロットは同じ 10 分間隔で表示されます。 3. 構成の変更により、前の構成で 2 つの予約が予約されたため、9:00 ~ 9:10 のスロットで予約超過が発生します。
リードタイム	既存の予約に影響を与えることなく、リードタイム値を変更できます。
今後の最大予約可能日数	<ul style="list-style-type: none"> • 現在の場所で最終日に予約されている可能性があるため、値を減らさないでください。値を減らすと、最終日に予約された予約が無効になります。 • 既存の予約に影響を与えることなく、値を増やすことができます。
再スケジュールまたはキャンセル (時間)	<ul style="list-style-type: none"> • 値は条件付きで変更できます。 • 既存の予約またはユーザーに影響を与えるワークフローがある場合、値を変更するのは安全ではありません。
有効	<ul style="list-style-type: none"> • 既存の予約がある場合は、構成を無効にしないでください。既存の予約が無効になります。 • 予約に影響を与えることなく、以前は無効であった構成を有効にすることができます。

ワクチン接種スケジュールフォーム

ワクチン接種スケジュールフォーム

フィールド	推奨事項と影響
名前	望ましくない影響を引き起こすことなく、名前フィールドを変更できます。
開始日時	<ul style="list-style-type: none"> 以前の開始日と新しい開始日の間で予約される可能性があるため、この値を大きくしないでください。値を大きくすると、古い開始日と新しい開始日の間に予約された予約が無効になります。 同じ予約構成の他のスケジュールで重複するスロットが構成されていない場合にのみ、値を減らすことができます。 例を次に示します。 <ol style="list-style-type: none"> 古いスケジュールの開始日が 2021 年 4 月 8 日で、月曜日から金曜日の 09:00 ~ 18:00 の予約可能日があるとします。 2021 年 3 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの開始日と終了日を持つ同じ予約構成で別のスケジュールを作成したとします。 これで、スケジュール開始日を 2021 年 3 月 31 日に変更すると、2021 年 3 月 31 日の既存のスケジュールと重複する予約可能スロットが作成され、システムでエラーが発生します。
終了日	<ul style="list-style-type: none"> 新しい終了日と古い終了日の間に予約される可能性があるため、値を減らさないでください。値を大きくすると、新しい終了日と古い

自動翻訳

ワクチン接種スケジュールフォーム (続く)

フィールド	推奨事項と影響
	<p>終了日の間に予約された予約が無効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同じ予約構成の他のスケジュールで重複するスロットが構成されていない場合にのみ、値を増やすことができます。
<p>期間ごとの予約</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 期間ごとの予約数を 0 に設定しないでください。 • 期間ごとの予約数を増やすことができます。 • 予約が既に作成されている場合は、サービス構成の期間ごとの予約数を減らさないでください。 • 影響：期間ごとの予約の合計数を減らすと、変更前に作成された予約のスロットあたりの予約が超過します。 • 例を次に示します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 以前の構成：期間ごとに 4 つの予約がありました。期間の合計数が 2 の場合、合計キャパシティは 2×4、または 8 です。スロットごとに 4 つの予約を作成した場合、使用される合計キャパシティは 4×2、または 8 です。 2. 新しい構成：期間ごとに 2 つの予約があります。合計期間が 2 つある場合、新しい合計キャパシティは 2×2、または 4 ですが、スロットごとに 4 つの予約が既に作成されている場合 (過去の構成に基づく)、合計キャパシティは 4×2、または 8 になります。 3. この構成では、合計キャパシティである 8 が新しい合計キャパシティである 4 を超えるため、予約が超過します。
<p>毎日の開始時刻</p>	<p>予約が既に存在する場合は、毎日の開始時間を変更しないでください。変更すると、予約超過のスロットが作成され、以前の予約が無効になります。</p>
<p>毎日の終了時刻</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の終了時間を増やすことができます。増加は、予約期間値と毎日の開始値が変更されていない場合にのみ有効です。 • 予約が既に存在する場合は、毎日の終了時間を早くしないでください。早くすると、予約超過のスロットが作成され、以前の予約が無効になります。

ワクチン接種スケジュールフォーム (続く)

フィールド	推奨事項と影響
予約可能な日	<ul style="list-style-type: none"> 既存の予約に影響を与えることなく、日を追加できます。 予約が既に作成されている予約可能な日を削除すると、過去の予約が無効になります。 例を次に示します。 <ol style="list-style-type: none"> 以前の構成で、土曜日が予約可能で、予約が土曜日に予約されているとします。 土曜日に予約できない新しい構成を作成すると、以前に土曜日に予約した予約は無効になります。
1 日の休暇を含める	<ul style="list-style-type: none"> [毎日の休憩を含める] チェックボックスの値は変更しないでください。 このチェックボックスがオフになっている場合は、毎日の休憩時間を追加しないでください。 休憩の期間は変更しないでください。 予約可能なスロットが生成されないため、休憩の開始時間と終了時間を毎日の開始時間と毎日の終了時間と同じに設定しないでください。

センターの在庫ベースのスケジュールリングを構成する

センターの、使用可能な在庫ベースのスケジュールリングを構成します。

始める前に

移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > プロパティをクリックし、[ワクチン在庫管理の有効化] プロパティ (`sn_vaccine_sm.enable_inventory_management`) が選択されていることを確認します。

▲ 警告:
 プロパティを有効にして在庫ベースの構成をライブにした後は、データの不整合を防ぐためにこのプロパティを無効にしないでください。

必要なロール : `sn_vaccine_sm.admin` または `sn_vaccine_sm.inventory_manager`

このタスクについて

センターの、使用可能な在庫ベースのスケジュールリングを構成します。在庫ベースのスケジュールリングでは、その日の使用可能な在庫に基づいて予約を制限できます。たとえば、ある特定の日に使用可能な 200 の投与量と利用可能な 500 の予約スロットがあるとします。200 投与分しかないため、その日の予約数が 200 に制限されます。

ある特定のセンターでワクチン供給ロットを受領したら、ワクチンタイプのロット、投与回数、有効期限などの詳細を入力して在庫に追加できます。その後、指定した日付範囲で在庫を自動または手動で配分できます。無駄にした投与を手動で追跡することもできます。

**重要:**

この機能は、ユーザーがスケジュールした予約でのみ使用できます。現在、一括予約ではサポートされていません。

手順

1. 移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > プログラム。
2. プログラムレコードを開きます。
3. センター関連リストで、ワクチン接種センターレコードを開きます。
4. [ワクチン供給ロット] 関連リストで、その場所で受け取る各ワクチン供給ロットの新しいレコードを作成します。
 - a. [新規] をクリックします。
 - b. フォームのフィールドに入力します。

ワクチン供給ロットフォーム

フィールド	説明
ロット番号	ロットの番号。
ワクチンモデル	ロットのワクチンモデル。
センター	ロットが配置されているプログラムセンター。
入手先	ロットが利用可能になる日付。
有効期限	メーカーによって指定された、ロットの有効期限日。
メモ	ロットに関するメモ。
合計投与回数	ロット内の合計投与回数。この数は在庫マネージャーが手動で計算する必要があります。
ステータス	ロットのステータス： <ul style="list-style-type: none"> ▪ 利用不可 ▪ 利用可能

- c. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
- d. ロットが受領され、その場所の在庫に含まれていることを確定するには、[利用可能にする] をクリックします。

5. ロットを自動的に配分するには、次の手順を実行します。

- a. ワクチン供給ロットのレコードを開きます。
- b. [配分する] をクリックします。
 ロットは、その場所の予約スケジュール構成に基づいて、指定された営業日数に対して均等に配分されます。たとえば、土曜日と日曜日に休業するセンターで 7 日間に対してロットが配分されるとします。ロットの配分が月曜日に開始される場合、次の 7 営業日に対して均等に配布されます (その週の月曜日から金曜日、翌週の月曜日と火曜日)。

i 注:

デフォルトでは、この数は 7 日間に設定されています。日数を変更するには、**Vaccine Administration Management** > 管理 > プロパティをクリックし、[ロットを配分する日数] プロパティ () を更新し `sn_vaccine_sm.im_lot_distribution_day_count` ます。

ロットを自動的に配分する場合、個々の日に割り当てられた投与量を手動で調整するオプションがあります。投与量を更新したい日の [ロット別ワクチン可用性] レコードを開き、[割り当てられた投与] フィールドを更新します。

6. ロットを手動で配分するには、次の手順を実行します。

- a. ワクチン供給ロットのレコードを開きます。
- b. [ワクチン可用性] 関連リストで、【新規】 をクリックします。
- c. フォームのフィールドに入力します。

ワクチン可用性フォーム

フィールド	説明
センター	ワクチンが利用可能なセンター。
利用可能日	ワクチンが利用可能になる日付。
ワクチンモデル	プログラムのワクチンモデル。
割り当てられた投与	このフィールド値は自動的に設定されます。
予約された投与	このフィールド値は自動的に設定されます。
使用済み投与	このフィールド値は自動的に設定されます。
無駄にした投与	1 日あたりの無駄にした投与の数。この数は在庫マネージャーが手動で入力する必要があります。

フィールド	説明
メモ	ワクチンの可用性に関するメモ。

- d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
- e. [ロット別の可用性] 関連リストで、[新規] をクリックします。
- f. フォームのフィールドに入力します。

ロット別のワクチン可用性フォーム

フィールド	説明
供給ロット	ワクチンの可用性に関連付けるロット。
利用可能日	ワクチンが利用可能になる日付。日付は、関連するロットの可用性と有効期限の範囲内である必要があります。
割り当てられた投与	割り当てられた投与の数。割り当てられた投与の数は、関連付けられたロットで利用可能な投与の総数未満でなければなりません。
メモ	このロットのワクチン可用性に関するメモ。

- g. [送信] をクリックします。
- h. ワクチン可用性のレコードをさらに作成するには、必要に応じて「ロット別の可用性」手順を繰り返します。

ワクチン接種の予約スケジュールの設定

ユーザーがポータルからワクチン接種を要求するか、または一括予約を使用している場合に予約は自動的にスケジュールされます。予約を自動作成するスケジュールを定義します。例えば、決まった曜日のみ予約したり、特定の時間枠にのみ予約したりすることができます。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin

このタスクについて

Vaccine Administration Management は、組織の要件を満たすように変更可能な予約構成を提供します。

設定された構成に従って、ユーザーに対して予約が自動的にスケジュールされます。ただし、自動的にスケジュール設定された時間では都合が悪い場合、ユーザーはポータルで別の予約時間を選択できます。

i 重要:

このデフォルトの予約スケジュール構成は、すべてのセンターに適用されます。Vaccine Administration Management のバージョン 4 以降、詳細予約スケジュール構成が利用可能になりました。この機能を有効にして構成する方法の詳細については、[センターの詳細予約スケジュールを構成する](#)を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて](#) > [ワクチン投与](#) > [管理](#) > [サービス構成](#).
2. [Schedule Vaccine Appointment (ワクチン接種予約のスケジュール)] レコードをクリックします。
3. 必要に応じて、フォームの各セクションの情報を更新して構成を変更します。
各セクションの入力方法の詳細については、「[予約の設定](#)」[📄](#)を参照してください。

予約開始がスケジュールされた後の予約構成の処理方法詳細については、「[Vaccine Administration Management の予約構成に関する推奨事項 \[KB0953615\]](#)」[📄](#)」を参照してください。

4. [更新] をクリックします。

複数ワクチン接種予約設定

ワクチンメソッドの自動選択と手動選択に基づいて、複数ワクチン接種予約を管理します。適格性基準、メソッドの選択順序、在庫の可用性に基づいて、希望するワクチンメソッドを選択できます。

Vaccine Administration Management システムプロパティの設定を変更した後に、複数ワクチン接種予約を管理できます。複数ワクチン接種機能には、大きく分類すると、ワクチンメソッドの自動選択とワクチンメソッドの手動選択があります。

i 注:

最初の予約が完了している場合、メソッドを変更することはできません。ただし、最初の投与を再スケジュールするときにメソッドを変更できます。予約を再スケジュールしているときにメソッドを変更すると、2 回目の投与にも自動的に適用されます。

他の基準の中で、複数ワクチンメソッドは、メソッドの適格性基準で年齢グループを指定することで、年齢ベースの適格性とアサインもサポートします。メソッドのリストは、複数のワクチンメソッドを利用できる場合にのみ表示されます。

たとえば、60 歳以上のグループのみが Pfizer ワクチン接種を受ける対象であるとして、この年齢グループに属していない場合、可用性に関係なく、Pfizer ワクチンはアサインされません。代わりに、システムは、プログラムとメソッドに対して定義された適格基準を満たす他のメソッドを評価します。

メソッドの自動選択

i 注:

ワクチン接種メソッドの自動選択は、`sn_vaccine_sm.enable_inventory_management` システムプロパティ値が **true** の場合にのみ適用されます。

予約をしようとすると、システムは、メソッド選択と在庫の可用性の順序に基づいてワクチンのメソッドを自動アサインします。つまり、在庫管理システムのプロパティ (`sn_vaccine_sm.enable_inventory_management`) が **true** の場合、ワクチン接種要求は、在庫の可用性の順序が最も小さいメソッドを自動アサインします。

たとえば、ワクチン接種センターの在庫に Moderna ワクチンがある場合、Pfizer が順序が最も小さいメソッドであっても、要求は Pfizer ではなく Moderna を使用して作成されます。

メソッドの手動選択

予約時に希望するワクチン接種メソッドを、手動で選択できます。メソッドの手動選択は、ワクチン在庫管理の有無にかかわらず機能します。

スロット選択システムのプロパティ (`sn_vaccine_sm.enable_appointment_slot_choice`) が **false** の場合、選択したワクチンメソッドが優先として維持されます。2 回目の投与が利用可能でない場合、システムは同じメソッドがある最も近いワクチン接種センターのスロットを予約します。たとえば、ワクチン接種サイトを選択し、そのサイトで Pfizer ワクチンの在庫が 1 週間分しかない場合、2 回目の接種では同じメソッドがある最も近いセンターが選択されます。

i 注:

機能を適切に実行するには、在庫管理システムプロパティ (`sn_vaccine_sm.enable_inventory_management`) と複数ワクチン接種システムを有効にするプロパティ (`sn_vaccine_sm.enable_multi_vaccine`) の両方の値を **true** にしてください。

以前の投与が完了した後での投与の予約

ワクチンの全投与の予約を一括予約とセルフサービスの両方で有効にするか、または、最初の投与の予約を、最初の投与が接種された後の予約とともに有効にするかを定義します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > 管理 > プロパティ**。

`sn_vaccine_sm.book_subsequent_doses` プロパティの場合：

- **true** に設定されている場合、一括スケジューリングとセルフサービスの両方で、ワクチンの全投与の予定が登録済みになります。
- **false** に設定されている場合、最初の投与の予約のみが登録され、その後の予約は前の投与が接種された後でのみ登録されます。

2. [保存] をクリックします。

のプライバシーポリシー設定 **Vaccine Administration Management**

ユーザーは、ポータルへの Vaccine Administration Management 登録時にプライバシーに関する同意を提供する必要があります。

契約条件データの移行修正スクリプトは、ポリシーを自動的に承認Vaccine Administration Managementした既存のユーザーを新しいヘルスケアとライフサイエンスポリシーに移動するために使用されます。

プライバシー ポリシー設定の構成の詳細については、「[患者ポータルのプライバシー ポリシー設定の構成](#)」を参照してください。

ワクチン接種通知メールのカスタマイズ

ワクチン接種の予約についてユーザーに送信されるワクチン接種通知メールをカスタマイズします。カスタマイズを使用すると、ワクチン接種予約の更新など、アクティビティに関する情報をユーザーに継続的に提供できます。

Vaccine Administration Management には以下のメール通知が含まれています。

メール通知

メール通知	説明
ワクチン接種の予約確認	予約が作成されたとき、確認としてユーザーに送信されるメール通知。
ワクチン接種の予約リマインダー	スケジュールされた予約の前に、ユーザーに送信されるメールのリマインダー。
ワクチン接種の予約キャンセル	予約がキャンセルされたとき、ユーザーに送信されるメール通知。
ワクチン接種予約のスケジュール変更	予約が再スケジュールされたとき、ユーザーに送信されるメール通知。

メール通知は、予約が作成、キャンセル、または再スケジュールされると、自動的にユーザーに送信されます。通知は変更せずに使用できます。ただし、sn_vaccine_sm.admin ロールを持つユーザーとして、組織に合わせてカスタマイズすることもできます。メール通知の作成と編集の詳細については、「[メール通知を作成する](#)」を参照してください。

ワクチン接種の一括予約

ユーザーがセルフサービスポータルで予約を個別に要求するのではなく、複数のユーザーに対して同時に予約をスケジュール設定します。

始める前に

移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > プロパティ。

システムのプロパティ [sys_property] テーブルで、次のプロパティ値を設定します。

システムプロパティテーブル

プロパティ	説明
sn_vaccine_sm.vaccine.management.booking.max_distance	ユーザーの希望するセンターに空いている予約枠がない場合に、空いているワクチン接種場所を検索する場合の最長距離 (Km)。 デフォルト値は 50 です。
sn_vaccine_sm.vaccine.management.booking.distance_unit	ワクチン接種予約の一括予約の際に考慮する距離の測定単位。オプションは mi および km です。 デフォルト値は mi です。

システムプロパティテーブル (続く)

プロパティ	説明
sn_vaccine_sm.vaccine.management.booking.max_locations	<p>ユーザーの希望する場所に空いている予約枠がない場合に、別の場所を検索する場合の最大件数。このプロパティの値を大きくすると、一括予約を完了するまでにかかる時間が長くなります。</p> <p>デフォルト値は 5 です。</p>

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin および admin

このタスクについて

i 重要:
現在、一括予約では在庫ベースのスケジューリングはサポートされていません。

手順

- 一時テーブルを作成します。
テーブルは次のいずれかである必要があります。
 - sys_user を拡張します。
 - i 注:**
テーブルの拡張の詳細については、「[テーブルの作成](#)」を参照してください。
 - テーブルのユーザーフィールドには、sys_user への参照が必要です。
- 各ユーザーに対して、次のような既往歴データを一時テーブルにインポートします。
 - ユーザー
 - 希望するワクチン接種センター
 - 年齢グループ
 - 医薬品、食品、ワクチン成分、またはラテックスに対するアレルギー (はい/いいえ)
 - ワクチン接種時または接種後に深刻な副反応があったか、失神または失神しそうになったことがあるか (はい/いいえ)
 - 脳や神経系の問題の発作や病歴 (はい/いいえ)
 - 心臓病、肺疾患、喘息、腎臓病、代謝疾患 (糖尿病など)、貧血やその他の血液疾患など、長期に渡る健康障害 (はい/いいえ)
 - i 注:**
ユーザーの予約には、このデータが必要です。ユーザーがセルフサービスポータルで予約を行う場合は、予約時にこの情報を提供します。admin ロールのユーザーが複数ユーザーの一括予約を行う場合は、代わりにデータをインポートする必要があります。

データのインポートの詳細については、「[インポートセット](#)」を参照してください。
- 移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > 一括予約の構成 をクリックし、[新規] をクリックします。

4. 構成に含むユーザーを示す名前を入力します。
5. [プログラム] フィールドで、予約するワクチン接種プログラムを選択します。
6. [テーブル名] フィールドで、作成した一時テーブルを選択します。
7. 次のフィールドで、一時テーブルから対応する列を選択し、一時テーブルからのユーザーデータをユーザーの予約にマッピングします。
 - 既往歴
 - ワクチン反応
 - 年齢グループ
 - 希望するセンター
 - ユーザー
 - 長期の既往症
 - アレルギー
8. [条件] フィールドで、予約するユーザーを定義するフィルター条件を追加します。
9. 構成を完了するには、[送信] をクリックします。
 - 構成は保存されていますが、予定はまだスケジュール設定されていません。
 - 予約されているユーザーのコンシューマーまたは患者レコードが存在しない場合、これらのレコードはユーザーに対して作成されます。

次のタスク

予定をスケジュール設定する準備ができたなら、設定レコードに戻り、[予約を処理] をクリックします。

注:

予約を処理するたびに、[一括予約ジョブ] タブに新しいレコードが作成されます。このタブを使用して、スケジュールされている予約の進捗状況を確認します。たとえば、登録された合計予約数、希望するセンターに登録されている予約、ユーザーに関して失敗した予約登録の件数などを表示できます。

指定された日付範囲内の予約をキャンセルする

指定された日付範囲内にある、その場所での複数の予約をキャンセルします。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin または sn_vaccine_sm.manager

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > 管理 > センター**。
2. 変更するワクチン接種センターレコードを開きます。
3. 指定された日付範囲内の、現在の場所にあるすべての予約を後続の投与とともにキャンセルするには、[キャンセル] をクリックします。
4. ポップアップウィンドウが表示されるので、開始日と終了日を選択して予約をキャンセルして、[はい] をクリックします。
終了日が空の場合、開始日以降のすべての予約がキャンセルされます。

Vaccine Administration Management のシステムプロパティ

Vaccine Administration Managementの登録では、次のシステムプロパティが使用されます。admin ロールを持つユーザーは、次の場所へ移動してプロパティ設定にアクセスできます。すべて > **Vaccine Administration Management** > 管理 > プロパティ。

Vaccine Administration Management のシステムプロパティ

プロパティ	説明
sn_vaccine_sm.enable_appointment_slot_choice	<p>予約スロット選択肢の有効化または無効化。</p> <p>true に設定すると、ユーザーはスロットを選択できます。false に設定すると、システムにより予約が自動的に行われます。</p> <p>デフォルト値は false です。</p>
sn_vaccine_sm.self_booking_slot_count	<p>ユーザーが自己予約で予約するためのシステムによってフェッチされるスロットの数を設定します。値が大きいほど、同時実行性の高いシナリオで予約が失敗する可能性が低くなります。</p> <p>デフォルト値は 1 です。</p> <p>i 注: システムプロパティは、sn_vaccine_sm.enable_appointment_slot_choice の値が false の場合にのみ適用されます。</p>
sn_vaccine_sm.vaccine.management.distance	<p>ワクチン接種予約の一括予約の際に考慮する距離の測定単位を定義します。オプションは mi または km です。</p> <p>デフォルト値は mi です。</p>
sn_vaccine_sm.vaccine.management.book_max_distance	<p>ワクチン接種希望のある場所に空いている予約枠がない場合に、空いているワクチン接種場所を検索する場合の最長距離 (マイル) を設定します。</p> <p>デフォルト値は 50 です。</p>
sn_vaccine_sm.vaccine.management.book_max_locations	<p>ワクチン接種希望のある場所に空いている予約枠がない場合に、別の場所を検索する場合の最大件数を設定します。このプロパティの値を大きくすると、一括予約を完了するまでにかかる時間が長くなります。</p> <p>デフォルト値は 5 です。</p>
sn_vaccine_sm.vaccine.management.default_portal	<p>Vaccine Administration Management ポータルのデフォルトプログラムを定義します。</p>
sn_vaccine_sm.book_subsequent_doses	<p>ワクチン接種の全投与の予約を一括予約とセルフサービスの両方で有効にするか、または、最初の投与の予約を、最初の投与が接種された後の予約とともに有効にします。</p>

Vaccine Administration Management のシステムプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	<p>true に設定されている場合、一括スケジュールリングとセルフサービスの両方で、ワクチンの全投与に対するの予約が行われます。false に設定されている場合、初回投与の予約のみが行われ、その後の予約は前の投与が行われた後でのみ行われます。</p> <p>デフォルト値は true です。</p> <p>後続の投与の予約の詳細については、「以前の投与が完了した後での投与の予約」を参照してください。</p>
<p>sn_vaccine_sm.enable_vam_appointments</p>	<p>Vaccine Administration Management の場所固有の予約スケジュール構成を有効にします。</p> <p>デフォルト値は true です。</p> <p>場所固有の予約構成の有効化に関する詳細については、「センターの詳細予約スケジュールを構成する」を参照してください。</p>
<p>sn_vaccine_sm.fetch_next_available_slot</p>	<p>予約カレンダーを開くときに、次に利用可能なスロットのフェッチを有効または無効にします。</p> <p>デフォルト値は true です。</p>
<p>sn_vaccine_sm.strict_check_lead_time</p>	<p>最初の利用可能な予約スロットがユーザーに表示されるまでの時間を表示します。</p> <p>true に設定すると、後続の投与のスロットは、リードタイムまたは最大時間を使用して秒単位で測定された精度で計算されます。false に設定すると、2 回目のスロットはいつでも予約できます。</p> <p>たとえば、最初の投与が 6 月 1 日午後 5 時に行われ、リードタイムが 21 日間の場合、2 回目のスロットは 6 月 22 日午後 5 時以降に予約できます。ただし、プロパティが false の場合、2 回目のスロットは 6 月 22 日のいつでも予約できます。</p> <p>このシステムプロパティは一括予約に影響します。</p> <p>デフォルト値は true です。</p>
<p>sn_vaccine_sm.enable_self_registration</p>	<p>予約の自己登録を有効または無効にします。</p> <p>true に設定すると、ユーザーは登録して、ワクチンのサインアップを実行できます。false に設定すると、既存のユーザーのみがサインアップと予約を実行できます。</p> <p>デフォルト値は true です。</p>

Vaccine Administration Management のシステムプロパティ (続く)

プロパティ	説明
sn_vaccine_sm.show_location_filters	<p>[ワクチン接種をスケジュールする] ページで、場所フィルターを表示または非表示にします。</p> <p>true に設定すると、ユーザーが共有している個人情報を使用して、希望する接種場所のリストが自動的にフィルタリングされます。ただし、希望する都道府県、市町村、または郵便番号に基づいて、他のワクチン接種場所を検索することもできます。</p>  <p>false に設定すると、場所フィルターは非アクティブになります。</p> <p>デフォルト値は true です。</p>
sn_vaccine_sm.mass_booking_parallelism	<p>一括予約の処理に使用する並列キューの数を構成します。</p> <p>許容値は 1~8 です。</p> <p>i 注: 一括予約に使用できる最大キュー数は 8 です。admin ロールを持つユーザーがプロパティを 8 より大きい値に設定した場合でも、8 つのキューのみが作成されます。</p> <p>デフォルト値は 4 です。</p> <p>一括予約並列処理の有効化の詳細については、「多数の同時実行予約の管理」を参照してください。</p>
sn_vaccine_sm.search_assistant_minimize	<p>検索アシスタントセクションを最小化し、200%ズームでも検索結果を表示します。検索アシスタントセクションを展開するには、[検索アシスタントを表示 (Show search assist)] をクリックします。</p> <p>true に設定した場合、[検索]をクリックすると、検索アシスタントセクションは自動的に最小化されます。false に設定すると、システムはデフォルトの動作に戻ります。</p>
sn_vaccine_sm.enable_inventory_management	<p>アポイントメントの場所センターで利用可能な在庫に基づくスケジュールリングを有効にします。</p>

Vaccine Administration Management のシステムプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	<p>デフォルト値は false です。</p> <p>在庫管理の有効化の詳細については、「センターの在庫ベースのスケジューリングを構成する」を参照してください。</p>
sn_vaccine_sm.im_batch_distribution_days	<p>供給ロットを配分する日数を設定します。指定された日付範囲に対して在庫を均等に配分できます。</p> <p>デフォルト値は 7 です。</p>
sn_vaccine_sm.enable_multi_vaccine_administration	<p>マルチワクチン接種のスケジュール中にメソッド選択の順序を変更します。</p> <p>true に設定すると、自動選択されるメソッドは、順序が最も小さいメソッドと在庫の可用性に基づきます。false に設定すると、順序が最も小さいメソッドが選択されます。</p> <p>i 注: システムプロパティは、sn_vaccine_sm.enable_inventory_management の値が true の場合にのみ適用されます。</p> <p>デフォルト値は false です。</p>
sn_vaccine_sm.multi_vaccine_availability_validation_days	<p>マルチワクチン選択で可用性を確認する日数を設定します。</p> <p>i 注: システムのプロパティは、sn_vaccine_sm.enable_multi_vaccine の値が true の場合にのみ適用されます。</p> <p>デフォルト値は 7 です。</p>
sn_vaccine_sm.allow_user_selection_of_vaccine_method	<p>複数ワクチンメソッドの選択を有効または無効にします。</p> <p>true に設定すると、ユーザーは予約をスケジュールおよび再スケジュールするときにメソッドを選択できます。false に設定すると、システムは sn_vaccine_sm.enable_multi_vaccine システムプロパティの設定に基づいてメソッドを自動選択します。</p> <p>デフォルト値は false です。</p>
sn_vaccine_sm.covid.test.validity_days	<p>COVID-19 検査レポートの有効期間など、感染症に使用される最大期間を日数で設定します。</p> <p>デフォルト値は [3] です。</p>

Vaccine Administration Management のシステムプロパティ (続く)

プロパティ	説明
sn_vaccine_sm.vaccine.manageCOVID-19.enableSelfReport	COVID-19 ワクチン自己報告の提出時に生成される予防接種レコードを有効または無効にします。 デフォルト値は false です。
sn_vaccine_sm.vaccine.manageCOVID-19.requiredPrograms	ワクチン接種の証明が必要なプログラムのリストを定義します。
sn_vaccine_sm.vaccine.manageCOVID-19.programIdentifiers	COVID-19 ワクチン接種プログラムなど、感染症のシステム識別子を定義します。
sn_vaccine_sm.enable_cache	アプリケーションで使用するスコープ済みキャッシュを有効または無効にします。 true に設定すると、スコープ済みキャッシュが有効になります。 false に設定すると、データはキャッシュされず、代わりにデータベースから直接照会されます。 デフォルト値は true です。

の患者ポータル の構成 **Vaccine Administration Management**

すべての構成タスクを完了して、Vaccine Administration Management (VAM) 患者ポータルがユーザーに対して正しく設定されていることを確認します。

の患者ポータル構成タスク **VAM**

タスク	説明
個人情報を送信するためのプロセスを設定します。	ユーザーがレコードプロデューサーを使用して、患者ポータルでワクチンに関する個人情報を送信できるようにするプロセスを設定します。
優先ワクチンメソッドを設定します。	ワクチン接種の予約をスケジュールするときに、希望するワクチン接種方法を設定します。
ワクチン接種センターの予約スケジュールを構成します。	利用可能な在庫に基づいて、ワクチン接種センターの詳細予約スケジュールを構成します。

ワクチンに関する個人情報を送信するプロセスの設定

レコードプロデューサーを使用して、ユーザーが患者ポータルでワクチンに関する個人情報を送信できるようにするプロセスを設定できます。

sn_vaccine_sm.admin ロールを持つユーザーは、[個人情報を入力] レコードプロデューサーを更新することで、収集されるユーザー情報を設定できます。デフォルトのレコードプロデューサーを使用

して、さらにフィールドを追加したり、独自のレコードプロデューサーを作成したりできます。レコードプロデューサーの構成方法の詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」を参照してください。

優先ワクチン接種方法の設定

ワクチン接種の予約をスケジュールするときに、希望するワクチン接種方法を設定できます。

sn_vaccine_sm.admin ロールを持つユーザーは、予約をスケジュールまたは再スケジュールするときに、システムプロパティ値を `sn_vaccine_sm.allow_user_selection_of_vaccine_method` **true** に設定することで、希望するワクチン接種方法を選択できます。

複数ワクチン予約を構成する方法の詳細については、以下を参照してください。 [複数ワクチン接種予約設定](#)

ワクチン接種センターの予約スケジュールの構成

利用可能な在庫に基づいて、ワクチン接種センターの詳細予約スケジュールを構成できます。

sn_vaccine_sm.admin ロールを持つユーザーは、レコードプロデューサーを更新する `Schedule vaccine appointment` ことでスケジュールを設定できます。レコードプロデューサーの構成方法の詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」を参照してください。

また、場所固有および在庫ベースの予約スケジュールを設定することもできます。詳細については、以下を参照してください。

- [センターの詳細予約スケジュールを構成する。](#)
- [センターの在庫ベースのスケジューリングを構成する。](#)

一括予約の自動メール通知をオフにする

まず、予約構成のデフォルト通知をオフにしてから、対応するビジネスルールをオフにして、自動メール通知をオフにします。デフォルトでは、一括予約の一部として予約がスケジュールされている場合、メール通知がユーザーに自動的に送信されます。

始める前に

必要なロール：admin または sn_vaccine_sm.admin

このタスクについて

ユーザーがセルフサービスポータルから予防接種を要求すると、メールが自動生成され、共有されます。Vaccine Administration Management で、一括スケジュール予防接種の予約のメールの送信を停止するように変更できる予約構成が提供されます。

管理者のアクセス権を利用して、組織の要件を満たすようにビジネスルールを構成し、変更することができます。

手順

予定構成のデフォルト通知をオフにします。

- 移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > 予約の構成。
- ワクチン接種予約のスケジュールレコードを開きます。
- [デフォルトの通知を無視] チェックボックスを選択します。
- [更新] をクリックします。

一括予約のメール通知のみを無効にすることはできません。一括予約のメール通知イベントを無効にすると、セルフサービス予約にも適用されます。

一括予約中のメール通知をオフにします。

- a. 移動先 システム通知 > メール > **Notifications**.
- b. ワクチン接種の予約確認レコードを開きます。
- c. [アクティブ] フィールドで、**[False]** を選択します。
- d. [更新] をクリックします。

予約リマインダーと予約前アンケートの構成

デフォルトでは、予約リマインダーはユーザーに送信されません。予約リマインダーを有効にするには、予約設定レコードで予約リマインダーを設定する必要があります。ユーザーの予約前アンケートを設定することもできます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

予約リマインダーは、指定された時間にリマインダーメールと予約前アンケートをユーザーに送信します。

手順

1. 予約リマインダーを設定するには、次の操作を行います。

- a. 移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > 予約の構成.
- b. ワクチン接種予約のスケジュールレコードを開きます。
- c. [予約リマインダー] フィールドで、リマインダー時間を選択します。

i 注:

フィールドがフォームに表示されない場合、admin ロールを持つユーザーは、フィールドが含まれるようにフォームレイアウトを構成する必要があります。フォームヘッダーで、フォームコンテキストメニューアイコン (☰) をクリックします。移動先 構成 > フォームレイアウト をクリックし、[予約リマインダー] フィールドを [選択済み] リストに移動して、[保存] をクリックします。

デフォルトでは、予約リマインダーはユーザーに送信されません。ユーザーにメールリマインダーを受信させたい場合は、予約リマインダーと予約前アンケートの両方の構成が必要です。

d. [更新] をクリックします。

2. 予約前アンケートを構成します。

- a. 移動先 **Vaccine Administration Management** > 管理 > 予約前アンケート.
予約前アンケートレコードプロデューサーが表示されます。
- b. [変数セット] 関連リストで、予防接種前のスクリーニングレコードを開きます。
[Pre-vaccination screening (予防接種前のスクリーニング)] 変数セットが表示されず。
- c. [変数] 関連リストで、アンケートの変数を作成または更新します。
変数の設定方法の詳細については、「[サービスカタログ変数](#)」を参照してください。



d. [Update (更新)] をクリックします。

仮想エージェント **Vaccine Administration Management** の会話

仮想エージェント 会話により、ユーザーはワクチン接種プロセスのヘルプを得ることができます。

仮想エージェント プラグイン (com.glide.cs.chatbot) がインストールされている場合、Vaccine Administration Management は 仮想エージェント 会話トピックを提供します。会話トピックにより、目標を達成するための 仮想エージェント (チャットボット) とユーザーとの対話が定義されます。

会話トピック

トピック	説明	デフォルトステータス
予約	<p>ユーザーがチャットボットを通じて予防接種を予約できるようにします。</p> <p>このトピックで尋ねられる質問は、セルフサービスポータルで予約する際にユーザーが回答する必要があるデフォルトの質問です。</p> <p>注: このトピックは、プレースホルダーの会話トピックです。質問は、要件に応じて変更できます。</p>	非アクティブ
自分の予防接種フェーズの適格性	<p>予防接種の適格性についてユーザーに知らせ、ユーザーが対象になる場合は予約できるようにします。</p> <p>注: このトピックは、プレースホルダーの会話トピックです。質問は、要件に応じて変更できます。</p>	アクティブ

会話トピック (続く)

トピック	説明	デフォルトステータス
COVID-19 ワクチンリソース	<p>対象となる ナレッジ 記事をユーザーに表示します。</p> <p>i 注: このトピックを使用するには、ServiceNow[®] サービス管理 Topic Blocks プラグイン (com.glideapp.cs.sm_topic_blocks) をアクティブ化する必要があります。</p> <p>このトピックに示されている記事は、キーワードで設定されています。デフォルトでは、トピックには「ワクチン」というキーワードが含まれるすべての記事が表示されます。キーワードを変更するには、ServiceNow 仮想エージェントデザイナー でこのトピックに移動します。トピックで、[Contextual Search] ブロックをクリックします。[トピックブロックのプロパティ] パネルで、[クエリ] フィールドの値を新しいキーワードに設定します。</p>	非アクティブ
COVID-19	<p>ユーザーがトピックブロックを使用してワクチン接種ステータスと COVID-19 テスト結果を報告できるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワクチン接種ステータスの報告：ユーザーがワクチン接種ステータスを報告できます。 <p>i 注: このトピックは、プレースホルダーの会話トピックです。質問は、要件に応じて変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COVID-19 テスト結果の報告：ユーザーは COVID-19 テスト結果を報告できます。 <p>i 注: このトピックは、プレースホルダーの会話トピックです。質問は、要件に応じて変更できます。</p> <p>未登録ユーザーである未ログインユーザーは、ワクチン接種ステータスまたは COVID-19 テスト結果を自己報告する前に、姓名およびメールアドレスを入力する必要があります。</p> <p>ユーザーがワクチン接種ステータスまたは COVID-19 検査結果を報告すると、ユーザーのメール ID にメール通知が自動的に送信されます。</p>	アクティブ

自動翻訳

会話トピックをアクティブ化、非アクティブ化、または編集するには、次に移動します **Collaboration** > 仮想エージェント > デザイナー. [トピック] ページで、[予防接種管理] カテゴリを選択します。更新したいトピックをクリックします。[アクティブ] トグルボタンを使用して、トピックをアクティブ化または非アクティブ化します。

スキップされた予約レコードのために予約を再試行する

データが欠落しているために、予約が失敗したかスキップされたユーザーのスキップされた予約レコードの予防接種要求を予約します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin

手順

1. 移動先 **すべて > ワクチン投与 > 管理 > 一括予約の構成**.
2. 要件に基づいて、一括予約構成レコードを検索して開きます。
[ワクチン接種要求] タブに作成された要求と予約が表示されます。
3. データを修正し、[予約を再試行する] をクリックします。
[予約を再試行する] オプションは、最初に選択したユーザーに対してのみ実行されます。別の選択を行う場合は、新しい構成を作成してください。

タスクの結果

作成されたすべての要求と予約が、[ワクチン接種要求] タブに表示されます。

検索アシスタントに表示される検索フィールドを暗号化する

検索フィールドを暗号化して、名、姓、電話以外のフィールドから検索します。検索フィールドを暗号化することで、検索アシスタントに表示されるように構成できます。

始める前に

必要なロール：security_admin

このタスクについて

組織の要件に基づいて、番地、市区町村、都道府県、郵便番号などのフィールドを暗号化できます。復号化されたフィールドは、検索アシスタントで非表示になります。デフォルトでは、名、姓、電話のフィールドがユーザーに表示されます。

手順

1. 移動先 **すべて > システムセキュリティ > フィールド暗号化 > 暗号化フィールドの設定**.
2. [検索] フィールドに「sn_vaccine_sm_personal_info」と入力します。
[暗号化フィールド構成] テーブルには、複数の sn_vaccine_sm_personal_info フィールドが表示されます。
3. [アクティブ] 列を右クリックして、[アクティブによるグループ化 (**Group By Active**)] を選択します。
4. [アクティブ] フィールドで、[**False**] を選択します。
5. [更新] をクリックします。
6. フィールドを暗号化または復号化するには、必要に応じて手順 3 ~ 5 を繰り返します。

多数の同時実行予約の管理

複数の並列キューを管理して、一括予約の実行を並列モードで処理できるようにします。単一ノードの負荷を維持するのではなく、一括予約イベントプロセッサを異なるノードに分散できます。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.admin

このタスクについて


`sn_vaccine_sm.mass_booking_parallelism` プロパティは、並列モードで予約フローを実装するのに役立ちます。並列処理では、ジョブはワクチン接種センターごとに個別のイベントを作成します。これは、使用可能な並列キューにイベントを均等にディスパッチするのに役立ちます。合計 8 つの一括予約イベントプロセッサがあります。

注:

一括予約に使用できる最大キュー数は 8 です。admin ロールを持つユーザーがプロパティを 8 より大きい値に設定した場合でも、8 つのキューのみが作成されます。ただし、デフォルト値は 4 に設定されています。

パフォーマンス関連の問題を回避するには、特定のノードに固定するための構成変更が必要です。admin ロールを持つユーザーは、特定のノードに固定するスレッドを選択して、すべてのノードに負荷が均等に分散されるようにすることができます。たとえば、マルチノードインスタンスを使用している場合は、Sys ID フィールドを使用して一括予約イベントプロセッサをヒットさせる特定のノードを選択することで、特定のノードに固定するように構成を変更できます。この構成変更により、システムパフォーマンスを向上させることができます。

手順

- ナビゲーションフィルターで、「`sys_trigger.list`」と入力します。
- [検索] フィールドに、「*一括予約イベントプロセッサ」と入力します。
スケジュールテーブルには、8 つの一括予約イベントプロセッサレコードが表示されます。
- オプション: マルチノードインスタンスがある場合は、一括予約イベントプロセッサレコードを見つけて、[Sys ID] 列フィールドからノードを選択します。
- [Sys ID] フィールドの空の領域をダブルクリックします。
 - 利用可能なノードのリストからノードを選択します。
 - 緑色のチェックマークアイコン () をクリックして、レコードを保存します。
一括予約イベントプロセッサレコードは、特定のノードにアサインされます。
- 異なる一括予約イベントプロセッサレコードを特定のノードにアサインするには、必要に応じて手順 3 と手順 4 を繰り返します。

多数の同時実行ワクチンイベントの処理の管理

複数の並列キューを管理して、ワクチンイベントの実行を並列モードで処理できるようにします。単一ノードの負荷を維持するのではなく、ワクチンキューイベントプロセスを異なるノードに分散できます。

始める前に

必要なロール: `sn_vaccine_sm.admin`

このタスクについて

ワクチンキューイベントプロセスフローは、並列モードで実装できます。並列処理では、ジョブはワクチンキューごとに個別のイベントを作成します。この処理は、単一ノードで処理されず、すべてのアクティブなノードにイベントを分散するのに役立ちます。

手順

- ナビゲーションフィルターで、「`sys_trigger.list`」と入力します。
- [検索] フィールドに、「*vaccine キューイベントプロセス」と入力します。
- ワクチンキューイベントプロセスレコードを選択します。
- [Sys ID] フィールドを [アクティブなノード] に設定します。

5. [更新] をクリックします。

この構成では、各ノードに複数の sys_trigger レコードが作成されます。

ユーザーおよび臨床スタッフポータルアンケートテキストの構成

Vaccine Administration Management のユーザーおよび臨床スタッフポータルに表示されるアンケートテキストを構成します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて > カタログ > カタログ定義 > カタログの管理](#).
2. ワクチン接種カタログレコードを開きます。
3. [カタログアイテム] 関連リストから、次のカタログアイテムから対応する変数を更新することで、アンケートテキストを更新します。

i 注:

アンケートテキストは、次のカタログアイテムと変数に配布されます。

ワクチン接種カタログ

カタログアイテム	変数セット	変数
予約前アンケート	ワクチン接種前のスクリーニング	recently_sick
		recent_vaccination
		pregnant
ワクチン接種のスケジュール	問診	long_term_health_issues
		long_term_health_history
		any_reaction
		any_infections
個人情報を入力	人口統計情報	age_group

変数の設定方法の詳細については、「[サービスカタログ変数](#)」を参照してください。

i 重要:

- アンケートテキストを更新すると、ユーザーポータルと臨床スタッフポータルの両方でそのテキストが更新されます。
- 変数を非アクティブ化すると、質問はユーザーポータルと臨床スタッフポータルの両方で非表示になります。
- 質問を作成している場合、新しい質問はデフォルトで臨床スタッフポータルに表示されません。また、次に移動してvaccine_questionnaire前ウィジェットを更新する必要があります。すべて > サービスポータル > ウィジェット. ウィジェットの設定方法の詳細については、「サービスポータルウィジェット」[📄](#)を参照してください。

4. [Update (更新)] をクリックします。

スコープ指定キャッシュを有効にするプロパティの構成**VAM**

グローバルキャッシュの代わりにスコープ指定キャッシュを使用して Vaccine Administration Management、アプリケーションのパフォーマンスを向上させます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

リリース前 Tokyo は VAM、アプリケーションはグローバル・キャッシュを使用していました。グローバルキャッシュを使用している既存のユーザーが、スコープ指定キャッシュを使用してアプリケーションのパフォーマンスを向上させたい場合は、最初にシステムプロパティを設定して有効にする必要があります。

i 注:

このリリースの Tokyo 新規ユーザーの場合、スコープ指定キャッシュはデフォルトで有効になっています。

手順

1. ナビゲーションフィルターに、「sys_properties.list」と入力します。
2. `sn_vaccine_sm.enable_cache` を検索します。
3. [値] フィールドに「true」と入力して、スコープ指定キャッシュを有効にします。
4. **[Update (更新)]** をクリックします。

の暗号化オプション **Vaccine Administration Management**

Vaccine Administration Management は、機密情報を保護するための暗号化サポートを提供します。

暗号化により、権限のないユーザーが機密性の高い医療データを表示するのを防ぎます。

列レベル暗号化エンタープライズのNow PlatformオプションはアプリケーションでVaccine Administration Managementサポートされています。

列レベル暗号化エンタープライズ

列レベル暗号化エンタープライズ は、暗号化のサポートと比較して強化された暗号化機能を提供し、Key Management Framework (KMF) を利用します。

管理者がアプリケーションをインストールする Vaccine Administration Management と、機密フィールドを暗号化するための暗号化モジュールと暗号化設定も KMF とともに自動的にインストー

ルされます。インスタンスで ServiceNow 暗号化操作を管理および監査する場合、管理者はオプションで 列レベル暗号化エンタープライズ プラグイン (com.glide.now.platform.encryption) を有効にすることを選択できます。の入手 列レベル暗号化エンタープライズ方法の詳細については、「[Column Level Encryption Enterprise のアクティブ化](#)」を参照してください。親暗号化モジュールの選択の詳細については、「[暗号化モジュールの作成](#)」を参照してください。

Vaccine Administration Management 暗号化フィールド

sn_vaccine_sm_personal_info	職業
sn_vaccine_sm_personal_info	preferred_id
sn_vaccine_sm_personal_info	zip
sn_vaccine_sm_personal_info	州
sn_vaccine_sm_personal_info	healthcare_worker
sn_vaccine_sm_personal_info	age_group
sn_vaccine_sm_personal_info	gender
sn_vaccine_sm_personal_info	country
sn_vaccine_sm_personal_info	民族
sn_vaccine_sm_personal_info	other_occupation
sn_vaccine_sm_personal_info	street
sn_vaccine_sm_personal_info	city
sn_vaccine_sm_questionnaire	recently_sick
sn_vaccine_sm_questionnaire	recent_vaccination
sn_vaccine_sm_questionnaire	any_other_comments
sn_vaccine_sm_questionnaire	pregnant
sn_vaccine_sm_request	age_group

Vaccine Administration Management 暗号化フィールド (続く)

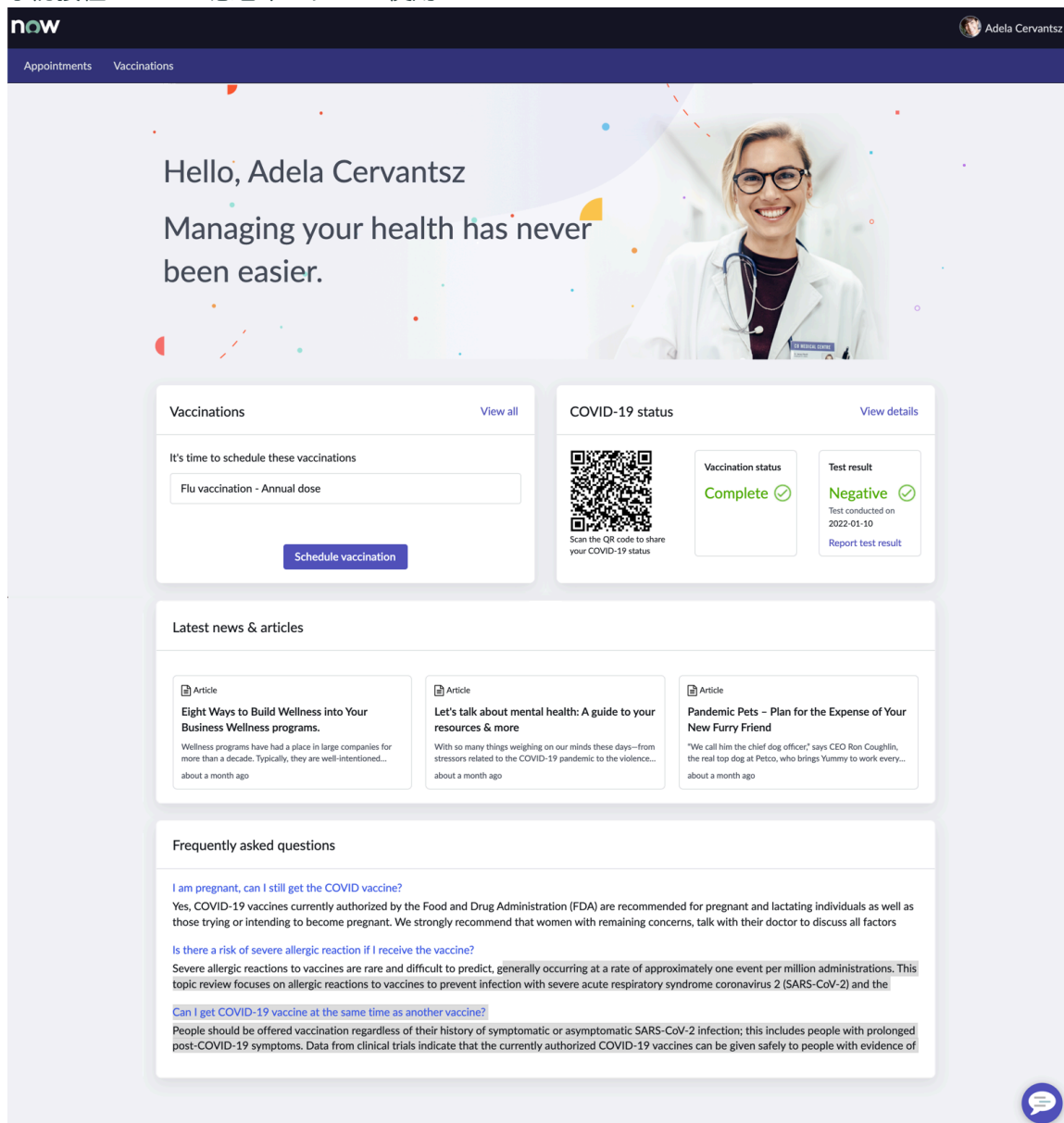
sn_vaccine_sm_request	any_infections
sn_vaccine_sm_request	long_term_health_issue_details
sn_vaccine_sm_request	health_history
sn_vaccine_sm_request	any_reaction
sn_vaccine_sm_request	long_term_health_issues

Vaccine Administration Management の使用

ユーザー、臨床スタッフ、およびプロバイダー管理者が Vaccine Administration Management を使用する方法について説明します。

患者ポータルを使用した予防接種プログラムへの登録

sn_vaccine_sm.user ロールを持つユーザーは、予防接種プログラムの登録、個人情報の提供、予防接種の予約のスケジュール設定と管理、健康状態の更新などをすべて、1 つのセルフサービスポータル内から行うことができます。



ランディングページの COVID-19 ステータスウィジェットには、ワクチン接種ステータスと COVID-19 テスト結果に関するすべての情報が表示されます。

QR コードをスキャンして、接種状況と検査結果の詳細 (接種状況、ワクチン接種日、ワクチン接種状況、ワクチン接種方法、検査結果など) を共有できます。[詳細を表示] をクリックして、ワクチン接種ステータスと COVID-19 テスト結果の詳細を表示することもできます。

患者として登録する

患者ポータルでアカウントを作成し、アプリケーションもインストールVaccine Administration Managementしている場合は、自分と他の世帯員の予防接種をスケジュールできます。

個人情報の入力

患者ポータルでの個人情報の入力

登録が完了すると、組織によって予約スケジュールの対象となるタイミングを判断するために利用される個人情報を提供できます。

後でポータルにログインすると、ランディングページの [推奨されるワクチン] セクションで、対象となるワクチンや、まだスケジュールしていないワクチンを確認できます。ワクチン接種履歴も表示できます。

The screenshot shows a web form titled "Enter your personal info" within the ServiceNow patient portal. The form is designed to collect information for scheduling vaccinations. It includes the following sections:

- Your work situation:** A question asks, "Do you work in a job where you currently interact with people in person?" with radio button options for "Yes" and "No".
- Your demographic info:** This section contains three sub-sections:
 - Your date of birth:** A text input field with a placeholder "YYYY-MM-DD" and a calendar icon.
 - Your gender:** Radio button options for "Male", "Female", and "Other".
 - Your ethnicity:** Radio button options for "Hispanic or Latino", "Black or African American", "Native American", "Decline to say", "Asian American", "White", and "Other".

予防接種のスケジュールと管理

患者ポータルでのワクチンのスケジュールと管理

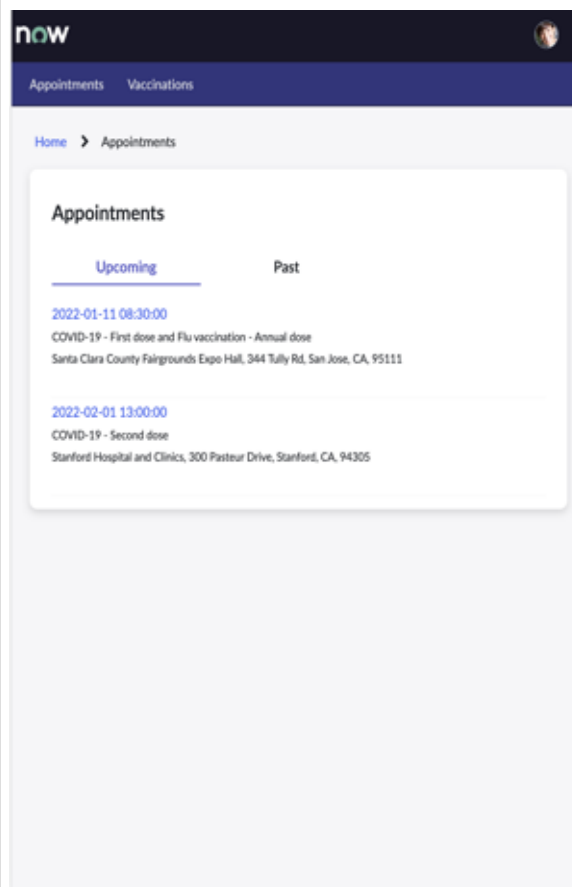
対象となる場合は、予防接種の予約をスケジュールします。

希望するワクチンメソッドを選択できます。ただし、利用できるかどうかは、メソッドの選択順序と在庫の可用性によって決定します。

複数の投与で同じワクチン接種場所を選択することも、投与ごとに異なるワクチン接種場所を選択することもできます。予約をスケジュールすると、QRコード付きの予約確認がメールで送信されます。

患者ポータルでのワクチンのスケジュールと管理 (続く)

今後のすべての予約を表示します。



患者ポータルでのワクチンのスケジュールと管理 (続く)

個々の予約の詳細を表示します。

また、次のこともできます。

- 予約の再スケジュール

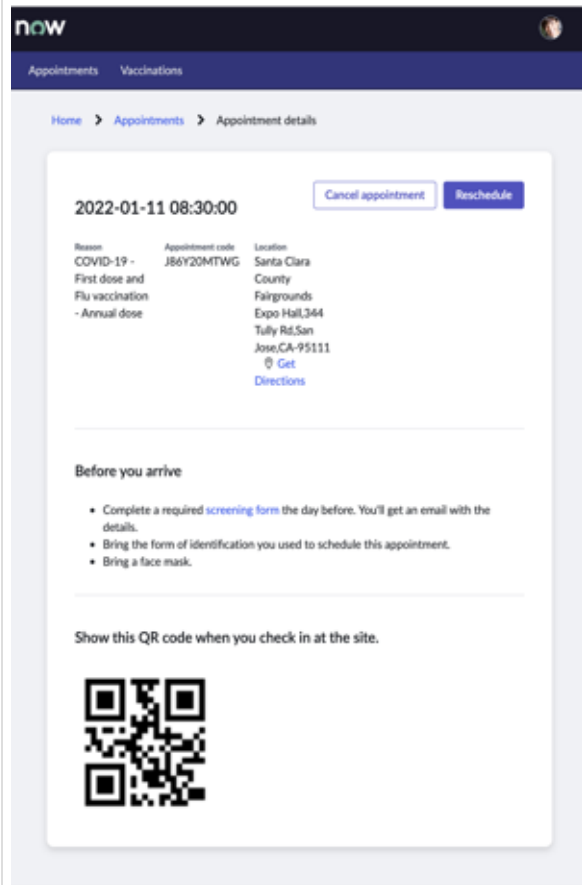
i 注:

複数投与のワクチン接種プログラムで最初の予約が完了している場合、メソッドを変更することはできません。ただし、最初の投与を再スケジュールするときにメソッドを変更できます。予約を再スケジュールしているときにメソッドを変更すると、後続の投与にも自動的に適用されます。

- 複数の予約に異なる場所を選択
- 予約のキャンセル

i 注:

予約をキャンセルすると、その予防接種プログラムのすべての未完了の予約がキャンセルされます。たとえば、3回の予防接種プログラムの2回目の予約をキャンセルした場合、2番目と3番目の予約は両方ともキャンセルされます。



健康状態の更新の提供

患者ポータルで健康状態を更新

ポータルで健康状態の更新を提供します。また、組織には、ワクチン接種の予約前の指定された時間に予約リマインダーと予約前アンケートを送信するオプションがあります。

The screenshot shows a web interface for a 'Pre-appointment questionnaire'. The header includes the 'now' logo and navigation links for 'Appointments' and 'Vaccinations'. The breadcrumb trail is 'Home > Pre-appointment questionnaire'. The main content area is titled 'Pre-appointment questionnaire' and contains the text: 'The vaccination site needs to screen everyone before their staff administer vaccines.' Below this is a section titled 'Pre-vaccination screening' with three questions, each with radio button options:

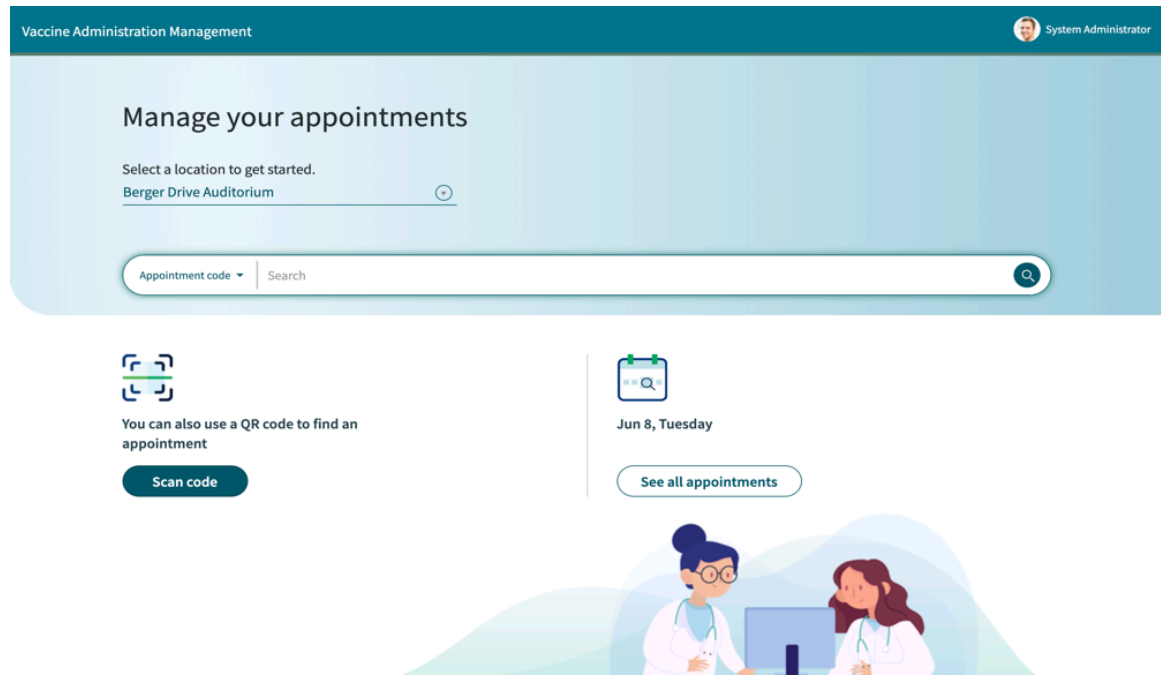
- Have you had a fever or felt ill in the past 48 hours?
 - Yes
 - No
- Have you received any vaccinations in the past four weeks?
 - Yes
 - No
- Are you pregnant or expecting to be pregnant during the next month?
 - Not Applicable
 - Yes
 - No

Below the questions is a text input field labeled 'Any other comments?'. At the bottom of the form is a blue 'Submit' button.

自動翻訳

臨床スタッフポータルを使用したユーザーの予防接種の予約の検索と管理

sn_vaccine_sm.clinician ロールを持つユーザーは、ユーザーのワクチン接種の予約の検索、特定の場所の今後のすべての予約の表示、ワクチン接種レコードの表示と操作、予約の未接種としてのマーク、予約のキャンセルなどをすべて 1 つのポータル内から行うことができます。



注:

臨床スタッフポータルは、タブレットとモバイルの両方に最適化されています。ただし、モバイルビューでは、一括更新のために一度に複数の予約を選択する機能が現在サポートされていません。

ワクチン接種の予約を検索し

予防接種の予約のスクリーニング

説明	スクリーン
<p>臨床スタッフは、ユーザーの QR コードをスキャンするか、コードを手動で入力するか、ポータルで予約を検索することで、予防接種の予約を見つけることができます。</p> <p>臨床スタッフは、リストから特定の場所の予約を表示できます。予定されている予約をすべて表示するには、[すべての予約を表示] をクリックします。今後の予約には、選択した場所でのその日の全予約と、前の時間の予約が含まれます。たとえば、臨床スタッフが午前 9:00 に今後の予約を表示した場合、その日の午前 8:00 時から終了時刻までのアサイン済み予約がすべて表示されます。</p> <p>臨床スタッフが場所を選択すると、セッション全体を通じて選択されたままになります。</p>	 <p>The screenshot shows a web interface titled "Vaccine Administration Management". The main heading is "Manage your appointments". Below this, there is a section "Select a location to get started." with a dropdown menu currently showing "Berger Drive Auditorium". There is also a search bar with "Appointment code" and a "Search" button. Below the search bar, there are two main options: "You can also use a QR code to find an appointment" with a "Scan code" button, and "Jun 8, Tuesday" with a "See all appointments" button. At the bottom, there is an illustration of two healthcare workers at a computer.</p>

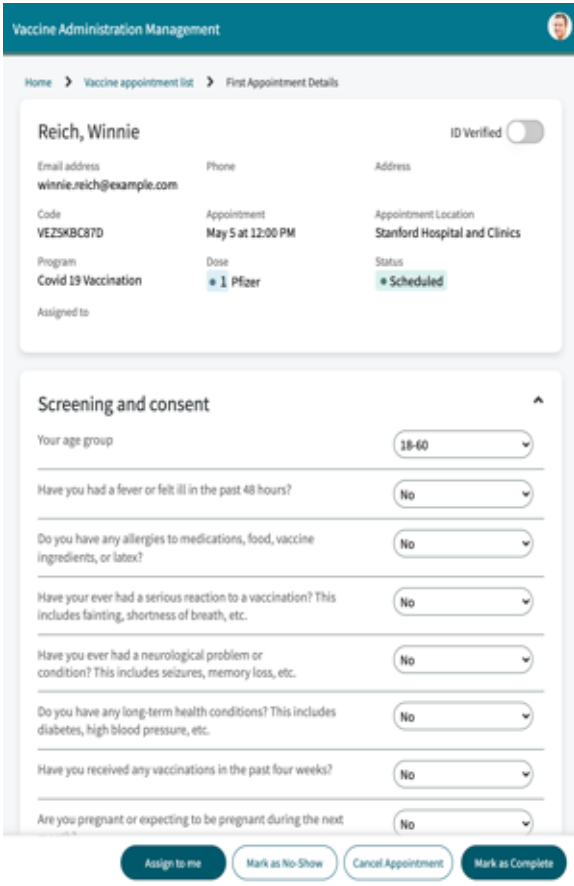
予約を表示および検索する

予約の表示と検索の画面

説明	スクリーン																				
<p>臨床スタッフは、リストビューで特定の場所の全予約を表示し、名前でユーザーを検索し、予約をフィルタリングできます。デフォルトでは、予約フィルターの日付は 1 週間の時間に設定されます。</p> <p>i 注: 名前による検索フィルターを使用すると、臨床スタッフは登録されているユーザーに対して予約された予約のみを表示できます。ただし、臨床スタッフは内部ユーザーの QR コードをスキャンしてワクチンを投与することはできません。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Vaccine Administration Management' interface. At the top, there is a search bar labeled 'Search by name' and a date range filter set to '2021-09-02' to '2021-09-09'. Below the search bar is a table with the following columns: Name, Appointment, Code, Vaccine, and State. The table contains three rows of data, each with a checkbox in the Name column and a 'Scheduled' status in the State column.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Name</th> <th>Appointment</th> <th>Code</th> <th>Vaccine</th> <th>State</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> Mushtaq, Aqib</td> <td>Sep 2 at 08:00 AM</td> <td>6P04AAMJHZ</td> <td>Covid 19 Vaccination - First dose</td> <td>Scheduled</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> Akhtar, Bushra</td> <td>Sep 2 at 08:00 AM</td> <td>PK9HPSK07B</td> <td>Covid 19 Vaccination - First dose</td> <td>Scheduled</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> Hajarha, Arya</td> <td>Sep 2 at 08:00 AM</td> <td>UEWNEDEBKN</td> <td>Covid 19 Vaccination - First dose</td> <td>Scheduled</td> </tr> </tbody> </table>	Name	Appointment	Code	Vaccine	State	<input type="checkbox"/> Mushtaq, Aqib	Sep 2 at 08:00 AM	6P04AAMJHZ	Covid 19 Vaccination - First dose	Scheduled	<input type="checkbox"/> Akhtar, Bushra	Sep 2 at 08:00 AM	PK9HPSK07B	Covid 19 Vaccination - First dose	Scheduled	<input type="checkbox"/> Hajarha, Arya	Sep 2 at 08:00 AM	UEWNEDEBKN	Covid 19 Vaccination - First dose	Scheduled
Name	Appointment	Code	Vaccine	State																	
<input type="checkbox"/> Mushtaq, Aqib	Sep 2 at 08:00 AM	6P04AAMJHZ	Covid 19 Vaccination - First dose	Scheduled																	
<input type="checkbox"/> Akhtar, Bushra	Sep 2 at 08:00 AM	PK9HPSK07B	Covid 19 Vaccination - First dose	Scheduled																	
<input type="checkbox"/> Hajarha, Arya	Sep 2 at 08:00 AM	UEWNEDEBKN	Covid 19 Vaccination - First dose	Scheduled																	

予約を表示して作業する

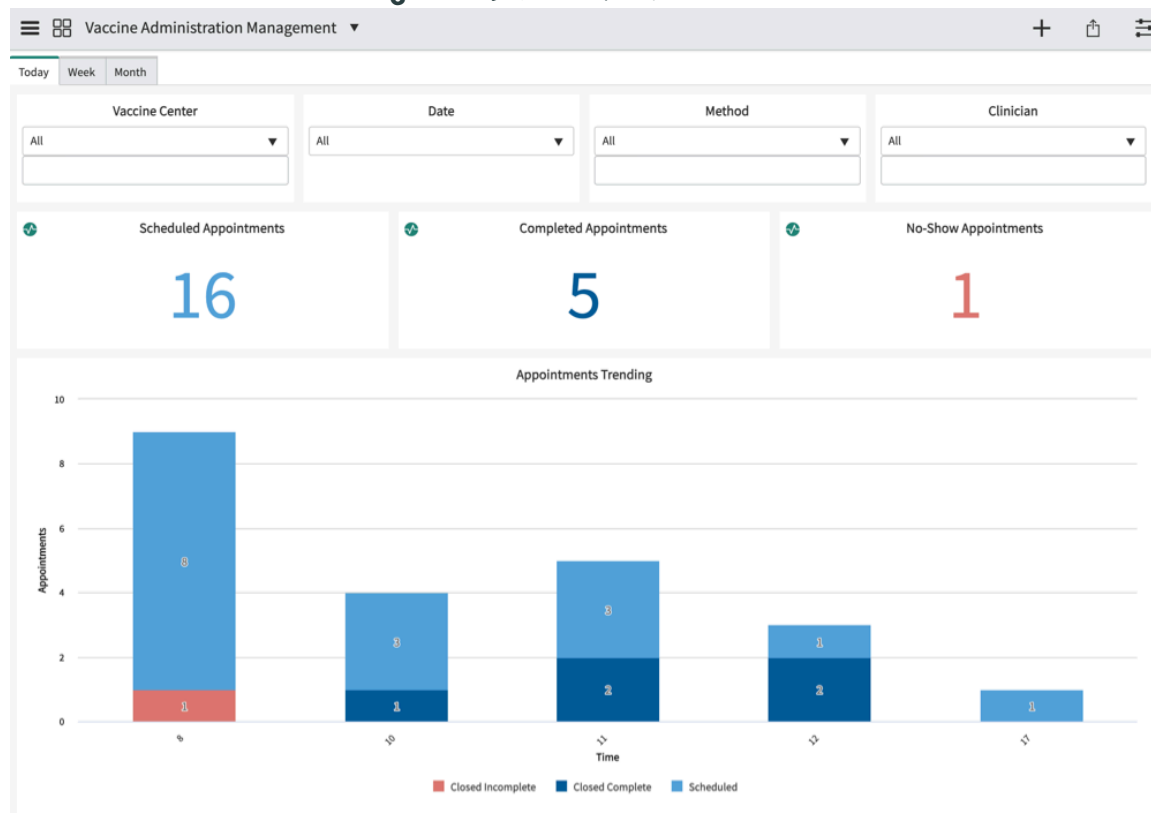
予約の表示と作業の画面

説明	スクリーン
<p>臨床スタッフは、予約レコードを表示して次のような作業を行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーの ID の確認 • ユーザーの詳細の検証 • 検診の質問の入力 • ワクチンが適切に投与されていることを確認します。 <p>同じ予約で複数のワクチンが予約されており、臨床スタッフが 1 つのみワクチンを投与した場合でも、臨床スタッフは詳細をキャプチャできます。後で、ユーザーは未接種のワクチンを予約できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コメントと作業メモの提供 • ユーザーが口頭でワクチン接種に同意していることを確認 • ユーザーにワクチンに関する情報が提供されたことを確認 • 自分への予約の割り当て • 予約を未接種としてマーク • 予約のキャンセル • 予定を完了としてマーク <p>注: 臨床スタッフがワクチン接種の予約を完了とマークすると、ユーザーに対して予防接種レコードが作成され、予防接種 (sn_hcls_administration) テーブルに保存されます。</p>	 <p>The screenshot shows the 'Vaccine Administration Management' dashboard. The top navigation bar includes 'Home', 'Vaccine appointment list', and 'First Appointment Details'. The main content area displays the details for a user named 'Reich, Winnie', including their email address (winnie.reich@example.com), phone number, and address. It also shows the appointment code (VEZ5KBC87D), the appointment date and time (May 5 at 12:00 PM), the appointment location (Stanford Hospital and Clinics), the program (Covid-19 Vaccination), the dose (1 Pfizer), and the status (Scheduled). Below this, there is a 'Screening and consent' section with several dropdown menus for questions such as 'Your age group', 'Have you had a fever or felt ill in the past 48 hours?', 'Do you have any allergies to medications, food, vaccine ingredients, or latex?', 'Have you ever had a serious reaction to a vaccination?', 'Have you ever had a neurological problem or condition?', 'Do you have any long-term health conditions?', 'Have you received any vaccinations in the past four weeks?', and 'Are you pregnant or expecting to be pregnant during the next'. At the bottom of the screen, there are four buttons: 'Assign to me', 'Mark as No-Show', 'Cancel Appointment', and 'Mark as Complete'.</p>

Vaccine Administration Managementダッシュボード

Vaccine Administration Management ダッシュボードを使用して、ワクチン接種の予約を日別、週別、月別に表示できます。スケジュール済み、完了済み、未接種の予約を表示できます。さらにワクチンセンター、日付、メソッド、臨床スタッフで予約をフィルタリングできます。

Vaccine Administration Managementダッシュボード



必要な Now Platform ロール

- ダッシュボードとレポートを表示および編集するには、sn_vaccine_sm.report_manager ロールが必要です。
- ダッシュボードとレポートを表示するには、sn_vaccine_sm.report_viewer ロールが必要です。

Vaccine Administration Management ダッシュボードにアクセスします。

ダッシュボードを開くには、次の場所へ移動します。 **Vaccine Administration Management > ダッシュボード**。

ユースケース





組織内のさまざまなユーザーがこのダッシュボードをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ダッシュボードの Vaccine Administration Management ユースケース

ユーザー	ダッシュボードの使用法
Vaccine Administration Management ダッシュボードマネージャー	Vaccine Administration Management ダッシュボードを表示および編集できます。
Vaccine Administration Management ダッシュボードビューアー	Vaccine Administration Management ダッシュボードを表示できます。

レポート

のレポート Vaccine Administration Management

タイトル	タイプ	ソーステーブル	説明
スケジュールされた予約	単一 	ワクチン接種タスク [sn_vaccine_sm_task]	スケジュールされた予約の数。
完了した予約	単一 	ワクチン接種タスク [sn_vaccine_sm_task]	完了した予約の数。
未接種の予約	単一 	ワクチン接種タスク [sn_vaccine_sm_task]	スケジュールされた予約時刻に来なかったユーザーの数。
予約の傾向	縦棒 	ワクチン接種タスク [sn_vaccine_sm_task]	スケジュール済み、完了済み、および未接種の予約数の分離。

フィルター

のフィルター Vaccine Administration Management

名前	フィルタタイプ	UI コントロール タイプ	説明
ワクチン接種センター	参照	複数の入力を選択	選択したワクチン接種センターに基づいてレポート結果をフィルターします。
日付	日付	単一の入力を選択	選択した日付に基づいてレポート結果をフィルターします。
手法	参照	複数の入力を選択	選択したワクチンメソッドに基づいてレポート結果をフィルターします。
臨床スタッフ	参照	複数の入力を選択	選択した臨床スタッフに基づいてレポート結果をフィルターします。

臨床スタッフまたはワクチンエージェントとしてユーザー予約を管理する

コンシューマーユーザーの作成、ワクチン接種の予約、および希望のスロットの選択のために、臨床スタッフまたはワクチンエージェントとしてユーザーの予約を管理します。ユーザーの予約を適切に管理するために、ワクチンエージェントに対して追加の構成がいくつか実行されます。

ユーザーレコードを検索

コンシューマーユーザーを作成する前に、ユーザーレコードを検索して、ユーザーレコードが存在するかどうかを確認します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.clinician

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > エージェント > 検索アシスタント**.
2. [コンシューマー] を選択します。
3. 名、姓、電話番号などの検索オプションを使用して、コンシューマーレコードを検索し、[検索] をクリックします。
ユーザーレコードが存在する場合は、[個人情報] の下にユーザーレコードが表示されます。

i 注:

Vaccine Administration Management ポータルから個人情報を提供した内部ユーザーのレコードが検索結果に含まれます。ただし、臨床スタッフまたはワクチンエージェントが内部ユーザーの代わりに予約することはできません。

コンシューマーユーザーを作成

臨床スタッフとワクチンエージェントは、このアプリケーションを使用して Vaccine Administration Management コンシューマーレコードを作成できます。

始める前に

i 注:

臨床スタッフまたはワクチンエージェントは、内部ユーザーを作成して、ユーザーの代わりに予約することはできません。

必要なロール：sn_vaccine_sm.clinician

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > エージェント > 検索アシスタント**.
2. [ユーザーの作成] をクリックします。
3. 組織が予約スケジュールの対象となるかを判断するために、ユーザーの個人情報を提供します。
Vaccine Administration Management アプリケーションを使用せずに最初のワクチン投与を受けた場合は、ワクチン接種メソッドとユーザーが最初のワクチン投与を受けた日付を記入してください。
4. [送信] をクリックします。
コンシューマーユーザーの新しい情報レコードが作成され、ユーザーの情報レコードが存在する場合は、対応する患者レコード (ユーザーに対するレコードがある場合) にリンクされます。ユーザーに代わってワクチン接種をスケジュールすることができます。ユーザーの患者レコードが存在しない場合は、新しい患者レコードが作成され、ユーザーの情報とコンシューマーレコードにリンクされます。

既存の予約を検索する

コンシューマーユーザーの代わりに既存の予約を検索します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.clinician

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > エージェント > 検索アシスタント**.
2. [予約] を選択します。
3. 予約コードまたは連絡先を使用して、ワクチン接種の予約を検索します。
4. [検索] をクリックします。
ワクチン接種レコードが存在する場合は、[ワクチン接種タスク] の下にあります。

i 注:

臨床スタッフまたはワクチンエージェントは、コンシューマーユーザーに対してのみ連絡先フィルターを使用して既存の予約を検索できます。内部ユーザーに対してはできません。内部ユーザーの既存の予約を検索する場合は、[ワクチン接種タスク] に移動し、ユーザー名でリストをフィルタリングする必要があります。

予約のスケジュール

コンシューマーユーザーの代わりにワクチン接種の予約をスケジュールします。

始める前に

i 注:

臨床スタッフまたはワクチンエージェントは、内部ユーザーの代わりに予約を作成することはできません。

必要なロール：sn_vaccine_sm.clinician

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > エージェント > 検索アシスタント**.
2. [コンシューマー] を選択します。
3. 名、姓、電話番号などの検索オプションを使用して、新しいコンシューマーユーザーレコードを検索し、[検索] をクリックします。
[個人情報] の下に新しい情報レコードがあります。
4. 予約するレコードを選択します。
5. コンシューマーユーザーレコードから、**[Book Vaccine Appointment (ワクチン接種の予約)]** を選択します。
内部ユーザーには [ワクチン予約] ボタンは表示されません。
6. 希望するワクチンメソッドとサイトを選択して、ワクチン接種の予約をスケジュールします。
両方の投与で同じワクチン接種場所を選択することも、投与ごとに異なるワクチン接種場所を選択することもできます。予約をスケジュールまたは再スケジュールするときに、希望するワクチン接種方法から選択するには、`sn_vaccine_sm.allow_user_selection_of_vaccine_method` システムプロパティ値を **true** に設定する必要があります。複数ワクチン予約を構成する方法の詳細については、[複数ワクチン接種予約設定](#) を参照してください。
7. 必要な詳細を入力して [送信] をクリックします。
ワクチン接種の予約はユーザーに対してスケジュールされ、両方のワクチン接種の予約の個別のメールがユーザーと共有されます。
8. [クローズ] をクリックします。
[予約] 関連リストでは、2 つの個別のワクチン接種タスクが作成されます。

既存の予約をキャンセルする

コンシューマーユーザーの代わりに既存の予約をキャンセルします。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.clinician

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > エージェント > 検索アシスタント**。
2. [予約] を選択します。
3. 予約コードまたは連絡先を使用して、ワクチン接種の予約を検索し、[検索] をクリックします。
ワクチン接種レコードは、[ワクチン接種タスク] の下にあります。
4. キャンセルするユーザーレコードを選択し、[予約のキャンセル] をクリックします。

次のタスク

既存の予約を再スケジュールする。

既存の予約を再スケジュールする

既存の予約を再スケジュールし、希望するメソッド、日付、タイムスロット、またはワクチン接種センターを選択します。

始める前に

必要なロール：sn_vaccine_sm.clinician

手順

1. 移動先 **すべて > Vaccine Administration Management > エージェント > 検索アシスタント**。
2. [予約] を選択します。
3. 予約コードまたは連絡先を使用して、ワクチン接種の予約を検索し、[検索] をクリックします。
ワクチン接種レコードは、[ワクチン接種タスク] の下にあります。
4. 再スケジュールするユーザーレコードを選択し、[予約の再スケジュール] をクリックします。
5. [予約の再スケジュール] ポップアップウィンドウで、ワクチン接種センター、日付、予約タイムスロットを選択し、[送信] をクリックします。
[予定を再スケジュール] ポップアップウィンドウに、スケジュールされた予約の確認が表示されます。

次のタスク

sn_vaccine_sm.clinician ロールを持つユーザーとして、ユーザーの代わりに次のアクションを実行することもできます。

- 削除
- 更新
- 接種完了として処理
- 未接種として処理

ドメイン分離と Vaccine Administration Management

Vaccine Administration Management ではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに回答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「[アプリケーションでのドメイン分離のサポート](#)」を参照してください。

概要

Vaccine Administration Managementアプリケーションには、ワクチン接種プログラムやワクチン接種の予約などのトランザクションデータのドメイン分離が含まれています。このアプリケーションは、[ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#) ドメイン分離も含む に基づいています。

Vaccine Administration Managementにおけるドメイン分離の仕組み

このアプリケーションを使用して Vaccine Administration Management 予防接種プログラムに登録し、予約する顧客の場合、ドメインはログインユーザーのセッション、作成されたレコード、および関連する医療データから設定されます。

ユースケース

ヘルスケアプロバイダーのヘルスケアデータがドメイン別に分離されている場合、ヘルスケア要求と対応する実行タスクはそれぞれの顧客ドメインに関連付けられます。

Redox Inbound Integration

この ServiceNow Redox Inbound Integration アプリケーションでは、プラットフォームを介して Redox 外部の医療システムとのリアルタイムの双方向データ交換を使用できます。

ストアでアプリを要求する

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

詳細を読む



医療機関が Redox Inbound Integration.

構成



実装を計画し構成します。

データ交換



異なる医療システム間でリアルタイムデータを交換します。

参照



サポートされているデータモデルとイベントタイプの詳細を取得します。

Redox Inbound Integration の詳細

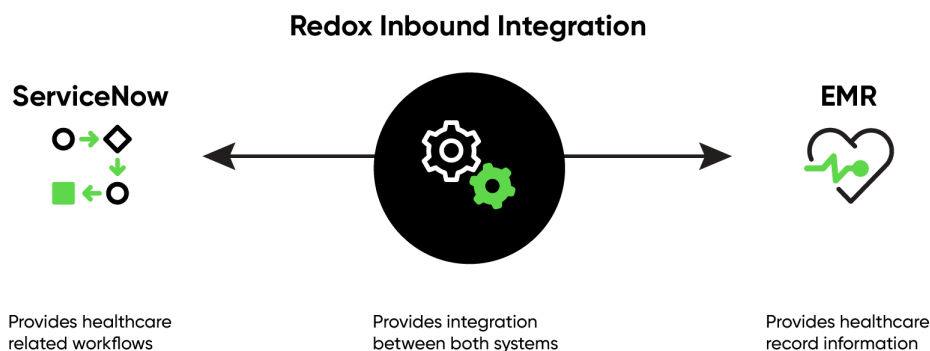
アプリケーションの実装 Redox Inbound Integration を開始するか拡張するかにかかわらず、プラットフォームを介して Redox 医療システムとの統合に使用されるアプリの詳細について学習することを検討してください。

概要

病院、支払者（保険）、または生命科学組織は、アプリケーションを使用して Redox Inbound Integration それらのシステム間の双方向統合を有効にすることで、複数の医療システムのケアキャパシティを開放できます。このアプリケーションを使用してプラットフォームを使用する Redox 医療システムと統合することで、インバウンドおよびプロアクティブアウトバウンドサービスのスケーラビリティと機能を向上できます。

Redox Inbound Integration

次の例は、ワークフローを示しています Redox Inbound Integration。



福利厚生

Redox Inbound Integration には次のメリットがあります。

Redox Inbound Integration のメリット

メリット	主な機能	ロール
電子医療記録 (EMR) システムや電子健康記録 (EHR) システムなどの医療システムを、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) および Health Level Seven International (HL7) 業界標準に基づくデータモデルと統合 ServiceNow ヘルスケアとライフサイエンス できるようにします。同時に、複数の EMR システムと ServiceNow インスタンス間の双方向統合を可能にすることで、ポイントツーポイ	とのリアルタイムの医療データの交換 Redox Inbound Integration	管理者/臨床スタッフ

Redox Inbound Integration のメリット (続く)

メリット	主な機能	ロール
ント統合を実装するコストと複雑さを回避できます。		

アプリケーションを開始する Redox Inbound Integration には、次を参照してください。構成：[Redox Inbound Integration](#).

Redox Inbound Integration の構成

RedoxエンジンをインスタンスにServiceNowリンクして、プラットフォームを使用するRedox医療システムから情報を取得します。

アプリケーションを使用する Redox Inbound Integration ための構成タスク。

1. をインストールする [Redox Inbound Integration アプリケーション](#)に [ServiceNow インスタンス](#).
2. リンクする [ServiceNow インスタンス](#)を [Redox アカウント](#).
3. 外部環境の設定 [Redox ソースシステムとしての医療システム Redox Inbound Integration](#).
4. のユーザーを作成 [Redox Inbound Integration](#).
5. のロールをアサイン [Redox Inbound Integration ユーザー](#).
6. の構成 [ServiceNow のインスタンス資格情報 Redox エンジン](#).

Redox Inbound Integration のインストール

admin ロールを持っている場合は、Redox Inbound Integration アプリケーション (sn_redox) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、 [の ServiceNow Store Redox インバウンド統合](#) アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて](#).
2. Redox Inbound Integration フィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_redox) を検索します。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

i 重要:

インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

インスタンスをアカウントにリンクする **ServiceNowRedox**

外部 Redox の医療システムが インスタンスにアクセスする ServiceNow ための OAuth アプリケーションエンドポイントを作成します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Redox Inbound Integration に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_hcls.admin または admin

手順

1. 移動先 [すべて > システム OAuth > アプリケーションレジストリー](#)。
2. 「アプリケーション・レジストリー」リストで、「新規」をクリックします。
3. [OAuth アプリケーション (OAuth application)] ページで、[**Create an OAuth API endpoint for external clients** (外部クライアント用の **OAuth API** エンドポイントの作成)] を選択します。
4. [アプリケーションレジストリ] フォームで、名前、クライアント ID、アクセス可能、クライアントシークレット、アクセス可能、リフレッシュトークン有効期間、アクセストークン有効期間などの Redox 医療システムの詳細を入力します。

i 注:

この構成では使用されない [リダイレクト URL] フィールドと [ロゴ URL] フィールドは無視してかまいません。

詳細については、「[インスタンスにアクセスするクライアント用のエンドポイントを作成します。](#)」を参照してください。

5. [Submit (送信)] をクリックします。

のソースシステムとして外部 **Redox** 医療システムを構成する **Redox Inbound Integration**

インスタンスでServiceNowシステムのソース ID と宛先 ID を構成することで、アプリケーションがRedox Inbound Integration外部Redoxの医療システムからデータを受信できるようにします。

始める前に

必要なロール: admin

手順

アプリケーションを使用して外部 Redox の医療システムからデータを受信するようにソースシステム [sn_hcls_source_system] テーブルを構成します Redox Inbound Integration 。
詳細については、次を参照してください。 [外部の構成 Redox カスタム統合のソースシステムとしての医療システム](#)。

のユーザーを作成 **Redox Inbound Integration**

医療システムからRedoxデータを受信するアプリケーションのユーザーRedox Inbound Integrationを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 [すべて > ユーザー管理 > ユーザー](#)。
2. 「ユーザー」リストで、「新規」をクリックします。
3. [ユーザー] フォームで、ID、姓名、カレンダー統合、タイムゾーンなど、ユーザーの詳細を入力します。
4. 「パスワード」フィールドに、ユーザーのパスワードを入力します。
このパスワードは、永続的または一時的なものにすることができます。
5. オプション: [パスワードのリセットを強制 (**Password needs reset**)] チェックボックスをオンにして、ユーザーが初回ログイン時にパスワードを変更できるようにします。
6. [有効] チェックボックスをオンにします。
7. このユーザーを非対話型ユーザーとして指定するには、[**Web** サービスへのアクセスのみ] チェックボックスをオンにします。
8. [**Submit** (送信)] をクリックします。

次のタスク

[ユーザーにロールをアサインするRedox Inbound Integration](#)。

関連情報

[ユーザーの作成](#)

ユーザーにロールをアサインする**Redox Inbound Integration**

アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Redox Inbound Integration 。

始める前に

- アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Redox Inbound Integration に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。
- [のユーザーを作成 Redox Inbound Integration](#)。

必要なロール:sn_hcls.admin または admin

このタスクについて

次のテーブルにリストされているロールを持つユーザーは、Redox Inbound Integration アプリケーションを使用できます。

Redox Inbound Integration に必要なロール

ロール	説明
sn_hcls.admin	アプリケーションにアクセスできる Redox Inbound Integration 管理者。

手順

アプリケーションのユーザーに sn_hcls.admin ロールを Redox Inbound Integration 割り当てます。

詳細については、「[ユーザーへのロールのアサイン](#)」を参照してください。

インスタンスに **ServiceNow** 要求を送信するためのエンジンでの **Redox** 資格情報の設定

インスタンスに要求 ServiceNow を送信するには、Redox エンジンでインスタンス資格情報を設定します ServiceNow。

Redox 管理者は、インスタンスに要求を送信するようにエンジンで Redox インスタンス資格情報を構成し ServiceNow ます ServiceNow。詳細については、次を参照してください。 [Redox ドキュメント](#)。

注:

エンジンからインスタンスに ServiceNow 要求を送信するには、REST API URL を `https://<instance name>/api/sn_redox/v1/redox_webhook_callbacks` の形式で入力してください。Redox

Redox エンジンでは、要求は統合のイベントタイプとワークフローセットアップによって決定されます。詳細については、次を参照してください。 [サポートされているデータモデルとイベントタイプ Redox Inbound Integration](#)。

とのリアルタイムの医療データの交換 Redox Inbound Integration

この Redox Inbound Integration アプリケーションを使用すると、異なる医療システム間でリアルタイムデータを簡単に交換できます。個々の医療システムが医療データを保存および送信する方法に依存することなく、データを交換します。

sn_hcls.admin ロールを持つユーザーは、次のタスクのインスタンスで ServiceNow 外部の医療システムからヘルスケアデータを受信および更新できます。

スケジュール

新しい予約および既存の予約の変更を外部の医療システムに通知します。

薬

患者の現在および過去の薬剤使用に関する洞察を提供します。新しい処方箋や既存の処方箋の変更やキャンセルをリアルタイムで通知できます。

患者管理

医療システムにおける入院、退院、転院 (ADT) プロセスに基づいて、患者の追跡や登録などのリアルタイムフィードを提供します。

プロバイダ

人口統計、資格、ロールなどのプロバイダー情報を送信します。

クレーム

支払者とプロバイダーの間で提供されるサービスに関する請求トランザクション情報を提供します。

臨床の概要

患者のカルテのスナップショットを現時点で表示します。

サポートされている Redox データモデルの完全なリストについては、以下を参照してください。 [でサポートされているデータモデルとイベントタイプ Redox Inbound Integration](#).

さらに、を使用して Redox Electronic Health Record Spoke、外部の医療システムから医療データを送信および更新することもできます。詳細については、次を参照してください。 [Redox Electronic Health Record Spoke](#)。

Redox Inbound Integration 参照

参照トピックには、で Redox Inbound Integration サポートされているデータモデルとイベントタイプに関する追加情報が記載されています。

でサポートされているデータモデルとイベントタイプ **Redox Inbound Integration**

Redox エンジンでは、要求は、統合用に設定されたイベントタイプとワークフローによって決定されます。

次の表は、アプリケーションで Redox Inbound Integration サポートされているデータモデルのイベントタイプの Redox リストを示しています。

Redox アプリケーションで Redox Inbound Integration サポートされているデータモデルとイベントタイプ

データモデル	イベントタイプ
臨床の概要	患者プッシュ
	訪問プッシュ
請求	提出
	支払い
プロバイダー	新規
	更新
	アクティブ化
	非アクティブ化
医薬品	管理
	新規
	更新

Redox アプリケーションで Redox Inbound Integration サポートされているデータモデルとイベントタイプ(続く)

データモデル	イベントタイプ
	キャンセル
患者管理者	新規患者
	患者アップデート
	到着
	キャンセル
	放電
	事前承認
	登録
スケジュール	新規
	再スケジュール
	変更
	キャンセル
	ノーショー (NoShow)
SurgicalScheduling	新規
	再スケジュール
	変更
	キャンセル
	ノーショー (NoShow)

データモデルの詳細についてはRedox、[Redox ドキュメント](#)の「データモデルのイベントタイプ」を参照してください。

臨床機器管理

アプリケーションを使用して ServiceNow 臨床機器管理、Playbook とケースマネジメントで医療機器の管理を簡素化します。

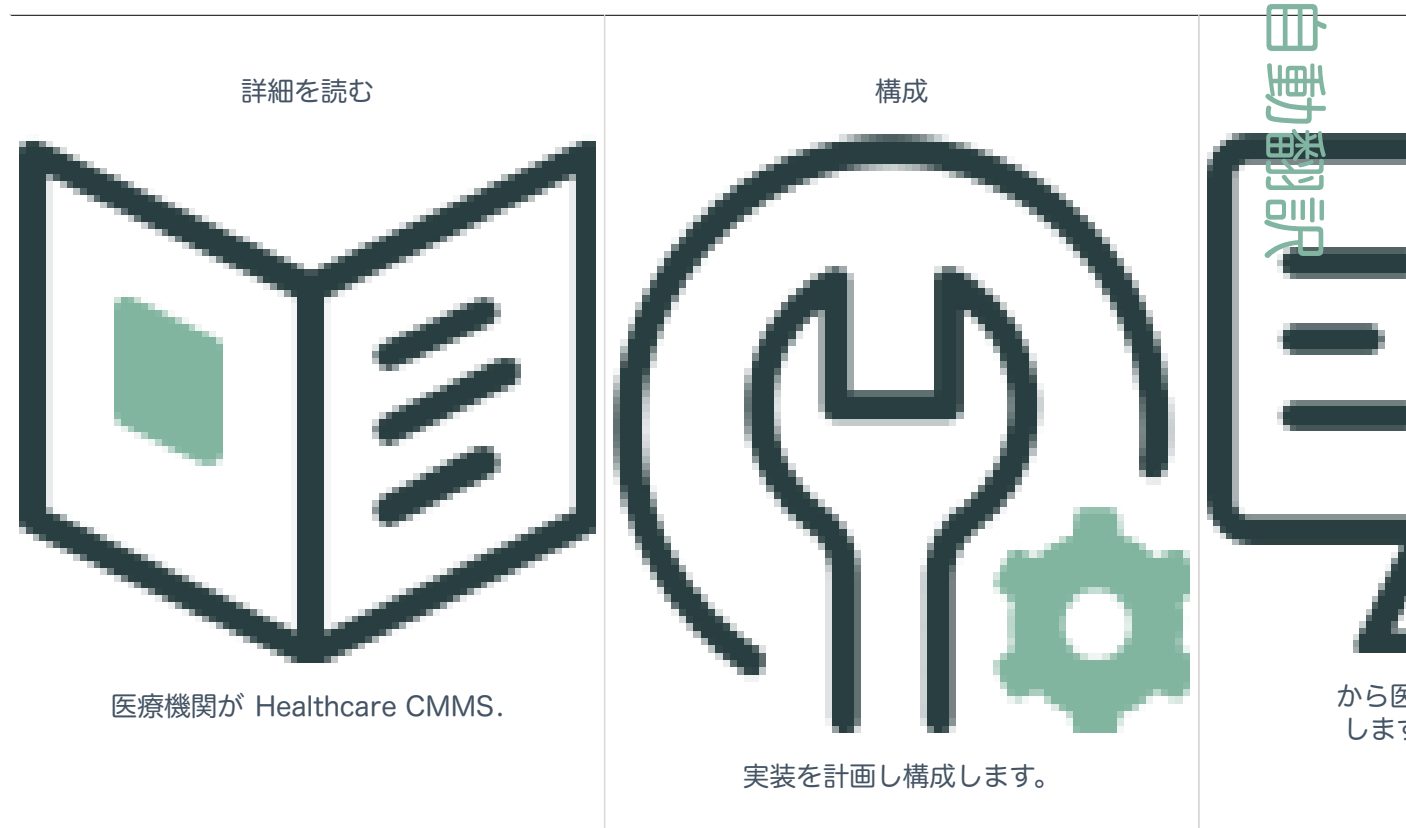
ServiceNow 臨床機器管理 にはヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 アプリケーションが必要です。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム

ServiceNow Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS) アプリケーションを使用して、医療機器関連の稼働中プロセス、代替機器メンテナンス (AEM) レビュープロセス、医療機器の問題、およびサービス停止プロセスを管理します。

ストアでアプリを要求する

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。



医療機器サービスの要求



稼働中の医療デバイスの要求の送信、AEM 要求のレビュー、医療デバイスの問題の解決、またはサービス停止中の医療デバイス

参照



テーブルを含むコンポーネントの詳細を取得します。

探索 **Healthcare Computerized Maintenance Management** システム

()Healthcare CMMS アプリケーションの実装Healthcare Computerized Maintenance Management システムを開始するか拡張するかにかかわらず、医療機器の管理に利用できる機能の詳細について学習することを検討してください。

概要

医療機関の臨床工学技士の場合:

- メンテナンス計画の患者リスクパラメーターを使用してデバイスワークフローを簡素化することで、コンプライアンス管理を強化します。
- すべてのデバイス (接続されているか接続されていないかを問わず) と場所またはサイトの可視性とデータを信頼できる唯一の情報源で提供し、コンプライアンス要件を上回ります。
- 組み込みのデバイスデータモデル、作業指示テンプレート、モバイルエクスペリエンス、コンプライアンスレポートにより、チームの生産性を向上させます。

医療機関の臨床スタッフ向け:

- 問題の報告と応答ワークフローを合理化することで、臨床スタッフの満足度を向上させ、デバイスのダウンタイムを削減します。
- 複数の病院、サイト、または企業にまたがるデバイスを管理することで、チームの生産性を向上させます。

Playbook は Healthcare CMMS、医療機器関連のケースをレビューするためのガイド付きエクスペリエンスを提供します。Playbook を使用して、臨床エンジニアは、医療機器を稼働中に設定し、

代替機器メンテナンス (AEM) 計画をレビューし、医療機器モデルに関連付けられた医療デバイスのサービス停止要求を管理できます。

Healthcare CMMSアプリケーションは、アプリケーションによってヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア提供されるデータモデルを使用します。医療デバイスケースは、稼働中の医療機器ケース、医療機器 AEM ケース、サービス停止中の医療機器ケース、または医療機器の問題ケースとして送信され、臨床エンジニアにアサインされ、臨床エンジニアはデバイスの問題関連のケースを処理したり、稼働中の医療デバイス、AEM ケース、またはサービス停止中の医療機器を解決するために Playbook ワークスペース を使用したりすることができます。

主な機能

- 稼働中の医療機器のエンドツーエンドプロセスを管理します。
- 医療デバイスモデルの AEM 要求を確認します。
- 作業指示書を使用して、医療デバイスの是正メンテナンスのために医療デバイスの問題を作成および管理します。
- サービス停止中の医療機器のエンドツーエンドプロセスを管理します。
- Playbook を使用して Healthcare CMMS、臨床エンジニアが医療デバイスの稼働中の設定、AEM 要求の確認、および医療デバイスのサービスワークスペース停止の設定を完了するためのガイド付きエクスペリエンスを提供します。

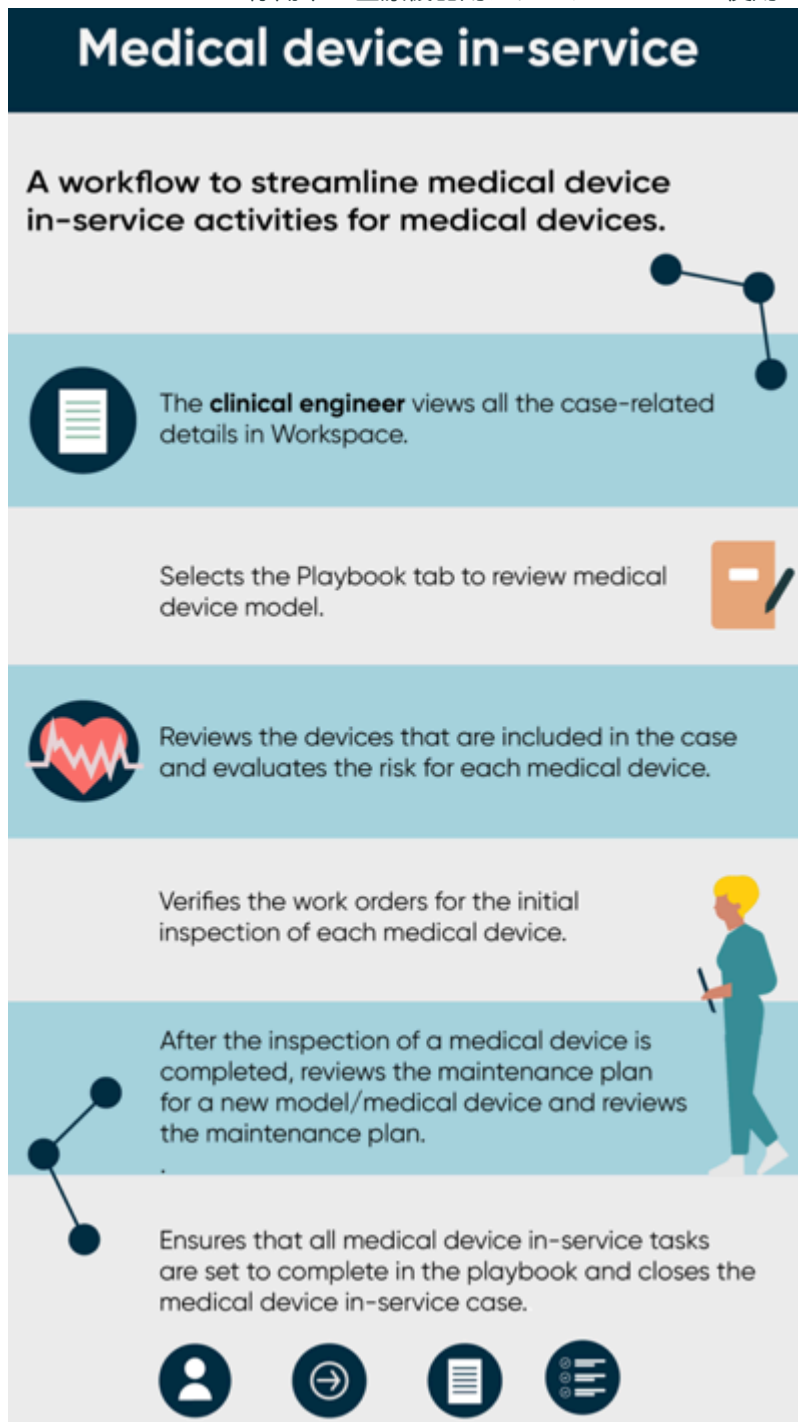
Healthcare CMMS アプリケーションで開始するには、「[Healthcare CMMS の構成](#)」を参照してください。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム - 稼働中の医療機器のシナリオ

Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS) アプリケーションを使用して、医療機器を稼働中に設定し、メンテナンス計画に関連付けます。

シナリオ: ある病院で、新しい輸液ポンプを購入し、稼働中に設定し、計画メンテナンスをスケジュールする必要があります。sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つ要求者として行動するデバイス組織の貢献者は、病院の場所で作業し、病院のカスタマーサービスポータルから医療デバイスの稼働中要求フォームを送信します。医療デバイスの稼働中要求フォームで、貢献者は医療デバイスモデルと医療デバイスの詳細 (モデル名、モデル番号、メーカー、簡単な説明、シリアル番号、組織、コストセンターなど) を入力します。新しい医療デバイスモデルが稼働中に設定されている場合は、AEM の要求を入力できるように、医療デバイスの稼働中要求フォームで 代替 メンテナンスを許可 を選択します。医療デバイスの稼働中要求フォームを送信すると、病院のカスタマーサービスポータルに関連付けられたインスタンスに ServiceNow 医療デバイスの稼働中ケースが作成されます。このケースを解決するために、ワークフローは Healthcare CMMS 稼働中の医療デバイス ケース用に構成された Playbook を開始します。ケースは、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ履行者として機能する臨床エンジニアにアサインされます。

次の図は、Healthcare CMMS 稼働中の医療デバイスのシナリオでアプリケーションがどのように使用されるかを示しています。



次のワークフロー手順では、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアが Healthcare CMMS アプリケーションを使用して医療デバイスを稼働中状態にするためにどのように役立つかを詳しく説明します。

1. を使用して ワークスペース、稼働中の医療デバイス ケースを表示します。
2. では ワークスペース、[詳細] タブから医療デバイスとそのモデルに関する完全な情報が表示されます。
3. [**Playbook**] タブを選択して、必要なすべてのケース関連情報を表示します。

Playbook のレイアウトにより、臨床エンジニアは、エンドツーエンドのプロセスライフサイクルを完全に可視化しながら、担当するステップに集中できます。

4. 医療デバイスモデルをレビューします。
5. ケースに含まれているデバイスを確認し、各医療デバイスのリスクを評価します。
6. 各医療機器の初期検査の作業指示書をレビューします。
7. 医療機器の検査が完了した後、新しいモデル/医療機器のメンテナンス計画を追加し、メンテナンス計画をレビューします。
8. Playbook ですべての医療デバイスの稼働中タスクが完了に設定されていることを確認し、医療デバイスの稼働中ケースをクローズします。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム - AEM リクエストシナリオの確認


Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS) アプリケーションを使用して、医療機器モデルに関連する既存のメンテナンス計画をレビューします。

シナリオ:ある病院では、医療機器モデルに関連付けられているすべての MRI デバイスの既存のメンテナンス計画を確認する必要があります。病院の場所で作業するデバイス組織の貢献者が、病院のカスタマーサービスポータルから代替機器メンテナンス (AEM) の要求フォームを送信します。AEM 要求フォームには、フォームで代替メンテナンスを許可するために選択された医療機器モデルが表示されます。寄稿者は、AEM 要求フォームで、要求者の組織、医療機器モデル、およびその他の詳細を入力し、メンテナンス計画スケジュールの変更を提案します。医療デバイス AEM ケースがインスタンスでServiceNow作成されると、ワークフローによりHealthcare CMMS、医療デバイス AEM ケース用に構成された Playbook が開始されます。ケースは、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ履行者として機能する臨床エンジニアにアサインされます。


次の図は、Healthcare CMMS AEM 要求レビューシナリオでアプリケーションがどのように使用されるかを示しています。

AEM workflow

A workflow to streamline AEM request activities.



In Workspace, clinical engineer views the medical device model and AEM request.



Clinical engineer reviews AEM request and submits it for approval.

After AEM request is approved, clinical engineer removes medical device model from existing maintenance plan.

Clinical engineer adds new maintenance plan with updated schedule.

Clinical engineer sets all AEM request tasks to complete and closes medical device AEM case.

自動翻訳

次のワークフロー手順では、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアが Healthcare CMMS アプリケーションを使用して、医療機器モデルに対する AEM 要求を確認する方法を詳しく説明します。

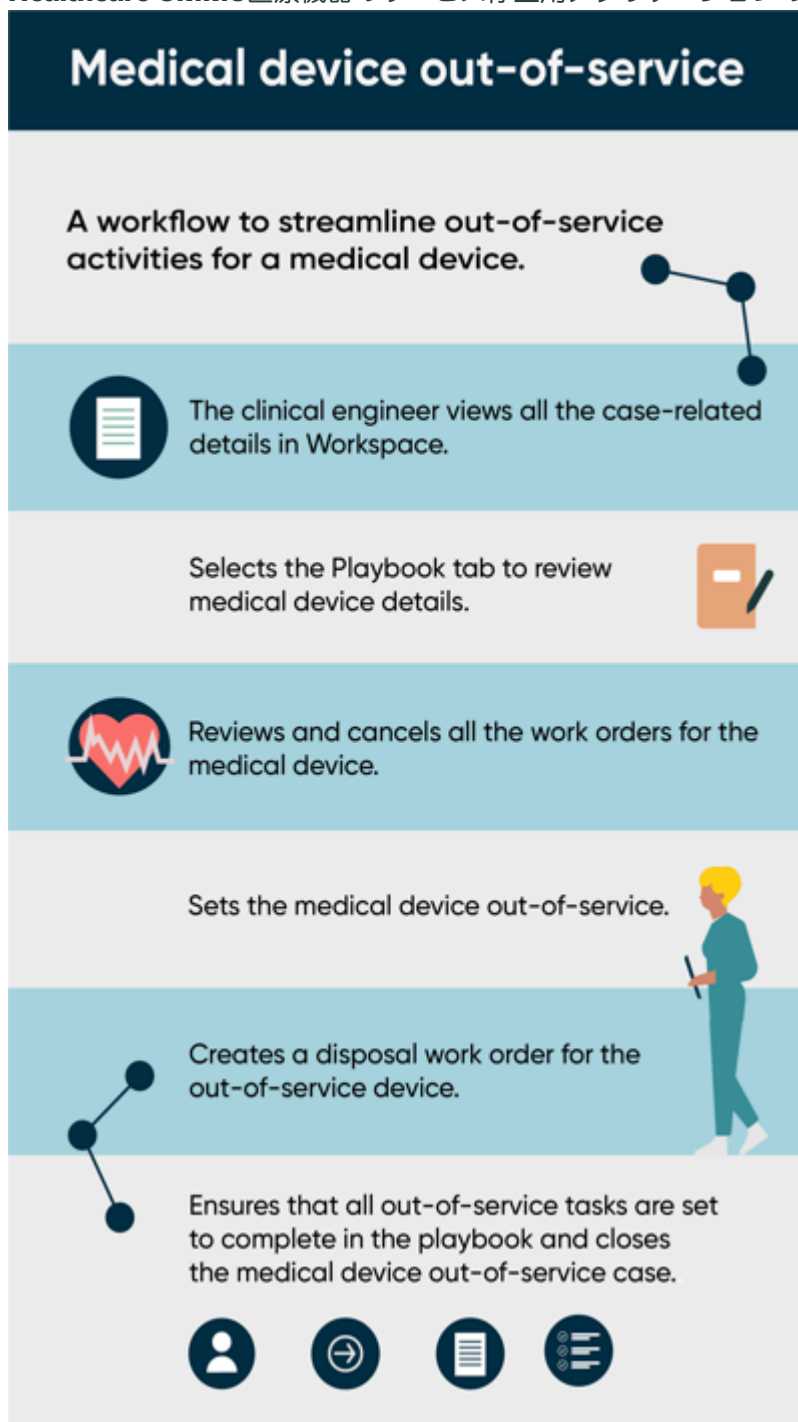
1. を使用して、ワークスペース医療デバイス AEM ケースを表示します。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム - 医療機器のサービス停止シナリオ

Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS) アプリケーションを使用して、医療機器をサービス停止に設定し、それらの廃棄作業指示書を作成します。

シナリオ: 病院は、古い医療機器を中止するか、新しいモデルに交換する必要があります。故障により修理不能になったため、交換する医療機器をサービス停止に設定する必要があります。病院の場所で働いている `sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor` ロールを持つ要求者として機能するデバイス組織の共同作成者は、病院のカスタマーサービスポータルからサービス停止要求フォームを送信します。貢献者は、アウトオブサービス要求フォームで、医療デバイスモデルと医療デバイスの詳細 ([要求元]、[要求された組織]、[デバイスモデル]、[デバイス]、[サービス停止中の医療デバイスの要求者コメント]、[簡単な説明] など) を入力します。サービス停止要求フォームを送信すると、病院のカスタマーサービスポータルに関連付けられたインスタンスにServiceNow医療デバイスのサービス停止ケースが作成されます。このケースを解決するために、ワークフローは Healthcare CMMS 医療 デバイスのサービス停止 ケース用に構成された Playbook を開始します。ケースは、`sn_hcls_cmms.clinical_engineer` ロールを持つ履行者として機能する臨床エンジニアにアサインされます。

次のワークフローは、`sn_hcls_cmms.clinical_engineer` ロールを持つ臨床エンジニアがアプリケーションを使用して稼働していない医療機器を処理する方法を詳しく説明しています。



1. を使用して、ワークスペース医療デバイスのサービス停止ケースを表示します。
2. では ワークスペース、[詳細] タブから医療デバイスとそのモデルに関する完全な情報が表示されます。
3. [**Playbook**] タブを選択して、必要なすべてのケース関連情報を表示します。

Playbook のレイアウトにより、臨床エンジニアは担当するステップに集中できると同時に、エンドツーエンドのプロセスライフサイクルを完全に可視化できます。

4. 医療デバイスの詳細をレビューします。
5. 関連する医療機器のすべての作業指示書を確認してキャンセルします。

6. すべての作業指示がキャンセルされたことを確認します。
7. 医療デバイスをサービス停止に設定します。
8. サービス停止中のデバイスの廃棄作業指示書を作成します。
9. Playbook ですべてのサービス停止タスクが完了するように設定されていることを確認し、医療デバイスのサービス停止ケースをクローズします。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム - 医療機器の問題の報告シナリオ

Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS)アプリケーションを使用して、医療機器の問題を報告し、是正メンテナンスを実行します。

シナリオ: 病院内の医療機器に問題が特定され、是正メンテナンスを実行する必要がある場合。医療機器の組織貢献者が、病院のカスタマーサービスポータルから医療機器の問題フォームを送信します。貢献者は、問題フォームで、要求者の組織、医療デバイス、そのモデル、およびその他の問題の詳細を入力します。医療 デバイスの問題 ケースがインスタンスで ServiceNow 作成されると、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ履行者として機能する臨床エンジニアがケースを処理できます。

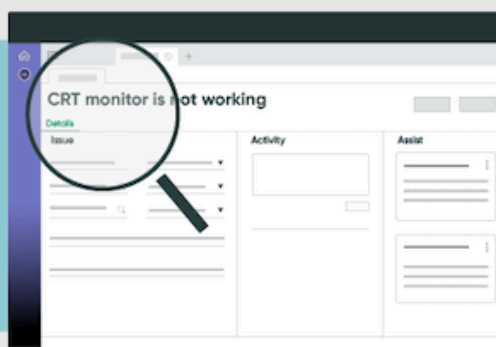
次の図は、シナリオで説明したように、Healthcare CMMS アプリケーションを使用して医療デバイスの問題を解決する方法を示しています。

Reporting medical device issue



A workflow to streamline corrective maintenance activities for resolving medical device issues.

In Workspace, a clinical engineer views the medical device issue case.



Clinical engineer creates a work order to resolve the issue.

Technician assigned to work order fixes the device issue.



Technician sets work order to complete and the clinical engineer closes the medical device issue case.

次のワークフローは、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアがアプリケーションを使用して Healthcare CMMS 医療機器の問題を解決する方法を詳しく説明しています。

1. を使用して ワークスペース、医療デバイスの問題 ケースを表示します。
2. では ワークスペース、医療デバイス、そのモデル、および問題の詳細に関する完全な情報が [詳細] タブに表示されます。
3. 問題を解決するための作業指示書を作成します。
4. 作業指示書が [完了] に設定されると、医療機器の問題 ケースをクローズします。

CMMS ダッシュボード

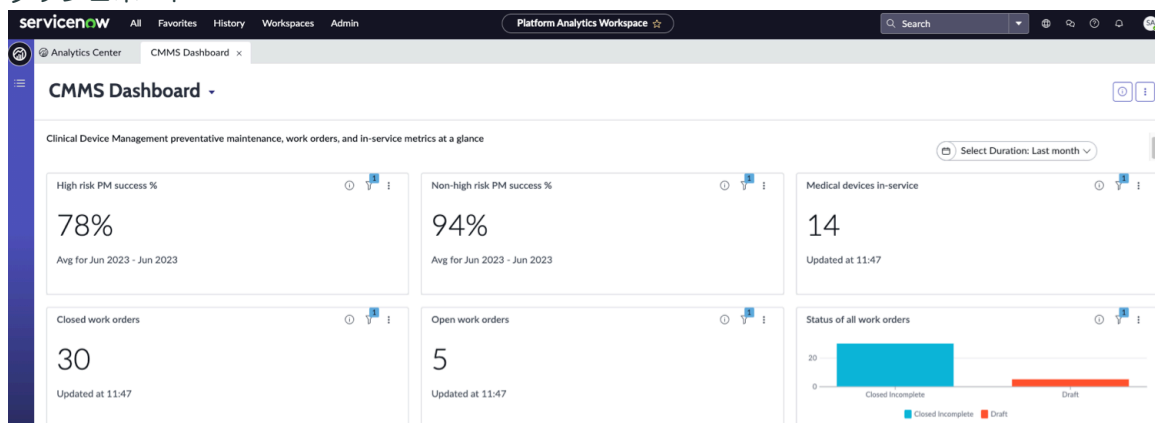
CMMS ダッシュボードは、CMMS ユーザーが進行中の運用を監視する際に中心となる場所です。ダッシュボードには、データベースにクエリを実行して結果を表示するレポートが含まれています。

CMMS ダッシュボードにアクセスするには、Healthcare CDM アプリケーション向け Performance Analytics コンテンツパックをインストールします。詳細については、「[Healthcare Computerized Maintenance Management システム とともにインストールされるコンポーネント](#)」を参照してください。

CMMS ダッシュボードを表示するには、次の場所に移動します。プラットフォームアナリティクスワークスペース > ダッシュボード > **CMMS** ダッシュボード。

ダッシュボードはインスタンスにおける製品のホームページです。CMMS ダッシュボードは、すべての医療機器の測定基準を提供します。また、すべての医療機器のステータスも表示されます。ウィジェットは、期間を選択することでフィルタリングできます。

ダッシュボード



- 選択した期間の高リスク **PM%** は、高リスク医療機器の期日までに完了した計画作業指示の割合を示します。
- 選択した期間の高リスクでない **PM%** は、高リスクでない医療機器について、期日までに完了した計画作業指示の割合を示します。
- [選択した期間に稼働中の医療機器] には、選択した期間に稼働中の医療デバイスの数が表示されます。ウィジェットをクリックすると、稼働中のすべての医療機器のリストが表示されます。稼働中のすべての医療機器のリストをエクスポートできます。
- [**Closed work orders due in the selected duration**] には、要求された期日が選択した期間内にあるクローズ済み作業指示の数が表示されます。ウィジェットをクリックすると、すべてのクローズ済み作業指示書のリストが表示されます。すべてのクローズ済み作業指示書のリストをエクスポートできます。
- [選択した期間に期限が切れるオープン作業指示書] には、要求された期日が選択した期間内にあるオープン作業指示書の数が表示されます。ウィジェットをクリックすると、すべてのオープンな

作業指示書のリストが表示されます。すべてのオープン作業指示書のリストをエクスポートできません。

- [選択した期間内に期限が切れるすべての作業指示書のステータス] には、すべての作業指示書のステータスが表示されます。ウィジェットをクリックすると、すべての作業指示書のリストが表示されます。すべての作業指示のステータスリストをエクスポートできます。

Healthcare Computerized Maintenance Management システムの構成

(Healthcare CMMS) アプリケーションを設定しHealthcare Computerized Maintenance Management システムで、医療機器に関連するアクティビティを完了します。

- ❗ **注:**
この Healthcare CMMS アプリケーションは、Healthcare CMMS すべての医療機器ケースを拡張し [ヘルスケアとライフサイエンス データモデル](#) で医療デバイスケース [sn_hcls_cmms_case] テーブルに格納するデータモデルに基づいています。

次の表に、に必要な Healthcare CMMS構成タスクの概要を示します。

Healthcare CMMS 構成タスク

タスク	説明
インストール Healthcare CMMS.	Healthcare CMMS医療機器で動作するようにアプリケーションをインストールします。
のロールをアサイン Healthcare CMMS ユーザー.	アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Healthcare CMMS 。
次を使用： Healthcare CMMS データモデル.	Healthcare CMMSテーブルを使用して、医療機器に関連するデータを保存します。
医療デバイスの稼働中要求の構成タスクを完了します。	医療デバイスを稼働中に設定するための構成 Healthcare CMMS 。
AEM 要求のレビューのための設定タスクを完了します。	医療デバイスモデルに対する AEM 要求をレビューするように設定します Healthcare CMMS 。
医療デバイスの問題をレポートするプロセスを設定します。	医療機関のサービスポータルから医療デバイスの問題を報告できるように構成 Healthcare CMMS します。
医療デバイスをサービス停止にするための設定Healthcare CMMS	医療デバイスをサービス停止に設定するように設定します Healthcare CMMS 。

Healthcare Computerized Maintenance Management システムのインストール

admin ロールをお持ちであれば、Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS) アプリケーション (sn_hcls_cmms) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 [のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション](#)。

必要なロール：admin

このタスクについて

Healthcare CMMS とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- テーブル
- プラグイン
- ServiceNow Store アプリケーション
- ビジネスルール

詳細については、「[Healthcare Computerized Maintenance Management システム とともにインストールされるコンポーネント](#)」を参照してください。

手順

1. 移動先 [すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて](#).
2. Healthcare Computerized Maintenance Management システムフィルター基準と検索バーを使用してアプリケーション (sn_hcls_cmms) を検索します。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

[ServiceNow Store](#) Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「[ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート](#)」を参照してください。

3. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
4. [インストール] を選択します。

ユーザーにロールをアサインする **Healthcare Computerized Maintenance Management** システム (Healthcare CMMS) アプリケーションの各機能やデータへのアクセスを制御するロールをアサインします Healthcare Computerized Maintenance Management システム。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Healthcare Computerized Maintenance Management システム に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineering_admin または admin

このタスクについて

次のテーブルにリストされているロールを持つユーザーは、Healthcare CMMS アプリケーションを使用できます。

にインストールされているロール **Healthcare CMMS**

ロール	説明	
sn_hcls_cmms.case_creator	医療デバイスケースを作成するためのアクセス権を付与します。	sn
sn_hcls_cmms.case_viewer	医療デバイスケースを表示するためのアクセス権を付与します。	な
sn_hcls_cmms.clinical_engineer	医療デバイスモデルのメンテナンス計画と医療機器のインストールベースアイテムを作成および更新します。医療機器のケースで活躍します。	• S • S
sn_hcls_cmms.clinical_engineering_admin	アプリケーションにアクセスできる Healthcare CMMS 管理者。	• S • S • V
sn_hcls_cmms.clinical_engineering_technician	医療機器の場所で作業し、使用した部品や雑費などの詳細を作業指示フォームに記録します。	• S • S • S • V
sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor	臨床スタッフとして組織の医療デバイスケースを作成します。 i 注: 組織 (事業所) の医療デバイスケースを作成するには、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーが組織のメンバーであり、[場所貢献者 (Location contributor)] 責任タイプが割り当てられている必要があります。組織とそのメンバーのマッピングは、組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルに含まれています。	• S • S • S • S • S • S • S
sn_hcls_cmms.sm_agent	すべてのデバイスデータと医療デバイスケースにアクセスして表示します。	• P • S • S • S • S • S • S • S

自動翻訳

手順

の Now Platformユーザー管理機能を使用して、ユーザーとグループにロールをアサインします。

- ユーザーにロールを割り当てるには、「[ユーザーへのロールの割り当て](#)」を参照してください。
- グループにロールを割り当てるには、「[グループへのロールの割り当て](#)」を参照してください。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム データモデル

Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS)アプリケーションは、ワークフローで使用するHealthcare CMMSデータモデルを提供します。

概要

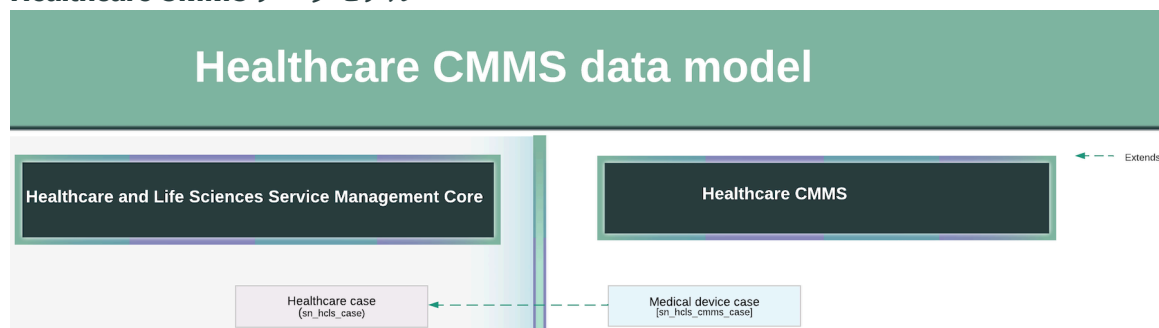
Healthcare CMMSデータモデルは、データモデルを拡張しますヘルスケアとライフサイエンス。

Healthcare CMMSデータモデルは、医療デバイスケース [sn_hcls_cmms_case] テーブルを使用して、稼働中の医療デバイスの医療デバイスケースを保存し、医療デバイスモデルに対する AEM 要求を確認し、医療機器の問題を解決したり、医療デバイスがサービスを停止したりします。

アプリケーションをインストールし Healthcare CMMS で、そのデータモデルを使用できます。

次の図は、Healthcare CMMS データモデルを構成するテーブルとその関係性を示しています。

Healthcare CMMS データモデル



自動翻訳

Healthcare CMMS データモデルは、Healthcare CMMS アプリケーションに含まれる次のテーブルを使用してデータを格納します。

Healthcare CMMS アプリケーションテーブル

テーブル	説明
医療機器ケース [sn_hcls_cmms_case]	医療デバイスケースを保存します。

Healthcare CMMSデータモデルは、アプリケーションに含まれるヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア次のテーブルを使用します。

ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア アプリケーションテーブル

テーブル	説明
医療ケース [sn_hcls_case]	医療ケースタイプをサポートします。

詳細については、「ヘルスケアとライフサイエンス データモデル」を参照してください。

医療デバイスを稼働中に設定するための設定 **Healthcare CMMS**

臨床エンジニアが稼働中の医療デバイスの要求を完了できるようにするには、構成タスクを実行する必要があります。

医療デバイスの稼働中の要求構成タスク

タスク	説明
Playbook を構成して、医療デバイスを稼働中に設定します。	Playbook を構成して、医療デバイスを稼働中に設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
リスクアセスメントアンケートを設定して、医療デバイスを稼働中に設定します。	リスクアセスメント方法論を使用して、医療デバイスモデル内の稼働中のすべての医療機器のリスクアセスメントアンケートを構成します。
稼働中の医療デバイス要求に含まれる医療デバイスを作成するプロセスを設定します。	スクリプト化された拡張ポイントを使用して、医療デバイスの稼働中の医療デバイスの要求が送信された後に作成する医療デバイスを決定します。
医療デバイスを稼働中に設定する要求を送信するプロセスを設定する	医療機関のサービスポータルから、医療デバイスを In-Service に設定する要求を送信するプロセスを設定します。

医療デバイスを稼働中に設定するための **Playbook** の構成

(Healthcare CMMS) アプリケーションで Healthcare Computerized Maintenance Management システム医療機器を稼働中に設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供するように Playbook を構成できます。

admin ロールを持つユーザーは、機能を使用して プレイブック Now Platform Playbook を作成できます。詳細については、「[Process Automation Designer](#)」を参照してください。

アプリケーションの Playbook Healthcare CMMS は Playbook Experience を使用します CSM 構成可能ワークスペース。デフォルトでは、アプリケーションには、Healthcare CMMS 臨床エンジニアが稼働中の医療デバイスケースを解決するのに役立つ、稼働中の医療機器用 Playbook が含まれています。

Playbook を構成するには、次の場所に移動します。すべて > プロセス自動化 > **Process Automation Designer**。既存のプロセス定義を選択するか、医療機器ケースに関連付けられた Playbook の新しいプロセス定義を作成できます。詳細については、「[プロセス定義](#)」を参照してください。

i 注:

稼働中の医療デバイスケースに関連付けられた Playbook のプロセス定義を構成する場合は、アプリケーションスコープがアプリケーションピッカーを使用するように Healthcare Computerized Maintenance Management システム 設定されていることを確認してください。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

医療デバイスを稼働中に設定するためのリスクアセスメントアンケートの設定

リスクアセスメント方法を使用して、医療デバイスモデル内のすべての医療デバイスを稼働中に設定するようにリスクアセスメントアンケートを設定できます。

admin ロールを持つユーザーは、医療機関で医療デバイスを稼働中に設定するときに、患者の安全識別とコンプライアンスリスク管理に関連するリスクを評価するためのリスクアセスメント方法を設定できます。

デフォルトでは、この *Medical device risk assessment* 方法は医療機器のリスクを評価するために使用できます。デフォルトのリスクアセスメント方法を使用して、デバイスリスクを評価するためのアンケートを追加するか、別のリスクアセスメント方法を作成できます。詳細については、「[リスク評価方法の構成](#)」を参照してください。

医療機器のリスクを評価するためのリスクアセスメント方法を設定する場合は、次の点に注意してください。

- リスクアセスメントタイプは [残存リスク] である必要があります。
- アセスメントコンテキストは、医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] テーブルに対して構成されます。
- 残存アセスメントは、リスクアセスメント方法を保存すると生成されます。次に、公開された手動要素またはアンケートを作成して、生成された残存アセスメントにマッピングし、アセスメントと方法論を公開する必要があります。

i 注:

手動要素の文字制限は次のとおりです。

- 手動要素 (質問) の場合は 100 文字
- 手動要素選択 (回答) の場合は 50 文字

- デフォルトでは、残存リスク評価は、医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] テーブルの [リスクスコア] 列 (フィールド) にマッピングされます。したがって、医療デバイスを稼働中に設定するために、リスクスコアが Playbook に表示されます。残存リスク評価は、医療デバイスインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] テーブルの別の列 (フィールド) に変更できます。
- リスクアセスメントの UI アクションは Now Platform、ビューに対して設定できます。詳細については、ナレッジベースの「[Best practices to perform Any Object Assessment \[KB0826429\]](#) (任意のオブジェクトアセスメントを実行するためのベスト プラクティス [])」の [記事](#) Now Support を参照してください。

サービス中の要求に含まれる医療デバイスを作成するプロセスを設定する

スクリプト化された拡張ポイントを使用して、医療デバイスの稼働中要求が送信された後に作成する医療デバイスを決定します。

始める前に

アプリケーションピッカーを使用して、アプリケーションスコープを Healthcare Computerized Maintenance Management システム に設定します。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

必要なロール : admin

このタスクについて

Healthcare Computerized Maintenance Management システム (Healthcare CMMS) アプリケーションは sn_hcls_cmms をインストールします。CreateDevicesForOnboardCase スクリプト、CreateDevicesForOnboardCase スクリプトインクルード、および CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイント。

sn_hcls_cmms。CreateDevicesForOnboardCase スクリプトは、アプリケーション内でデフォルトで利用可能な医療デバイスの稼働中要求フォームを設定するように事前設定されています。医療デバイスの稼働中要求ケースを作成する前に、アプリケーションは sn_hcls_cmms を実行しま

す。CreateDevicesForOnboardCase スクリプトを使用し、次の送信ワークフローロジックを使用してレコードを作成し、レコードの重複を回避します。

1. デバイスのシリアル番号が存在しない場合は、医療機器を作成します。
2. 医療デバイスモデルが存在しない場合は作成し、医療デバイスの稼働中要求フォームに含まれている既存のモデルに医療デバイスを関連付けます。
3. 医療機器の初期検査の作業指示書を作成します。
4. 稼働中の医療デバイスケースが [完了してクローズ] に設定されている場合、デバイスのステータスを [インストール済み] に設定します。

拡張ポイントを使用すると、実際にベースコードを変更することなくカスタマイズを統合することが容易になります。カスタマイズされたスクリプトを使用して、標準的な基本機能を拡張することができます。詳細については、「[拡張ポイントを使用してアプリケーション機能を拡張する](#)」を参照してください。

実装は、スクリプト化された拡張ポイントに対してベースシステムで利用できます。データを変更し、フィールドを追加することができます。

手順

1. 移動先 **すべて > システムの拡張点 > スクリプト化済みの拡張点**。
2. [**API Name (API 参照名)**] 列で、「sn_hcls_cmms」を検索してクリックします。
。CreateDevicesForOnboardCase です。
3. [拡張ポイント] フォームで、カスタムスクリプトインクルードを作成して登録することで、CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントを使用するスクリプトインクルードを選択します。

アプリケーションで提供される `CreateDevicesForOnboardCase` スクリプトインクルードを参照して、医療デバイスの稼働中ケースを設定するカスタムスクリプトインクルードを作成できます。詳細については、「[Registering custom script includes against the scripted extension points](#)」を参照してください。

4. CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントを実装するスクリプトインクルードに `createDevices`、`checkForDuplicateDevices`、`checkForDuplicateDevicesForNewModel`、`associateToExistingModel` の各メソッドを追加して、医療デバイスの稼働中要求フォームの送信ワークフローロジックをカスタマイズします。
拡張ポイントに対して複数の実装を作成し、各実装に順序番号を指定できます。順序番号が最も小さい実装が最初に実行されます。

稼働中の医療デバイスのカスタマイズ

カスタマイズ	実装
選択したモデルに一意のシリアル番号を持つデバイスが含まれている場合にのみ、医療デバイスを作成します。	実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの <code>createDevices</code> メソッドを含めます。
既存の医療機器モデルを選択する場合は、医療デバイスの稼働中要求に含まれる医療機器のシリアル番号が存在するかどうかを確認します。	実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの <code>checkForDuplicateDevices</code> メソッドを含めます。

カスタマイズ	実装
<p>新しい医療デバイスモデルを追加する場合は、医療デバイスの In-Service Request に含まれる医療デバイスのシリアル番号が存在するかどうかを確認します。</p>	<p>実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの checkForDuplicateDevicesForNewModel メソッドを含めます。</p>
<p>稼働中の医療デバイスの要求に含まれている同じ名前、シリアル番号、およびメーカーの既存の医療デバイスモデルが存在するかどうかを確認し、その医療デバイスのモデルを稼働中の医療デバイスケースに関連付けます。</p>	<p>実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの associateToExistingModel メソッドを含めます。</p>
<p>医療デバイスの稼働中要求に含まれている名前、シリアル番号、メーカー、および説明を使用して医療デバイスモデルを作成し、その医療デバイスモデルを稼働中の医療デバイスケースに関連付けます。</p>	<p>実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの createModel メソッドを含めます。</p>
<p>稼働中の医療デバイスケースに含まれる各医療機器の初期検査の作業指示書を作成します。</p>	<p>実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの createInspectionWorkOrders メソッドを含めます。</p>
<p>稼働中の医療デバイスケースに関連付けられている医療デバイスのステータスを [インストール済み] に設定します。</p>	<p>実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの installDevices メソッドを含めます。</p>
<p>稼働中の医療デバイスケースに関連付けられている医療機器のステータスを [キャンセル] に設定します。</p>	<p>実装に CreateDevicesForOnboardCase 拡張ポイントの cancelDevices メソッドを含めます。</p>

5. [拡張ポイント] フォームで、[更新] をクリックします。

医療デバイスに対する医療デバイスの稼働中要求を送信するプロセスを構成する

医療機関のサービスポータルから、稼働中の医療デバイスの要求を送信するプロセスを設定できます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーは、医療機関の Customer Service Portal ページから稼働中の医療デバイスケースを作成できません。Medical device in-serviceこのオプションは、Customer Service Portal ページの [ケース] メニューから、医療デバイスの稼働中ケースを作成できます。

admin ロールを持つユーザーは、デフォルトで利用可能なレコードプロデューサーを使用する Medical device in-service か、独自のレコードプロデューサーを作成して、サービスポータルから医療デバイスの稼働中ケースを作成できるようにすることができます。医療デバイスの稼働中ケースを作成するためのレコードプロデューサーをサービスカタログに含め、サービスカタログをモジュールとしてサービスポータルページに表示できます。その後、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーが、このモジュールを使用して医療デバイスの稼働中ケースを作成できるようになります。

レコードプロデューサーとサービスカタログの詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログの設定](#)」を参照してください。

AEM 要求のレビューのための設定 Healthcare CMMS

臨床エンジニアが医療機器に関連する代替機器メンテナンス (AEM) のレビュー要求を完了できるようにするには、構成タスクを実行する必要があります。

医療デバイス AEM レビュー要求構成タスク

タスク	説明
医療デバイスの AEM 要求を確認するための Playbook を設定します。	Playbook を構成して、医療機器モデルに対する AEM 要求をレビューするための、医療デバイスケースを解決するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
AEM 要求を送信するためのプロセスの設定。	医療機関のサービスポータルから AEM 要求を送信するプロセスを設定します。
医療デバイスモデルの AEM の承認プロセスを設定します。	医療デバイス AEM ケースに関連付けられた医療デバイスモデルの現在のメンテナンス計画への変更を承認するための条件を定義します。

医療デバイスに対する AEM 要求をレビューするための Playbook の設定

(Healthcare CMMS) アプリケーションで代替機器メンテナンス (AEM) 要求をレビューするための医療機器ケースを解決するためのステップバイステップのガイダンスを提供する Healthcare Computerized Maintenance Management システムのように Playbook を構成します。

admin ロールを持つユーザーは、機能を使用して Playbook Now Platform Playbook を作成できます。詳細については、「[Process Automation Designer](#)」を参照してください。

アプリケーションの Playbook Healthcare CMMS は Playbook Experience を使用します CSM 構成可能ワークスペース。デフォルトでは、アプリケーションには、Healthcare CMMS 臨床エンジニアが医療機器の AEM ケースを解決するのを支援するために、医療機器モデルとそのデバイスの AEM 要求をレビューするための Playbook が含まれています。

Playbook を構成するには、次の場所に移動します。すべて > プロセス自動化 > **Process Automation Designer**。既存のプロセス定義を選択するか、医療機器ケースに関連付けられた Playbook の新しいプロセス定義を作成できます。詳細については、「[プロセス定義](#)」を参照してください。

i 注:

医療デバイス AEM ケースに関連付けられた Playbook のプロセス定義を構成する場合は、アプリケーションスコープがアプリケーションピッカーを使用するように Healthcare Computerized Maintenance Management システム設定されていることを確認してください。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

AEM 要求を送信するためのプロセスの設定

医療機関のサービスポータルから、医療機器モデルの代替機器メンテナンス (AEM) のレビューを要求するプロセスを構成できます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーは、医療機関の Customer Service Portal ページから医療機器 AEM ケースを作成できます。Request AEM

review このオプションは、Customer Service Portal ページの [ケース] メニューから、医療機器 AEM ケースを作成できます。

admin ロールを持つユーザーは、デフォルトで利用可能なレコードプロデューサーを使用する *Request AEM review* か、独自のレコードプロデューサーを作成して、サービスポータルから医療機器 AEM ケースを作成できるようにすることができます。医療デバイス AEM ケースを作成するためのレコードプロデューサーをサービスカタログに含め、サービスカタログをモジュールとしてサービスポータルページに表示できます。その後、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーが、このモジュールを使用して医療機器の AEM ケースを作成できるようになります。

レコードプロデューサーとサービスカタログの詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログの設定](#)」を参照してください。

AEM 要求の承認プロセスの設定

医療機器 AEM ケースに関連付けられた医療デバイスモデルの現在のメンテナンス計画への変更を承認するための条件を定義できます。

admin ロールを持つユーザーは、医療デバイス AEM ケースの意思決定条件が満たされたときに、代替機器メンテナンス (AEM) 要求の承認ワークフローを開始するように意思決定テーブルを構成できます。たとえば、メンテナンス計画のスケジューリングプロセスの一環として、医療デバイス AEM のステータスが [レビュー中] に設定されている場合に、計画をレビューおよび承認するために特定のユーザーに承認を求める AEM 要求を送信する条件を定義できます。

医療デバイス AEM ケースの意思決定テーブルを構成するには、すべて > システム定義 > 意思決定テーブル.医療デバイス AEM ケースの意思決定テーブルを構成する場合は、医療デバイスケース [sn_hcls_cmms_case] テーブルの列を意思決定入力として関連付けます。デフォルトでは、医療機器の AEM 承認決定テーブルを ()Healthcare CMMS アプリケーション内でHealthcare Computerized Maintenance Management システムを使用して、AEM 要求の承認の決定条件を設定できます。

医療 デバイスの **AEM** 承認をトリガーするビジネス ルールは、臨床エンジニアが Playbook での AEM 要求のレビュー中に [承認を要求] を選択すると実行されます。ビジネスルールにより、AEM レビューの承認ワークフローがトリガーされます (利用可能な場合)。意思決定条件が満たされると、承認要求がすべての承認者に送信されます。承認ワークフローが利用できない場合、AEM 要求は自動的に承認されます。

注:

この機能を使用して フローデザイナー 意思決定承認フローを構成する場合は、医療デバイスケース [sn_hcls_cmms_case] テーブルに構成された [承認] フィールドが、承認アクションの最後のレベルでのみ [承認] に設定されていることを確認してください。詳細については、「[承認を求める](#)」ステップを参照してください。

詳細については、「[Decision Tables](#)」を参照してください。

医療デバイスをサービス停止にするための設定 **Healthcare CMMS**

臨床エンジニアが医療機器のサービス停止要求を完了できるようにするには、構成タスクを実行する必要があります。

医療デバイスのサービス停止要求構成タスク

タスク	説明
医療デバイスをサービス停止に設定するための Playbook の構成。	Playbook を構成して、医療デバイスをサービス停止にするためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
医療機器の医療デバイスのサービス停止要求を送信するためのプロセスの構成。	医療機関のサービスポータルから、医療デバイスをサービス停止に設定する要求を送信するプロセスを設定します。

医療デバイスをサービス停止に設定するための **Playbook** の構成

(Healthcare CMMS) アプリケーションでHealthcare Computerized Maintenance Management システム医療機器をサービス停止にするためのステップバイステップのガイダンスを提供するように Playbook を構成できます。

admin ロールを持つユーザーは、機能を使用して プレイブックNow Platform[®] Playbook を作成できます。詳細については、「[Process Automation Designer](#)」を参照してください。

アプリケーションの Playbook Healthcare CMMS は Playbook Experience を使用します CSM 構成可能ワークスペース。アプリケーションには、デフォルトで、Healthcare CMMS 臨床エンジニアが医療デバイスのサービス停止ケースを解決するのに役立つ、医療デバイスのサービス停止用 Playbook が含まれています。

Playbook を構成するには、次の場所に移動します。すべて > プロセス自動化 > **Process Automation Designer**. 既存のプロセス定義を選択するか、医療機器ケースに関連付けられた Playbook の新しいプロセス定義を作成できます。詳細については、「[プロセス定義](#)」を参照してください。

i 注:

医療デバイスのサービス停止ケースに関連付けられた Playbook のプロセス定義を構成する場合は、アプリケーションスコープがアプリケーションピッカーを使用するように Healthcare Computerized Maintenance Management システム 設定されていることを確認してください。詳細については、「[アプリケーションピッカー](#)」を参照してください。

医療機器の医療デバイスのサービス停止要求を送信するためのプロセスの構成

医療機関のサービスポータルから、医療デバイスをサービス停止に設定する要求を送信するプロセスを設定できます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーは、医療機関の Customer Service Portal ページから医療デバイスのサービス停止ケースを作成できます。*Medical device out-of-service*このオプションは、Customer Service Portal ページの [ケース] メニューから、医療デバイスのサービス停止ケースを作成するために使用できます。

admin ロールを持つユーザーは、デフォルトで利用可能なレコードプロデューサーを使用する *Medical device out-of-service* か、独自のレコードプロデューサーを作成して、サービスポータルから医療デバイスのサービス停止ケースを作成できるようにすることができます。医療デバイスのサービス停止ケースを作成するためのレコードプロデューサーをサービスカタログに含め、サービスカタログをモジュールとしてサービスポータルページに表示できます。その後、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーが、医療デバイスのサービス停止ケースを作成するモジュールを使用できるようになります。

レコードプロデューサーとサービスカタログの詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログの設定](#)」を参照してください。

医療デバイスの問題をレポートするためのプロセスの設定

医療機関のサービスポータルから、医療デバイスの問題をレポートするプロセスを設定できます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーは、医療機関の Customer Service Portal ページから医療デバイスの問題ケースを作成できます。Report medical device issue このオプションは、Customer Service Portal ページの [ケース] メニューから使用して、医療デバイスの問題ケースを作成できます。

admin ロールまたは貢献者を持つユーザーは、デフォルトで利用可能なレコードプロデューサーを使用する Report medical device issue か、独自のレコードプロデューサーを作成して、サービスポータルから医療デバイスの問題ケースを作成できるようにすることができます。医療デバイスの問題ケースを作成するためのレコードプロデューサーをサービスカタログに含め、サービスカタログをモジュールとしてサービスポータルページに表示できます。その後、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーが、このモジュールを使用して医療デバイスの問題ケースを作成できるようになります。

レコードプロデューサーとサービスカタログの詳細については、「[レコードプロデューサー](#)」および「[サービスカタログの設定](#)」を参照してください。

での医療機器ケースの管理 ワークスペース

を使用して医療機器ケースを管理できます ワークスペース。

臨床エンジニアは、次から次のタイプの医療機器ケースを管理します ワークスペース。

医療デバイス稼働中ケース

サービスポータルから稼働中の医療デバイスの要求が送信されると、稼働中の医療デバイス ケースが作成されます。臨床エンジニアは、を使用して医療機器の稼働中ケースを表示し、ワークスペース医療機器の稼働中要求を完了することができます。

医療機器 AEM ケース

医療機器モデルの代替機器メンテナンス (AEM) 要求のレビュー要求がサービスポータルから送信されると、医療デバイス AEM ケースが作成されます。臨床エンジニアは、を使用してワークスペース医療機器のAEMケースを表示し、医療機器モデルのAEMレビュー要求を完了できます。

医療デバイスの問題ケース

サービスポータルから医療デバイスの問題がレポートされると、医療デバイスの問題ケースが作成されます。臨床エンジニアは、を使用してワークスペース医療機器の問題ケースを表示し、医療機器の是正メンテナンスを実行して、医療機器の問題を解決することができます。

医療デバイスのサービス停止ケース

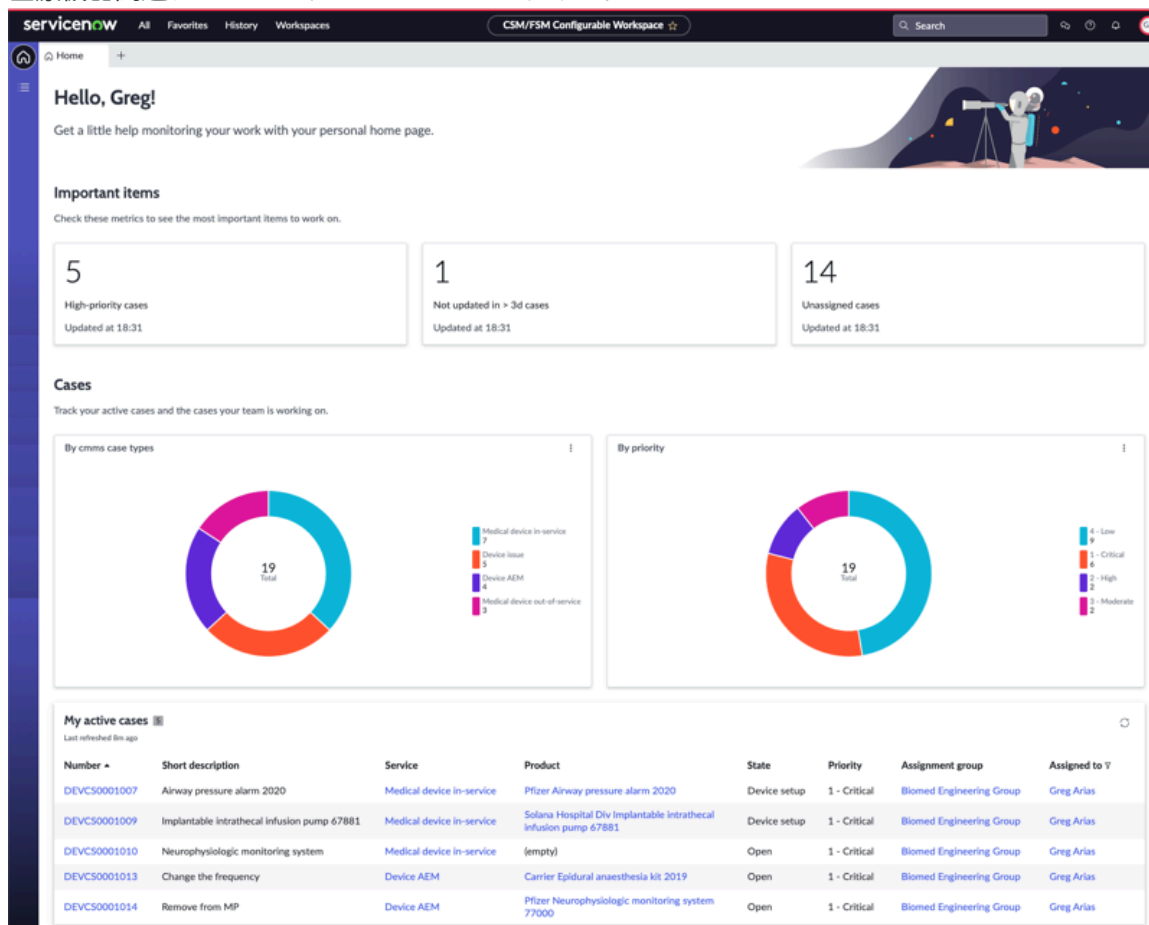
医療デバイスをサービス停止に設定する要求がサービスポータルから送信されると、医療デバイスのサービス停止 ケースが作成されます。臨床エンジニアは、を使用して医療機器のサービス停止ケースを表示し、医療機器のサービス停止要求を完了することができますワークスペース。

での医療機器ケースのランディングページの表示 ワークスペース

臨床エンジニアは、の ワークスペース ランディングページを使用して、医療機器ケースをすばやくスキャンしてアクセスできます。

の ワークスペース ランディングページには、自分と自分のグループにアサインされた医療機器ケースの概要が表示されます。

医療機器関連ケース ワークスペース のランディングページ



必要なロール

臨床エンジニアが `sn_hcls_cmms.clinical_engineer` ロールを持っている ワークスペース 必要があります。詳細については、「[Healthcare CMMS ユーザーのロールのアサイン](#)」を参照してください。

ランディングページへのアクセスと使用

にアクセスするには、Healthcare CMMSに移動します。すべて > *Healthcare CMMS* > ワークスペース。

ランディングページには ワークスペース、医療機器ケース情報を表示するコンポーネントに加えて、コンポーネントデータをさらに細分化する可視化も含まれています。各チャートは、データソースに接続されています。たとえば、新規ケースコンポーネントには、新規ケースの可視化が含まれます。

臨床工学技士は、のランディングページから次のタスクを実行できます。ワークスペース

- 各コンポーネントに表示されるケース情報を表示します。
- 各コンポーネントをドリルダウンして、単一スコアの背後にあるケースリストを確認します。
- ケースリストから個々のレコードに移動します。

データの表示

ワークスペース医療機器ケースのランディングページは、ヘルスケア関連ケースのワークスペースランディングページと同じで、稼働中の医療デバイス用に作成されたケース、医療デバイスモデルに対する AEM 要求のレビュー、医療機器の問題への対処、およびサービス停止中の医療機器に対して作

成されたケースを含む、ヘルスケアケース関連のデータが表示されます。詳細については、「[でのヘルスケア関連ケースのランディングページの表示 ワークスペース](#)」を参照してください。

i 注:

管理者は、このワークスペース ランディングページをカスタマイズし、表示されるデータを変更できます。

での 医療デバイスの稼働中 ケースの管理 ワークスペース

医療デバイスの稼働中ケースを管理するために使用できますワークスペース。

サービスポータルから医療デバイスを稼働中に設定する要求が送信されると、臨床検査技士が作業する 医療デバイスの稼働中 ケースが作成されます。sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、医療デバイスの稼働中要求を確認したり、医療機器と医療機器モデルを作成したり、医療デバイスを既存のモデルに関連付けて医療デバイスの稼働中要求を完了したりできます。

医療デバイスの稼働中ケースで タスクを管理

タスク	説明
へのアクセス ワークスペース.	このワークスペース ホームページを使用して、稼働中の医療デバイス ケースをすばやくスキャンしてアクセスします。
表示 稼働中の医療デバイスのケース ワークスペース.	このワークスペース稼働中の医療デバイスケースを表示して、稼働中の医療デバイスのアクティビティを完了します。
のライフサイクルを理解する 稼働中の医療デバイス ケース.	医療デバイスの稼働中ケースのさまざまなステータスを理解します。
での作業 稼働中の医療デバイス ケース.	アプリケーションで Healthcare CMMS 利用可能な Playbook を使用して、医療デバイスの稼働中の ケースを管理します。
医療機器のリスクを評価します.	医療デバイスが稼働中に設定されている場合にリスクを評価し、アセスメントを完了し、関連する承認者にアセスメントを送信します。

で 稼働中の医療デバイス ケースを表示する ワークスペース

稼働ワークスペース中の医療機器のケースを表示して、稼働中の医療機器のプロセスを完了します。

始める前に

医療デバイスの稼働中ケースへのアクセス権が必要です。

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます [すべて > Healthcare CMMS > ワークスペース.](#)
2. 自分または自分のグループにアサインされた 医療デバイスの稼働中 ケースを表示します。

- 次に移動して、自分に割り当てられた 医療デバイスの稼働中 ケースを表示します リスト > 医療デバイス稼働中ケース > 自分のケース.
- 次に移動して、自分に割り当てられたすべてのオープン な医療デバイスの稼働中 ケースを表示します リスト > 医療デバイス稼働中ケース > 自分のオープンケース.
- グループに属しているが、誰にもアサインされていない 医療デバイスの稼働中 ケースを表示するには、次の場所に移動します。 リスト > 医療デバイス稼働中ケース > 自分のグループの未アサインケース.
- 次に移動して、すべての 医療デバイスの稼働中の ケースを表示します リスト > 医療デバイス稼働中ケース > すべて.

3. 表示するケースへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した 医療デバイスの稼働中 ケースページが別の ワークスペース タブで開き、次のコンポーネントが表示されます。

Playbook

医療デバイスの稼働中ワークフローを完了するために使用される実行可能なアクティビティ。

詳細

医療デバイスの稼働中ケースの詳細。

作業指示

医療機器の初期検査に関する作業指示書。

影響を受けるインストールベースアイテム

インストールベースアイテムとして設定された医療デバイス。

医療デバイス稼働中ケースは、ヘルスケアケースに基づく医療デバイスケースの一種で、カスタマーサービスケースに基づくものです。管理者とロールによって行われた構成によっては、カスタマーサービスケースに似た追加のタブが、稼働中の医療デバイス ケースに表示される場合があります。

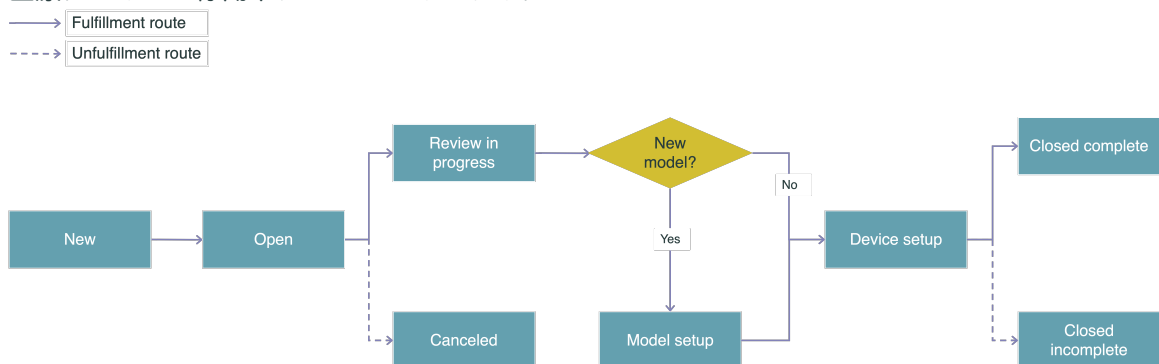
カスタマーサービスケースで利用可能なタブの詳細については、「[カスタマーサービスケース フォーム](#)」を参照してください。

医療デバイスの稼働中ケースのライフサイクル

(Healthcare CMMS) アプリケーション内の医療デバイスの稼働中ケースは、Healthcare Computerized Maintenance Management システム履行サイクルを通じて進行するにつれて、いくつかのステータスのいずれかになる可能性があります。

次の図は、医療デバイスの稼働中 ケースのさまざまなステータスを示しています。

医療デバイスの稼働中ケースの ライフサイクル



医療デバイスの稼働中 ケースのステータス

ステータス	説明
新規	医療デバイスの稼働中 ケースが作成されましたが、まだ誰にもアサインされていません。
オープン	医療デバイスの稼働中 ケースがアサインされました。
レビュー中	医療機器の稼働中の ケースは、臨床工学技士によってレビューされています。
モデルのセットアップ	新しい医療機器モデルを作成し、そのモデルのメンテナンス計画を作成しています。 注: モデルセットアップステータスは、医療デバイスに対して新しい医療デバイスモデルが要求されたときに発生します。
デバイスのセットアップ	医療機器がアプリケーションに追加され、医療機器のリスクが評価され、医療機器の初期検査の作業指示書が完了しています。
完了してクローズ	医療デバイスの稼働中 ケースが解決コードとメモでクローズされ、医療デバイスの稼働中プロセスが完了しました。
未完了でクローズ	医療デバイスが稼働中でなかったため、稼働中の医療機器 ケースが未完了としてマークされました。
キャンセル	医療デバイスの稼働中 ケースは、無効な要求だったためキャンセルされました。

注:
 ケースのステータスが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [キャンセル] に設定されている場合、稼働中の医療デバイスケースを編集することはできません。

での 医療デバイスの稼働中 ケースの操作 ワークスペース

() アプリケーションでHealthcare Computerized Maintenance Management システム利用可能な Playbook を使用して、医療デバイスの稼働中のケースを管理し、医療デバイスを稼働中に設定するための要求を完了します。Healthcare CMMS

Playbook Experience は、ビジネス間のワークフローと、これらのワークフローを完了するために使用される実行可能なアクティビティを履行者に可視化します。で Healthcare CMMSPlaybook Experience を有効にするワークスペースと、稼働中の医療ケースの **[Playbook]** タブが表示されます。Playbook の操作方法の詳細については、「[Playbook の操作](#)」を参照してください。

sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、Playbook を使用して Healthcare CMMS、医療機器のすべての医療デバイスの稼働中アクティビティを完了できます。医療デバイスの稼働中ケースがアサインされると、の ワークスペース**[Playbook]** タブにアクセスできます。ワークフローにより Healthcare CMMS、[**Playbook**] タブで起動されたすべてのアク

ティビティのケースデータが入力されます。Playbook のステージを選択して、ステージに関連付けられたアクティビティを完了することができます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアが、ワークスペースの **[Playbook]** タブで次のステージを使用できます。

Healthcare CMMS医療デバイスの稼働中ケースの **Playbook** ステージ

ステージ	説明
医療デバイスモデルの取り込み	医療デバイスに関連付けられた医療デバイスモデルを確認します。
メンテナンス計画の取り込み	患者が選択した福利厚生調査設定を取得またはレビューし、事前承認アクティビティを管理します。
医療機器の取り込み	稼働中の医療機器と、それらの機器の初期検査のために作成された作業指示書を確認します。
メンテナンス計画	稼働中の医療機器に対して選択されたメンテナンス計画をレビューします。
レビューおよび確認	医療デバイスの稼働中要求をクローズします。

i 注:

Playbook のステージを完了すると、医療デバイスの稼働中 ケースのステータスが進行します。詳細については、「[医療デバイスの稼働中ケースのライフサイクル](#)」を参照してください。

医療機器モデルの確認

Playbook の 医療デバイスモデルの取り込み ステージで、医療デバイスの稼働中要求に含まれる医療デバイスモデルに入力された名前、番号、メーカーの詳細 (簡単な説明など) を確認して [モデルのレビュー] アクティビティを完了し、必要に応じて詳細を変更します。

i 注:

医療機器に必要な新しいモデルがない場合、医療機器モデルの取り込み ステージは Playbook に表示されません。

メンテナンス計画の管理

Playbook の [メンテナンス計画の取り込み] ステージで、医療機器のメンテナンス計画とスケジュールを管理して、[メンテナンス計画の管理] アクティビティを完了します。新しいメンテナンス計画を作成するには、「計画の追加」をクリックし、「作業計画」ページから作業計画を作成します。

新しい作業計画ページでは、必要な条件と設定された条件が自動的に入力されます。

i 注:

医療機器に必要な新しいモデルがない場合、メンテナンス計画の取り込み ステージは Playbook に表示されません。

医療機器の取り込みアクティビティの完了

Playbook の [医療機器の取り込み] ステージで、次のアクティビティを完了します。

1. デバイスのレビュー: 医療デバイスモデルに含まれる医療デバイスを確認し、必要に応じてその詳細を編集します。また、医療機器のリスクも評価します。リスクアセスメントが完了すると、デバイスのリスクスコアが表示されます。詳細については、「[医療機器を稼働中に設定する際のリスク評価](#)」を参照してください。

医療デバイスのレビュー後、モデルに含まれる各デバイスの初期検査の作業指示書が自動的に作成されます。

2. 作業指示書の確認: 技術者がデバイスに関連付けられた作業指示書を完了したときに、このステップを完了としてマークします。また、医療デバイスモデルに関連付けられたすべての作業指示書を表示したり、[すべて表示] をクリックして別の作業指示書を作成したりすることもできます。

メンテナンス計画の確認

Playbook の [メンテナンス計画] ステージで、医療機器モデルから自動的に入力されるデバイスのメンテナンス計画のスケジュールを確認します。

医療デバイスの稼働中要求のクローズ

Playbook の [レビューと確認] ステージで、他のすべてのアクティビティが完了するまで待つから、解決コードを選択して解決メモを追加して、[ケースをクローズ] アクティビティを完了します。

i 注:

稼働中の医療デバイスケースのステータスが [完了してクローズ] に設定されると、医療デバイスのステータスは自動的に [インストール済み] に設定されます。

医療機器を稼働中に設定する際のリスク評価

医療機器を稼働中に設定するときに、患者の安全識別とコンプライアンスリスク管理に関連するリスクを評価し、関連する承認者にアセスメントを送信します。

始める前に

- 管理者は、医療デバイスモデル内で医療デバイスを稼働中に設定するためのリスクアセスメント方法を構成しておく必要があります。
- 医療デバイスの稼働中ケースへのアクセス権が必要です。

必要なロール: sn_hcls_cmms.clinical_engineer または sn_hcls_cmms.sm_agent

このタスクについて

リスクアセスメントは、[リスクワークスペース](#)で実行することもできます。詳細については、[次を参照してください](#)。 [で高度なリスクアセスメントを実行](#) [リスクワークスペース](#)。

i 注:

医療機器を稼働中に設定するためのリスクアセスメント方法は、残存リスクアセスメントタイプです。

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > Healthcare CMMS > ワークスペース.
2. 次に移動して、自分に割り当てられた 医療デバイスの稼働中 ケースを表示します リスト > 医療デバイス稼働中ケース > 自分のケース.
3. リスクを評価する医療デバイスに関連付けられたケースへのリンクをクリックします。
4. コンテキストサイドパネルの [Record details (レコードの詳細)] ペインで、[**Assess risk** (リスク評価)] をクリックします。
5. 表示されるダイアログボックスで、リスクアセスメントへのリンクをクリックします。
6. 「HCLS リスク・アセスメント」タブで、「アセスメントの開始」をクリックします。
7. [リスクアセスメント] タブで、リスクに関するアンケートに記入して、医療デバイスを稼働中に設定します。
8. [確認して送信] をクリックします。
9. アセスメントを終了し、承認のために送信するには、[保存] をクリックし、[承認を要求] をクリックします。
10. [コメントの追加] ダイアログ ボックスで、テキスト ボックスにコメントを入力し、[送信] をクリックします。

での 医療デバイス **AEM** ケースの管理 ワークスペース

を使用して、医療デバイスの AEM ケースを管理できますワークスペース。

医療デバイスモデルの現在のメンテナンス計画をレビューする AEM 要求がサービスポータルから送信されると、臨床工学技士が作業する 医療デバイス AEM ケースが作成されます。sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、AEM 要求を確認し、現在のメンテナンス計画を削除し、メンテナンス計画のスケジュールを変更して AEM 要求を完了することができます。

タスクを管理する医療デバイス **AEM** ケース

タスク	説明
へのアクセス ワークスペース.	の ワークスペース ホームページを使用して、医療デバイスの AEM ケースをすばやくスキャンしてアクセスします。
表示 医療機器 AEMの のケース ワークスペース.	でワークスペース医療デバイス AEM ケースを表示して、医療デバイスモデルに関連付けられた AEM 要求のレビューを完了します。
のライフサイクルを理解する 医療機器AEMの ケース.	医療機器 AEM ケースのさまざまなステータスを理解します。
での作業 稼働中の 医療デバイス ケース.	アプリケーションで Healthcare CMMS 利用可能な Playbook を使用して、医療機器の AEM ケースを管理します。

での医療デバイス **AEM** ケースの表示 ワークスペース

でワークスペース医療機器 AEM ケースを表示して、医療機器モデルの代替機器メンテナンス (AEM) 要求のレビューを完了します。

始める前に

医療デバイス AEM ケースへのアクセス権が必要です。

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます。すべて > *Healthcare CMMS* > ワークスペース。
2. 自分または自分のグループに割り当てられた 医療デバイス AEM ケースを表示します。
 - 自分に割り当てられた 医療デバイス AEM ケースを表示するには、次の場所へ移動します。リスト > 医療機器 **AEM** ケース > 自分のケース。
 - 自分にアサインされたすべてのオープン な医療デバイス AEM ケースを表示するには、次の場所へ移動します。リスト > 医療機器 **AEM** ケース > 自分のオープンケース。
 - グループに属しているが、誰にもアサインされていない 医療機器 AEM ケースを表示するには、次に移動します。リスト > 医療機器 **AEM** ケース > 自分のグループの未アサインケース。
 - すべての 医療デバイス AEM ケースを表示するには、次の場所へ移動します。リスト > 医療機器 **AEM** ケース > すべて。
3. 表示するケースへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した 医療デバイスの AEM ケースページが ワークスペース 別のタブで開き、次のコンポーネントが表示されます。

Playbook

AEM の推奨事項を完了するために使用されるアクション可能なアクティビティ。

詳細

医療デバイス AEM ケースの詳細。

承認者

AEM 要求の承認者。

医療機器 AEM ケースは、カスタマーサービスケースに基づく医療ケースに基づく医療機器ケースの一種です。管理者とロールによって行われた構成によっては、カスタマーサービスケースに似た追加のタブが 医療デバイス AEM ケースに表示される場合があります。

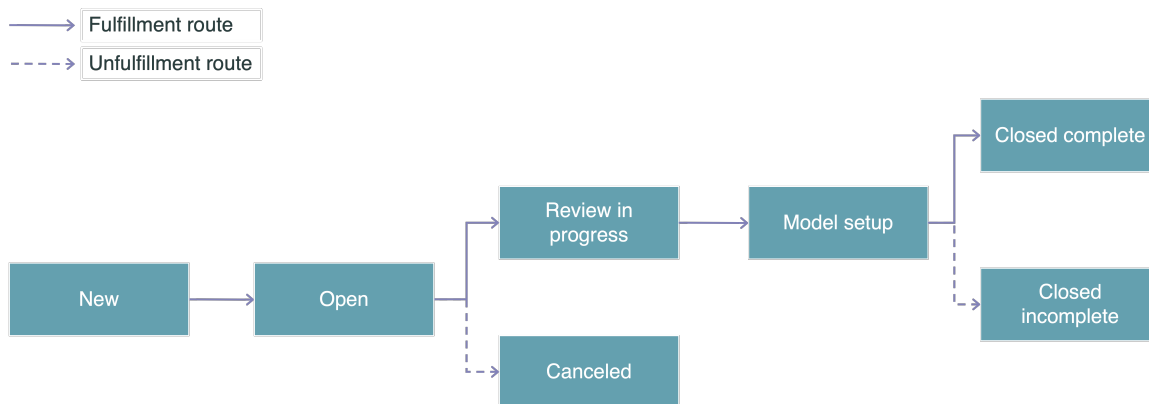
カスタマーサービスケースで利用可能なタブの詳細については、「[カスタマーサービスケース フォーム](#)」を参照してください。

医療機器 **AEM** ケースのライフサイクル

(Healthcare CMMS) アプリケーション内の医療機器 AEM ケースは、Healthcare Computerized Maintenance Management システム履行サイクルの進行に応じて、いくつかのステータスのいずれかになる可能性があります。

次の図は、医療機器 AEM ケースのさまざまなステータスを示しています。

医療機器 AEM ケースのライフサイクル



医療デバイス AEM ケースのステータス

ステータス	説明
新規	医療機器 AEM ケースが作成されましたが、まだ誰にもアサインされていません。
オープン	医療デバイス AEM ケースがアサインされます。
レビュー中	医療機器 AEM ケースは、臨床エンジニアによってレビューされています。
モデルのセットアップ	AEM 要求に基づいて、モデルの新しいメンテナンス計画を作成しています。
完了してクローズ	医療機器 AEM ケースが解決コードとメモでクローズされ、AEM 要求のレビュープロセスが完了しました。
未完了でクローズ	AEM 要求が承認されなかったため、医療機器 AEM ケースが未完了としてマークされました。
キャンセル	AEM 要求が無効だったため、医療デバイス AEM ケースはキャンセルされました。

注:
 ケースのステータスが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [キャンセル] に設定されている場合、医療デバイス AEM ケースを編集することはできません。

での医療機器 AEM ケースの作業 ワークスペース

() アプリケーションで Healthcare Computerized Maintenance Management システム利用可能な Playbook を使用して、医療機器の AEM ケースを管理し、医療機器モデルの代替機器メンテナンス (AEM) 要求のレビューを完了します。Healthcare CMMS

Playbook Experience は、ビジネス間のワークフローと、これらのワークフローを完了するために使用される実行可能なアクティビティを履行者に可視化します。で Healthcare CMMS Playbook

Experience を有効にするワークスペースと、医療機器 AEM ケースの **[Playbook]** タブが表示されます。Playbook の操作方法の詳細については、「[Playbook の操作](#)」を参照してください。

sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、Playbook を使用して Healthcare CMMS、医療機器モデルの AEM 要求をレビューするためのすべてのアクティビティを完了できます。医療デバイス AEM ケースがアサインされると、このワークスペース**[Playbook]** タブにアクセスできます。ワークフローにより Healthcare CMMS、**[Playbook]** タブで起動されたすべてのアクティビティのケースデータが入力されます。Playbook のステージを選択して、ステージに関連付けられたアクティビティを完了することができます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアが、ワークスペースの **[Playbook]** タブで次のステージを使用できます。

Healthcare CMMS医療機器 AEM ケースの Playbook ステージ

ステージ	説明
取り込み	医療機器のAEMケースの詳細を確認し、既存のメンテナンス計画を変更して、AEMリクエストを送信して承認を得ます。
AEM プランの管理	現在のメンテナンス計画から医療機器モデルを削除します。
レビューおよび確認	レビュー要求をクローズします。

i 注:

Playbook のステージを完了すると、医療機器 AEM ケースのステータスが進行します。詳細については、「[医療デバイスの稼働中ケースのライフサイクル](#)」を参照してください。

初期レビューアクティビティの完了

Playbook の [取り込み] ステージで、次のアクティビティを完了します。

- 1. AEM 要求のレビュー:**医療デバイスモデルの AEM 要求に入力された詳細を確認し、必要に応じて詳細を更新します。
- 2. AEM 承認要求の送信:**医療デバイスモデルに必要な追加情報を確認し、AEM 承認要求を送信します。管理者によって AEM 要求の承認ワークフローが設定されている場合、AEM 要求は承認のために送信されます。

AEM 要求の管理

Playbook の「**AEM** 計画の管理」ステージで、利用可能な場合は、現在のメンテナンス計画から医療機器モデルを削除して、「メンテナンス計画から削除」アクティビティを完了します。

新しいメンテナンス計画を作成するには、「計画の追加」をクリックし、「作業計画」ページから作業計画を作成します。

新しい作業計画ページでは、必要な条件と設定された条件が自動的に入力されます。

AEM 要求のクローズ

Playbook の [レビューと確認] ステージで、他のすべてのアクティビティが完了するまで待つから、解決コードを選択して解決メモを追加して、[ケースをクローズ] アクティビティを完了します。

での 医療デバイスの問題 ケースの管理 ワークスペース

を使用してワークスペース、医療デバイスの問題ケースを管理できます。

サービスポータルから医療デバイスの問題がレポートされると、関連するServiceNowインスタンスに医療デバイスの問題ケースが作成されます。

sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、医療機器の問題 ケースを解決することで、医療機器の是正メンテナンスを管理できます。詳細については、「[医療デバイスの問題ケースの処理](#)」を参照してください。

医療デバイスの問題ケースの処理

医療機器の是正メンテナンスのために、医療機器の問題 ケースに取り組みます。

始める前に

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

手順

1. でのホームページの使用 ワークスペース すばやくスキャンしてアクセスするには 医療機器の問題 ケース.
2. 表示 医療機器の問題 のケース ワークスペース.
3. オプション: 作業指示書を作成して、医療機器の問題を解決するために必要な作業の性質を指定します。
4. を閉じる 医療機器の問題 ケース.

での 医療デバイスの問題 ケースの表示 ワークスペース

でワークスペース医療デバイスの問題ケースを表示して、医療機器について報告された問題を解決します。

始める前に

医療デバイスの問題ケースにアクセスする必要があります。

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > Healthcare CMMS > ワークスペース.
2. 自分または自分のグループにアサインされた 医療デバイスの問題 ケースを表示します。
 - 自分にアサインされた 医療デバイスの問題 ケースを表示するには、次の場所へ移動します。 リスト > 医療デバイスの問題ケース > 自分のケース.
 - 次に移動して、自分にアサインされたすべての未解決の 医療デバイスの問題 ケースを表示します リスト > 医療デバイスの問題ケース > 自分のオープンケース.

- グループに属しているが、誰にもアサインされていない 医療デバイスの問題 ケースを表示するには、次の場所に移動します。 リスト > 医療デバイスの問題ケース > 自分のグループの未アサインケース。
- 次に移動して、すべての 医療デバイスの問題 ケースを表示します リスト > 医療デバイスの問題ケース > すべて。

3. 表示するケースへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した 医療デバイスの問題 ケースページが別の ワークスペース タブで開き、次のコンポーネントが表示されます。

詳細

医療デバイス AEM ケースの詳細。

作業指示

臨床工学技士が必要なアクションを実行し、医療機器の問題を解決するための作業指示。

影響を受けるインストールベースアイテム

インストールベースアイテムとして設定された医療デバイス。

医療デバイスの問題ケースは、カスタマーサービスケースに基づく医療デバイスケースの一種です。管理者とロールによって行われた構成によっては、カスタマーサービスケースに似た追加のタブが医療デバイスの問題 ケースに表示される場合があります。

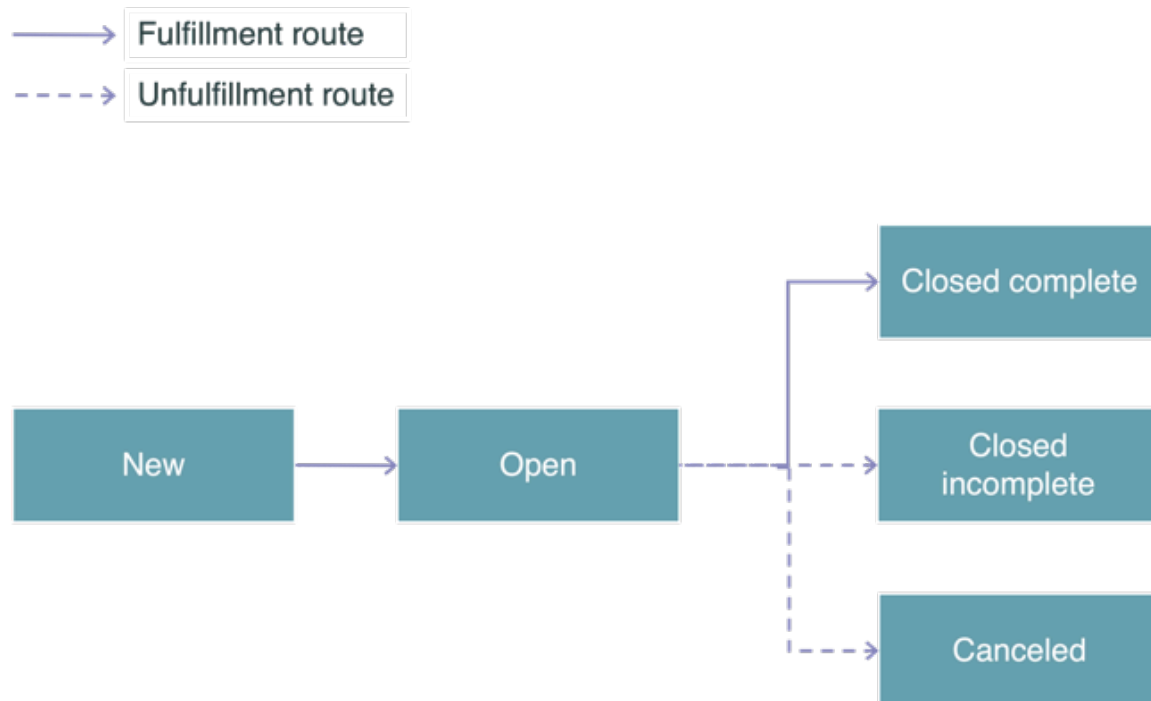
カスタマーサービスケースで利用可能なタブの詳細については、「[カスタマーサービスケース フォーム](#)」を参照してください。

医療デバイス問題ケースのライフサイクル

(Healthcare CMMS) アプリケーション内のHealthcare Computerized Maintenance Management システム医療機器の問題ケースは、履行サイクルの進行に応じて、いくつかのステータスのいずれかになる可能性があります。

次の図は、医療デバイスの問題 ケースのさまざまなステータスを示しています。

医療デバイスの問題 ケースのライフサイクル



医療デバイスの問題 ケースのステータス

ステータス	説明
新規	医療デバイスの問題 ケースは作成されますが、まだ誰にもアサインされていません。
オープン	医療デバイスの問題 ケースがアサインされます。
完了してクローズ	医療デバイスの問題 ケースは、解決コードとメモ、および医療デバイスの問題が解決済みの状態でクローズされました。
未完了でクローズ	問題が解決されなかったため、医療機器の問題ケースは未完了としてマークされました。
キャンセル	医療デバイスの問題 ケースは、無効な要求だったためキャンセルされました。

i 注:

ケースのステータスが [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、または [キャンセル] に設定されている場合、医療デバイスの問題ケースを編集することはできません。

医療デバイスの問題ケースの作業指示書の作成

作業指示書を作成して、医療デバイスの問題ケースを解決するために必要な作業の性質を指定します。

始める前に

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

手順

1. 次の場所に移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > *Healthcare CMMS* > ワークスペース.
2. 検索項目 リスト > 医療デバイスの問題ケース > すべて.
3. 作業指示書を作成するケースへのリンクをクリックします。
4. 「詳細」タブで、「作業指示書の作成」をクリックします。
5. [作業指示書] タブの [簡単な説明] フィールドと [説明] フィールドに、要求された作業について説明します。
6. 作業が必要な場所、作業指示を作成するためのテンプレート、作業指示を完了するために必要なスキルなど、その他の詳細を入力します。
7. [スケジュール] セクションの [要求期限] フィールドで、[白] をクリックし、作業指示書の完了期限となる日時を入力 を選択します。
8. **[Ready For Qualification]** をクリックします。

タスクの結果

作業指示タスクが自動的に作成されます。作業指示書の簡単な説明、説明、および場所がタスクにコピーされます。

次のタスク

sn_hcls_cmms.clinical_engineering_technician ロールを持つユーザーは、作業指示書タスクを完了できます。詳細については、「[作業指示書および作業指示書タスクの管理](#)」を参照してください。

作業指示タスクが完了したら、ケースをクローズできます。詳細については、「[医療デバイスの問題ケースのクローズ](#)」を参照してください。

医療デバイスの問題ケースのクローズ

医療デバイスの問題ケースの解決の詳細を入力し、医療デバイスの問題ケースをクローズします。

始める前に

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

このタスクについて

関連する作業指示書が完了し、医療機器の問題が解決された場合は、ケースをクローズできます。

手順

1. 次の場所に移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > *Healthcare CMMS* > ワークスペース.
2. 検索項目 リスト > 医療デバイスの問題ケース > すべて.
3. クローズするケースへのリンクをクリックします。
4. [詳細] タブの [クローズ情報] セクションで、[解決コード] リストの解決コードを選択して、ケースの解決ステータスを指定します。
5. クローズに関連する情報を [解決メモ] フィールドに入力します。
6. [ケースをクローズ] をクリックします。

での医療デバイスのサービス停止ケースの管理 ワークスペース

を使用してワークスペース、医療デバイスのサービス停止ケースを管理できます。

医療デバイスをサービス停止に設定する要求がサービスポータルから送信されると、臨床工学技士が作業する 医療デバイスのサービス停止 ケースが作成されます。sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、医療デバイスのサービス停止の設定を管理できます。詳細については、「[Healthcare Computerized Maintenance Management システム - 医療機器のサービス停止シナリオ](#)」を参照してください。

医療デバイスのサービス停止 ケース タスクの管理

タスク	説明
へのアクセス ワークスペース.	で ワークスペース ホームページを使用して、医療デバイスのサービス停止 ケースをすばやくスキャンしてアクセスします。
表示 医療デバイスのサービス停止のケース ワークスペース.	でワークスペース医療デバイスのサービス停止ケースを表示して、医療デバイスのサービス停止アクティビティを完了します。
のライフサイクルを理解する 医療デバイスのサービス停止 ケース.	医療デバイスのサービス停止ケースのさまざまなステータスを理解します。
での作業 医療デバイスのサービス停止 ケース.	アプリケーションで Healthcare CMMS 利用可能な Playbook を使用して、医療デバイスのサービス停止 ケースを管理します。

での 医療デバイスのサービス停止 ケースの表示 ワークスペース

でワークスペース医療デバイスのサービス停止ケースを表示し、医療機器をサービス停止に設定するプロセスを完了します。

始める前に

医療デバイスのサービス停止ケースにアクセスできる必要があります。

必要なロール:sn_hcls_cmms.clinical_engineer

手順

1. 次の場所へ移動して、自分 ワークスペース を開きます すべて > *Healthcare CMMS* > ワークスペース.
2. 自分または自分のグループに割り当てられた 医療デバイスのサービス停止 ケースを表示します。
 - に移動すると、自分にアサインされた 医療デバイスのサービス停止 ケースが表示されます リスト > 医療デバイスのサービス停止ケース > 自分のケース.
 - に移動すると、自分にアサインされたすべてのオープン な医療デバイスのサービス停止 ケースが表示されます リスト > 医療デバイスのサービス停止ケース > 自分のオープンケース.

- グループに属しているが誰にもアサインされていない 医療デバイスのサービス停止 ケースを表示するには、次の場所に移動します。 リスト > 医療デバイスのサービス停止ケース > 自分のグループの未アサインケース。
- 次に移動して、すべての 医療デバイスのサービス停止 ケースを表示します リスト > 医療デバイスのサービス停止ケース > すべて。

3. 表示するケースへのリンクをクリックします。

タスクの結果

選択した 医療デバイスのサービス停止 ケースページが別の ワークスペース タブで開き、次のコンポーネントが表示されます。

Playbook

医療デバイスのサービス停止ワークフローを完了するために使用されるアクション可能なアクティビティ。

詳細

医療デバイスのサービス停止ケースの詳細。

作業指示

医療機器の初期検査に関する作業指示書。

影響を受けるインストールベースアイテム

インストールベースアイテムとして設定された医療デバイス。

医療デバイスのサービス停止ケースは、ヘルスケアケースに基づく医療デバイスケースの一種で、カスタマーサービスケースに基づくものです。管理者とロールによって行われた構成によっては、カスタマーサービスケースに似た追加のタブが、医療デバイスのサービス停止 ケースに表示される場合があります。

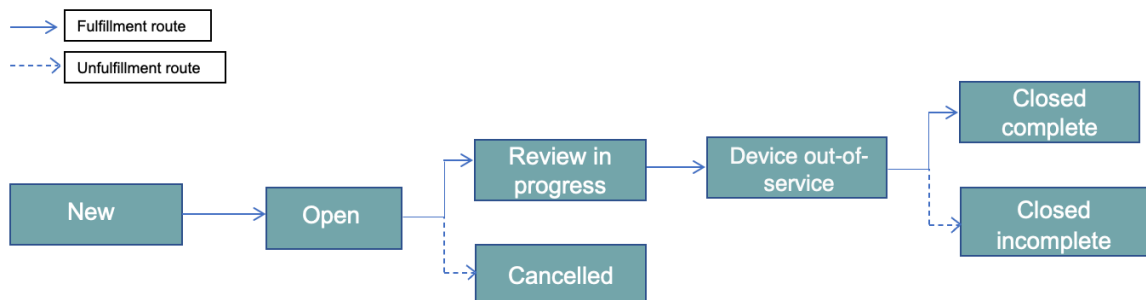
カスタマーサービスケースで利用可能なタブの詳細については、「[カスタマーサービスケース フォーム](#)」を参照してください。

医療デバイスのサービス停止ケースのライフサイクル

(Healthcare CMMS) アプリケーション内のHealthcare Computerized Maintenance Management システム医療デバイスのサービス停止ケースは、履行サイクルを通じて進行するにつれて、いくつかのステータスのいずれかになる可能性があります。

次の図は、医療デバイスのサービス停止 ケースのさまざまなステータスを示しています。

医療デバイスのサービス停止ケースのライフサイクル



医療デバイスのサービス停止 ケースステータス

ステータス	説明
新規	医療デバイスのサービス停止 ケースは作成されますが、まだ誰にもアサインされていません。
オープン	医療デバイスのサービス停止 ケースがアサインされている。
レビュー中	医療機器のサービス停止 ケースは、臨床工学技士によってレビューされています。
医療デバイスのサービス停止	医療デバイスのすべての作業指示書をキャンセルし、医療デバイスをサービス停止に設定します。
完了してクローズ	解決コードとメモで医療機器のサービス停止ケースがクローズされ、医療機器のサービス停止プロセスが完了しました。
未完了でクローズ	医療機器がサービス停止に設定されていないため、医療デバイスのサービス停止ケースは未完了としてマークされました。
キャンセル	医療デバイスのサービス停止 ケースは、無効な要求だったためキャンセルされました。

での 医療デバイスのサービス停止 ケースの処理 ワークスペース

() アプリケーションでHealthcare Computerized Maintenance Management システム利用可能な Playbook を使用して、医療デバイスのサービス停止ケースを管理し、医療機器をサービス停止に設定するための要求を完了します。Healthcare CMMS

Playbook Experience は、ビジネス間のワークフローと、これらのワークフローを完了するために使用される実行可能なアクティビティを履行者に可視化します。で Healthcare CMMS Playbook Experience を有効にするワークスペースと、医療デバイスのサービス停止ケースの **[Playbook]** タブが表示されます。Playbook の操作方法の詳細については、「[Playbook の操作](#)」を参照してください。

sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアは、Playbook を使用して Healthcare CMMS、医療機器のサービス停止アクティビティをすべて完了できます。医療デバイスのサービス停止ケースがアサインされると、のワークスペース**[Playbook]** タブにアクセスできます。ワークフローにより Healthcare CMMS、**[Playbook]** タブで起動されたすべてのアクティビティのケースデータが入力されます。Playbook のステージを選択して、ステージに関連付けられたアクティビティを完了することができます。

デフォルトでは、sn_hcls_cmms.clinical_engineer ロールを持つ臨床エンジニアが、ワークスペースの **[Playbook]** タブで次のステージを使用できます。

i 注:

Playbook のステージを完了すると、医療デバイスのサービス停止 ケースのステータスが進行します。詳細については、「[医療デバイスのサービス停止ケースのライフサイクル](#)」を参照してください。

初期レビューアクティビティの完了

Playbook の [医療機器のサービス停止 (**Medical device out-of-service**)] ステージで、次のアクティビティを完了します。

1. 医療デバイスの詳細のレビュー:医療デバイスモデルの医療デバイスの詳細を確認し、必要に応じて詳細を更新します。

医療デバイスのレビューと承認が完了すると、モデルに含まれる各デバイスの初期検査の作業指示書が自動的に作成されます。

2. 作業指示書のキャンセル:各医療機器の作業指示書を確認してキャンセルします。
3. 医療デバイスをサービス停止に設定:医療デバイスをサービス停止に設定します。
4. 廃棄作業指示書:サービス停止中のデバイスの廃棄作業指示書を作成します。

サービス停止要求のクローズ

Playbook の [レビューと確認] ステージで、他のすべてのアクティビティが完了するまで待つから、解決コードを選択して解決メモを追加して、[ケースをクローズ] アクティビティを完了します。

医療機器の要求の作成

サービスポータルから、医療デバイスを稼働中の設定、代替機器メンテナンス (AEM) のレビュー、医療機器の問題の解決、または医療デバイスのサービス停止の設定の要求を作成します。

管理者は、医療デバイスのサービス要求タイプに基づいて、医療デバイスケースを作成するためのオプションを設定できます。各要求タイプの送信フォームは、管理者によって構成されます。

sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーは、[Customer Service Portal] ページの [ケース] メニューからデフォルトで利用可能な次のオプションを使用して、医療デバイスのサービス要求を行うことができます。

稼働中の医療デバイス

医療デバイスを稼働中に設定し、デバイスをメンテナンス計画に関連付けるよう要求します。

AEM レビューを要求

医療デバイスモデルに関連付けられている現在のメンテナンス計画の変更のレビューを要求します。

医療デバイスの問題を報告

医療機器の問題を報告し、それらを解決するための是正メンテナンスの実行を要求します。

医療デバイスのサービス停止

医療デバイスのサービス停止設定を要求します。

要求が送信された後、対応する医療デバイスケースが関連する ServiceNow インスタンスに作成されます。その後、臨床エンジニアがケースに対応します。詳細については、「[での医療機器ケースの管理 ワークスペース](#)」を参照してください。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム 参照

参照トピックには、()Healthcare CMMS コンポーネントに関するHealthcare Computerized Maintenance Management システム追加情報が記載されています。

Healthcare Computerized Maintenance Management システム とともにインストールされるコンポーネント

(Healthcare CMMS) アプリケーションのインストールHealthcare Computerized Maintenance Management システム時に、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、プラグインServiceNow Store、アプリケーション、ビジネスルールなど) がインストールされます。

i 注:

アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「[アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索](#)」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

にインストールされているロール **Healthcare CMMS**

ロール	説明	ク
sn_hcls_cmms.case_creator	医療デバイスケースを作成するためのアクセス権を付与します。	sn
sn_hcls_cmms.case_viewer	医療デバイスケースを表示するためのアクセス権を付与します。	な
sn_hcls_cmms.clinical_engineer	医療デバイスモデルのメンテナンス計画と医療機器のインストールベースアイテムを作成および更新します。医療機器のケースで活躍します。	・ ・ ・
sn_hcls_cmms.clinical_engineering_admin	アプリケーションにアクセスできる Healthcare CMMS 管理者。	・ ・ ・
sn_hcls_cmms.clinical_engineering_technician	医療機器の場所で作業し、使用した部品や雑費などの詳細を作業指示フォームに記録します。	・ ・ ・ ・
sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor	臨床スタッフとして組織の医療デバイスケースを作成します。	・ ・

にインストールされているロール **Healthcare CMMS** (続く)

ロール	説明
	<p>注: 組織 (事業所) の医療デバイスケースを作成するには、sn_hcls_cmms.device_service_org_contributor ロールを持つユーザーが組織のメンバーであり、[場所貢献者 (Location contributor)] 責任タイプが割り当てられている必要があります。組織とそのメンバーのマッピングは、組織メンバー [sn_csm_service_organization_member] テーブルに含まれています。</p>
sn_hcls_cmms.sm_agent	すべてのデバイスデータと医療デバイスケースにアクセスして表示します。

自動翻訳

インストールされるテーブル

アプリケーションにインストールされる **Healthcare CMMS** テーブル

テーブル	説明
医療機器ケース [sn_hcls_cmms_case]	医療デバイスケースを保存します。

インストール済みプラグイン

にインストールされているプラグイン **Healthcare CMMS**

プラグイン	説明
フィールドサービス管理 (FSM) によるカスタマーサービス (com.snc.csm_fsm_integration)	とアプリケーション間のHealthcare CMMS統合を有効にし、アカウント、連絡先、パートナー、パートナーの連絡先、およびコンシューマー情報を カスタマーサービス からフィールドサービス管理 (FSM)利用フィールドサービス管理 (FSM)できるようにします。

インストール済み ServiceNow Store アプリケーション

ServiceNow Store にインストールされているアプリケーション Healthcare CMMS

アプリケーション	説明
ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コア (sn_hcls)	患者の 360 度ビュー、同意管理、デジタル文書などのデータモデルと重要なデジタル医療機能を提供し、医療サービスへの対応を改善します。
GRC:Advanced Risk (com.sn_risk_advanced)	意思決定者が、リスクを特定、評価、対応、および継続的に監視することで、事業運営への悪影響を回避できるようにします。
GRC: Common Workspace Elements (sn_grc_workspace)	の機能CSM 構成可能ワークスペースの使用高度なリスクを有効にします。
Healthcare CDM 用 Performance Analytics コンテンツパック (sn_hcls)	Healthcare CDM 用 Performance Analytics コンテンツパックを別途インストールします ServiceNow Store。 医療臨床デバイス管理アプリケーション用の Performance Analytics 機能とダッシュボードを提供します。ダッシュボードは、臨床工学チームが CMMS アプリケーションのすべての測定基準を参照できるように可視性を提供します。

インストールされたビジネスルール

にインストールされているビジネスルール Healthcare CMMS

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
検査 WO を作成	医療機器ケース [sn_hcls_cmms_case]	非同期更新	関連する稼働中の医療デバイスケースのステータスが [デバイスセットアップ] に設定されている場合に、医療デバイスの初期検査の作業指示書を作成します。
デバイスをインストール済みとしてマークする	医療機器ケース [sn_hcls_cmms_case]	非同期更新	関連する医療デバイスの稼働中ケースのステータスが [完了してクローズ] または [キャンセル] に設定されている場合、医療機器のインストール状態を [インストール済み] または [キャンセル] に設定します。
医療デバイスモデルを設定	医療機器ケース [sn_hcls_cmms_case]	更新前	医療デバイス用のものが存在せず、関連する医療デバイスの稼働中ケースのステータスが [モデルセットアップ]

にインストールされているビジネスルール **Healthcare CMMS** (続く)

ビジネスルール	テーブル	ルール基準	説明
			ブ] に設定されている場合に、医療デバイスモデルを作成します。
医療デバイスの AEM 承認をトリガー	医療機器ケース [sn_hcls_cmms_case]	非同期更新	代替機器メンテナンス (AEM) 要求の承認ワークフロー (利用可能な場合) をトリガーします。

ドメイン分離と **Healthcare Computerized Maintenance Management** システム

()Healthcare CMMS では Healthcare Computerized Maintenance Management システムドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに回答する場合、お客様がサービスプロバイダーの回答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「[アプリケーションでのドメイン分離のサポート](#)」を参照してください。

概要

アプリケーション Healthcare CMMS には、AEM を含む医療デバイスケース、稼働中、デバイスの問題ケース、サービス停止中のデバイスなどのトランザクションデータのドメイン分離が含まれています。

Healthcare CMMS におけるドメイン分離の仕組み

アプリケーションを使用して Healthcare CMMS 医療機器要求を出す顧客の場合、ドメインは、ログインユーザーのセッションから、作成されたケース、および関連付けられた医療データ内で設定されます。

ユースケース

ヘルスケアプロバイダーのヘルスケアデータがドメイン別に分離されている場合、ヘルスケア要求と対応する実行タスクはそれぞれの顧客ドメインに関連付けられます。